



平成 27 年度 後期
学生による授業評価(アンケート調査)
集計結果

日本赤十字看護大学 看護学部

平成27年度学部(後期)授業評価実施科目

No.	コード	講義名称	教員	履修登録 者数	評価用 紙種類	学年	学期	必修選 択の別	頁
—	講義全体集計平均								1
1	1B0201	生命倫理	榊原哲也	82	講義	2・編3	後期	必修	2
2	1B0202	生命倫理	榊原哲也	74	講義	3・編4	後期	必修	4
3	1B0400	心理学Ⅱ	遠藤公久	17	講義	2	後期	選択	6
4	1B0403	心理学Ⅱ	遠藤公久	8	講義	編3	後期	選択	8
5	1B0500	教育学概論	山崎裕二	25	講義	1	後期	選択	10
6	1B0600	現代教育論	山崎裕二	27	講義	1	後期	選択	12
7	1B0700	身体運動論Ⅰ（理論）	梅澤佳子	65	講義	1	後期	選択	14
8	1B0900	生活環境論	岡本菜穂子・福井小紀子・藤田淳子・岡本有子	153	講義	2・編3	後期	必修	16
9	1C0200	社会学Ⅱ	三橋弘次	28	講義	2	後期	選択	18
10	1C0400	家族社会学	三具淳子	24	講義	2	後期	選択	20
11	1C0600	国際関係論	小池政行	94	講義	1・編3	後期	選択	22
12	1C0800	医療と文化	井上陽介	13	講義	2	後期	選択	24
13	1D0200	数学Ⅱ	二宮真理子	9	講義	1	後期	選択	26
14	1D0401	生物学Ⅱ	熊澤武志	36	講義	1	後期	選択	28
15	1D0402	生物学Ⅱ	熊澤武志	28	講義	1	後期	選択	30
16	1D0600	化学Ⅱ	三好洋	11	講義	1	後期	選択	32
17	1E0100	情報学概論	逸見功・川原由佳里・吉田みつ子	123	講義	1	後期	選択	34
18	1E0201	情報科学	逸見功	17	講義	2	後期	選択	36
19	1E0202	情報科学	逸見功	27	講義	2	後期	選択	38
20	1F0301	英語Ｒ１－２	川崎修一	37	講義	1	後期	必修	40
21	1F0302	英語Ｒ１－２	佐藤眞	34	講義	1	後期	必修	42
22	1F0303	英語Ｒ１－２	川崎修一	35	講義	1	後期	必修	44
23	1F0304	英語Ｒ１－２	佐藤眞	38	講義	1	後期	必修	46
24	1F0501	英語Ｗ１－２	遠藤花子	36	講義	1	後期	選択	48
25	1F0502	英語Ｗ１－２	David Baldwin	25	講義	1	後期	選択	50
26	1F0503	英語Ｗ１－２	遠藤花子	36	講義	1	後期	選択	52
27	1F0504	英語Ｗ１－２	David Baldwin	38	講義	1	後期	選択	54
28	1F0701	英語ＬＳ１－２	Benjamin Tutchter	26	講義	1	後期	選択	56
29	1F0702	英語ＬＳ１－２	Tony Dani	23	講義	1	後期	選択	58
30	1F0703	英語ＬＳ１－２	David Baldwin	21	講義	1	後期	選択	60
31	1F0704	英語ＬＳ１－２	Benjamin Tutchter	26	講義	1	後期	選択	62
32	1F0705	英語ＬＳ１－２	Tony Dani	23	講義	1	後期	選択	64
33	1F0706	英語ＬＳ１－２	David Baldwin	20	講義	1	後期	選択	66
34	1F0901	英語Ｒ２－２	富田佳子	43	講義	2・編3	後期	必修	68
35	1F0902	英語Ｒ２－２	皆川健次郎	39	講義	2・編3	後期	必修	70
36	1F0903	英語Ｒ２－２	富田佳子	35	講義	2	後期	必修	72
37	1F0904	英語Ｒ２－２	皆川健次郎	36	講義	2	後期	必修	74
38	1F1100	英語Ｗ２－２	佐藤眞	10	講義	2	後期	選択	76
39	1F1103	英語Ｗ２－２	佐藤眞	11	講義	編3	後期	選択	78
40	1F1500	英語文献を読むⅡ	川崎修一	6	講義	3	後期	選択	80
41	1F1701	中国語Ⅱ	王英輝	11	講義	1	後期	選択	82
42	1F1702	中国語Ⅱ	王英輝	6	講義	1	後期	選択	84

平成27年度学部(後期)授業評価実施科目

No.	コード	講義名称	教員	履修登録者数	評価用紙種類	学年	学期	必修選択の別	頁
43	1F1901	フランス語Ⅱ	坂原真里	12	講義	1	後期	選択	86
44	1F1902	フランス語Ⅱ	坂原真里	8	講義	1	後期	選択	88
45	1G0201	基礎ゼミⅡ	遠藤公久	15	講義	1	後期	必修	90
46	1G0202	基礎ゼミⅡ	川崎修一	9	講義	1	後期	必修	92
47	1G0204	基礎ゼミⅡ	佐藤眞	10	講義	1	後期	必修	94
48	1G0205	基礎ゼミⅡ	佐藤裕子	15	講義	1	後期	必修	96
49	1G0206	基礎ゼミⅡ	井上忠男	12	講義	1	後期	必修	98
50	1G0207	基礎ゼミⅡ	逸見功	4	講義	1	後期	必修	100
51	1G0208	基礎ゼミⅡ	山崎裕二	14	講義	1	後期	必修	102
52	1G0209	基礎ゼミⅡ	越後敬子	13	講義	1	後期	必修	104
53	1G0210	基礎ゼミⅡ	國頭英夫	15	講義	1	後期	必修	106
54	1G0211	基礎ゼミⅡ	三好洋	8	講義	1	後期	必修	108
55	1G0212	基礎ゼミⅡ	井上陽介	7	講義	1	後期	必修	110
56	1G0213	基礎ゼミⅡ	吉田健一	14	講義	1	後期	必修	112
57	1G0214	基礎ゼミⅡ	吉田直正	9	講義	1	後期	必修	113
58	1G0230	基礎ゼミⅡ	山崎裕二	11	講義	編3	後期	必修	115
59	1H0301	人体の構造と機能Ⅲ	菅田晴夫	72	講義	1	後期	必修	117
60	1H0302	人体の構造と機能Ⅲ	菅田晴夫	73	講義	1	後期	必修	119
61	1H0401	疾病の成り立ちと回復の促進Ⅰ	佐藤裕子	74	講義	1	後期	必修	121
62	1H0402	疾病の成り立ちと回復の促進Ⅰ	佐藤裕子	76	講義	1	後期	必修	123
63	1H0501	疾病の成り立ちと回復の促進Ⅱ	佐藤裕子	71	講義	1	後期	必修	125
64	1H0502	疾病の成り立ちと回復の促進Ⅱ	佐藤裕子	75	講義	1	後期	必修	127
65	1H0601	疾病の成り立ちと回復の促進Ⅲ	佐藤裕子	71	講義	1	後期	必修	129
66	1H0602	疾病の成り立ちと回復の促進Ⅲ	佐藤裕子	73	講義	1	後期	必修	131
67	1H0700	疾病の成り立ちと回復の促進Ⅳ	鈴木憲史	144	講義	1	後期	必修	133
68	1H0800	疾病の成り立ちと回復の促進Ⅴ	鈴木憲史・高屋和彦・伊藤由紀子・鈴木毅・安藤常浩・壹岐聖子・國頭英夫	122	講義	4	後期	必修	135
69	1H1000	薬理学	吉見猛・井上直路	141	講義	3	後期	選択	137
70	1H1200	遺伝と遺伝カウンセリング	守田美奈子・笠井靖代	153	講義	3・編3	後期	選択	139
71	1H1300	栄養学	保瀬由江	141	講義	3	後期	必修	141
72	1I0200	看護学概論Ⅱ	守田美奈子・川原由佳里・吉田みつ子・樋口佳栄・安島幹子・殿城友紀・源川奈央子	142	講義	4・編4	後期	必修	143
73	1I0400	看護の歴史	川原由佳里	3	講義	3	後期	選択	145
74	1L0101	精神保健看護学Ⅰ	小宮敬子・鷹野朋実・堀井湖浪	81	講義	2	後期	必修	147
75	1L0102	精神保健看護学Ⅰ	小宮敬子・鷹野朋実・堀井湖浪	72	講義	2・編3	後期	必修	149
76	1M0300	発達看護学Ⅰ①	谷津裕子・佐々木美喜・濱田真由美	142	講義	2	後期	必修	151
77	1M0501	発達看護学Ⅱ①	江本リナ・川名るり・太田智子・吉田玲子・山内朋子	71	講義	2	後期	必修	153
78	1M0502	発達看護学Ⅱ①	江本リナ・川名るり・太田智子・吉田玲子・山内朋子	71	講義	2	後期	必修	155
79	1M0700	発達看護学Ⅲ①	坂口千鶴・江見香月・比留間絵美・清田明美	142	講義	2	後期	必修	157
80	100100	地域看護学	福井小紀子・乙黒千鶴・澤井美奈子	153	講義	2・編3	後期	必修	159
81	100200	公衆衛生看護活動論	澤井美奈子・乙黒千鶴	41	講義	3・編3	後期	選択	161

平成27年度学部(後期)授業評価実施科目

No.	コード	講義名称	教員	履修登録者数	評価用紙種類	学年	学期	必修選択の別	頁
82	100400	疫学	逸見功	77	講義	2・編3	後期	選択	163
83	1P0100	看護管理学Ⅰ	安部陽子・鶴田恵子	152	講義	3・編3	後期	必修	165
84	1P0300	看護教育学Ⅰ	佐々木幾美・西田朋子	152	講義	3・編3	後期	必修	167
85	1R0200	国際看護学Ⅱ	井上忠男・岡本菜穂子・亀井縁	23	講義	3	後期	選択	169
86	1R0401	災害看護論Ⅰ	亀井縁・小原真理子・槇島敏治	71	講義	1	後期	必修	171
87	1R0402	災害看護論Ⅰ	亀井縁・小原真理子・槇島敏治	85	講義	1	後期	必修	173
—	演習全体集計平均								175
88	1J0201	看護技術論Ⅱ①	樋口佳栄・吉田みつ子・殿城友紀・源川奈央子・安島幹子・梅田亜矢・桐原あずみ・根岸京子	72	演習	1	後期	必修	176
89	1J0202	看護技術論Ⅱ①	樋口佳栄・吉田みつ子・殿城友紀・源川奈央子・安島幹子・梅田亜矢・桐原あずみ・根岸京子	73	演習	1	後期	必修	178
90	1J0501	看護技術論Ⅲ②	樋口佳栄・吉田みつ子・殿城友紀・川原由佳里・源川奈央子・安島幹子・山本伊都子・梅田亜矢・桐原あずみ・根岸京子	72	演習	1	後期	必修	180
91	1J0502	看護技術論Ⅲ②	樋口佳栄・吉田みつ子・殿城友紀・川原由佳里・源川奈央子・安島幹子・山本伊都子・梅田亜矢・桐原あずみ・根岸京子	73	演習	1	後期	必修	182
92	1N0501	健康レベル別看護学演習Ⅰ	下村裕子・田中孝美・住谷ゆかり・和田美也子・山本伊都子・梅田亜矢・桐原あずみ・源川奈央子・殿城友紀・安島幹子	71	演習	2	後期	必修	184
93	1N0502	健康レベル別看護学演習Ⅰ	下村裕子・田中孝美・住谷ゆかり・和田美也子・山本伊都子・梅田亜矢・桐原あずみ・源川奈央子・殿城友紀・安島幹子	72	演習	2	後期	必修	186
94	1R0700	災害看護活動論Ⅱ	小原真理子・亀井縁・根岸京子	22	演習	2	後期	選択	188
95	1T0201	研究方法論Ⅱ	谷津裕子・遠藤公久・山崎裕二・川名るり・堀井湖浪・坂口千鶴・安部陽子・齋藤英子・岡本有子・清田明美・濱田真由美	68	演習	3	後期	必修	190
96	1T0202	研究方法論Ⅱ	谷津裕子・遠藤公久・山崎裕二・川名るり・堀井湖浪・坂口千鶴・安部陽子・齋藤英子・岡本有子・清田明美・濱田真由美	84	演習	3・編3	後期	必修	192
—	実習								
97	1S0100	看護援助論実習〔レベルⅠ〕	守田美奈子他	145	実習	1	後期	必修	194

(授業コード) ()	(担当教員名)	(科目名)
----------------	---------	-------

授 業 に 関 す る 調 査

この評価票は、授業改善を目的として実施するものです。あなたの意見は今後の授業改善に活かされます。記入にあたっては、授業全体を視野に入れた上で、責任ある評価が求められています。あなたの真摯なご協力をお願いします。
なお、この評価票の記載内容や提出の有無があなたの成績に影響することは一切ありません。

以下のそれぞれの項目について、右のような5段階評価に従って、最も適切な番号に○を付けてください。この授業に該当しない場合、あるいは不明の場合には、空欄のままにしてください。

全くそうは思わない
 そうは思わない
 どちらともいえない
 そう思う
 強くそう思う

①授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	5	4	3	2	1
②授業では、板書、書画カメラ、ビデオ（DVD）、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	5	4	3	2	1
③教員の話し方（声量、スピード、マイクの使い方など）は適切だった。	5	4	3	2	1
④授業の内容はわかりやすかった。	5	4	3	2	1
⑤授業の内容は興味のあるものだった。	5	4	3	2	1
⑥この授業は自分にとって価値があった。	5	4	3	2	1
⑦授業は、正規の時間に始まり、終わった。	5	4	3	2	1
⑧シラバス（または講義予定表）に沿った授業が行われていた。	5	4	3	2	1
⑨授業の進行速度は適切だった。	5	4	3	2	1
⑩教員の熱意が伝わってきた。	5	4	3	2	1
⑪教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	5	4	3	2	1
⑫教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	5	4	3	2	1
⑬私の授業への出席率は（5は9割以上、4は8～7割程度、3は6～5割程度、2は4割程度、1は3割以下）だった。	5	4	3	2	1
⑭私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	5	4	3	2	1
⑮私は授業の学びやすい環境作り（私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等）に協力した。	5	4	3	2	1

自由記入欄にもご記入下さい

①この授業でよかったこと。

②この授業で改善してほしいこと。

③その他の意見・感想（今回の授業評価に関する意見・感想もあわせてお願いします）。

（授業コード） （ ）	（担当教員名）	（科目名）
-------------------------------------	---------	-------

授 業（演習） に 関 す る 調 査

この評価票は、授業改善を目的として実施するものです。あなたの意見は今後の授業改善に活かされます。記入にあたっては、授業全体を視野に入れた上で、責任ある評価が求められています。あなたの真摯なご協力をお願いします。なお、この評価票の記載内容や提出の有無があなたの成績に影響することは一切ありません。

以下のそれぞれの項目について、右のような５段階評価に従って、最も適切な番号に○を付けてください。この授業に該当しない場合、あるいは不明の場合には、空欄のままにしてください。

全くそうは思わない
 そうは思わない
 どちらともいえない
 そう思う
 強くそう思う

①演習で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	5	4	3	2	1
②演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	5	4	3	2	1
③教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	5	4	3	2	1
④技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	5	4	3	2	1
⑤演習を通して、より興味をもち、深く学びたいとすることができた。	5	4	3	2	1
⑥実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	5	4	3	2	1
⑦学生への指示・安全への配慮は適切だった。	5	4	3	2	1
⑧演習時の（グループ等の）人数は適切だった。	5	4	3	2	1
⑨演習の時間配分は適切だった。	5	4	3	2	1
⑩教員の熱意が伝わってきた。	5	4	3	2	1
⑪教員（ティーチングアシスタント含む）は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況であった。	5	4	3	2	1
⑫教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	5	4	3	2	1
⑬私は事前学習をして演習に臨んだ。	5	4	3	2	1
⑭私は授業後に演習内容を復習した（オフィスアワーを含む）。	5	4	3	2	1
⑮私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	5	4	3	2	1

自由記入欄にもご記入下さい

①この授業でよかったこと。

②この授業で改善してほしいこと。

③その他の意見・感想（今回の授業評価に関する意見・感想もあわせてお願いします）。

実習評価アンケート

科目名 : 実習(レベル)

グループ番号 :

(アンケート用のグループ番号を記入して下さい。)

	強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない
1 教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	5	4	3	2	1
2 教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。	5	4	3	2	1
3 教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	5	4	3	2	1
4 教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	5	4	3	2	1
5 教員は、相談しやすい雰囲気があった。	5	4	3	2	1
6 教員と実習指導者の連携がとれていた。	5	4	3	2	1
7 実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	5	4	3	2	1
8 実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。	5	4	3	2	1
9 実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	5	4	3	2	1
10 実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	5	4	3	2	1
11 実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。	5	4	3	2	1
12 学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。	5	4	3	2	1
13 学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。	5	4	3	2	1
14 学生は、実習目標に到達できるように努力した。	5	4	3	2	1
15 学生は、自ら指導・支援を求めることができた。	5	4	3	2	1
16 学生は、体調管理に努めた。	5	4	3	2	1

自由記載

良かったことや改善してほしいことなどについて、具体的に記載してください。

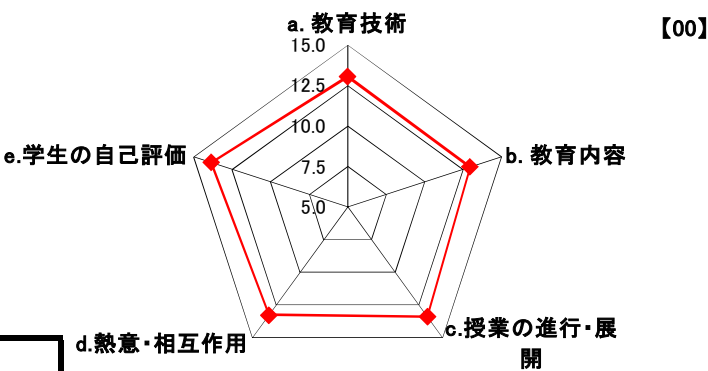
授業(講義)評価結果(2015年度後期)

履修者数	4,416	回収数	3,265	回収率	73.9%
------	-------	-----	-------	-----	-------

科目:

担当者:

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,245	13.07	2.33	3,245	13.07	2.33
b. 教育内容	3,260	12.97	2.46	3,260	12.97	2.46
c. 授業の進行・展開	3,255	13.41	2.09	3,255	13.41	2.09
d. 熱意・相互作用	3,247	13.27	2.27	3,247	13.27	2.27
e. 学生の自己評価	3,251	13.88	1.63	3,251	13.88	1.63



N=3265

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	1720 52.7	1146 35.1	291 8.9	76 2.3	20 0.6	12 0.4	4.36	0.83
②	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	1681 51.5	1078 33.0	370 11.3	98 3.0	28 0.9	10 0.3	4.30	0.88
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	1794 54.9	1034 31.7	309 9.5	93 2.8	29 0.9	6 0.2	4.36	0.86

b. 教育内容

④	授業の内容はわかりやすかった。	1685 51.6	1015 31.1	404 12.4	126 3.9	32 1.0	3 0.1	4.28	0.90
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	1725 52.8	1036 31.7	360 11.0	104 3.2	38 1.2	2 0.1	4.32	0.88
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	1765 54.1	1046 32.0	340 10.4	83 2.5	27 0.8	4 0.1	4.36	0.84

c. 授業の進行・展開

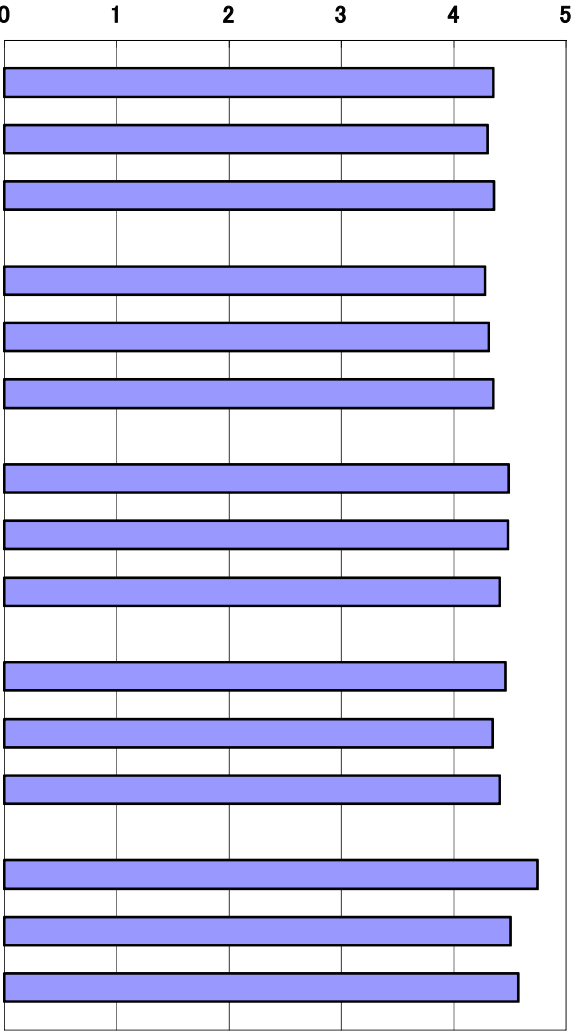
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	1988 60.9	981 30.0	233 7.1	43 1.3	17 0.5	3 0.1	4.49	0.74
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	1957 59.9	1014 31.1	237 7.3	38 1.2	14 0.4	5 0.2	4.48	0.74
⑨	授業の進行速度は適切だった。	1874 57.4	1002 30.7	281 8.6	78 2.4	24 0.7	6 0.2	4.41	0.83

d. 熱意・相互作用

⑩	教員の熱意が伝わってきた。	1963 60.1	958 29.3	270 8.3	51 1.6	20 0.6	3 0.1	4.47	0.77
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	1804 55.3	957 29.3	378 11.6	93 2.8	29 0.9	4 0.1	4.35	0.87
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	1923 58.9	928 28.4	309 9.5	70 2.1	19 0.6	16 0.5	4.41	0.85

e. 学生の自己評価

⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	2591 79.4	568 17.4	87 2.7	9 0.3	0 0.0	10 0.3	4.75	0.56
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	2062 63.2	895 27.4	248 7.6	44 1.3	6 0.2	10 0.3	4.51	0.75
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	2204 67.5	817 25.0	200 6.1	28 0.9	6 0.2	10 0.3	4.58	0.71

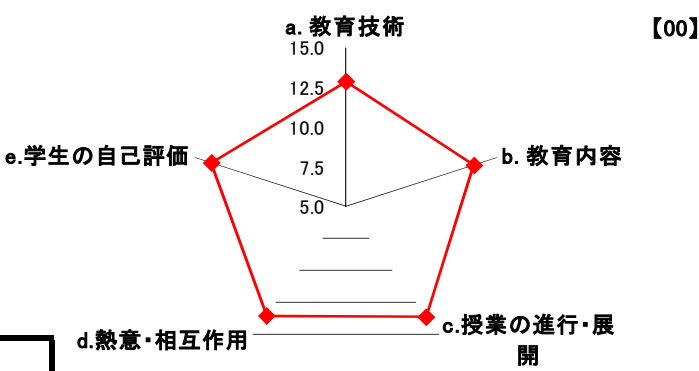


授業(講義)評価結果(2015年度後期)

科目:生命倫理
担当者:
榊原哲也

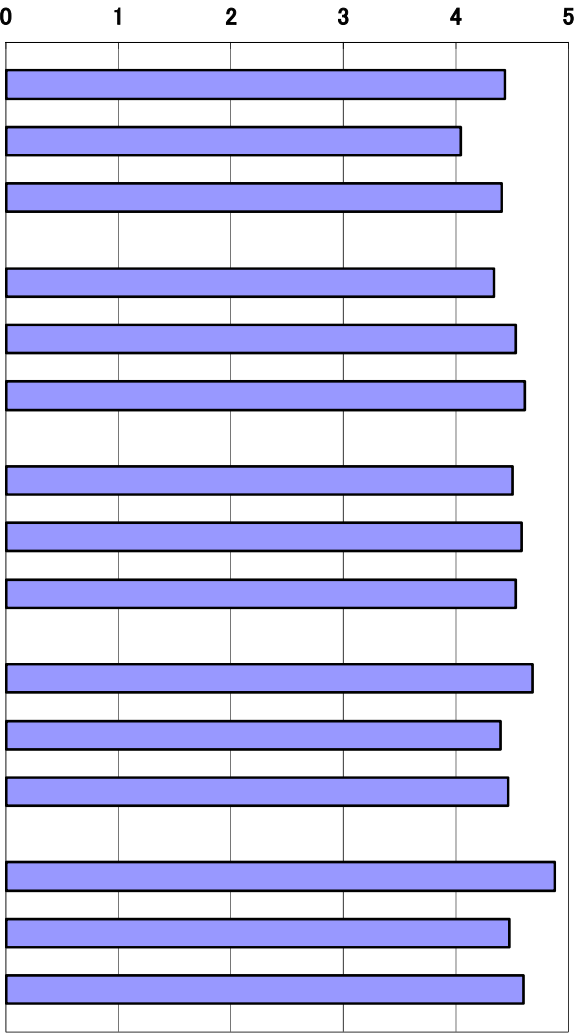
履修者数	82	回収数	74	回収率	90.2%
------	----	-----	----	-----	-------

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,245	13.07	2.33	74	12.88	2.00
b. 教育内容	3,260	12.97	2.46	74	13.47	1.73
c.授業の進行・展開	3,255	13.41	2.09	74	13.61	1.64
d.熱意・相互作用	3,247	13.27	2.27	74	13.53	1.74
e.学生の自己評価	3,251	13.88	1.63	74	13.95	1.51



N=74	強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
	5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術								
①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	37 50.0	32 43.2	5 6.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.43 0.62
②	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	27 36.5	27 36.5	16 21.6	4 5.4	0 0.0	0 0.0	4.04 0.89
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	38 51.4	30 40.5	4 5.4	2 2.7	0 0.0	0 0.0	4.41 0.72
b. 教育内容								
④	授業の内容はわかりやすかった。	36 48.6	29 39.2	7 9.5	2 2.7	0 0.0	0 0.0	4.34 0.76
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	42 56.8	29 39.2	3 4.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.53 0.57
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	48 64.9	23 31.1	3 4.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.61 0.57
c. 授業の進行・展開								
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	44 59.5	23 31.1	7 9.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.50 0.66
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	45 60.8	27 36.5	2 2.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.58 0.55
⑨	授業の進行速度は適切だった。	44 59.5	26 35.1	3 4.1	1 1.4	0 0.0	0 0.0	4.53 0.64
d. 熱意・相互作用								
⑩	教員の熱意が伝わってきた。	51 68.9	22 29.7	1 1.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.68 0.50
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	38 51.4	28 37.8	7 9.5	1 1.4	0 0.0	0 0.0	4.39 0.71
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	43 58.1	24 32.4	5 6.8	2 2.7	0 0.0	0 0.0	4.46 0.74
e. 学生の自己評価								
⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	67 90.5	5 6.8	2 2.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.88 0.40
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	43 58.1	25 33.8	4 5.4	2 2.7	0 0.0	0 0.0	4.47 0.72
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	50 67.6	18 24.3	6 8.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.59 0.63



科目コード	1B0201	科目名	生命倫理	担当教員名	榊原哲也
-------	--------	-----	------	-------	------

<教員からのコメント>

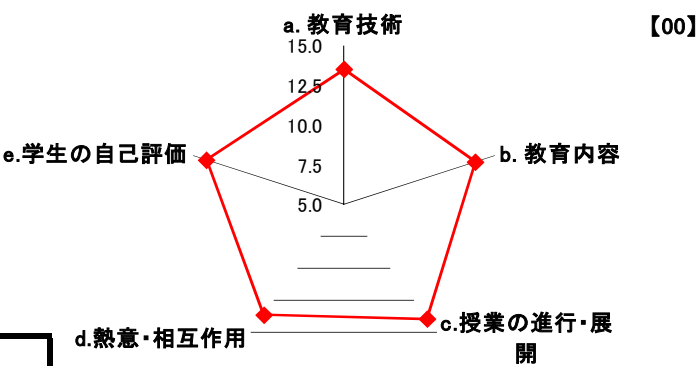
コメント、ご意見ありがとうございました。励みになります。今後の授業の参考にさせていただきます。

授業(講義)評価結果(2015年度後期)

履修者数	74	回収数	59	回収率	79.7%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:生命倫理
担当者:
榊原哲也

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,245	13.07	2.33	59	13.53	2.09
b. 教育内容	3,260	12.97	2.46	59	13.71	2.02
c.授業の進行・展開	3,255	13.41	2.09	59	13.92	1.76
d.熱意・相互作用	3,247	13.27	2.27	59	13.61	2.05
e.学生の自己評価	3,251	13.88	1.63	59	14.14	1.36



N=59

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	41 69.5	13 22.0	3 5.1	2 3.4	0 0.0	0 0.0	4.58	0.74
②	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	36 61.0	13 22.0	7 11.9	3 5.1	0 0.0	0 0.0	4.39	0.88
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	38 64.4	17 28.8	3 5.1	1 1.7	0 0.0	0 0.0	4.56	0.67

b. 教育内容

④	授業の内容はわかりやすかった。	38 64.4	14 23.7	4 6.8	3 5.1	0 0.0	0 0.0	4.47	0.83
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	43 72.9	11 18.6	4 6.8	0 0.0	1 1.7	0 0.0	4.61	0.76
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	41 69.5	14 23.7	4 6.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.63	0.61

c. 授業の進行・展開

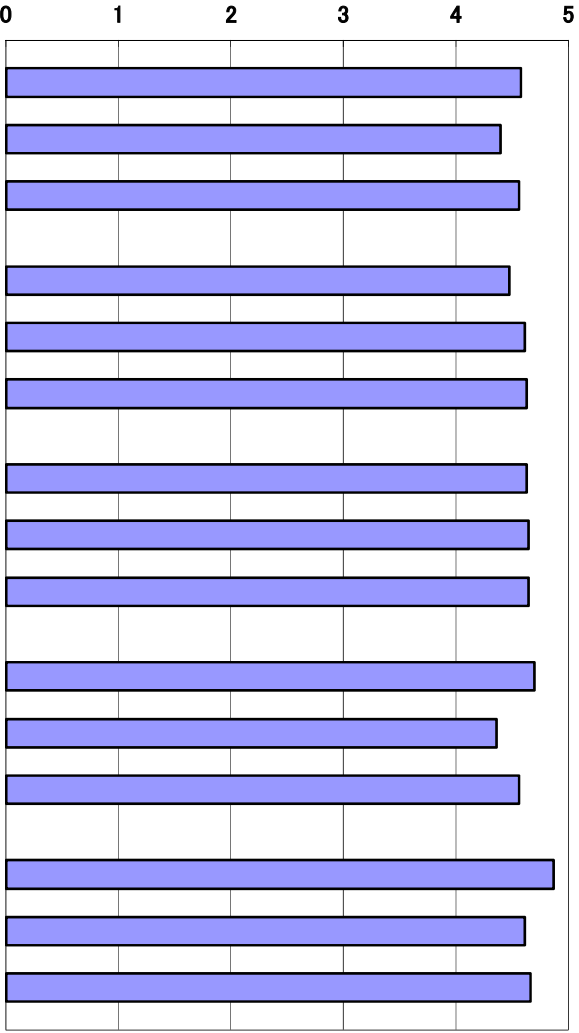
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	41 69.5	15 25.4	2 3.4	1 1.7	0 0.0	0 0.0	4.63	0.64
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	43 72.9	11 18.6	5 8.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.64	0.63
⑨	授業の進行速度は適切だった。	44 74.6	10 16.9	4 6.8	1 1.7	0 0.0	0 0.0	4.64	0.68

d. 熱意・相互作用

⑩	教員の熱意が伝わってきた。	45 76.3	11 18.6	2 3.4	1 1.7	0 0.0	0 0.0	4.69	0.62
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	36 61.0	12 20.3	7 11.9	4 6.8	0 0.0	0 0.0	4.36	0.93
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	40 67.8	13 22.0	5 8.5	1 1.7	0 0.0	0 0.0	4.56	0.72

e. 学生の自己評価

⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	52 88.1	6 10.2	1 1.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.86	0.39
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	40 67.8	16 27.1	2 3.4	1 1.7	0 0.0	0 0.0	4.61	0.64
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	41 69.5	16 27.1	2 3.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.66	0.54



科目コード	1B0202	科目名	生命倫理	担当教員名	榊原哲也
-------	--------	-----	------	-------	------

<教員からのコメント>

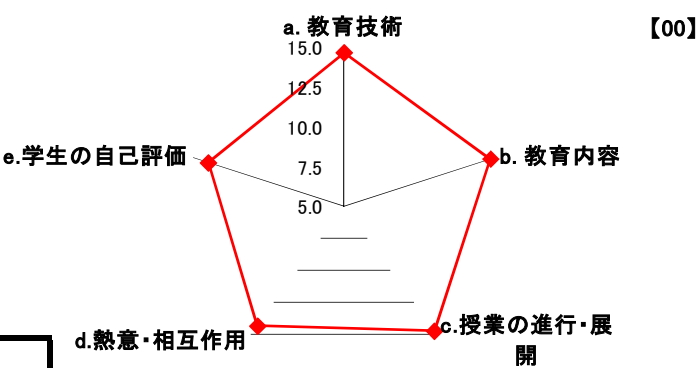
コメント、ご意見ありがとうございました。参考にさせていただきます。

授業(講義)評価結果(2015年度後期)

履修者数	17	回収数	10	回収率	58.8%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:心理学Ⅱ
担当者:
遠藤公久

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,245	13.07	2.33	10	14.70	0.90
b. 教育内容	3,260	12.97	2.46	10	14.70	0.90
c.授業の進行・展開	3,255	13.41	2.09	10	14.70	0.90
d.熱意・相互作用	3,247	13.27	2.27	10	14.30	1.19
e.学生の自己評価	3,251	13.88	1.63	10	14.00	1.00



N=10

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	9 90.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.90	0.30
②	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	9 90.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.90	0.30
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	9 90.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.90	0.30

b. 教育内容

④	授業の内容はわかりやすかった。	9 90.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.90	0.30
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	9 90.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.90	0.30
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	9 90.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.90	0.30

c. 授業の進行・展開

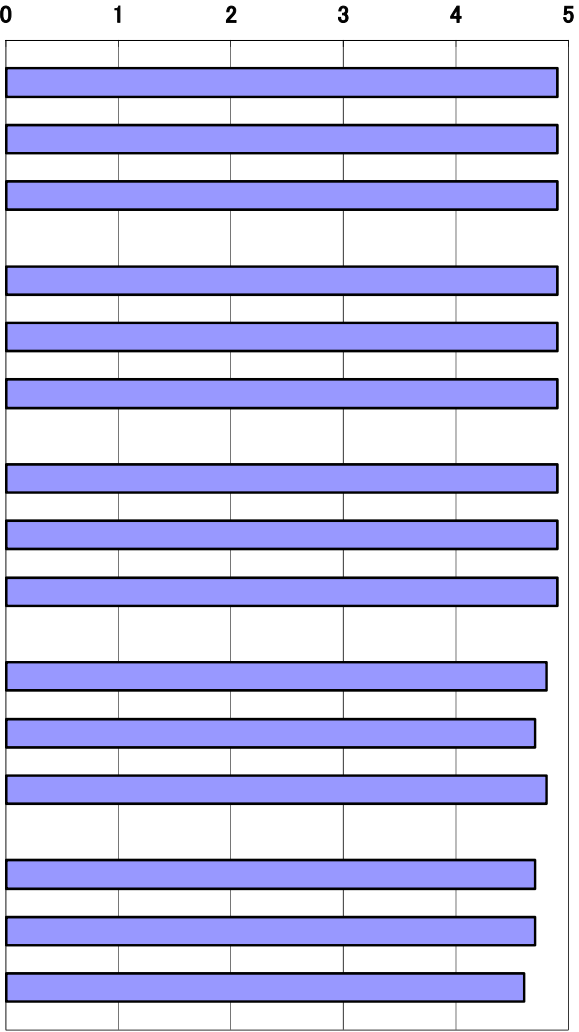
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	9 90.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.90	0.30
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	9 90.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.90	0.30
⑨	授業の進行速度は適切だった。	9 90.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.90	0.30

d. 熱意・相互作用

⑩	教員の熱意が伝わってきた。	8 80.0	2 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.80	0.40
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	8 80.0	1 10.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.70	0.64
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	8 80.0	2 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.80	0.40

e. 学生の自己評価

⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	7 70.0	3 30.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.70	0.46
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	7 70.0	3 30.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.70	0.46
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	6 60.0	4 40.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.60	0.49



科目コード	1B0400	科目名	心理学Ⅱ	担当教員名	遠藤公久
-------	--------	-----	------	-------	------

＜教員からのコメント＞

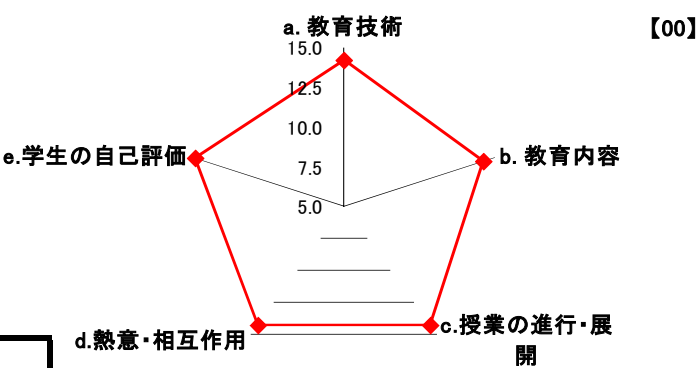
とくに学生からのコメントはありませんでした。ほぼ、全てにおいて高得点でしたので、少し安心しました。

授業(講義)評価結果(2015年度後期)

履修者数	8	回収数	8	回収率	100.0%
------	---	-----	---	-----	--------

科目:心理学Ⅱ
担当者:
遠藤公久

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,245	13.07	2.33	8	14.25	1.09
b. 教育内容	3,260	12.97	2.46	8	14.25	1.09
c.授業の進行・展開	3,255	13.41	2.09	8	14.25	1.30
d.熱意・相互作用	3,247	13.27	2.27	8	14.25	1.30
e.学生の自己評価	3,251	13.88	1.63	8	14.88	0.33



N=8

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	6 75.0	2 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.75	0.43
②	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	6 75.0	2 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.75	0.43
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	6 75.0	2 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.75	0.43

b. 教育内容

④	授業の内容はわかりやすかった。	6 75.0	2 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.75	0.43
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	6 75.0	2 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.75	0.43
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	6 75.0	2 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.75	0.43

c. 授業の進行・展開

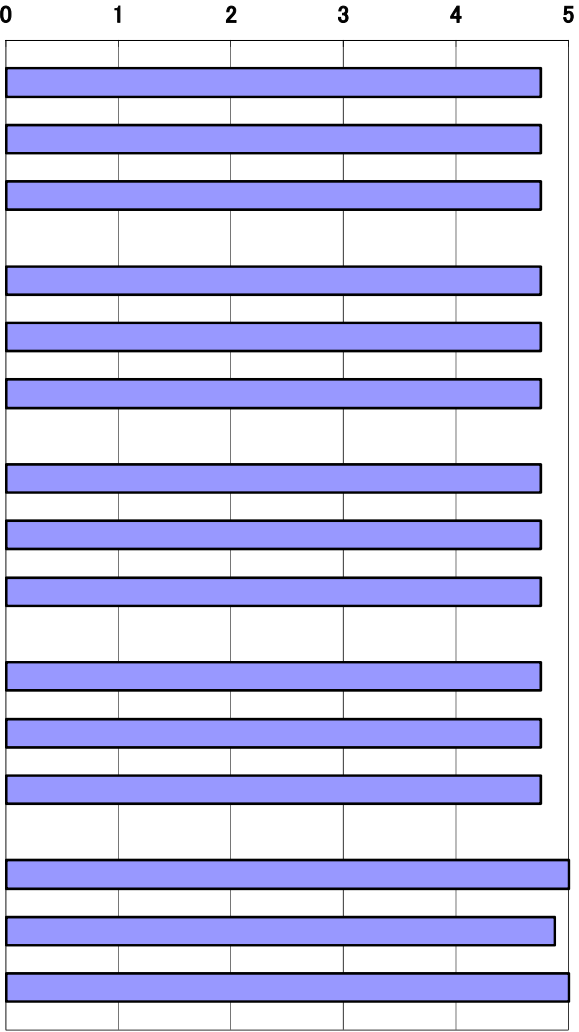
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	6 75.0	2 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.75	0.43
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	6 75.0	2 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.75	0.43
⑨	授業の進行速度は適切だった。	6 75.0	2 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.75	0.43

d. 熱意・相互作用

⑩	教員の熱意が伝わってきた。	6 75.0	2 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.75	0.43
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	6 75.0	2 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.75	0.43
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	6 75.0	2 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.75	0.43

e. 学生の自己評価

⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	8 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5.00	0.00
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	7 87.5	1 12.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.88	0.33
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	8 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5.00	0.00



科目コード	1B0403	科目名	心理学Ⅱ	担当教員名	遠藤公久
-------	--------	-----	------	-------	------

<教員からのコメント>

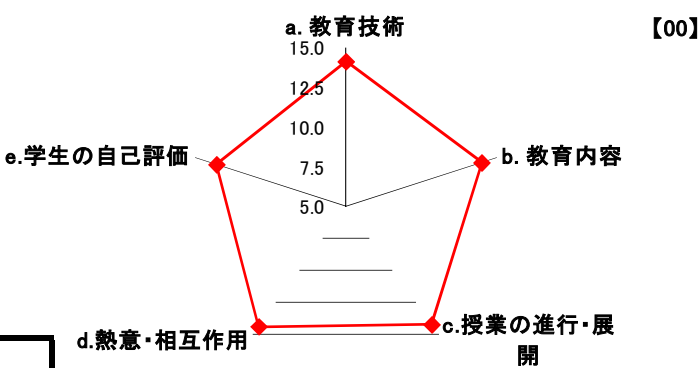
週2回ではなく週1回にしてほしいとのコメントをいただきました。カリキュラム編成上の問題で申し訳ありません。その他、高い評価をいただき、少し安心しました。

授業(講義)評価結果(2015年度後期)

履修者数	25	回収数	20	回収率	80.0%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:教育学概論
担当者:
山崎裕二

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,245	13.07	2.33	20	14.15	1.53
b. 教育内容	3,260	12.97	2.46	20	14.00	1.97
c.授業の進行・展開	3,255	13.41	2.09	20	14.20	1.47
d.熱意・相互作用	3,247	13.27	2.27	19	14.37	1.22
e.学生の自己評価	3,251	13.88	1.63	20	13.60	2.06



N=20

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	15 75.0	5 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.75	0.43
②	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	15 75.0	4 20.0	1 5.0	0 0.0	0 0.0	4.70	0.56
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	15 75.0	4 20.0	1 5.0	0 0.0	0 0.0	4.70	0.56

b. 教育内容

④	授業の内容はわかりやすかった。	16 80.0	2 10.0	2 10.0	0 0.0	0 0.0	4.70	0.64
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	15 75.0	2 10.0	3 15.0	0 0.0	0 0.0	4.60	0.73
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	16 80.0	2 10.0	2 10.0	0 0.0	0 0.0	4.70	0.64

c. 授業の進行・展開

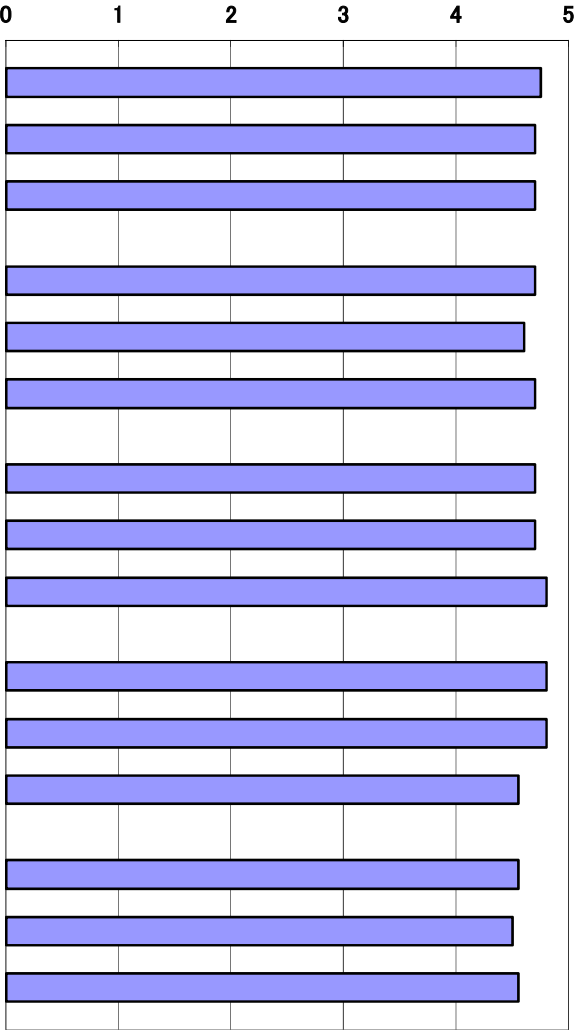
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	15 75.0	4 20.0	1 5.0	0 0.0	0 0.0	4.70	0.56
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	15 75.0	4 20.0	1 5.0	0 0.0	0 0.0	4.70	0.56
⑨	授業の進行速度は適切だった。	16 80.0	4 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.80	0.40

d. 熱意・相互作用

⑩	教員の熱意が伝わってきた。	16 80.0	4 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.80	0.40
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	16 80.0	4 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.80	0.40
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	16 80.0	2 10.0	1 5.0	0 0.0	0 5.0	4.55	1.16

e. 学生の自己評価

⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	13 65.0	5 25.0	2 10.0	0 0.0	0 0.0	4.55	0.67
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	14 70.0	2 10.0	4 20.0	0 0.0	0 0.0	4.50	0.81
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	14 70.0	3 15.0	3 15.0	0 0.0	0 0.0	4.55	0.74



科目コード	1B0500	科目名	教育学概論	担当教員名	山崎裕二
-------	--------	-----	-------	-------	------

<教員からのコメント>

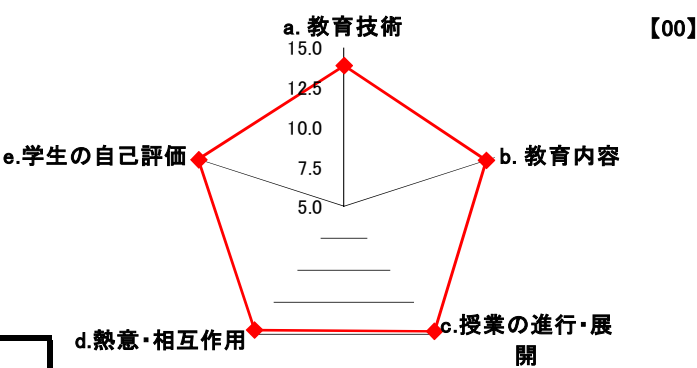
- ・「映像資料があり授業の内容が理解しやすかった」「看護と教育の関係が理解できた」「てきぎ学生に質問してくれるので考えやすかった」とのコメントがあり嬉しく思いました。
- ・とくに改善点のコメントはありませんでしたが、今後も、わかりやすくするためになる授業を心がけたいと思います。

授業(講義)評価結果(2015年度後期)

履修者数	27	回収数	21	回収率	77.8%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:現代教育論
担当者:
山崎裕二

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,245	13.07	2.33	21	13.90	1.90
b. 教育内容	3,260	12.97	2.46	21	14.43	0.90
c.授業の進行・展開	3,255	13.41	2.09	21	14.71	0.70
d.熱意・相互作用	3,247	13.27	2.27	21	14.62	0.72
e.学生の自己評価	3,251	13.88	1.63	21	14.67	0.78



N=21

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	14 66.7	6 28.6	0 0.0	1 4.8	0 0.0	0 0.0	4.57	0.73
②	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	16 76.2	4 19.0	0 0.0	1 4.8	0 0.0	0 0.0	4.67	0.71
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	17 81.0	2 9.5	1 4.8	1 4.8	0 0.0	0 0.0	4.67	0.78

b. 教育内容

④	授業の内容はわかりやすかった。	19 90.5	1 4.8	1 4.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.86	0.47
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	16 76.2	5 23.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.76	0.43
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	17 81.0	4 19.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.81	0.39

c. 授業の進行・展開

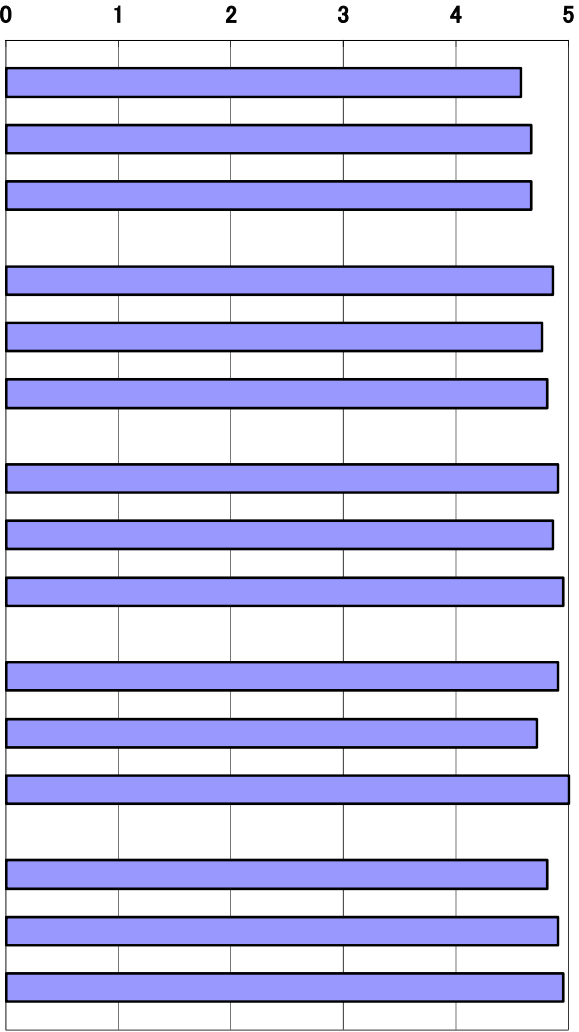
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	19 90.5	2 9.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.90	0.29
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	18 85.7	3 14.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.86	0.35
⑨	授業の進行速度は適切だった。	20 95.2	1 4.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.95	0.21

d. 熱意・相互作用

⑩	教員の熱意が伝わってきた。	19 90.5	2 9.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.90	0.29
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	16 76.2	4 19.0	1 4.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.71	0.55
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	21 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5.00	0.00

e. 学生の自己評価

⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	17 81.0	4 19.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.81	0.39
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	19 90.5	2 9.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.90	0.29
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	20 95.2	1 4.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.95	0.21



科目コード	1B0600	科目名	現代教育論	担当教員名	山崎裕二
-------	--------	-----	-------	-------	------

<教員からのコメント>

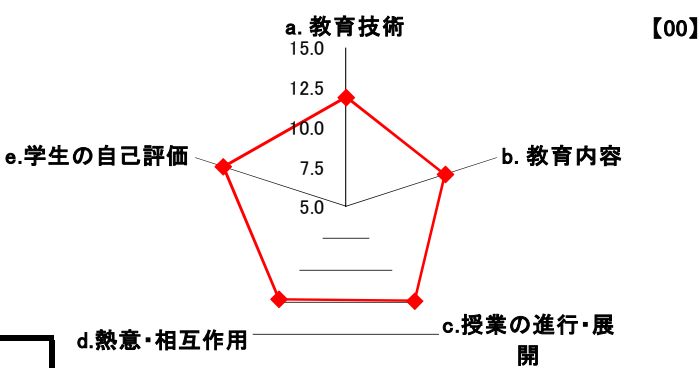
- ・討論中心の授業を体験することで、「いろいろな人の意見が聞けた」「人前で発表することへの抵抗が少なくなった」「重いテーマが多かったが、学生のうちに考える良い機会になった」とのコメントが多く、教員としてのやりがいを感じました。今後も継続していきたいと思います。
- ・「全員(20数名)の意見をひとりずつ発表する時など、集中力がなくなることがあった」「少し先生の話が多い」という意見については、次年度の改善点にしたいと思います。

授業(講義)評価結果(2015年度後期)

履修者数	65	回収数	55	回収率	84.6%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:身体運動論 I (理論)
担当者:
梅澤佳子

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,245	13.07	2.33	55	11.89	2.15
b. 教育内容	3,260	12.97	2.46	55	11.56	2.43
c.授業の進行・展開	3,255	13.41	2.09	55	12.36	2.10
d.熱意・相互作用	3,247	13.27	2.27	55	12.22	2.20
e.学生の自己評価	3,251	13.88	1.63	55	13.15	1.53



N=55

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	13 23.6	28 50.9	10 18.2	4 7.3	0 0.0	0 0.0	3.91	0.84
②	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	13 23.6	26 47.3	12 21.8	4 7.3	0 0.0	0 0.0	3.87	0.85
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	17 30.9	29 52.7	7 12.7	2 3.6	0 0.0	0 0.0	4.11	0.75

b. 教育内容

④	授業の内容はわかりやすかった。	11 20.0	24 43.6	15 27.3	5 9.1	0 0.0	0 0.0	3.75	0.88
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	16 29.1	24 43.6	11 20.0	4 7.3	0 0.0	0 0.0	3.95	0.88
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	15 27.3	23 41.8	12 21.8	5 9.1	0 0.0	0 0.0	3.87	0.92

c. 授業の進行・展開

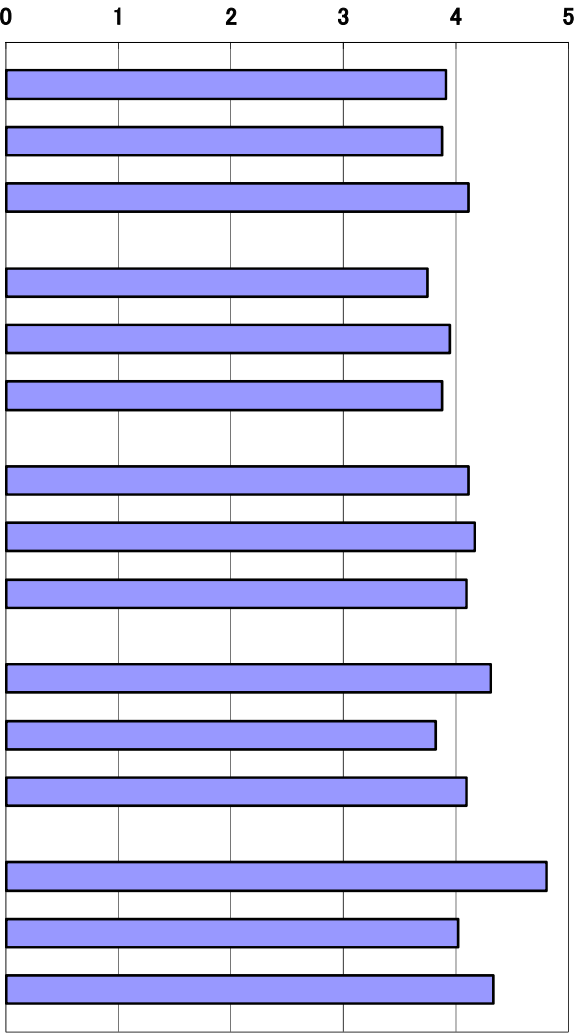
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	19 34.5	27 49.1	5 9.1	4 7.3	0 0.0	0 0.0	4.11	0.85
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	21 38.2	23 41.8	10 18.2	1 1.8	0 0.0	0 0.0	4.16	0.78
⑨	授業の進行速度は適切だった。	16 29.1	30 54.5	7 12.7	2 3.6	0 0.0	0 0.0	4.09	0.75

d. 熱意・相互作用

⑩	教員の熱意が伝わってきた。	23 41.8	27 49.1	4 7.3	1 1.8	0 0.0	0 0.0	4.31	0.68
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	12 21.8	26 47.3	12 21.8	5 9.1	0 0.0	0 0.0	3.82	0.88
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	22 40.0	20 36.4	9 16.4	4 7.3	0 0.0	0 0.0	4.09	0.92

e. 学生の自己評価

⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	45 81.8	9 16.4	1 1.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.80	0.44
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	16 29.1	24 43.6	15 27.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.02	0.75
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	27 49.1	19 34.5	9 16.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.33	0.74



科目コード	1B0700	科目名	身体運動論 I (理論)	担当教員名	梅澤佳子
-------	--------	-----	--------------	-------	------

<教員からのコメント>

「授業でよかったこと」「改善してほしいこと」について各10件、「その他の意見感想」について5件、合計15件のコメントを頂戴いたしました。多数のコメントをお寄せいただきありがとうございました。「授業でよかったこと」については、「身体、運動、スポーツについて多角的な視点で学べた。」というコメントが中心でした。「改善してほしいこと」については、テスト方法に対する改善の希望が中心でした。

今回、テストの後に振り返りの時間を設け自己採点を行ってもらいました。この仕組みについては、「振り返りによって理解が深まった。」というご意見と「意味がない。」というご意見、賛否両論頂いております。9回という講義数の中で、振り返りに時間を当てることについては、正直私も悩みましたが、冷静に自分の答案用紙を確認し自己採点することで、評価に納得でき、再度理解を深めることで教育的効果があるのではないかと考えました。今回頂戴したご意見を踏まえた改善方法として、2016年度については、第1回目の講義で受講者の希望を伺った上で講義計画を組むことにします。尚、「自己採点したその点数で評価をつけているのではないか。先生に採点してほしい。」と誤解した学生もいるようですが、自己採点とは別に教員自らが採点し評価しておりますので改めてお伝えします。

「授業の内容を全てレジュメでほしい。」というコメントは毎年ありますが、講義の中で再三説明しているように、大切だと思う内容は学生自ら加筆してほしいと考えておりますので、今後もこのやり方は継続したいと思います。

授業(講義)評価結果、コメントを真摯に受け止め、2016年度の講義に向けて改善してまいりたいと考えております。ありがとうございました。

授業(講義)評価結果(2015年度後期)

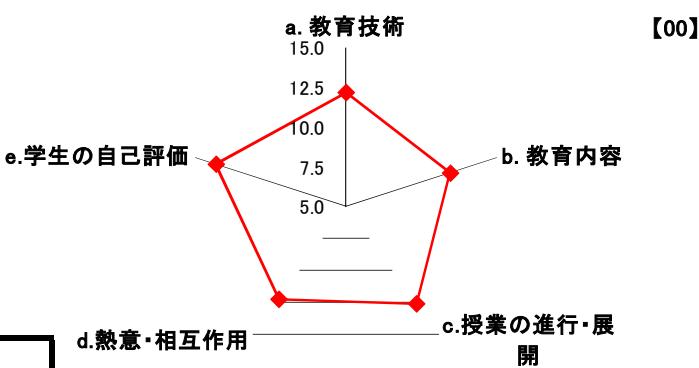
履修者数	153	回収数	131	回収率	85.6%
------	-----	-----	-----	-----	-------

科目:生活環境論

担当者:

岡本菜穂子・福井小紀子・藤田淳子・岡本有子

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,245	13.07	2.33	131	12.21	2.42
b. 教育内容	3,260	12.97	2.46	131	11.91	2.69
c.授業の進行・展開	3,255	13.41	2.09	131	12.56	2.38
d.熱意・相互作用	3,247	13.27	2.27	131	12.22	2.42
e.学生の自己評価	3,251	13.88	1.63	131	13.64	1.60



N=131

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	44 33.6	58 44.3	23 17.6	4 3.1	2 1.5	0 0.0	4.05	0.88
②	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	43 32.8	53 40.5	28 21.4	5 3.8	2 1.5	0 0.0	3.99	0.91
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	48 36.6	61 46.6	18 13.7	3 2.3	1 0.8	0 0.0	4.16	0.80

b. 教育内容

④	授業の内容はわかりやすかった。	45 34.4	59 45.0	22 16.8	3 2.3	2 1.5	0 0.0	4.08	0.86
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	41 31.3	47 35.9	30 22.9	9 6.9	4 3.1	0 0.0	3.85	1.03
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	41 31.3	60 45.8	18 13.7	9 6.9	3 2.3	0 0.0	3.97	0.96

c. 授業の進行・展開

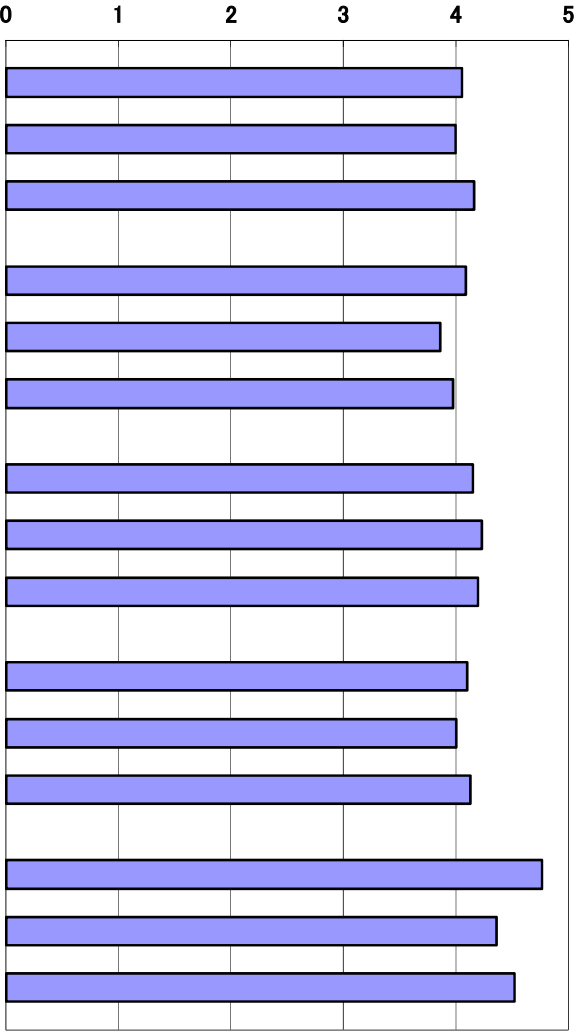
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	51 38.9	57 43.5	17 13.0	3 2.3	3 2.3	0 0.0	4.15	0.89
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	56 42.7	53 40.5	19 14.5	2 1.5	1 0.8	0 0.0	4.23	0.81
⑨	授業の進行速度は適切だった。	55 42.0	52 39.7	20 15.3	2 1.5	2 1.5	0 0.0	4.19	0.86

d. 熱意・相互作用

⑩	教員の熱意が伝わってきた。	48 36.6	55 42.0	23 17.6	3 2.3	2 1.5	0 0.0	4.10	0.87
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	40 30.5	57 43.5	30 22.9	2 1.5	2 1.5	0 0.0	4.00	0.86
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	49 37.4	53 40.5	26 19.8	2 1.5	1 0.8	0 0.0	4.12	0.83

e. 学生の自己評価

⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	105 80.2	21 16.0	5 3.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.76	0.51
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	69 52.7	42 32.1	18 13.7	2 1.5	0 0.0	0 0.0	4.36	0.77
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	76 58.0	47 35.9	8 6.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.52	0.61



科目コード	1B0900	科目名	生活環境論	担当教員名	岡本菜穂子・福井小紀子・藤田淳子・岡本有子
-------	--------	-----	-------	-------	-----------------------

<教員からのコメント>

前半の授業では、毎回学生さんからフィードバックをもらえ、意欲的に学んでいただいていることが理解できました。授業資料が不十分なところがありましたので、毎回授業に万全に学生が望めるように改善していきたいと思います。

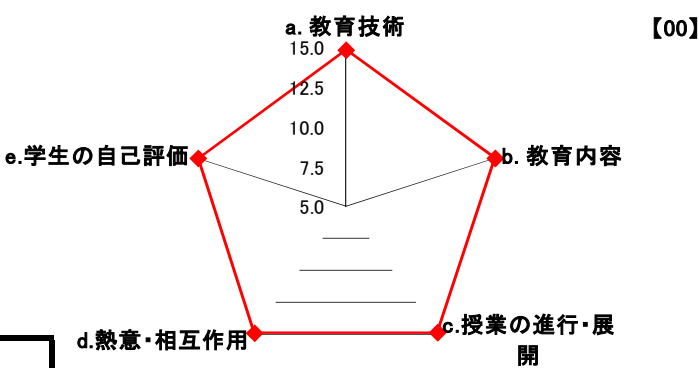
後半の地域診断の授業では、地域のことを考える面白みを感じてくれて、関心をもって取り組んでくれたという前向きなコメントがある一方で、改善してほしいこととして複数の方から「講義最終日が冬休み明けの1時限に、グループワークの発表」、「発表の準備時間の不足」、「グループワークそのもの」などのコメントがみられました。講義日程について学内のスケジュール調整時に皆さんにとってよりよいスケジュールとなるように調整を働きかけていきます。グループワークという手法について、地域診断自体は、一人より複数でディスカッションしながら取り組むほうが学習効果が高いので、27年度は選択しましたが、今後グループワークとするかどうか、グループワークとするのであればその進め方を再考していきます。

授業(講義)評価結果(2015年度後期)

履修者数	28	回収数	27	回収率	96.4%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:社会学Ⅱ
担当者:
三橋弘次

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,245	13.07	2.33	27	14.89	0.57
b. 教育内容	3,260	12.97	2.46	27	14.89	0.57
c.授業の進行・展開	3,255	13.41	2.09	27	14.81	0.61
d.熱意・相互作用	3,247	13.27	2.27	27	14.85	0.59
e.学生の自己評価	3,251	13.88	1.63	27	14.81	0.47



N=27

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	26 96.3	1 3.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.96	0.19
②	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	26 96.3	1 3.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.96	0.19
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	26 96.3	1 3.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.96	0.19

b. 教育内容

④	授業の内容はわかりやすかった。	26 96.3	1 3.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.96	0.19
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	26 96.3	1 3.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.96	0.19
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	26 96.3	1 3.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.96	0.19

c. 授業の進行・展開

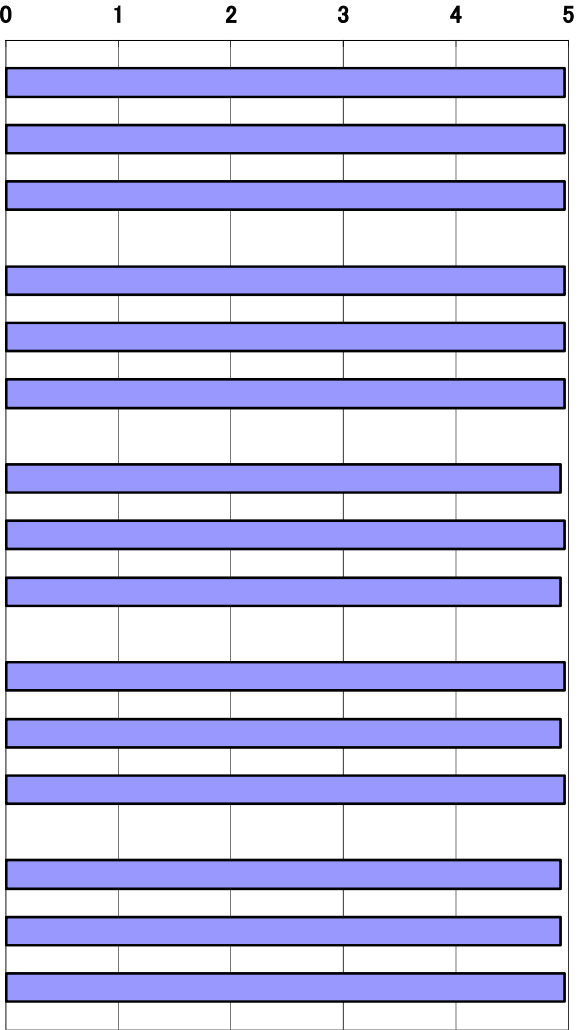
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	25 92.6	2 7.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.93	0.26
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	26 96.3	1 3.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.96	0.19
⑨	授業の進行速度は適切だった。	25 92.6	2 7.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.93	0.26

d. 熱意・相互作用

⑩	教員の熱意が伝わってきた。	26 96.3	1 3.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.96	0.19
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	25 92.6	2 7.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.93	0.26
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	26 96.3	1 3.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.96	0.19

e. 学生の自己評価

⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	25 92.6	2 7.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.93	0.26
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	25 92.6	2 7.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.93	0.26
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	26 96.3	1 3.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.96	0.19



科目コード	1C0200	科目名	社会学Ⅱ	担当教員名	三橋弘次
-------	--------	-----	------	-------	------

＜教員からのコメント＞

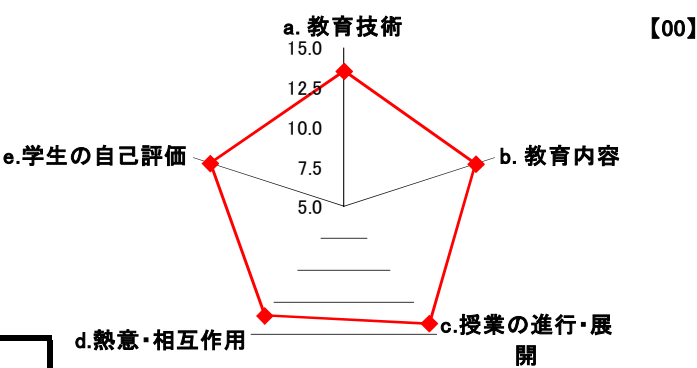
学生からの本科目に対する評価数値はほぼ満点、評価コメントも非常にポジティブなものばかりで、担当講師として大変うれしく思っています。本科目で学んだことが受講生の今後の人生にとって有益なものになってくれれば幸いです。

授業(講義)評価結果(2015年度後期)

履修者数	24	回収数	22	回収率	91.7%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:家族社会学
担当者:
三具淳子

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,245	13.07	2.33	22	13.55	1.64
b. 教育内容	3,260	12.97	2.46	22	13.73	1.60
c.授業の進行・展開	3,255	13.41	2.09	22	14.14	1.58
d.熱意・相互作用	3,247	13.27	2.27	22	13.50	1.99
e.学生の自己評価	3,251	13.88	1.63	22	13.86	1.46



N=22

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	12 54.5	9 40.9	1 4.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.50	0.58
②	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	13 59.1	7 31.8	2 9.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.50	0.66
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	13 59.1	8 36.4	1 4.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.55	0.58

b. 教育内容

④	授業の内容はわかりやすかった。	14 63.6	7 31.8	1 4.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.59	0.58
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	14 63.6	7 31.8	1 4.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.59	0.58
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	13 59.1	8 36.4	1 4.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.55	0.58

c.授業の進行・展開

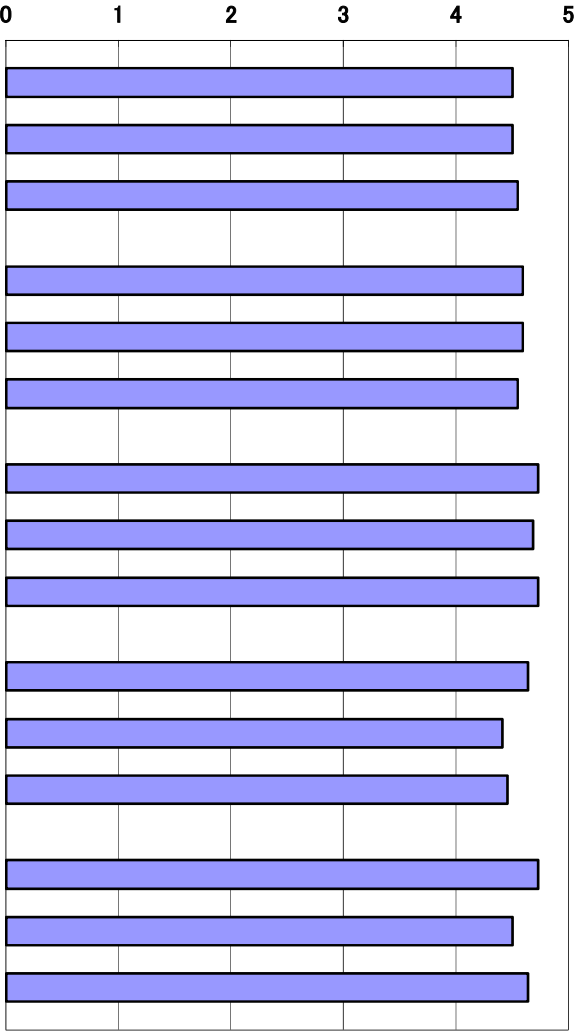
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	17 77.3	4 18.2	1 4.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.73	0.54
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	16 72.7	5 22.7	1 4.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.68	0.55
⑨	授業の進行速度は適切だった。	17 77.3	4 18.2	1 4.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.73	0.54

d.熱意・相互作用

⑩	教員の熱意が伝わってきた。	16 72.7	4 18.2	2 9.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.64	0.64
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	13 59.1	5 22.7	4 18.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.41	0.78
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	13 59.1	6 27.3	3 13.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.45	0.72

e.学生の自己評価

⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	16 72.7	6 27.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.73	0.45
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	14 63.6	5 22.7	3 13.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.50	0.72
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	16 72.7	4 18.2	2 9.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.64	0.64



科目コード	IC0400	科目名	家族社会学	担当教員名	三具淳子
-------	--------	-----	-------	-------	------

<教員からのコメント>

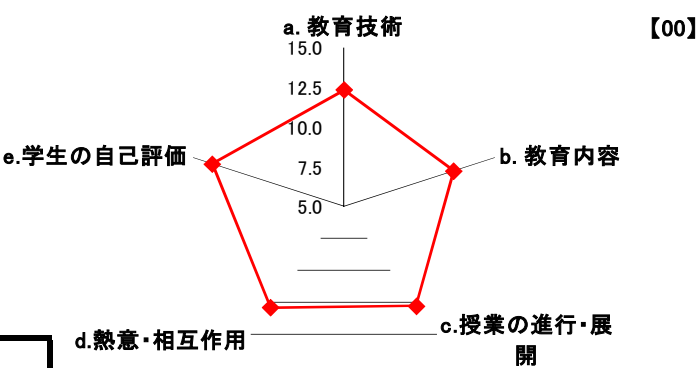
家族について私たちはよく知っているようでいて、実はきちんと学ぶ機会をあまりもっていません。この授業では、現代の家族の特徴を理解し、そこに現れる多様な家族のさまざまな問題をできるだけ具体的な資料を用いて考えていきたいと思っています。自分自身の生き方を考えるうえでも、また、看護師としての基礎力を身につけるためにも、この授業をとおして勉強していただきたいと思います。

授業(講義)評価結果(2015年度後期)

履修者数	94	回収数	70	回収率	74.5%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:国際関係論
担当者:
小池政行

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,245	13.07	2.33	70	12.37	2.39
b. 教育内容	3,260	12.97	2.46	69	12.28	2.53
c.授業の進行・展開	3,255	13.41	2.09	70	12.74	2.30
d.熱意・相互作用	3,247	13.27	2.27	70	12.89	2.25
e.学生の自己評価	3,251	13.88	1.63	70	13.74	1.83



N=70

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	29 41.4	30 42.9	9 12.9	2 2.9	0 0.0	0 0.0	4.23	0.78
②	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	28 40.0	28 40.0	11 15.7	3 4.3	0 0.0	0 0.0	4.16	0.84
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	30 42.9	18 25.7	15 21.4	5 7.1	2 2.9	0 0.0	3.99	1.09

b. 教育内容

④	授業の内容はわかりやすかった。	25 35.7	19 27.1	18 25.7	5 7.1	2 2.9	1 1.4	3.81	1.16
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	31 44.3	22 31.4	15 21.4	2 2.9	0 0.0	0 0.0	4.17	0.86
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	32 45.7	25 35.7	10 14.3	3 4.3	0 0.0	0 0.0	4.23	0.85

c. 授業の進行・展開

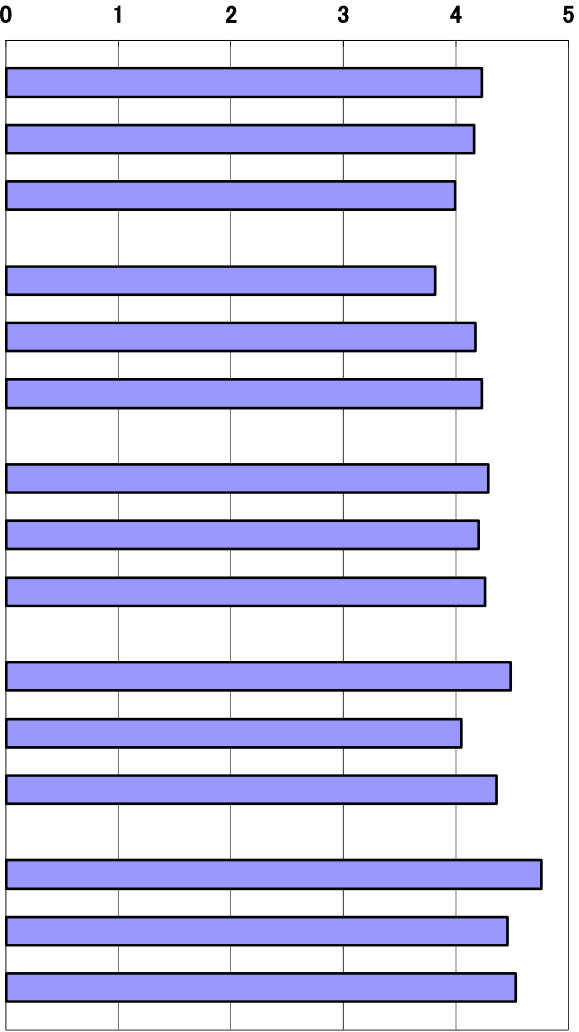
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	36 51.4	22 31.4	9 12.9	2 2.9	1 1.4	0 0.0	4.29	0.90
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	32 45.7	21 30.0	16 22.9	1 1.4	0 0.0	0 0.0	4.20	0.84
⑨	授業の進行速度は適切だった。	33 47.1	23 32.9	13 18.6	1 1.4	0 0.0	0 0.0	4.26	0.81

d. 熱意・相互作用

⑩	教員の熱意が伝わってきた。	42 60.0	20 28.6	8 11.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.49	0.69
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	31 44.3	17 24.3	17 24.3	4 5.7	1 1.4	0 0.0	4.04	1.02
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	40 57.1	17 24.3	11 15.7	2 2.9	0 0.0	0 0.0	4.36	0.85

e. 学生の自己評価

⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	57 81.4	9 12.9	4 5.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.76	0.55
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	44 62.9	15 21.4	10 14.3	1 1.4	0 0.0	0 0.0	4.46	0.79
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	47 67.1	14 20.0	8 11.4	1 1.4	0 0.0	0 0.0	4.53	0.75



科目コード	1C0600	科目名	国際関係論	担当教員名	小池政行
-------	--------	-----	-------	-------	------

<教員からのコメント>

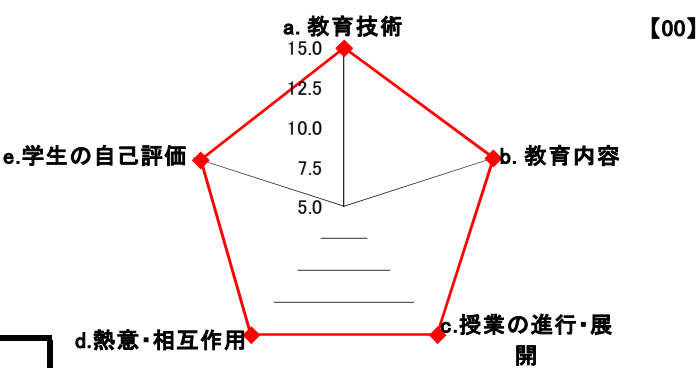
- ・一学年に教授の教育技術の評価をさせるためには、特に項目を別建てすることなく、・進行度、理解しやすかった等、簡易な項目を項建てすべき
- ・自由記載には簡単な表現が多く、必ずその理由を具体的に記述しなさいと記載すべき。
- ・教員の熱意度などは具体的に、感情、感性に傾く評価になるのではないか。質問表現を考慮すべき。
- ・マイク音量、等、教室のAV装置のメンテナンス改善の要がある。特に、「国際関係論」のように百人近い人数を対象とする講義には。

授業(講義)評価結果(2015年度後期)

履修者数	13	回収数	10	回収率	76.9%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:医療と文化
担当者:
井上陽介

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,245	13.07	2.33	10	15.00	0.00
b. 教育内容	3,260	12.97	2.46	10	14.90	0.30
c.授業の進行・展開	3,255	13.41	2.09	10	15.00	0.00
d.熱意・相互作用	3,247	13.27	2.27	10	15.00	0.00
e.学生の自己評価	3,251	13.88	1.63	10	14.50	0.67



N=10

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	10 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5.00	0.00
②	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	10 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5.00	0.00
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	10 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5.00	0.00

b. 教育内容

④	授業の内容はわかりやすかった。	10 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5.00	0.00
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	9 90.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.90	0.30
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	10 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5.00	0.00

c. 授業の進行・展開

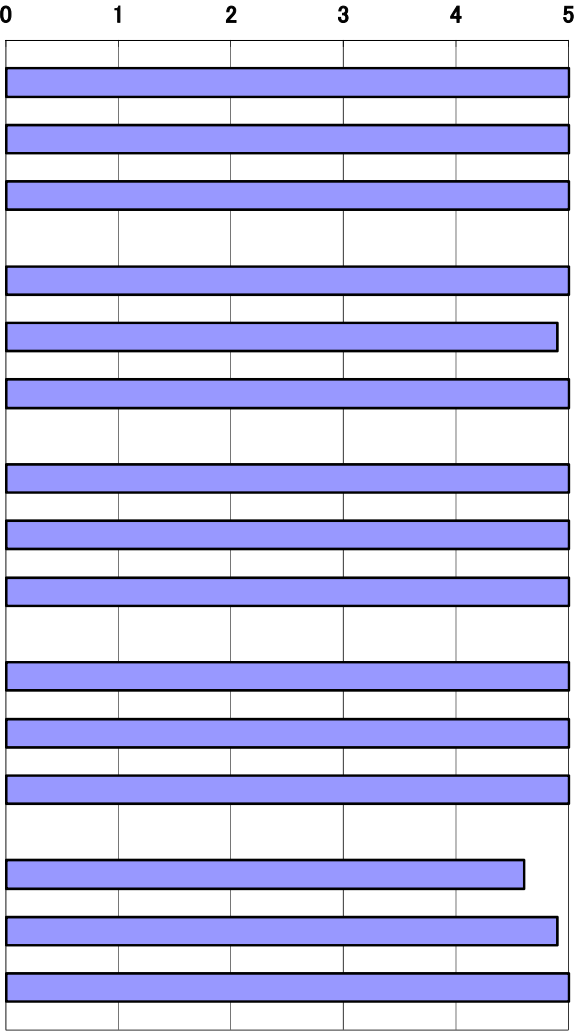
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	10 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5.00	0.00
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	10 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5.00	0.00
⑨	授業の進行速度は適切だった。	10 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5.00	0.00

d. 熱意・相互作用

⑩	教員の熱意が伝わってきた。	10 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5.00	0.00
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	10 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5.00	0.00
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	10 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5.00	0.00

e. 学生の自己評価

⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	6 60.0	4 40.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.60	0.49
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	9 90.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.90	0.30
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	10 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5.00	0.00



科目コード	1C0800	科目名	医療と文化	担当教員名	井上陽介
-------	--------	-----	-------	-------	------

<教員からのコメント>

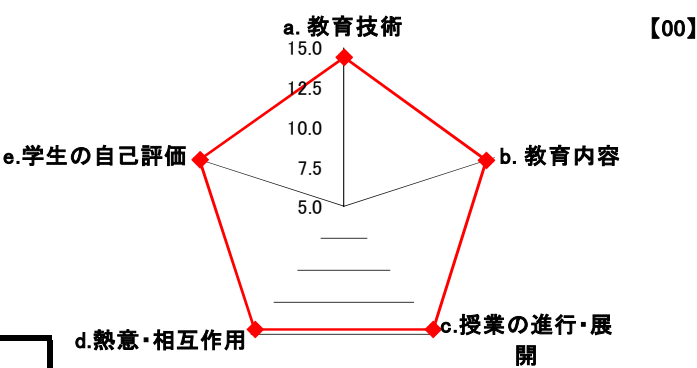
レポート、そして授業での「つぶやき」を見ながら、授業で伝えなかったことは伝わったかなと思います。これからみなさんが看護師や保健師として患者さんと向かい合うときには、病気だけではなく、その人が暮らす文化についてもぜひ意識を向けてみてください。

授業(講義)評価結果(2015年度後期)

履修者数	9	回収数	7	回収率	77.8%
------	---	-----	---	-----	-------

科目: 数学Ⅱ
担当者:
二宮真理子

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,245	13.07	2.33	7	14.43	1.05
b. 教育内容	3,260	12.97	2.46	7	14.43	1.05
c. 授業の進行・展開	3,255	13.41	2.09	7	14.57	1.05
d. 熱意・相互作用	3,247	13.27	2.27	7	14.57	1.05
e. 学生の自己評価	3,251	13.88	1.63	7	14.57	1.05



N=7

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	5 71.4	2 28.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.71	0.45
②	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	6 85.7	1 14.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.86	0.35
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	6 85.7	1 14.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.86	0.35

b. 教育内容

④	授業の内容はわかりやすかった。	6 85.7	1 14.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.86	0.35
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	5 71.4	2 28.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.71	0.45
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	6 85.7	1 14.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.86	0.35

c. 授業の進行・展開

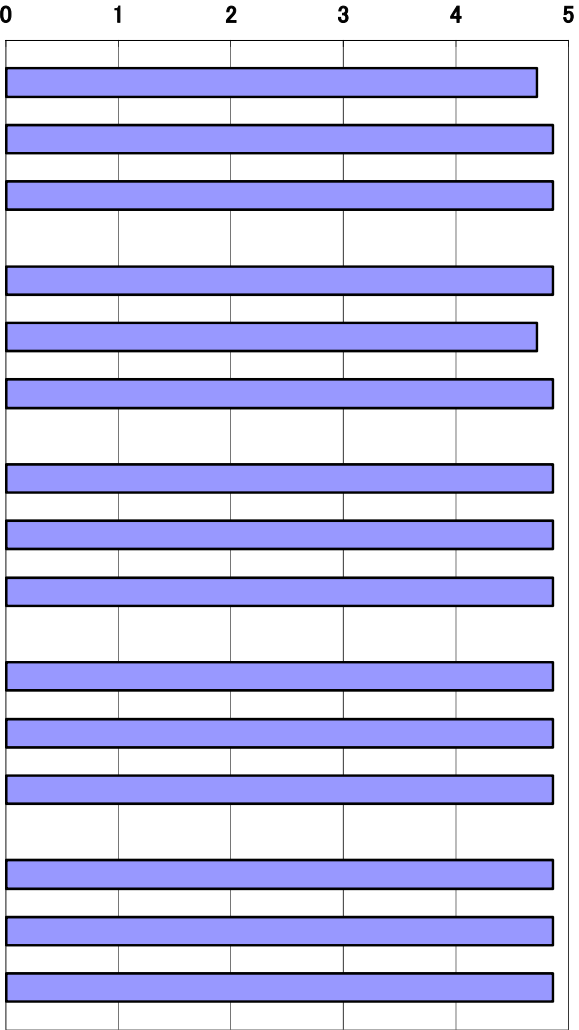
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	6 85.7	1 14.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.86	0.35
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	6 85.7	1 14.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.86	0.35
⑨	授業の進行速度は適切だった。	6 85.7	1 14.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.86	0.35

d. 熱意・相互作用

⑩	教員の熱意が伝わってきた。	6 85.7	1 14.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.86	0.35
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	6 85.7	1 14.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.86	0.35
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	6 85.7	1 14.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.86	0.35

e. 学生の自己評価

⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	6 85.7	1 14.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.86	0.35
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	6 85.7	1 14.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.86	0.35
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	6 85.7	1 14.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.86	0.35



科目コード	1D0200	科目名	数学Ⅱ	担当教員名	二宮真理子
-------	--------	-----	-----	-------	-------

<教員からのコメント>

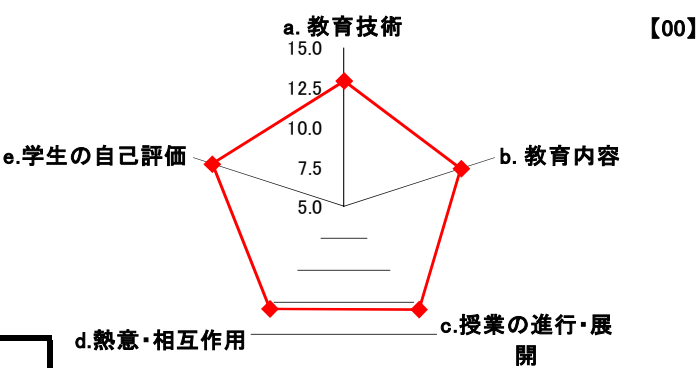
今後も満足度の高い講義ができるよう努めたいと思います。

授業(講義)評価結果(2015年度後期)

履修者数	36	回収数	28	回収率	77.8%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:生物学Ⅱ
担当者:
熊澤武志

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,245	13.07	2.33	28	12.93	1.89
b. 教育内容	3,260	12.97	2.46	28	12.75	2.06
c.授業の進行・展開	3,255	13.41	2.09	28	13.04	1.94
d.熱意・相互作用	3,247	13.27	2.27	28	12.96	2.08
e.学生の自己評価	3,251	13.88	1.63	28	13.75	1.62



N=28

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	13 46.4	14 50.0	1 3.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.43	0.56
②	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	12 42.9	14 50.0	2 7.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.36	0.61
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	11 39.3	11 39.3	5 17.9	1 3.6	0 0.0	0 0.0	4.14	0.83

b. 教育内容

④	授業の内容はわかりやすかった。	12 42.9	12 42.9	4 14.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.29	0.70
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	11 39.3	12 42.9	5 17.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.21	0.72
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	11 39.3	13 46.4	4 14.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.25	0.69

c. 授業の進行・展開

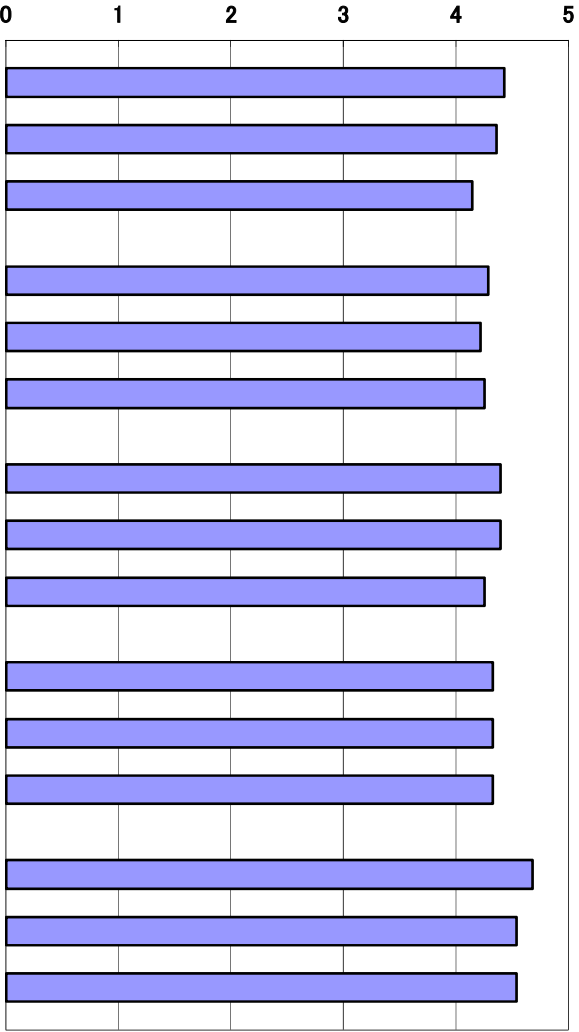
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	13 46.4	13 46.4	2 7.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.39	0.62
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	13 46.4	13 46.4	2 7.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.39	0.62
⑨	授業の進行速度は適切だった。	12 42.9	12 42.9	3 10.7	1 3.6	0 0.0	0 0.0	4.25	0.78

d. 熱意・相互作用

⑩	教員の熱意が伝わってきた。	12 42.9	13 46.4	3 10.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.32	0.66
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	13 46.4	12 42.9	2 7.1	1 3.6	0 0.0	0 0.0	4.32	0.76
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	13 46.4	12 42.9	2 7.1	1 3.6	0 0.0	0 0.0	4.32	0.76

e. 学生の自己評価

⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	20 71.4	7 25.0	1 3.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.68	0.54
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	17 60.7	9 32.1	2 7.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.54	0.63
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	17 60.7	9 32.1	2 7.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.54	0.63



科目コード	1D0401	科目名	生物学Ⅱ	担当教員名	熊澤武志
-------	--------	-----	------	-------	------

<教員からのコメント>

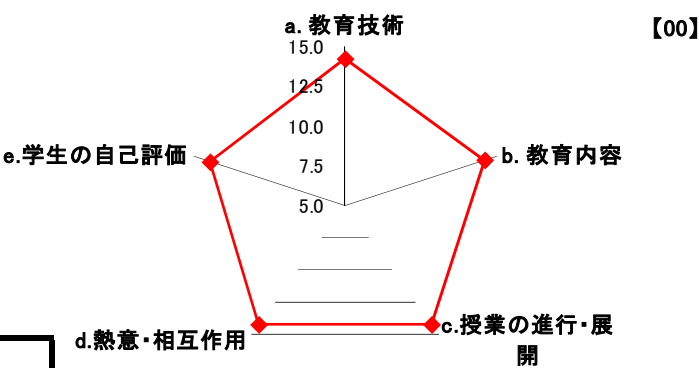
生物学Ⅱの授業は看護専門領域との架け橋になるように組み立てられています。授業が好評であったことは、みなさんが無事に橋を渡ってくれたのだと、うれしく思っています。改善点のコメントとして、①「もう少しゆっくりしゃべってほしかった」、②「話すスピードがとても早かった」、③「周囲の話し声で授業が聞きとりにくいことがあったので、できたらマイクを使ってほしかったです」がありました。①、②についてはもう少し皆さんの反応を確認しながら授業を進めるべきだったと反省しています。③に関してですが、真面目に授業を受けている方を妨害するような私語は慎んでもらいたかったです。また、教員としては、私語に対してもっとしっかり対応すべきであったと思っています。

授業(講義)評価結果(2015年度後期)

履修者数	28	回収数	23	回収率	82.1%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:生物学Ⅱ
担当者:
熊澤武志

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,245	13.07	2.33	23	14.22	1.59
b. 教育内容	3,260	12.97	2.46	23	14.22	1.59
c.授業の進行・展開	3,255	13.41	2.09	23	14.22	1.59
d.熱意・相互作用	3,247	13.27	2.27	23	14.22	1.59
e.学生の自己評価	3,251	13.88	1.63	22	13.91	1.95



N=23

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	18 78.3	4 17.4	1 4.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.74	0.53
②	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	18 78.3	4 17.4	1 4.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.74	0.53
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	18 78.3	4 17.4	1 4.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.74	0.53

b. 教育内容

④	授業の内容はわかりやすかった。	18 78.3	4 17.4	1 4.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.74	0.53
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	18 78.3	4 17.4	1 4.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.74	0.53
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	18 78.3	4 17.4	1 4.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.74	0.53

c. 授業の進行・展開

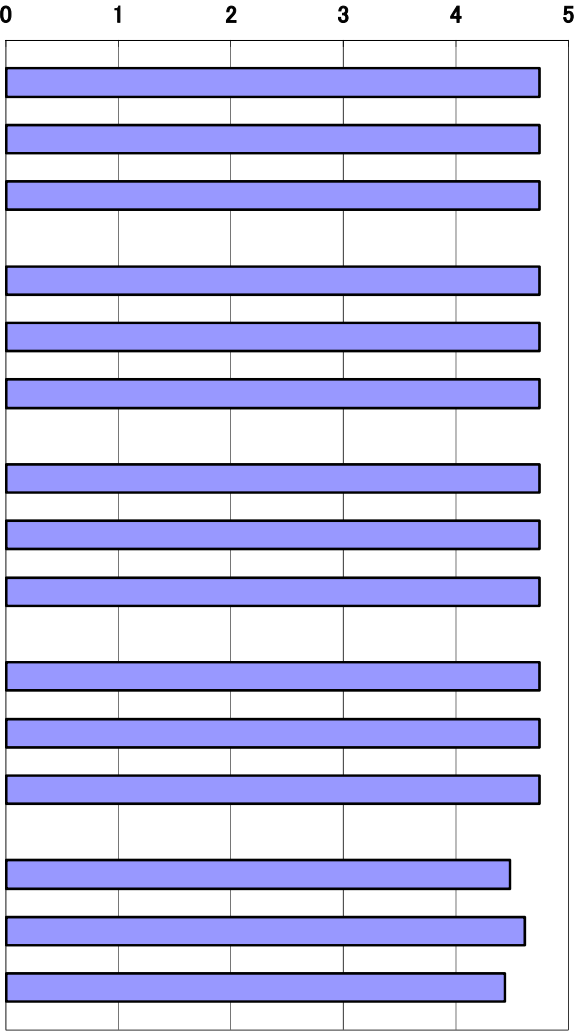
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	18 78.3	4 17.4	1 4.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.74	0.53
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	18 78.3	4 17.4	1 4.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.74	0.53
⑨	授業の進行速度は適切だった。	18 78.3	4 17.4	1 4.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.74	0.53

d. 熱意・相互作用

⑩	教員の熱意が伝わってきた。	18 78.3	4 17.4	1 4.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.74	0.53
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	18 78.3	4 17.4	1 4.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.74	0.53
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	18 78.3	4 17.4	1 4.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.74	0.53

e. 学生の自己評価

⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	17 73.9	3 13.0	2 8.7	0 0.0	0 0.0	1 4.3	4.48	1.14
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	17 73.9	3 13.0	3 13.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.61	0.71
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	17 73.9	2 8.7	3 13.0	0 0.0	0 0.0	1 4.3	4.43	1.17



科目コード	1D0402	科目名	生物学Ⅱ	担当教員名	熊澤武志
-------	--------	-----	------	-------	------

<教員からのコメント>

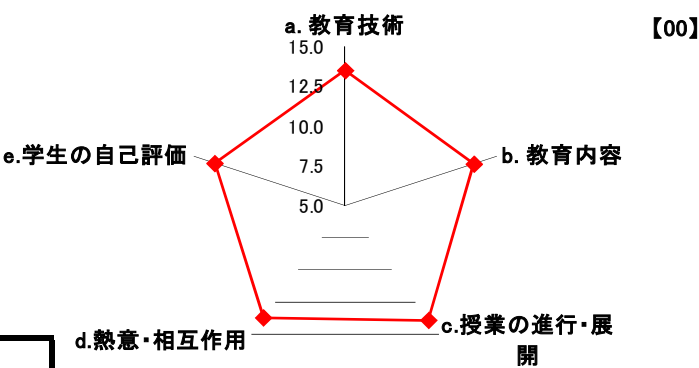
生物学Ⅱの授業は看護専門領域との架け橋になるように組み立てられています。授業が比較的好評であったことは、みなさんが無事に橋を渡ってくれたのだと、うれしく思っています。改善点のコメントとして、①「やや進み方が速いときが…」、②「先生の声が眠くなってしまう」の2つがありました。①については、もう少し皆さんの反応を確認しながら授業を進めるべきだったと反省しています。②に関してですが、眠くならないような授業をする必要性を再認識しました。

授業(講義)評価結果(2015年度後期)

履修者数	11	回収数	10	回収率	90.9%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:化学Ⅱ
担当者:
三好洋

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,245	13.07	2.33	10	13.50	2.01
b. 教育内容	3,260	12.97	2.46	10	13.50	2.01
c.授業の進行・展開	3,255	13.41	2.09	10	13.90	1.92
d.熱意・相互作用	3,247	13.27	2.27	10	13.70	1.90
e.学生の自己評価	3,251	13.88	1.63	10	13.60	1.85



N=10

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	6 60.0	3 30.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.50	0.67
②	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	6 60.0	3 30.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.50	0.67
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	6 60.0	3 30.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.50	0.67

b. 教育内容

④	授業の内容はわかりやすかった。	6 60.0	3 30.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.50	0.67
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	6 60.0	3 30.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.50	0.67
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	6 60.0	3 30.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.50	0.67

c. 授業の進行・展開

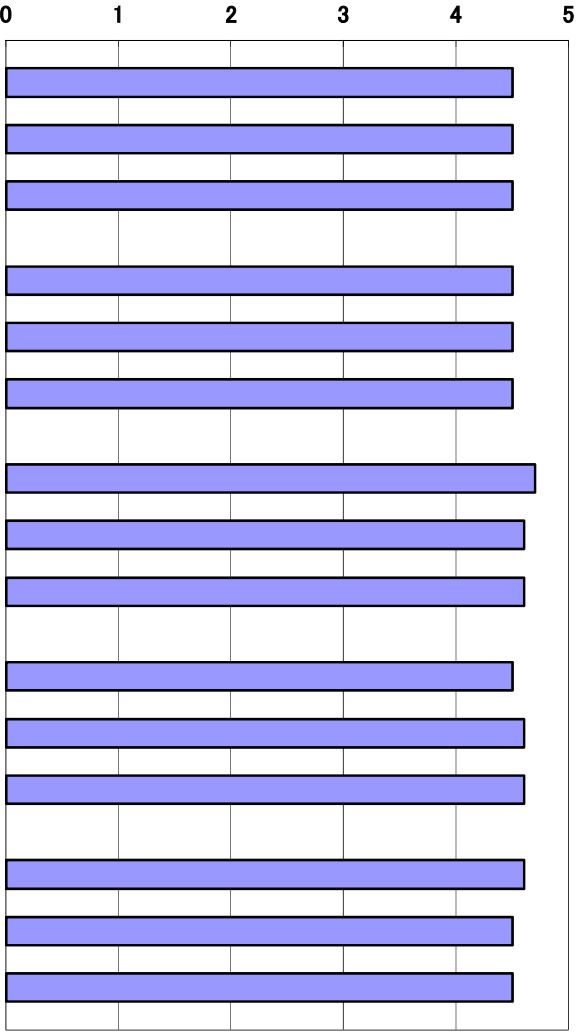
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	8 80.0	1 10.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.70	0.64
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	7 70.0	2 20.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.60	0.66
⑨	授業の進行速度は適切だった。	7 70.0	2 20.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.60	0.66

d. 熱意・相互作用

⑩	教員の熱意が伝わってきた。	6 60.0	3 30.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.50	0.67
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	7 70.0	2 20.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.60	0.66
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	7 70.0	2 20.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.60	0.66

e. 学生の自己評価

⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	7 70.0	2 20.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.60	0.66
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	6 60.0	3 30.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.50	0.67
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	6 60.0	3 30.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.50	0.67



科目コード	1D0600	科目名	化学Ⅱ	担当教員名	三好洋
-------	--------	-----	-----	-------	-----

<教員からのコメント>

スライドに関する意見、有難ございます。

化学Ⅰも含めて講義のスライドや資料はほとんどPDFファイルでポータルシステム上で公開しています。スマホでも気軽に眺めることができるようにするためです。今後も継続していきたいと思います。

化学Ⅱを今年度より担当したため、選択している学生数、興味の対象、学力などを全く把握しておらず、興味がない内容も多かったのではないかと思います。

今年度の状態を参考に、講義の内容について来年度は少し変更を考えています。

授業(講義)評価結果(2015年度後期)

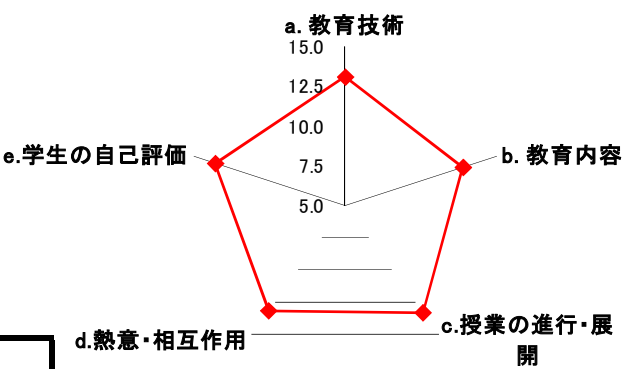
履修者数	123	回収数	97	回収率	78.9%
------	-----	-----	----	-----	-------

科目:情報学概論

担当者:

逸見功・川原由佳里・吉田みつ子

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,245	13.07	2.33	97	13.09	1.96
b. 教育内容	3,260	12.97	2.46	97	12.77	2.16
c.授業の進行・展開	3,255	13.41	2.09	97	13.31	1.75
d.熱意・相互作用	3,247	13.27	2.27	96	13.16	1.78
e.学生の自己評価	3,251	13.88	1.63	96	13.57	1.61



【00】

N=97

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	43 44.3	48 49.5	5 5.2	0 0.0	1 1.0	0 0.0	4.36	0.68
②	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	43 44.3	47 48.5	5 5.2	2 2.1	0 0.0	0 0.0	4.35	0.67
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	45 46.4	46 47.4	5 5.2	0 0.0	1 1.0	0 0.0	4.38	0.68

b. 教育内容

④	授業の内容はわかりやすかった。	40 41.2	41 42.3	15 15.5	1 1.0	0 0.0	0 0.0	4.24	0.74
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	41 42.3	39 40.2	14 14.4	2 2.1	1 1.0	0 0.0	4.21	0.84
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	45 46.4	39 40.2	13 13.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.33	0.70

c.授業の進行・展開

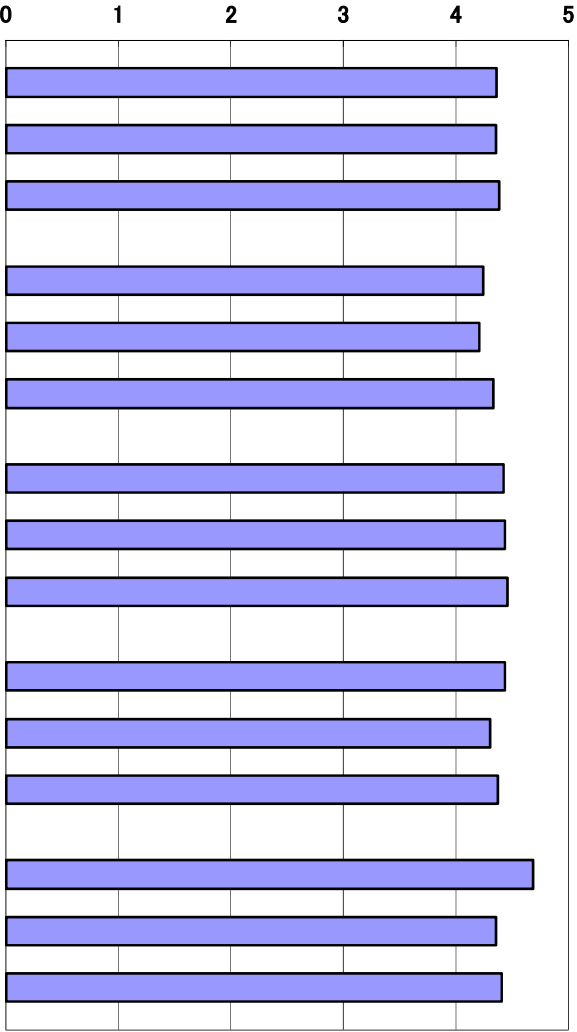
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	48 49.5	43 44.3	5 5.2	1 1.0	0 0.0	0 0.0	4.42	0.64
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	48 49.5	44 45.4	4 4.1	1 1.0	0 0.0	0 0.0	4.43	0.62
⑨	授業の進行速度は適切だった。	48 49.5	46 47.4	2 2.1	1 1.0	0 0.0	0 0.0	4.45	0.59

d.熱意・相互作用

⑩	教員の熱意が伝わってきた。	45 46.4	49 50.5	3 3.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.43	0.55
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	46 47.4	37 38.1	13 13.4	0 0.0	0 0.0	1 1.0	4.30	0.83
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	45 46.4	43 44.3	9 9.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.37	0.65

e.学生の自己評価

⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	72 74.2	22 22.7	2 2.1	0 0.0	0 0.0	1 1.0	4.68	0.68
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	48 49.5	40 41.2	6 6.2	2 2.1	0 0.0	1 1.0	4.35	0.83
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	52 53.6	36 37.1	7 7.2	1 1.0	0 0.0	1 1.0	4.40	0.81



科目コード	1E0100	科目名	情報学概論	担当教員名	逸見功・川原由佳里・吉田みつ子
-------	--------	-----	-------	-------	-----------------

<教員からのコメント>

一般の情報と看護情報の両方を学べた点を評価されたことをうれしく思います。

逸見が担当した前半4回の講義は、高校の授業であいまいなまま使われていた「情報」について「情報とは何か」という基本的なところから考えるという内容でした。必要性が感じられなかった、おもしろくなかった、むずかしかったという意見がありましたが、臨床とは直接関係がなく興味がわきにくいにしても、大学の教養科目としてあつかうべき重要な内容であると考えています。より多くの学生が物事を基礎から考える姿勢を身につける一助になるように、工夫したいと思います。（逸見 功）

吉田が担当した2回の講義では、健康、医療の中で情報がどういう意味をもつのか、その取扱いをどのように考えればよいかという点について、関心をもってくださりありがとうございます。初めて担当したので、どのようなメッセージが伝わるのか心配でしたが、今後も具体的かつ大切な考え方をつかんでもらえるように努めます。（吉田みつ子）

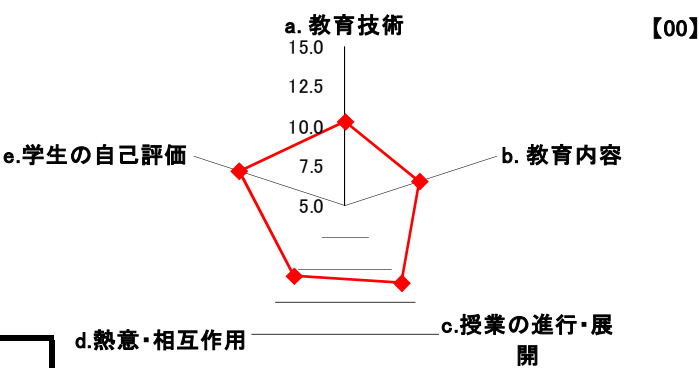
川原は、ミニ演習や事例の分析などを通じて、看護場面で必要とされる情報を、主観と客観、経験と知識、情動と思考と行為などの観点から考えてもらいました。授業中に受講者からの感想や意見をもらい、それをもとに授業を展開しましたが、さらに分かりやすくなるよう詳しい説明を心がけていきたいと思っています。（川原由佳里）

授業(講義)評価結果(2015年度後期)

履修者数	17	回収数	11	回収率	64.7%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:情報科学
担当者:
逸見功

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,245	13.07	2.33	11	10.27	2.05
b. 教育内容	3,260	12.97	2.46	11	9.91	2.23
c.授業の進行・展開	3,255	13.41	2.09	11	11.00	2.09
d.熱意・相互作用	3,247	13.27	2.27	11	10.45	1.88
e.学生の自己評価	3,251	13.88	1.63	11	12.00	2.30



N=11

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	1 9.1	4 36.4	6 54.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3.55	0.66
②	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	2 18.2	2 18.2	6 54.5	1 9.1	0 0.0	0 0.0	3.45	0.89
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	1 9.1	2 18.2	7 63.6	1 9.1	0 0.0	0 0.0	3.27	0.75

b. 教育内容

④	授業の内容はわかりやすかった。	1 9.1	2 18.2	6 54.5	2 18.2	0 0.0	0 0.0	3.18	0.83
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	1 9.1	3 27.3	6 54.5	1 9.1	0 0.0	0 0.0	3.36	0.77
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	1 9.1	3 27.3	6 54.5	1 9.1	0 0.0	0 0.0	3.36	0.77

c. 授業の進行・展開

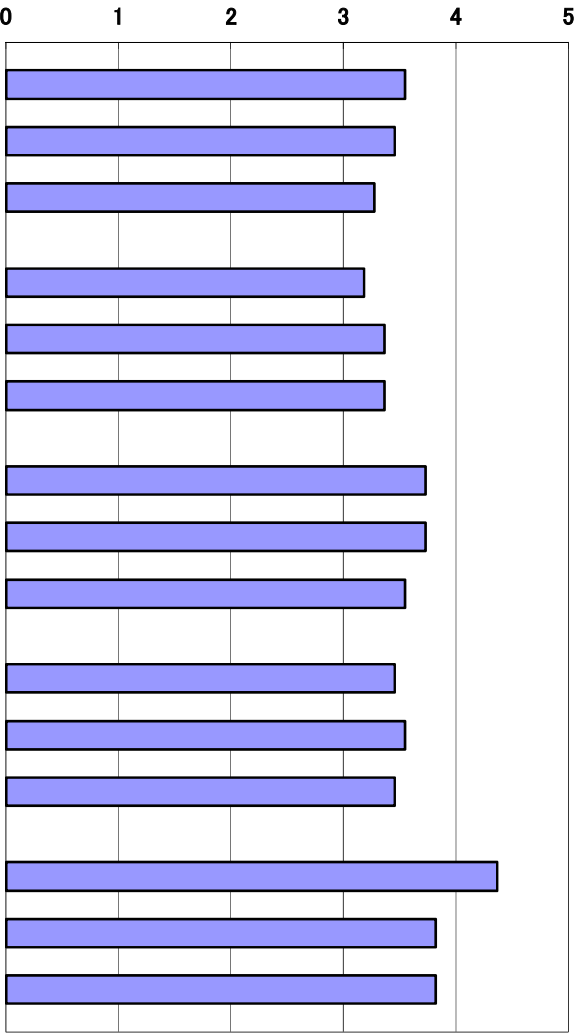
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	2 18.2	4 36.4	5 45.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3.73	0.75
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	2 18.2	4 36.4	5 45.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3.73	0.75
⑨	授業の進行速度は適切だった。	1 9.1	4 36.4	6 54.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3.55	0.66

d. 熱意・相互作用

⑩	教員の熱意が伝わってきた。	1 9.1	3 27.3	7 63.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3.45	0.66
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	1 9.1	4 36.4	6 54.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3.55	0.66
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	1 9.1	4 36.4	5 45.5	1 9.1	0 0.0	0 0.0	3.45	0.78

e. 学生の自己評価

⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	7 63.6	1 9.1	3 27.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.36	0.88
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	3 27.3	3 27.3	5 45.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3.82	0.83
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	3 27.3	3 27.3	5 45.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3.82	0.83



科目コード	1E0201	科目名	情報科学	担当教員名	逸見功
-------	--------	-----	------	-------	-----

<教員からのコメント>

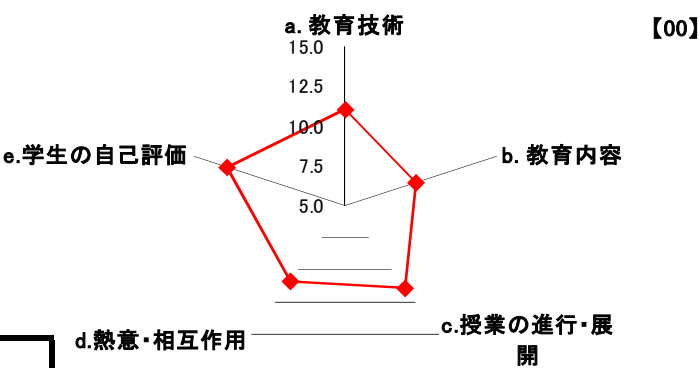
前期で履修した統計学を復習しながら、PCの演習を行いました。疑問点に答えながら授業を進めましたが、統計学の理解不足の学生には少し難しく感じたようです。レポートは、慣れないことなのでむずかしいと感じたでしょうが、授業で演習で行ったデータ解析を身につけるために必要な作業です。質問には全部答えているつもりです。これからも疑問点を解消しながら、授業を進めていきたいと思います。

授業(講義)評価結果(2015年度後期)

履修者数	27	回収数	22	回収率	81.5%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:情報科学
担当者:
逸見功

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,245	13.07	2.33	21	11.05	2.50
b. 教育内容	3,260	12.97	2.46	21	9.67	3.34
c.授業の進行・展開	3,255	13.41	2.09	21	11.38	2.68
d.熱意・相互作用	3,247	13.27	2.27	21	10.86	3.11
e.学生の自己評価	3,251	13.88	1.63	20	12.80	2.06



N=22

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	5 22.7	6 27.3	9 40.9	1 4.5	0 0.0	1 4.5	3.55	1.16
②	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	4 18.2	8 36.4	7 31.8	2 9.1	0 0.0	1 4.5	3.50	1.16
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	5 22.7	5 22.7	10 45.5	1 4.5	0 0.0	1 4.5	3.50	1.16

b. 教育内容

④	授業の内容はわかりやすかった。	4 18.2	2 9.1	10 45.5	3 13.6	2 9.1	1 4.5	3.00	1.31
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	4 18.2	3 13.6	9 40.9	3 13.6	2 9.1	1 4.5	3.05	1.33
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	4 18.2	3 13.6	11 50.0	2 9.1	1 4.5	1 4.5	3.18	1.23

c. 授業の進行・展開

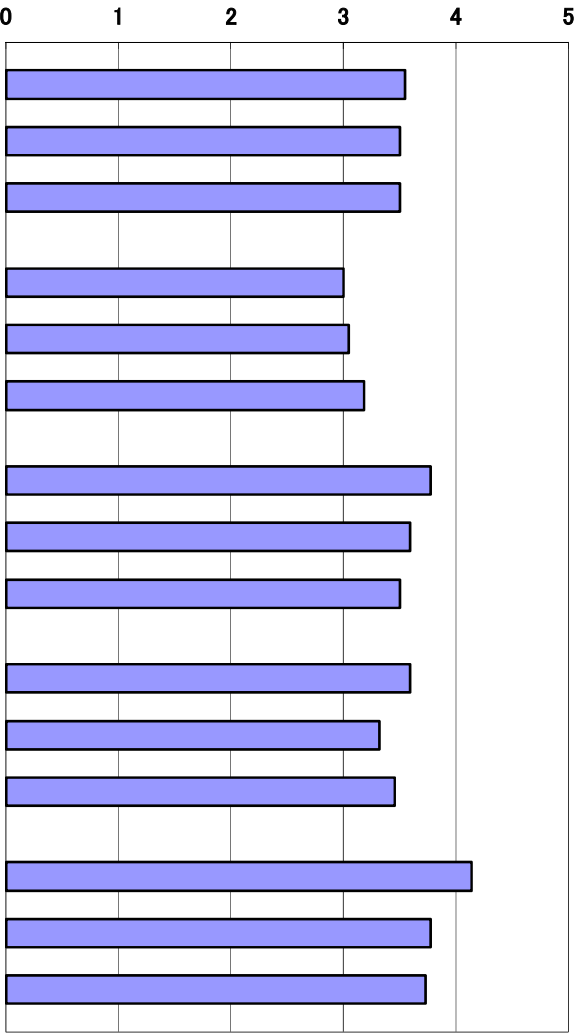
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	7 31.8	6 27.3	8 36.4	0 0.0	0 0.0	1 4.5	3.77	1.17
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	7 31.8	5 22.7	6 27.3	3 13.6	0 0.0	1 4.5	3.59	1.30
⑨	授業の進行速度は適切だった。	5 22.7	6 27.3	8 36.4	2 9.1	0 0.0	1 4.5	3.50	1.20

d. 熱意・相互作用

⑩	教員の熱意が伝わってきた。	7 31.8	4 18.2	8 36.4	2 9.1	0 0.0	1 4.5	3.59	1.27
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	6 27.3	4 18.2	7 31.8	2 9.1	2 9.1	1 4.5	3.32	1.43
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	6 27.3	5 22.7	7 31.8	2 9.1	1 4.5	1 4.5	3.45	1.34

e. 学生の自己評価

⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	12 54.5	7 31.8	1 4.5	0 0.0	0 0.0	2 9.1	4.14	1.42
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	8 36.4	9 40.9	1 4.5	2 9.1	0 0.0	2 9.1	3.77	1.47
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	8 36.4	7 31.8	4 18.2	1 4.5	0 0.0	2 9.1	3.73	1.45



科目コード	1E0202	科目名	情報科学	担当教員名	逸見功
-------	--------	-----	------	-------	-----

<教員からのコメント>

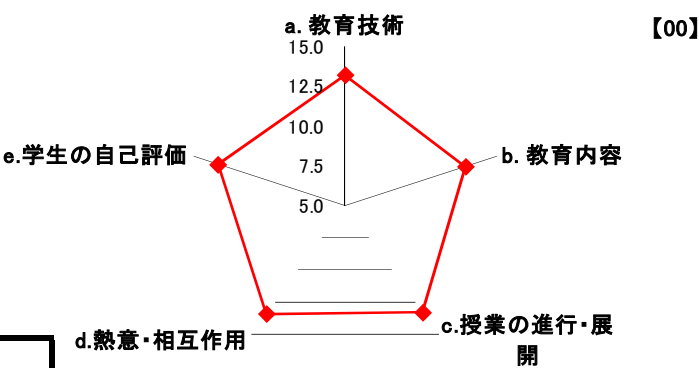
前期で履修した統計学を復習しながら、PCの演習を行いました。疑問点に答えながら授業を進めましたが、統計学の理解不足の学生には少し難しく感じたようです。レポートは、慣れないことなのでむずかしいと感じたでしょうが、授業で演習で行ったデータ解析を身につけるために必要な作業です。26年度に使用してわかりやすいというプリントを使用しました。よりわかりやすくなるように検討します。ときとき声が出にくいことがありますので、声が聞き取りにくい点はコンディションを整えて改善に努めます。

授業(講義)評価結果(2015年度後期)

履修者数	37	回収数	32	回収率	86.5%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:英語R1－2
担当者:
川崎修一

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,245	13.07	2.33	32	13.19	1.57
b. 教育内容	3,260	12.97	2.46	32	12.94	1.69
c.授業の進行・展開	3,255	13.41	2.09	32	13.28	1.59
d.熱意・相互作用	3,247	13.27	2.27	32	13.41	1.43
e.学生の自己評価	3,251	13.88	1.63	32	13.38	1.93



N=32

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	13 40.6	18 56.3	1 3.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.38	0.54
②	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	13 40.6	18 56.3	1 3.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.38	0.54
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	15 46.9	16 50.0	1 3.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.44	0.56

b. 教育内容

④	授業の内容はわかりやすかった。	13 40.6	16 50.0	3 9.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.31	0.63
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	13 40.6	16 50.0	2 6.3	1 3.1	0 0.0	0 0.0	4.28	0.72
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	12 37.5	19 59.4	1 3.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.34	0.54

c. 授業の進行・展開

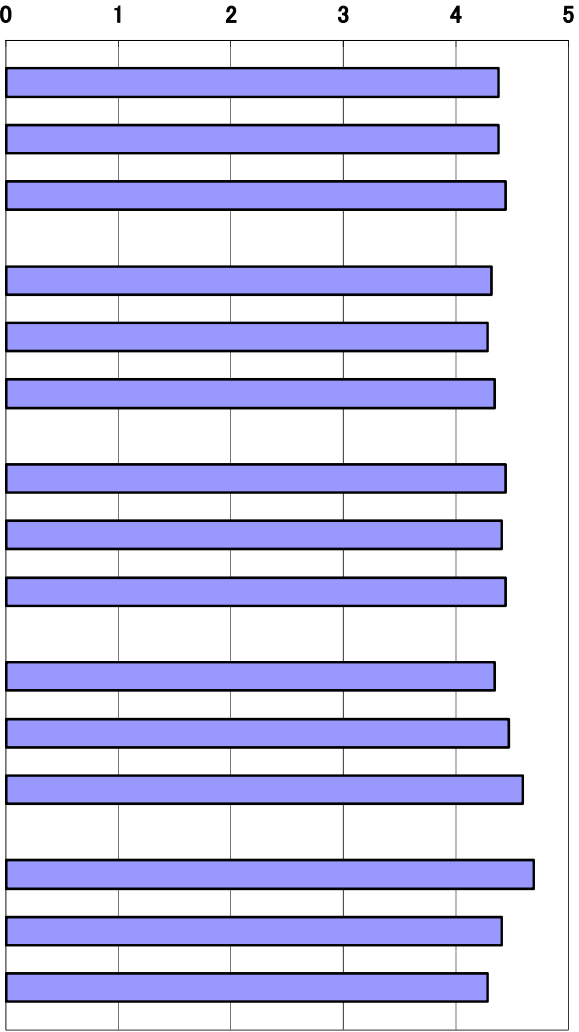
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	15 46.9	16 50.0	1 3.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.44	0.56
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	14 43.8	17 53.1	1 3.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.41	0.55
⑨	授業の進行速度は適切だった。	16 50.0	14 43.8	2 6.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.44	0.61

d. 熱意・相互作用

⑩	教員の熱意が伝わってきた。	13 40.6	17 53.1	2 6.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.34	0.59
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	16 50.0	15 46.9	1 3.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.47	0.56
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	19 59.4	13 40.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.59	0.49

e. 学生の自己評価

⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8～7割程度、(3)は6～5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	23 71.9	8 25.0	1 3.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.69	0.53
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	17 53.1	13 40.6	0 0.0	2 6.3	0 0.0	0 0.0	4.41	0.78
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	15 46.9	13 40.6	2 6.3	2 6.3	0 0.0	0 0.0	4.28	0.84



科目コード	1F0301	科目名	英語R1-2	担当教員名	川崎修一
-------	--------	-----	--------	-------	------

＜教員からのコメント＞

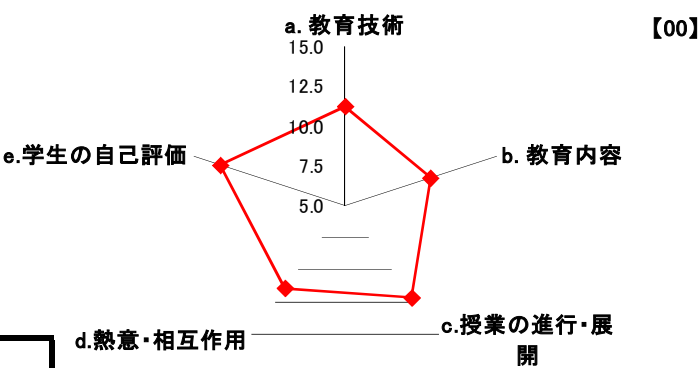
過分に高い評価をありがとうございました。素晴らしい受講生に恵まれ幸運でした。次回はもう少し学生がアクティブに授業に参加できるような授業構成にしたいと思います。

授業(講義)評価結果(2015年度後期)

履修者数	34	回収数	33	回収率	97.1%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:英語R1-2
担当者:
佐藤真

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,245	13.07	2.33	32	11.22	3.08
b. 教育内容	3,260	12.97	2.46	33	10.64	3.29
c.授業の進行・展開	3,255	13.41	2.09	33	12.12	2.93
d.熱意・相互作用	3,247	13.27	2.27	33	11.42	2.99
e.学生の自己評価	3,251	13.88	1.63	33	13.24	1.84



N=33

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	8 24.2	16 48.5	5 15.2	1 3.0	2 6.1	1 3.0	3.73	1.21
②	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	8 24.2	14 42.4	8 24.2	1 3.0	2 6.1	0 0.0	3.76	1.05
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	7 21.2	14 42.4	5 15.2	5 15.2	2 6.1	0 0.0	3.58	1.16

b. 教育内容

④	授業の内容はわかりやすかった。	8 24.2	10 30.3	8 24.2	5 15.2	2 6.1	0 0.0	3.52	1.18
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	7 21.2	10 30.3	10 30.3	4 12.1	2 6.1	0 0.0	3.48	1.13
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	7 21.2	13 39.4	9 27.3	2 6.1	2 6.1	0 0.0	3.64	1.07

c. 授業の進行・展開

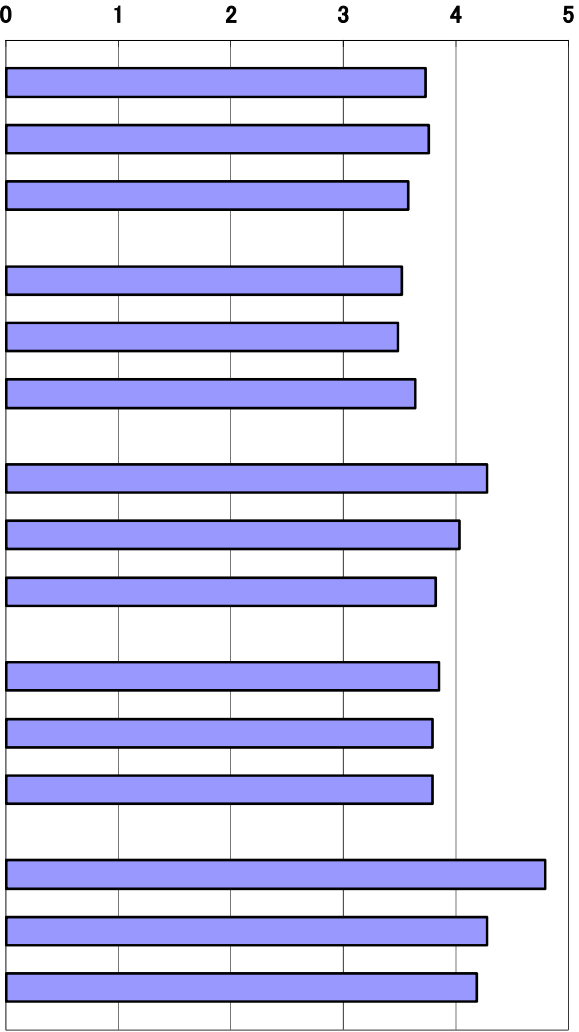
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	16 48.5	14 42.4	1 3.0	0 0.0	2 6.1	0 0.0	4.27	0.99
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	11 33.3	16 48.5	4 12.1	0 0.0	2 6.1	0 0.0	4.03	1.00
⑨	授業の進行速度は適切だった。	10 30.3	14 42.4	4 12.1	3 9.1	2 6.1	0 0.0	3.82	1.14

d. 熱意・相互作用

⑩	教員の熱意が伝わってきた。	9 27.3	14 42.4	8 24.2	0 0.0	2 6.1	0 0.0	3.85	1.02
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	8 24.2	15 45.5	7 21.2	1 3.0	2 6.1	0 0.0	3.79	1.04
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	8 24.2	16 48.5	5 15.2	2 6.1	2 6.1	0 0.0	3.79	1.07

e. 学生の自己評価

⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	26 78.8	7 21.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.79	0.41
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	15 45.5	14 42.4	3 9.1	0 0.0	1 3.0	0 0.0	4.27	0.86
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	15 45.5	13 39.4	3 9.1	0 0.0	2 6.1	0 0.0	4.18	1.03



科目コード	1F0302	科目名	英語R1-2	担当教員名	佐藤 眞
-------	--------	-----	--------	-------	------

<教員からのコメント>

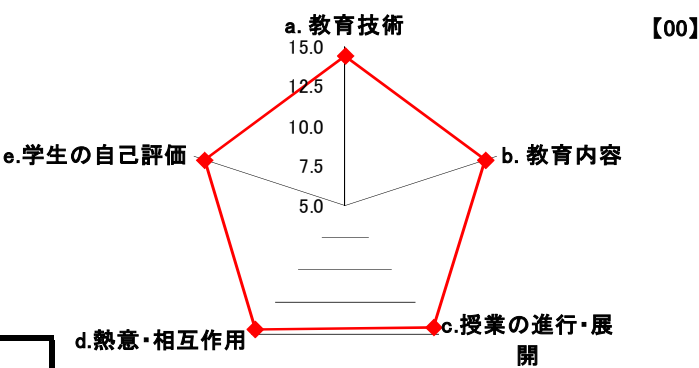
「速読の練習になった」という感想と「速読は難しい」という感想がありましたが、「速読は必要」なので授業では続けていこうと思います。

授業(講義)評価結果(2015年度後期)

履修者数	35	回収数	35	回収率	100.0%
------	----	-----	----	-----	--------

科目:英語R1－2
担当者:
川崎修一

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,245	13.07	2.33	35	14.40	1.10
b. 教育内容	3,260	12.97	2.46	35	14.26	1.38
c.授業の進行・展開	3,255	13.41	2.09	34	14.44	1.12
d.熱意・相互作用	3,247	13.27	2.27	35	14.60	0.96
e.学生の自己評価	3,251	13.88	1.63	34	14.26	1.29



N=35

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	27 77.1	8 22.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.77	0.42
②	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	28 80.0	7 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.80	0.40
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	29 82.9	6 17.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.83	0.38

b. 教育内容

④	授業の内容はわかりやすかった。	27 77.1	8 22.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.77	0.42
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	27 77.1	6 17.1	2 5.7	0 0.0	0 0.0	4.71	0.56
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	27 77.1	8 22.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.77	0.42

c. 授業の進行・展開

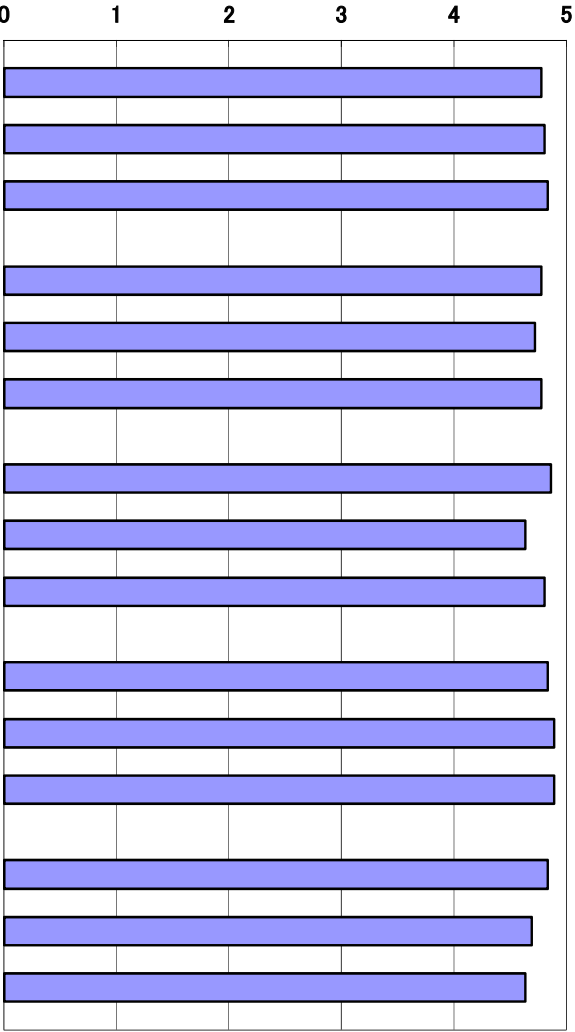
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	30 85.7	5 14.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.86	0.35
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	27 77.1	6 17.1	1 2.9	0 0.0	0 2.9	4.63	0.93
⑨	授業の進行速度は適切だった。	28 80.0	7 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.80	0.40

d. 熱意・相互作用

⑩	教員の熱意が伝わってきた。	29 82.9	6 17.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.83	0.38
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	31 88.6	4 11.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.89	0.32
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	31 88.6	4 11.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.89	0.32

e. 学生の自己評価

⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8～7割程度、(3)は6～5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	29 82.9	6 17.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.83	0.38
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	26 74.3	7 20.0	2 5.7	0 0.0	0 0.0	4.69	0.57
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	27 77.1	6 17.1	1 2.9	0 0.0	0 2.9	4.63	0.93



科目コード	1F0303	科目名	英語R1-2	担当教員名	川崎修一
-------	--------	-----	--------	-------	------

<教員からのコメント>

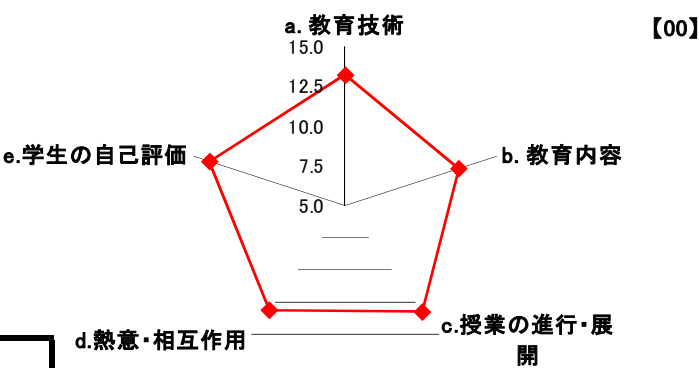
過分に高い評価をありがとうございました。素晴らしい受講生に恵まれ幸運でした。次回はもう少し学生がアクティブに授業に参加できるような授業構成にしたいと思います。

授業(講義)評価結果(2015年度後期)

履修者数	38	回収数	36	回収率	94.7%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:英語R1-2
担当者:
佐藤真

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,245	13.07	2.33	34	13.21	2.26
b. 教育内容	3,260	12.97	2.46	36	12.50	2.69
c.授業の進行・展開	3,255	13.41	2.09	36	13.22	2.14
d.熱意・相互作用	3,247	13.27	2.27	36	13.11	2.45
e.学生の自己評価	3,251	13.88	1.63	36	13.94	1.67



N=36

強く 思う	そう 思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	20 55.6	11 30.6	5 13.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.42	0.72
②	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	21 58.3	10 27.8	4 11.1	1 2.8	0 0.0	0 0.0	4.42	0.79
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	20 55.6	8 22.2	5 13.9	1 2.8	0 0.0	2 5.6	4.14	1.29

b. 教育内容

④	授業の内容はわかりやすかった。	17 47.2	12 33.3	5 13.9	2 5.6	0 0.0	0 0.0	4.22	0.89
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	17 47.2	10 27.8	7 19.4	2 5.6	0 0.0	0 0.0	4.17	0.93
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	16 44.4	11 30.6	7 19.4	1 2.8	1 2.8	0 0.0	4.11	0.99

c. 授業の進行・展開

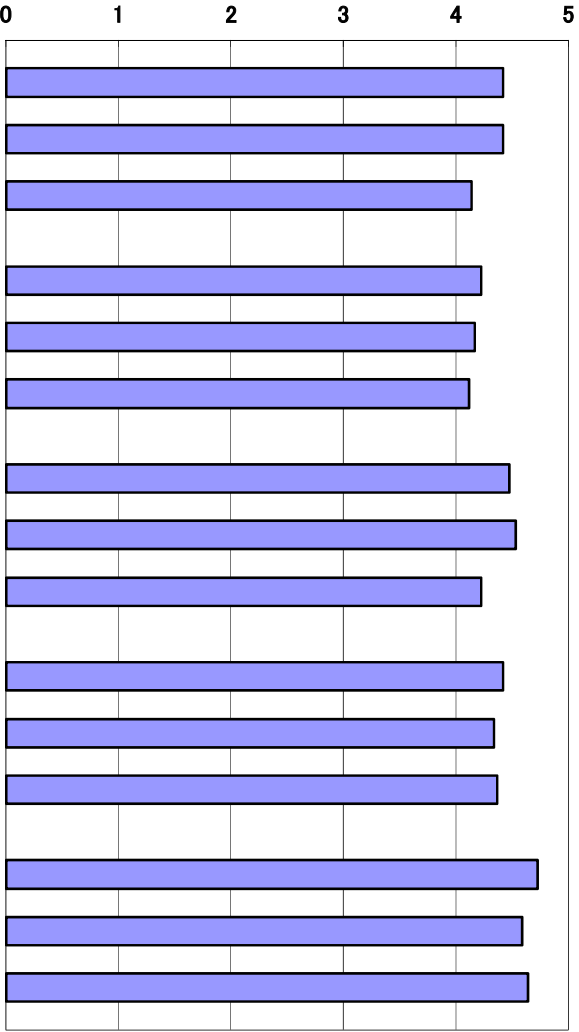
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	21 58.3	11 30.6	4 11.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.47	0.69
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	23 63.9	9 25.0	4 11.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.53	0.69
⑨	授業の進行速度は適切だった。	20 55.6	8 22.2	5 13.9	2 5.6	1 2.8	0 0.0	4.22	1.06

d. 熱意・相互作用

⑩	教員の熱意が伝わってきた。	21 58.3	9 25.0	6 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.42	0.76
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	20 55.6	9 25.0	6 16.7	1 2.8	0 0.0	0 0.0	4.33	0.85
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	22 61.1	6 16.7	7 19.4	1 2.8	0 0.0	0 0.0	4.36	0.89

e. 学生の自己評価

⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	28 77.8	6 16.7	2 5.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.72	0.56
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	24 66.7	9 25.0	3 8.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.58	0.64
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	26 72.2	7 19.4	3 8.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.64	0.63



科目コード	1F0304	科目名	英語R1-2	担当教員名	佐藤 眞
-------	--------	-----	--------	-------	------

<教員からのコメント>

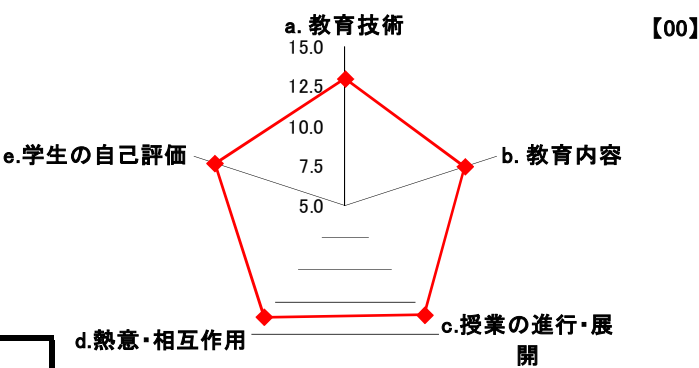
「もう少しレベルの高い教材を」という声や「進行が遅い」という声もありました。だいたいクラスの間あたりの学生の理解に合わせているので、このような声が出たのだと思います。もう少し上に合わせるつもりで授業を進めてみようかと思っています。

授業(講義)評価結果(2015年度後期)

履修者数	36	回収数	32	回収率	88.9%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:英語W1-2
担当者:
遠藤花子

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,245	13.07	2.33	32	12.97	1.78
b. 教育内容	3,260	12.97	2.46	32	12.91	2.02
c.授業の進行・展開	3,255	13.41	2.09	32	13.47	1.37
d.熱意・相互作用	3,247	13.27	2.27	32	13.66	1.53
e.学生の自己評価	3,251	13.88	1.63	32	13.59	1.52



N=32

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	12 37.5	17 53.1	3 9.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.28	0.62
②	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	14 43.8	16 50.0	2 6.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.38	0.60
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	13 40.6	17 53.1	1 3.1	1 3.1	0 0.0	0 0.0	4.31	0.68

b. 教育内容

④	授業の内容はわかりやすかった。	13 40.6	16 50.0	3 9.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.31	0.63
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	13 40.6	15 46.9	2 6.3	2 6.3	0 0.0	0 0.0	4.22	0.82
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	15 46.9	14 43.8	3 9.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.38	0.65

c.授業の進行・展開

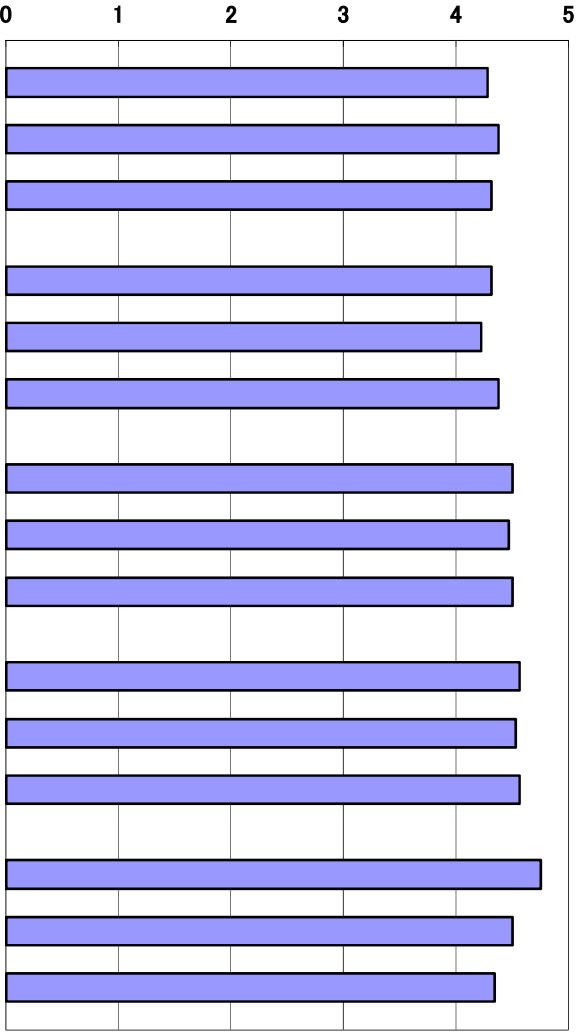
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	17 53.1	14 43.8	1 3.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.50	0.56
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	15 46.9	17 53.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.47	0.50
⑨	授業の進行速度は適切だった。	16 50.0	16 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.50	0.50

d.熱意・相互作用

⑩	教員の熱意が伝わってきた。	18 56.3	14 43.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.56	0.50
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	19 59.4	11 34.4	2 6.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.53	0.61
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	20 62.5	10 31.3	2 6.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.56	0.61

e.学生の自己評価

⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	25 78.1	6 18.8	1 3.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.75	0.50
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	18 56.3	12 37.5	2 6.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.50	0.61
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	16 50.0	11 34.4	5 15.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.34	0.73



科目コード	1F0501	科目名	英語W1-2	担当教員名	遠藤花子
-------	--------	-----	--------	-------	------

<教員からのコメント>

授業では、ライティング方法の解説だけでなく、ライティングの実践練習の機会をなるべく多くとり、一人ひとりにコメントをしながら返却したところ、質問しやすかったことや添削に対する評価を頂けたのはよかった。しかし、試験の時の辞書の持ち込みに関して、電子辞書のメモ機能を使ったカンニングについての指摘を受けた。この件に関しては、授業の性格から、成績評価は授業時の提出物の評価を重視していたことと、メモ機能を使ったカンニングをしてもライティングそのものの評価が上がることはないこともあり、黙認してきてしまった。今後は、辞書の持ち込みに関して大いに検討するとともに、授業内容ももう少し興味の持てる内容になるよう力を入れていきたい。

授業(講義)評価結果(2015年度後期)

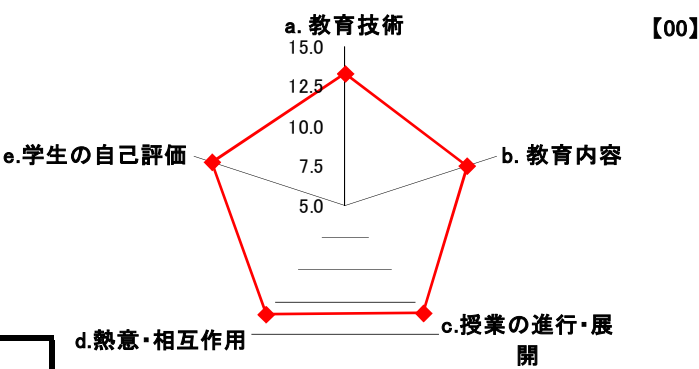
履修者数	25	回収数	24	回収率	96.0%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:英語W1-2

担当者:

David Baldwin

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,245	13.07	2.33	24	13.29	1.40
b. 教育内容	3,260	12.97	2.46	24	13.04	1.59
c.授業の進行・展開	3,255	13.41	2.09	24	13.33	1.55
d.熱意・相互作用	3,247	13.27	2.27	23	13.43	1.41
e.学生の自己評価	3,251	13.88	1.63	24	13.79	1.53



N=24

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	10 41.7	14 58.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.42	0.49
②	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	10 41.7	14 58.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.42	0.49
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	11 45.8	13 54.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.46	0.50

b. 教育内容

④	授業の内容はわかりやすかった。	10 41.7	12 50.0	2 8.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.33	0.62
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	9 37.5	14 58.3	1 4.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.33	0.55
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	10 41.7	13 54.2	1 4.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.38	0.56

c.授業の進行・展開

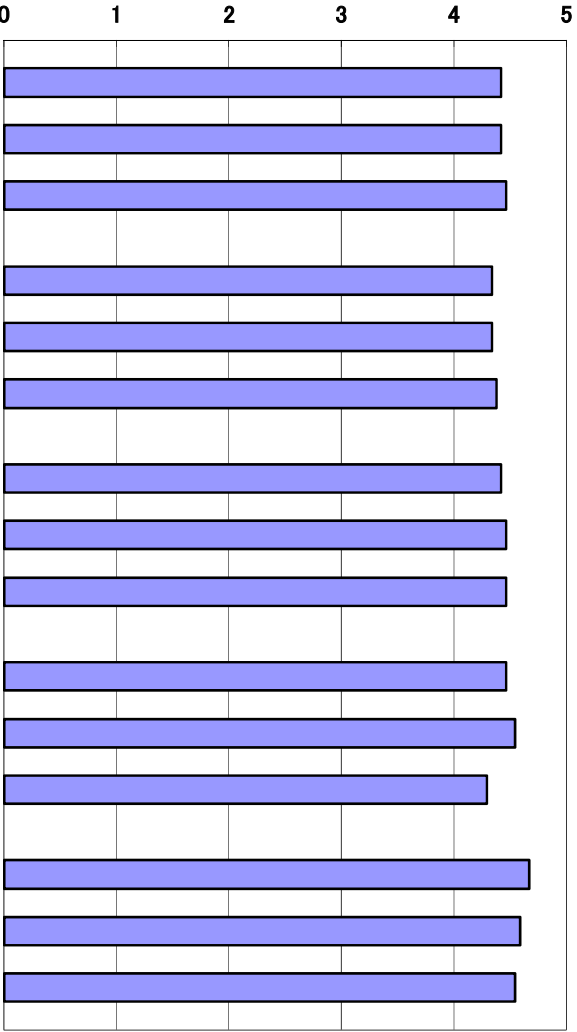
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	11 45.8	12 50.0	1 4.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.42	0.57
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	11 45.8	13 54.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.46	0.50
⑨	授業の進行速度は適切だった。	11 45.8	13 54.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.46	0.50

d.熱意・相互作用

⑩	教員の熱意が伝わってきた。	11 45.8	13 54.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.46	0.50
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	13 54.2	11 45.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.54	0.50
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	11 45.8	12 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 4.2	4.29	1.02

e.学生の自己評価

⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	16 66.7	8 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.67	0.47
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	15 62.5	8 33.3	1 4.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.58	0.57
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	14 58.3	9 37.5	1 4.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.54	0.58



code	1F0502	subject	英語W1-2	NAMAE	David Baldwin
------	--------	---------	--------	-------	---------------

<commnet>

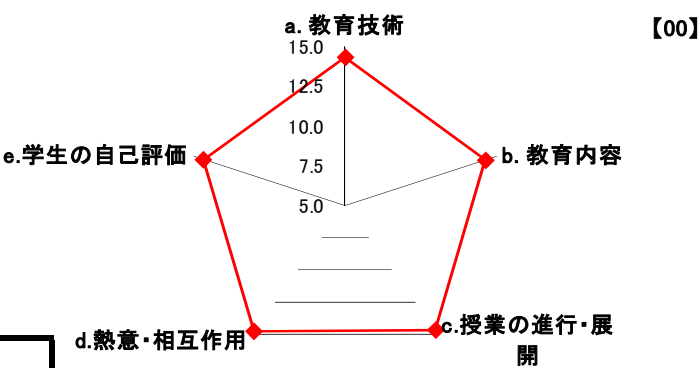
Thank you for always being so positive and friendly and willing to try anything. We learned a lot together including similies, metaphors, travel spots and dreams. Great class all around!

授業(講義)評価結果(2015年度後期)

履修者数	36	回収数	31	回収率	86.1%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:英語W1－2
担当者:
遠藤花子

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,245	13.07	2.33	31	14.32	1.38
b. 教育内容	3,260	12.97	2.46	31	14.26	1.44
c.授業の進行・展開	3,255	13.41	2.09	31	14.65	0.93
d.熱意・相互作用	3,247	13.27	2.27	31	14.74	0.72
e.学生の自己評価	3,251	13.88	1.63	31	14.35	1.36



N=31

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	24 77.4	6 19.4	1 3.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.74	0.51
②	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	25 80.6	5 16.1	1 3.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.77	0.49
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	26 83.9	4 12.9	1 3.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.81	0.47

b. 教育内容

④	授業の内容はわかりやすかった。	26 83.9	5 16.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.84	0.37
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	22 71.0	7 22.6	2 6.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.65	0.60
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	26 83.9	3 9.7	2 6.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.77	0.55

c. 授業の進行・展開

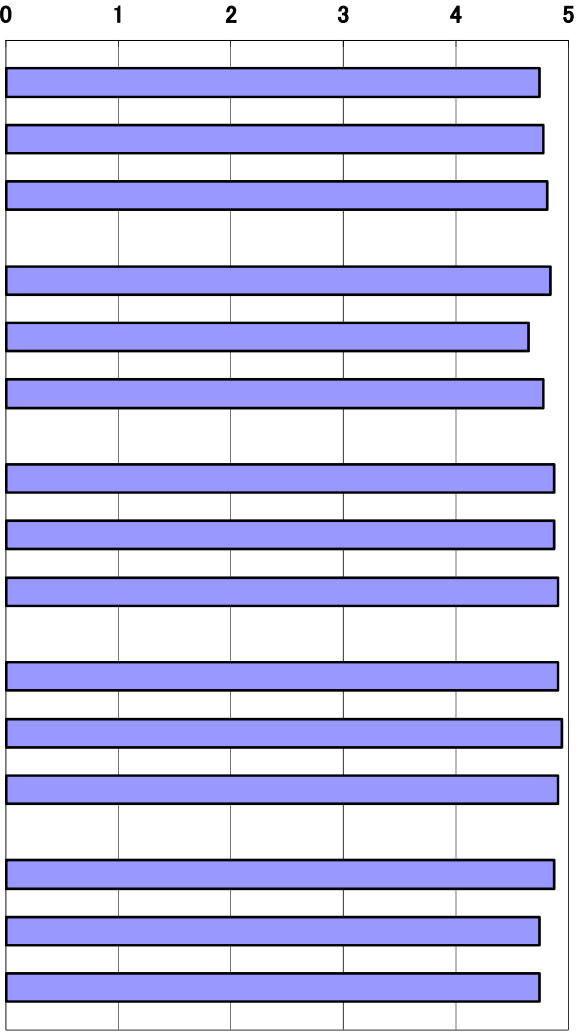
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	27 87.1	4 12.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.87	0.34
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	27 87.1	4 12.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.87	0.34
⑨	授業の進行速度は適切だった。	28 90.3	3 9.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.90	0.30

d. 熱意・相互作用

⑩	教員の熱意が伝わってきた。	28 90.3	3 9.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.90	0.30
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	29 93.5	2 6.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.94	0.25
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	28 90.3	3 9.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.90	0.30

e. 学生の自己評価

⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8～7割程度、(3)は6～5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	27 87.1	4 12.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.87	0.34
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	26 83.9	3 9.7	1 3.2	1 3.2	0 0.0	0 0.0	4.74	0.67
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	24 77.4	6 19.4	1 3.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.74	0.51



科目コード	1F0503	科目名	英語W1-2	担当教員名	遠藤花子
-------	--------	-----	--------	-------	------

<教員からのコメント>

授業では、ライティング方法の解説だけでなく、ライティングの実践練習の機会をなるべく多くとり、一人ひとりにコメントをしながら返却したところ、ライティング力が身についたという評価や質問しやすい状況があったという評価を頂けたのはよかった。今後は、もう少し興味の持てる内容になるよう力を入れていきたい。

授業(講義)評価結果(2015年度後期)

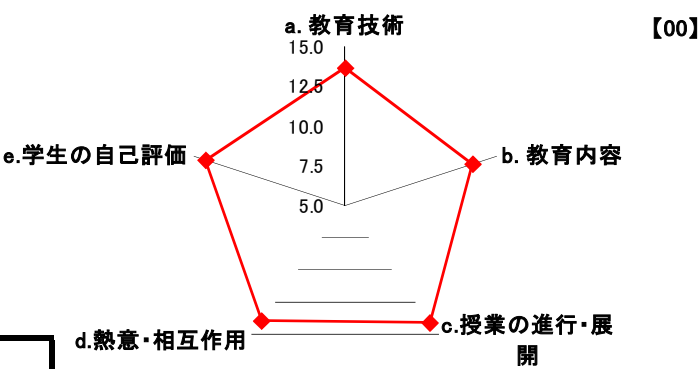
履修者数	38	回収数	34	回収率	89.5%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:英語W1-2

担当者:

David Baldwin

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,245	13.07	2.33	34	13.65	2.00
b. 教育内容	3,260	12.97	2.46	34	13.41	2.46
c.授業の進行・展開	3,255	13.41	2.09	34	14.06	1.49
d.熱意・相互作用	3,247	13.27	2.27	34	13.91	1.93
e.学生の自己評価	3,251	13.88	1.63	34	14.21	1.16



N=34

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	22 64.7	10 29.4	2 5.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.59	0.60
②	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	21 61.8	9 26.5	4 11.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.50	0.70
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	24 70.6	6 17.6	3 8.8	1 2.9	0 0.0	0 0.0	4.56	0.77

b. 教育内容

④	授業の内容はわかりやすかった。	21 61.8	7 20.6	4 11.8	2 5.9	0 0.0	0 0.0	4.38	0.91
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	23 67.6	7 20.6	2 5.9	2 5.9	0 0.0	0 0.0	4.50	0.85
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	23 67.6	7 20.6	3 8.8	1 2.9	0 0.0	0 0.0	4.53	0.78

c.授業の進行・展開

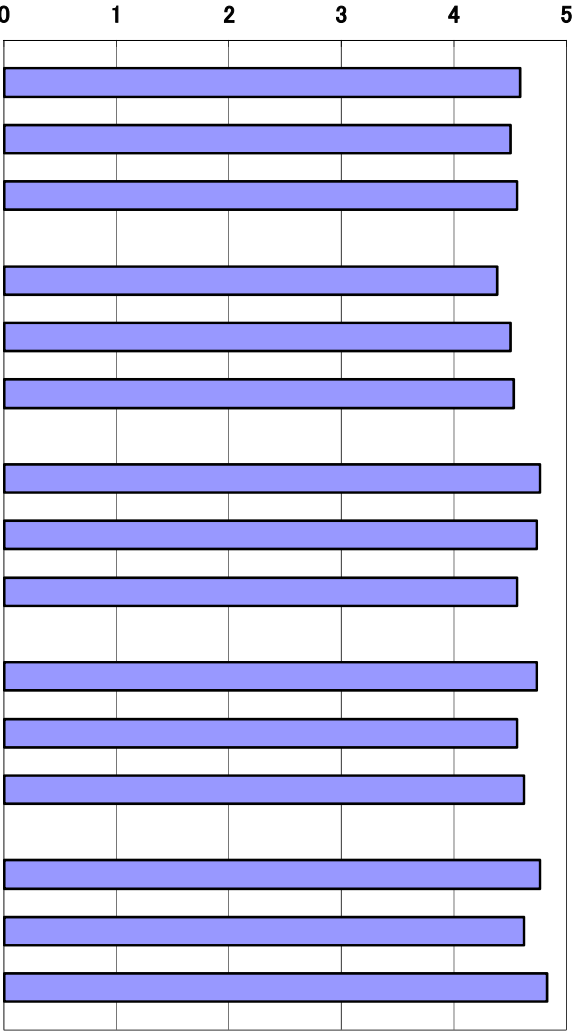
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	27 79.4	6 17.6	1 2.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.76	0.49
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	26 76.5	7 20.6	1 2.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.74	0.50
⑨	授業の進行速度は適切だった。	22 64.7	10 29.4	1 2.9	1 2.9	0 0.0	0 0.0	4.56	0.69

d.熱意・相互作用

⑩	教員の熱意が伝わってきた。	27 79.4	5 14.7	2 5.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.74	0.56
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	23 67.6	8 23.5	2 5.9	1 2.9	0 0.0	0 0.0	4.56	0.74
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	25 73.5	6 17.6	2 5.9	1 2.9	0 0.0	0 0.0	4.62	0.73

e.学生の自己評価

⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	26 76.5	8 23.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.76	0.42
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	23 67.6	9 26.5	2 5.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.62	0.59
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	28 82.4	6 17.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.82	0.38



code	1F0504	subject	英語W1-2	NAMAE	David Baldwin
------	--------	---------	--------	-------	---------------

<commnet>

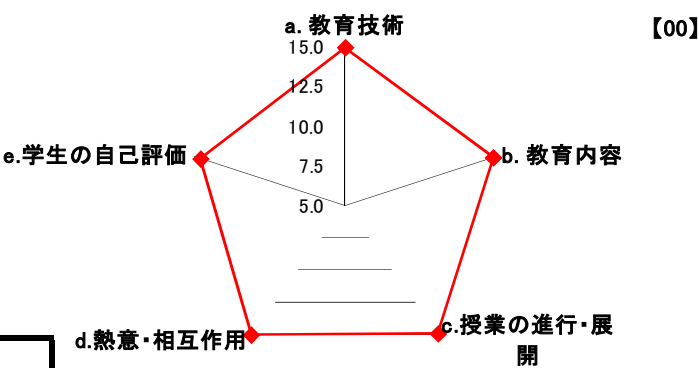
I had a lot of fun teaching this class and we learned a lot including similes, metaphors, idioms, dreams and traveling. Feel free to ask me anything about English in the future.
A highly successful class.

授業(講義)評価結果(2015年度後期)

履修者数	26	回収数	22	回収率	84.6%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:英語LS1-2
担当者:
Benjamin Tutchter

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,245	13.07	2.33	22	14.91	0.42
b. 教育内容	3,260	12.97	2.46	22	14.77	0.73
c.授業の進行・展開	3,255	13.41	2.09	22	14.91	0.29
d.熱意・相互作用	3,247	13.27	2.27	21	15.00	0.00
e.学生の自己評価	3,251	13.88	1.63	22	14.55	0.94



N=22

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	21 95.5	1 4.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.95	0.21
②	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	21 95.5	1 4.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.95	0.21
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	22 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5.00	0.00

b. 教育内容

④	授業の内容はわかりやすかった。	22 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5.00	0.00
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	20 90.9	1 4.5	1 4.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.86	0.46
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	20 90.9	2 9.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.91	0.29

c. 授業の進行・展開

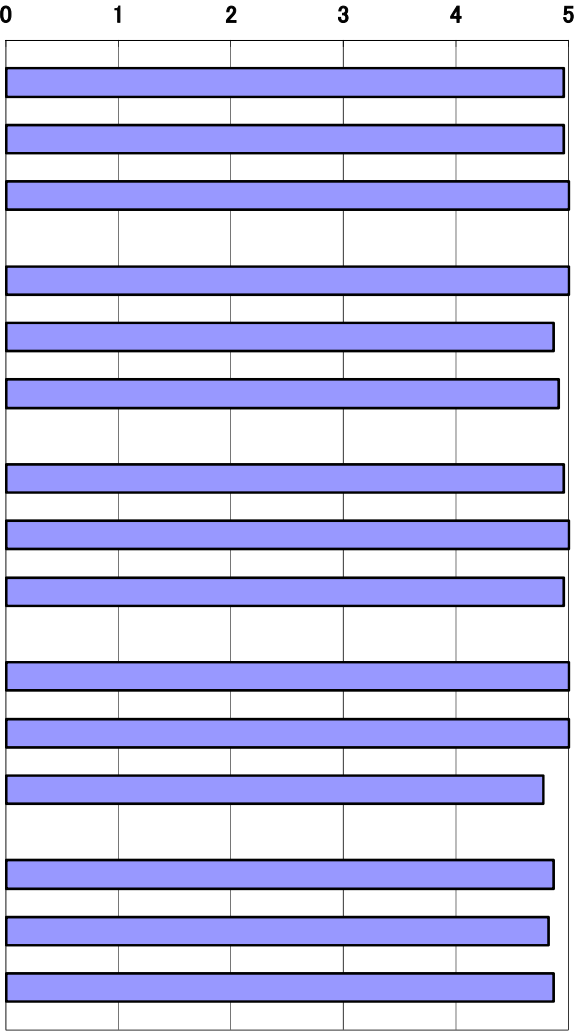
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	21 95.5	1 4.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.95	0.21
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	22 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5.00	0.00
⑨	授業の進行速度は適切だった。	21 95.5	1 4.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.95	0.21

d. 熱意・相互作用

⑩	教員の熱意が伝わってきた。	22 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5.00	0.00
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	22 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5.00	0.00
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	21 95.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 4.5	4.77	1.04

e. 学生の自己評価

⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	19 86.4	3 13.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.86	0.34
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	19 86.4	2 9.1	1 4.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.82	0.49
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	20 90.9	1 4.5	1 4.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.86	0.46



code	1F0701	subject	英語LS1-2	NAMAE	Benjamin Tutchter
------	--------	---------	---------	-------	-------------------

<commnet>

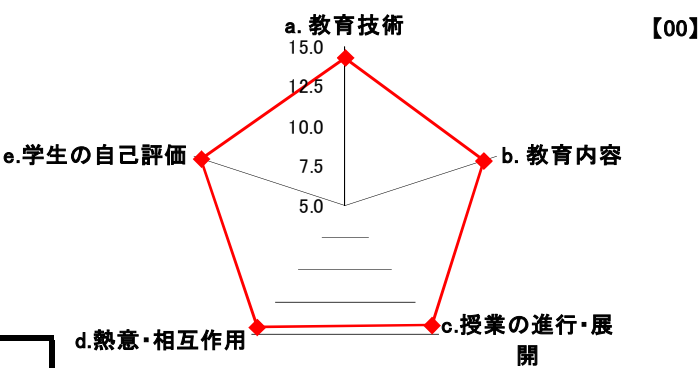
I am very grateful for your comments regarding my classes last year, they are helpful and I'm glad that students seemed to enjoy my lessons. These classes are a great opportunity to improve as a teacher but I am sometimes also able to enjoy watching a group of students and friends grow together over a year while developing my own relationship with the students as a group and individually.

授業(講義)評価結果(2015年度後期)

履修者数	23	回収数	22	回収率	95.7%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:英語LS1-2
担当者:
Tony Dani

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,245	13.07	2.33	22	14.27	1.21
b. 教育内容	3,260	12.97	2.46	22	14.14	1.32
c.授業の進行・展開	3,255	13.41	2.09	22	14.27	1.21
d.熱意・相互作用	3,247	13.27	2.27	22	14.41	1.15
e.学生の自己評価	3,251	13.88	1.63	22	14.50	0.99



N=22

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	16 72.7	6 27.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.73	0.45
②	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	17 77.3	5 22.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.77	0.42
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	17 77.3	5 22.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.77	0.42

b. 教育内容

④	授業の内容はわかりやすかった。	16 72.7	6 27.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.73	0.45
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	16 72.7	6 27.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.73	0.45
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	15 68.2	7 31.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.68	0.47

c. 授業の進行・展開

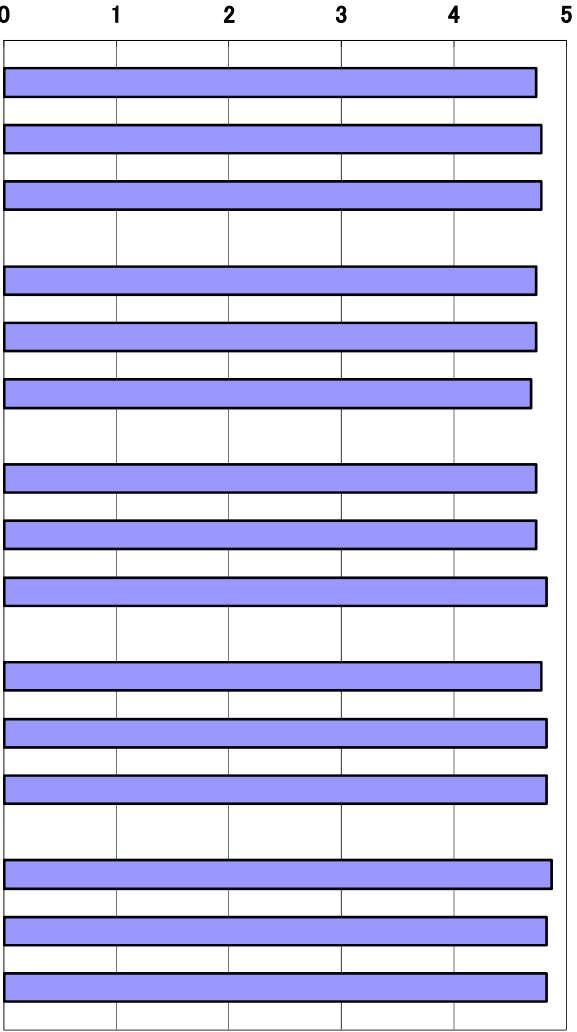
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	16 72.7	6 27.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.73	0.45
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	16 72.7	6 27.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.73	0.45
⑨	授業の進行速度は適切だった。	18 81.8	4 18.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.82	0.39

d. 熱意・相互作用

⑩	教員の熱意が伝わってきた。	17 77.3	5 22.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.77	0.42
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	18 81.8	4 18.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.82	0.39
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	18 81.8	4 18.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.82	0.39

e. 学生の自己評価

⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	19 86.4	3 13.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.86	0.34
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	18 81.8	4 18.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.82	0.39
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	18 81.8	4 18.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.82	0.39



code	1F0702	subject	英語LS1-2	NAMAE	Tony Dani
------	--------	---------	---------	-------	-----------

<commnet>

I was very glad to receive such positive comments and grading figures. As with every year, I try to make my classes as interesting and challenging for the students as possible and to create a relaxed atmosphere in which students are able to develop and expand their English Communication skills. I am particularly pleased to see that my idea of using a weekly 'photo diary' at the start of class has – and continues to give – my students a way into engaging in English writing and speaking in a fun manner. The students are more at ease when starting to use the textbook every week. However, I also have noted that the textbook may have been rather difficult for some of the students. Further to this, I am already using an alternative textbook, which seems to be more accessible to the majority of the students.

授業(講義)評価結果(2015年度後期)

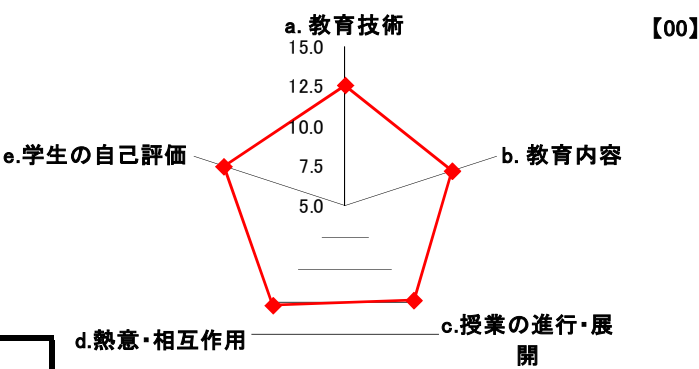
履修者数	21	回収数	18	回収率	85.7%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:英語LS1－2

担当者:

David Baldwin

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,245	13.07	2.33	18	12.56	2.06
b. 教育内容	3,260	12.97	2.46	18	12.06	2.17
c.授業の進行・展開	3,255	13.41	2.09	18	12.33	2.21
d.熱意・相互作用	3,247	13.27	2.27	18	12.72	2.13
e.学生の自己評価	3,251	13.88	1.63	18	13.00	2.19



N=18

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	6 33.3	9 50.0	3 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.17	0.69
②	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	7 38.9	8 44.4	3 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.22	0.71
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	6 33.3	9 50.0	3 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.17	0.69

b. 教育内容

④	授業の内容はわかりやすかった。	5 27.8	9 50.0	4 22.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.06	0.70
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	5 27.8	8 44.4	5 27.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.00	0.75
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	5 27.8	8 44.4	5 27.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.00	0.75

c.授業の進行・展開

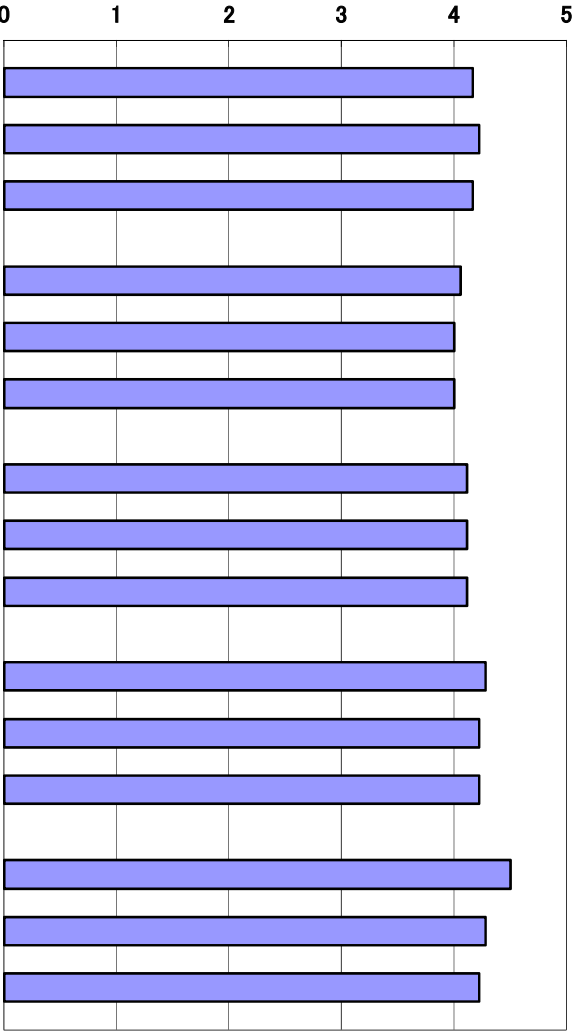
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	6 33.3	8 44.4	4 22.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.11	0.74
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	6 33.3	8 44.4	4 22.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.11	0.74
⑨	授業の進行速度は適切だった。	6 33.3	8 44.4	4 22.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.11	0.74

d.熱意・相互作用

⑩	教員の熱意が伝わってきた。	8 44.4	7 38.9	3 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.28	0.73
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	7 38.9	8 44.4	3 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.22	0.71
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	7 38.9	8 44.4	3 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.22	0.71

e.学生の自己評価

⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8～7割程度、(3)は6～5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	13 72.2	1 5.6	4 22.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.50	0.83
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	9 50.0	5 27.8	4 22.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.28	0.80
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	9 50.0	4 22.2	5 27.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.22	0.85



code	1F0703	subject	英語LS1-2	NAMAE	David Baldwin
------	--------	---------	---------	-------	---------------

<commnet>

It was awesome working with everyone in this class. I always looked forward to teaching you. Using English in class as much as possible is a good way to learn it and you all tried everything I brought in. Thank you. A fantastic class.

授業(講義)評価結果(2015年度後期)

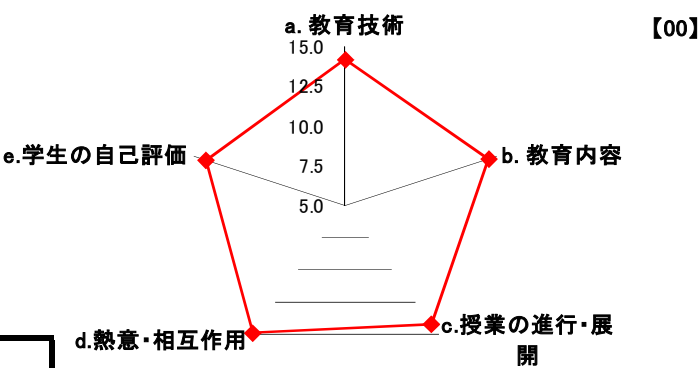
履修者数	26	回収数	22	回収率	84.6%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:英語LS1-2

担当者:

Benjamin Tutchter

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,245	13.07	2.33	22	14.18	0.98
b. 教育内容	3,260	12.97	2.46	22	14.45	0.94
c.授業の進行・展開	3,255	13.41	2.09	22	14.18	1.03
d.熱意・相互作用	3,247	13.27	2.27	22	14.86	0.46
e.学生の自己評価	3,251	13.88	1.63	22	14.18	1.23



N=22

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	15 68.2	7 31.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.68	0.47
②	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	14 63.6	7 31.8	1 4.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.59	0.58
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	20 90.9	2 9.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.91	0.29

b. 教育内容

④	授業の内容はわかりやすかった。	20 90.9	2 9.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.91	0.29
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	17 77.3	5 22.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.77	0.42
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	17 77.3	5 22.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.77	0.42

c. 授業の進行・展開

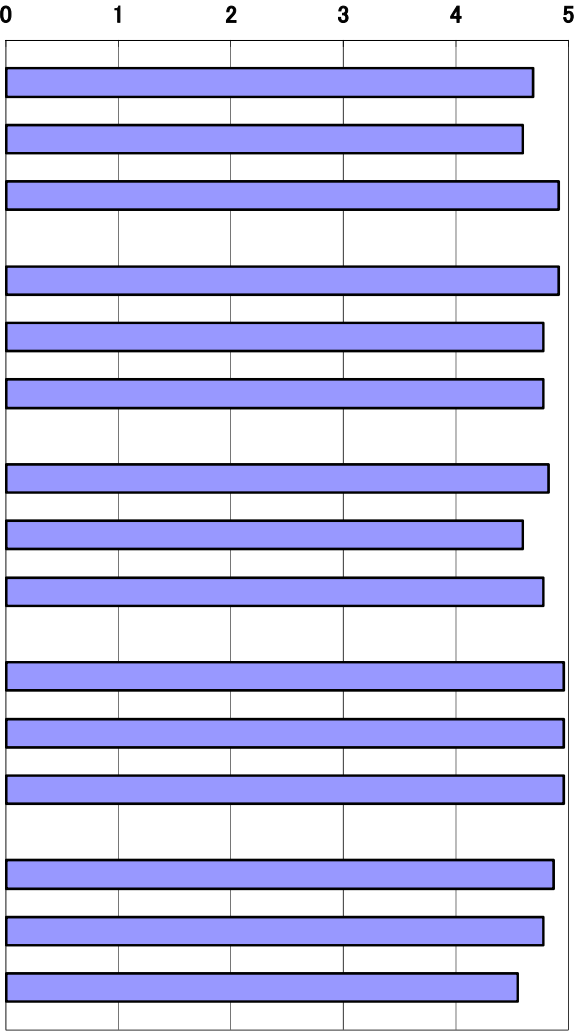
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	18 81.8	4 18.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.82	0.39
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	14 63.6	7 31.8	1 4.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.59	0.58
⑨	授業の進行速度は適切だった。	18 81.8	3 13.6	1 4.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.77	0.52

d. 熱意・相互作用

⑩	教員の熱意が伝わってきた。	21 95.5	1 4.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.95	0.21
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	21 95.5	1 4.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.95	0.21
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	21 95.5	1 4.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.95	0.21

e. 学生の自己評価

⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	19 86.4	3 13.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.86	0.34
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	17 77.3	5 22.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.77	0.42
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	16 72.7	3 13.6	2 9.1	1 4.5	0 0.0	0 0.0	4.55	0.84



code	1F0704	subject	英語LS1-2	NAMAE	Benjamin Tutchter
------	--------	---------	---------	-------	-------------------

<commnet>

Thank you for the comments you made about my classes, I was interested and very happy to read them. This was an interesting and enjoyable class to teach and seeing their progression individually and as a group over the year was very rewarding for me. Red Cross classes are always different from other universities classes in the kindness and consideration of the students and it is a pleasure for me to work with these students.

授業(講義)評価結果(2015年度後期)

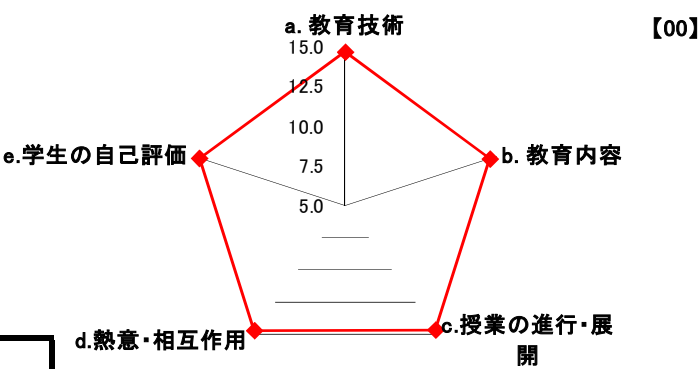
履修者数	23	回収数	20	回収率	87.0%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:英語LS1-2

担当者:

Tony Dani

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,245	13.07	2.33	20	14.65	1.06
b. 教育内容	3,260	12.97	2.46	20	14.55	1.07
c.授業の進行・展開	3,255	13.41	2.09	20	14.65	0.91
d.熱意・相互作用	3,247	13.27	2.27	20	14.70	0.90
e.学生の自己評価	3,251	13.88	1.63	20	14.60	0.97



N=20

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	18 90.0	2 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.90	0.30
②	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	18 90.0	1 5.0	1 5.0	0 0.0	0 0.0	4.85	0.48
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	18 90.0	2 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.90	0.30

b. 教育内容

④	授業の内容はわかりやすかった。	17 85.0	3 15.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.85	0.36
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	17 85.0	3 15.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.85	0.36
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	17 85.0	3 15.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.85	0.36

c. 授業の進行・展開

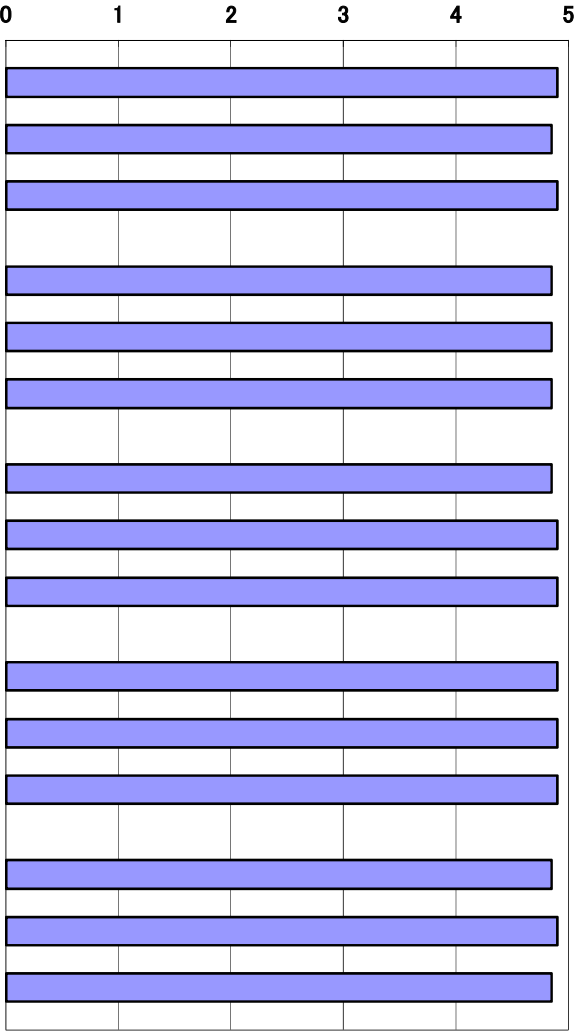
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	17 85.0	3 15.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.85	0.36
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	18 90.0	2 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.90	0.30
⑨	授業の進行速度は適切だった。	18 90.0	2 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.90	0.30

d. 熱意・相互作用

⑩	教員の熱意が伝わってきた。	18 90.0	2 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.90	0.30
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	18 90.0	2 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.90	0.30
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	18 90.0	2 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.90	0.30

e. 学生の自己評価

⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	17 85.0	3 15.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.85	0.36
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	18 90.0	2 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.90	0.30
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	17 85.0	3 15.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.85	0.36



code	1F0705	subject	英語LS1-2	NAMAE	Tony Dani
------	--------	---------	---------	-------	-----------

<commnet>

As with my other class, I was very glad to receive such positive comments and grading figures. As with every year, I try to make my classes as interesting and challenging for the students as possible and to create a relaxed atmosphere in which students are able to develop and expand their English Communication skills. I am particularly pleased to see that my idea of using a weekly 'photo diary' at the start of class has and continues to give my students a way into engaging in writing and speaking in a fun manner. The enthusiasm generated by the students as well as their valuable feedback, in turn, urges me on to develop new approaches and activities in my classes from year to year. I have learnt to never sit back and be too complacent when it comes to my teaching.

授業(講義)評価結果(2015年度後期)

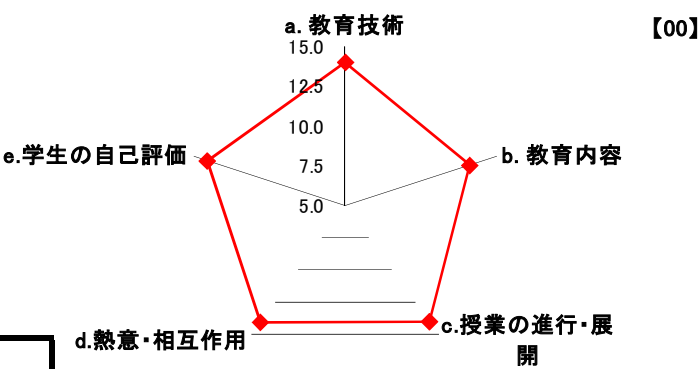
履修者数	20	回収数	18	回収率	90.0%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:英語LS1-2

担当者:

David Baldwin

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,245	13.07	2.33	18	14.00	1.67
b. 教育内容	3,260	12.97	2.46	18	13.22	2.76
c.授業の進行・展開	3,255	13.41	2.09	18	14.00	1.67
d.熱意・相互作用	3,247	13.27	2.27	18	14.06	1.93
e.学生の自己評価	3,251	13.88	1.63	18	14.11	1.37



N=18

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	13 72.2	5 27.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.72	0.45
②	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	13 72.2	5 27.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.72	0.45
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	13 72.2	3 16.7	1 5.6	1 5.6	0 0.0	4.56	0.83

b. 教育内容

④	授業の内容はわかりやすかった。	12 66.7	3 16.7	1 5.6	2 11.1	0 0.0	4.39	1.01
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	12 66.7	3 16.7	2 11.1	1 5.6	0 0.0	4.44	0.90
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	11 61.1	4 22.2	2 11.1	1 5.6	0 0.0	4.39	0.89

c. 授業の進行・展開

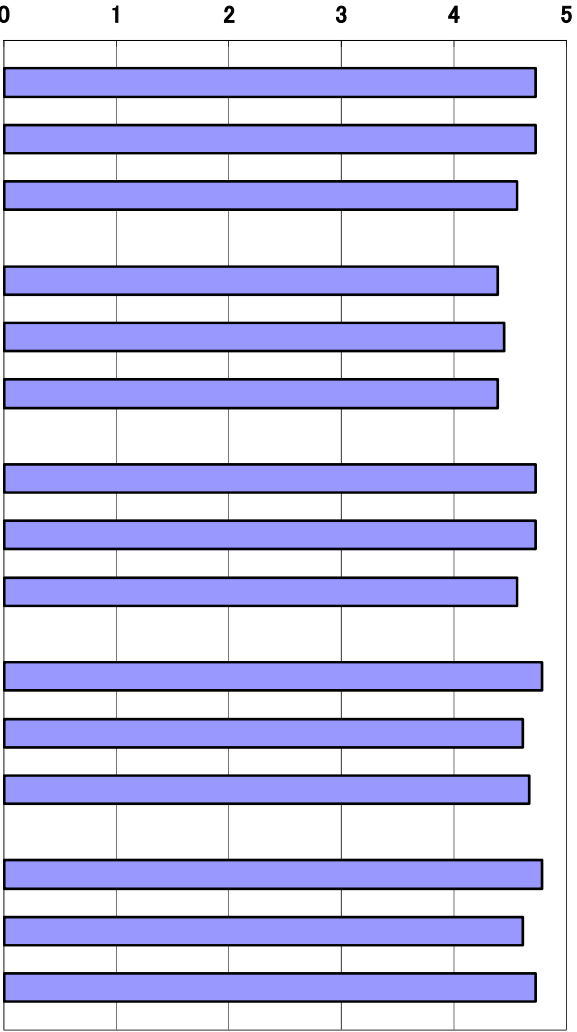
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	14 77.8	3 16.7	1 5.6	0 0.0	0 0.0	4.72	0.56
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	14 77.8	3 16.7	1 5.6	0 0.0	0 0.0	4.72	0.56
⑨	授業の進行速度は適切だった。	13 72.2	3 16.7	1 5.6	1 5.6	0 0.0	4.56	0.83

d. 熱意・相互作用

⑩	教員の熱意が伝わってきた。	15 83.3	2 11.1	1 5.6	0 0.0	0 0.0	4.78	0.53
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	14 77.8	2 11.1	1 5.6	1 5.6	0 0.0	4.61	0.83
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	14 77.8	2 11.1	2 11.1	0 0.0	0 0.0	4.67	0.67

e. 学生の自己評価

⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	14 77.8	4 22.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.78	0.42
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	13 72.2	3 16.7	2 11.1	0 0.0	0 0.0	4.61	0.68
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	14 77.8	3 16.7	1 5.6	0 0.0	0 0.0	4.72	0.56



code	1F0706	subject	英語LS1-2	NAMAE	David Baldwin
------	--------	---------	---------	-------	---------------

<commnet>

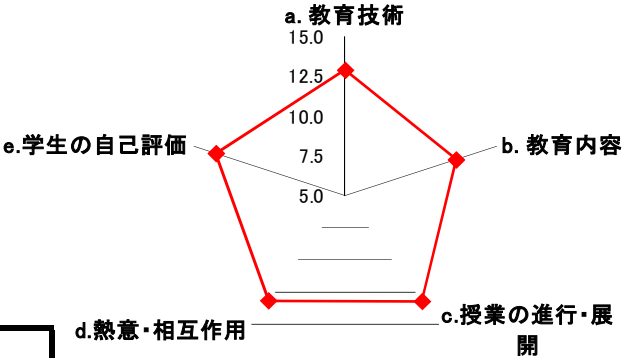
It was fantastic working with everyone in this class. I got to school early to prepare and always looked forward to teaching you. Using English in class as much as possible is a good way to learn it and you all tried everything I brought in. Thank you. B successful class.

授業(講義)評価結果(2015年度後期)

履修者数	43	回収数	37	回収率	86.0%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:英語R2-2
担当者:
富田佳子

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,245	13.07	2.33	37	12.89	2.32
b. 教育内容	3,260	12.97	2.46	37	12.32	2.93
c.授業の進行・展開	3,255	13.41	2.09	37	13.19	2.32
d.熱意・相互作用	3,247	13.27	2.27	37	13.16	2.42
e.学生の自己評価	3,251	13.88	1.63	37	13.54	2.02



N=37

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	18 48.6	16 43.2	2 5.4	1 2.7	0 0.0	0 0.0	4.38	0.71
②	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	17 45.9	12 32.4	4 10.8	3 8.1	1 2.7	0 0.0	4.11	1.06
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	20 54.1	14 37.8	1 2.7	2 5.4	0 0.0	0 0.0	4.41	0.79

b. 教育内容

④	授業の内容はわかりやすかった。	15 40.5	12 32.4	6 16.2	2 5.4	2 5.4	0 0.0	3.97	1.13
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	18 48.6	10 27.0	5 13.5	4 10.8	0 0.0	0 0.0	4.14	1.02
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	19 51.4	12 32.4	3 8.1	1 2.7	2 5.4	0 0.0	4.22	1.07

c.授業の進行・展開

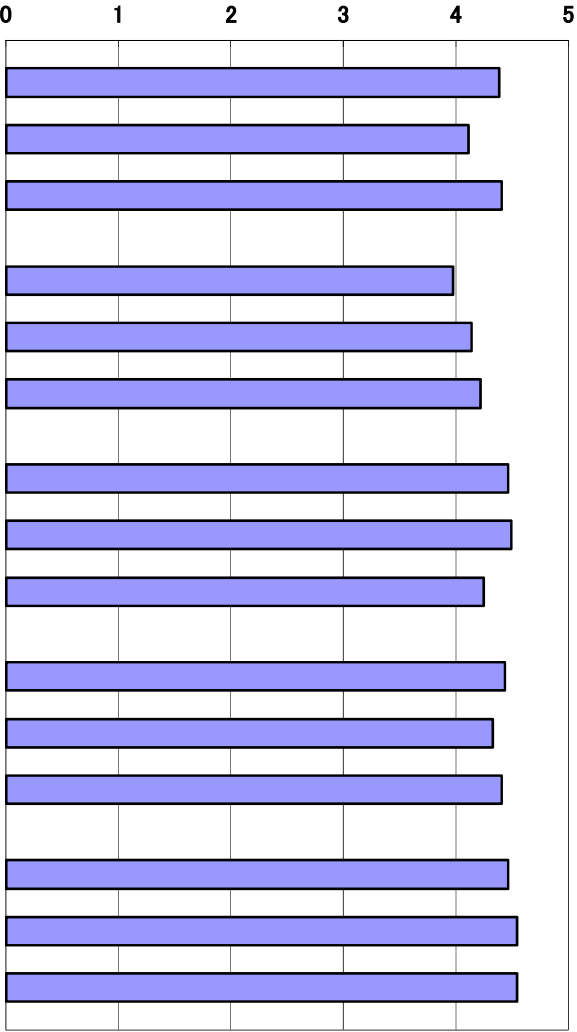
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	22 59.5	12 32.4	1 2.7	2 5.4	0 0.0	0 0.0	4.46	0.79
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	22 59.5	12 32.4	2 5.4	1 2.7	0 0.0	0 0.0	4.49	0.72
⑨	授業の進行速度は適切だった。	18 48.6	14 37.8	2 5.4	2 5.4	1 2.7	0 0.0	4.24	0.97

d.熱意・相互作用

⑩	教員の熱意が伝わってきた。	20 54.1	14 37.8	2 5.4	1 2.7	0 0.0	0 0.0	4.43	0.72
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	21 56.8	11 29.7	2 5.4	2 5.4	1 2.7	0 0.0	4.32	0.99
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	22 59.5	10 27.0	3 8.1	2 5.4	0 0.0	0 0.0	4.41	0.85

e.学生の自己評価

⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	21 56.8	13 35.1	2 5.4	1 2.7	0 0.0	0 0.0	4.46	0.72
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	23 62.2	12 32.4	1 2.7	1 2.7	0 0.0	0 0.0	4.54	0.68
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	23 62.2	12 32.4	1 2.7	1 2.7	0 0.0	0 0.0	4.54	0.68



科目コード	1F0901	科目名	英語R2-2	担当教員名	富田佳子
-------	--------	-----	--------	-------	------

<教員からのコメント>

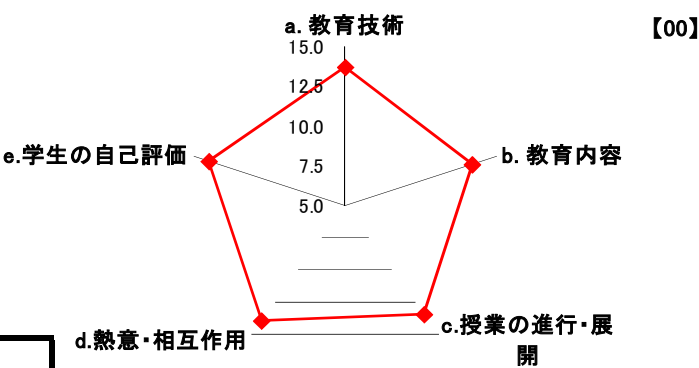
毎回復習テストがあり、テキストを精読する授業であり、学生のみなさんの参加度が大きく関わるものでしたが英語の基礎となる力を少しでもつけていただけていたら幸いです。皆さんのこれからの御活躍に英語がひとつの武器として力を発揮してくれることを願っています。

授業(講義)評価結果(2015年度後期)

履修者数	39	回収数	38	回収率	97.4%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:英語R2-2
担当者:
皆川健次郎

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,245	13.07	2.33	38	13.68	1.78
b. 教育内容	3,260	12.97	2.46	38	13.39	1.83
c.授業の進行・展開	3,255	13.41	2.09	38	13.42	1.70
d.熱意・相互作用	3,247	13.27	2.27	37	13.92	1.40
e.学生の自己評価	3,251	13.88	1.63	38	14.00	1.24



N=38

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	23 60.5	13 34.2	2 5.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.55	0.59
②	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	23 60.5	13 34.2	2 5.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.55	0.59
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	24 63.2	13 34.2	0 0.0	1 2.6	0 0.0	0 0.0	4.58	0.63

b. 教育内容

④	授業の内容はわかりやすかった。	24 63.2	11 28.9	3 7.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.55	0.64
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	18 47.4	17 44.7	3 7.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.39	0.63
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	20 52.6	16 42.1	1 2.6	1 2.6	0 0.0	0 0.0	4.45	0.68

c. 授業の進行・展開

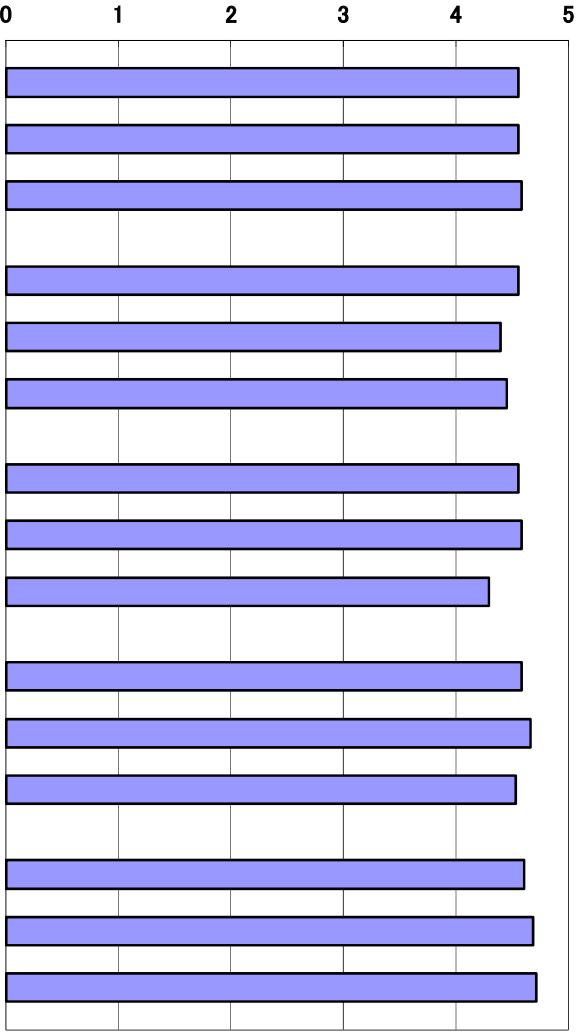
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	22 57.9	15 39.5	1 2.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.55	0.55
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	24 63.2	12 31.6	2 5.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.58	0.59
⑨	授業の進行速度は適切だった。	19 50.0	11 28.9	8 21.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.29	0.79

d. 熱意・相互作用

⑩	教員の熱意が伝わってきた。	23 60.5	14 36.8	1 2.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.58	0.54
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	25 65.8	13 34.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.66	0.47
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	24 63.2	13 34.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 2.6	4.53	0.88

e. 学生の自己評価

⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	23 60.5	15 39.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.61	0.49
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	26 68.4	12 31.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.68	0.46
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	27 71.1	11 28.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.71	0.45



科目コード	1F0902	科目名	英語R2-2	担当教員名	皆川健次郎
-------	--------	-----	--------	-------	-------

<教員からのコメント>

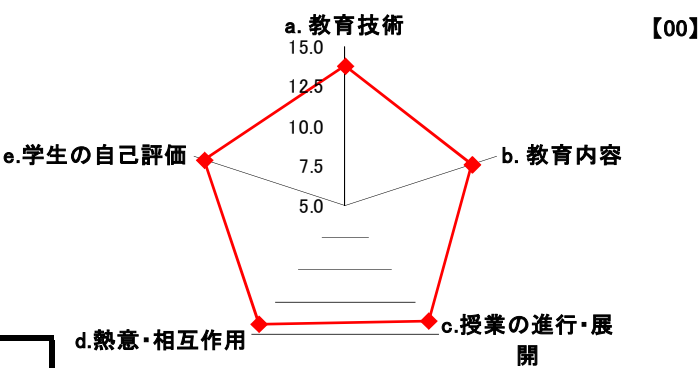
アンケートありがとうございました。毎年言われていますので復習にはあまり時間をかけずに進めて行きたいと思います。

授業(講義)評価結果(2015年度後期)

履修者数	35	回収数	30	回収率	85.7%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:英語R2-2
担当者:
富田佳子

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,245	13.07	2.33	30	13.77	1.58
b. 教育内容	3,260	12.97	2.46	30	13.37	2.18
c.授業の進行・展開	3,255	13.41	2.09	30	13.93	1.46
d.熱意・相互作用	3,247	13.27	2.27	30	14.20	1.30
e.学生の自己評価	3,251	13.88	1.63	30	14.30	1.07



N=30

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	20 66.7	9 30.0	1 3.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.63	0.55
②	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	17 56.7	11 36.7	2 6.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.50	0.62
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	21 70.0	7 23.3	2 6.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.63	0.60

b. 教育内容

④	授業の内容はわかりやすかった。	18 60.0	9 30.0	2 6.7	1 3.3	0 0.0	0 0.0	4.47	0.76
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	19 63.3	7 23.3	3 10.0	1 3.3	0 0.0	0 0.0	4.47	0.81
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	17 56.7	9 30.0	4 13.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.43	0.72

c. 授業の進行・展開

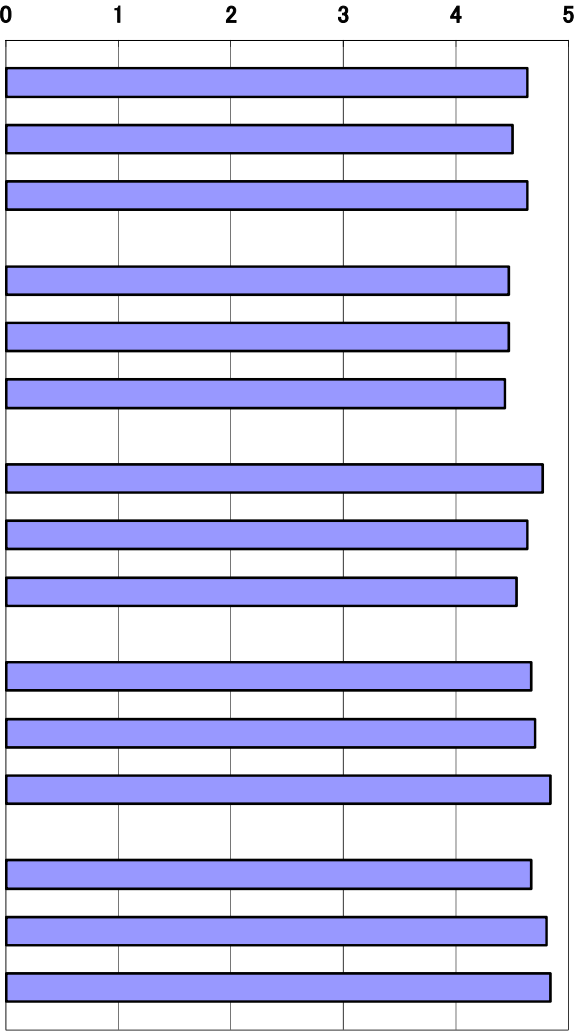
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	23 76.7	7 23.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.77	0.42
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	21 70.0	8 26.7	0 0.0	1 3.3	0 0.0	0 0.0	4.63	0.66
⑨	授業の進行速度は適切だった。	18 60.0	10 33.3	2 6.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.53	0.62

d. 熱意・相互作用

⑩	教員の熱意が伝わってきた。	22 73.3	6 20.0	2 6.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.67	0.60
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	22 73.3	7 23.3	1 3.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.70	0.53
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	25 83.3	5 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.83	0.37

e. 学生の自己評価

⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	20 66.7	10 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.67	0.47
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	24 80.0	6 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.80	0.40
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	25 83.3	5 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.83	0.37



科目コード	1F0903	科目名	英語R2-2	担当教員名	富田佳子
-------	--------	-----	--------	-------	------

<教員からのコメント>

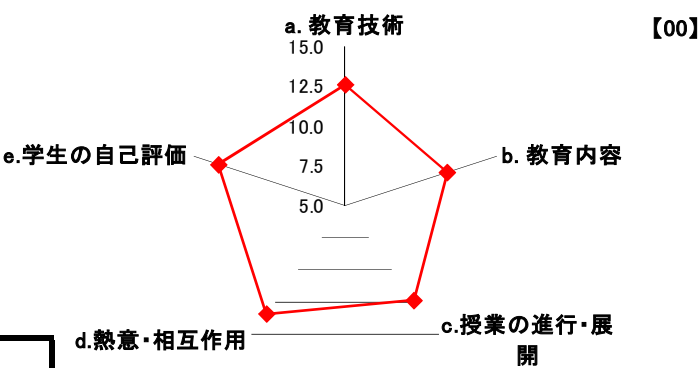
毎回復習テストがあり、テキストを精読する授業であり、学生のみなさんの参加度が大きく関わるものでしたが英語の基礎となる力を少しでもつけていただけていたら幸いです。皆さんのこれからの御活躍に英語がひとつの武器として力を発揮してくれることを願っています。

授業(講義)評価結果(2015年度後期)

履修者数	36	回収数	33	回収率	91.7%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:英語R2-2
担当者:
皆川健次郎

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,245	13.07	2.33	32	12.59	2.98
b. 教育内容	3,260	12.97	2.46	33	11.73	3.11
c.授業の進行・展開	3,255	13.41	2.09	33	12.33	2.90
d.熱意・相互作用	3,247	13.27	2.27	33	13.39	2.46
e.学生の自己評価	3,251	13.88	1.63	33	13.36	1.90



N=33

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	17 51.5	8 24.2	4 12.1	2 6.1	1 3.0	1 3.0	4.06	1.28
②	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	17 51.5	10 30.3	3 9.1	2 6.1	1 3.0	0 0.0	4.21	1.04
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	17 51.5	10 30.3	4 12.1	1 3.0	1 3.0	0 0.0	4.24	0.99

b. 教育内容

④	授業の内容はわかりやすかった。	16 48.5	13 39.4	2 6.1	1 3.0	1 3.0	0 0.0	4.27	0.93
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	10 30.3	12 36.4	5 15.2	4 12.1	2 6.1	0 0.0	3.73	1.19
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	12 36.4	10 30.3	4 12.1	4 12.1	3 9.1	0 0.0	3.73	1.31

c. 授業の進行・展開

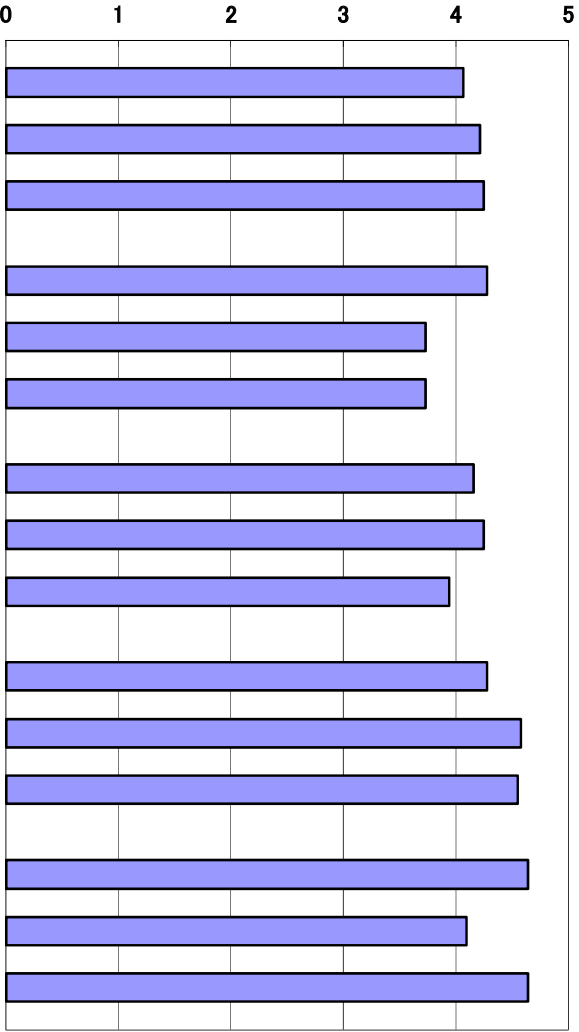
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	16 48.5	10 30.3	4 12.1	2 6.1	1 3.0	0 0.0	4.15	1.05
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	16 48.5	12 36.4	3 9.1	1 3.0	1 3.0	0 0.0	4.24	0.95
⑨	授業の進行速度は適切だった。	15 45.5	8 24.2	5 15.2	3 9.1	2 6.1	0 0.0	3.94	1.23

d. 熱意・相互作用

⑩	教員の熱意が伝わってきた。	17 51.5	11 33.3	3 9.1	1 3.0	1 3.0	0 0.0	4.27	0.96
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	23 69.7	8 24.2	1 3.0	0 0.0	1 3.0	0 0.0	4.58	0.82
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	23 69.7	7 21.2	2 6.1	0 0.0	1 3.0	0 0.0	4.55	0.86

e. 学生の自己評価

⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	22 66.7	10 30.3	1 3.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.64	0.54
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	16 48.5	7 21.2	8 24.2	1 3.0	1 3.0	0 0.0	4.09	1.05
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	25 75.8	6 18.2	1 3.0	0 0.0	1 3.0	0 0.0	4.64	0.81



科目コード	1F0904	科目名	英語R2-2	担当教員名	皆川健次郎
-------	--------	-----	--------	-------	-------

<教員からのコメント>

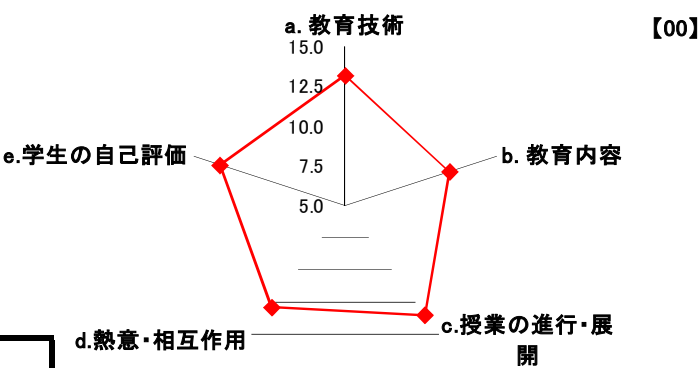
アンケートありがとうございました。毎年言われていますので復習にはあまり時間をかけずに進めて行きたいと思います。

授業(講義)評価結果(2015年度後期)

履修者数	10	回収数	8	回収率	80.0%
------	----	-----	---	-----	-------

科目:英語W2-2
担当者:
佐藤真

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,245	13.07	2.33	6	13.17	1.34
b. 教育内容	3,260	12.97	2.46	8	11.88	2.03
c.授業の進行・展開	3,255	13.41	2.09	8	13.50	1.50
d.熱意・相互作用	3,247	13.27	2.27	8	12.88	1.45
e.学生の自己評価	3,251	13.88	1.63	8	13.25	1.09



N=8

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	4 50.0	4 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.50	0.50
②	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	3 37.5	3 37.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 25.0	3.38	2.00
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	3 37.5	4 50.0	1 12.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.25	0.66

b. 教育内容

④	授業の内容はわかりやすかった。	2 25.0	5 62.5	0 0.0	1 12.5	0 0.0	0 0.0	4.00	0.87
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	1 12.5	5 62.5	1 12.5	1 12.5	0 0.0	0 0.0	3.75	0.83
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	2 25.0	5 62.5	1 12.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.13	0.60

c. 授業の進行・展開

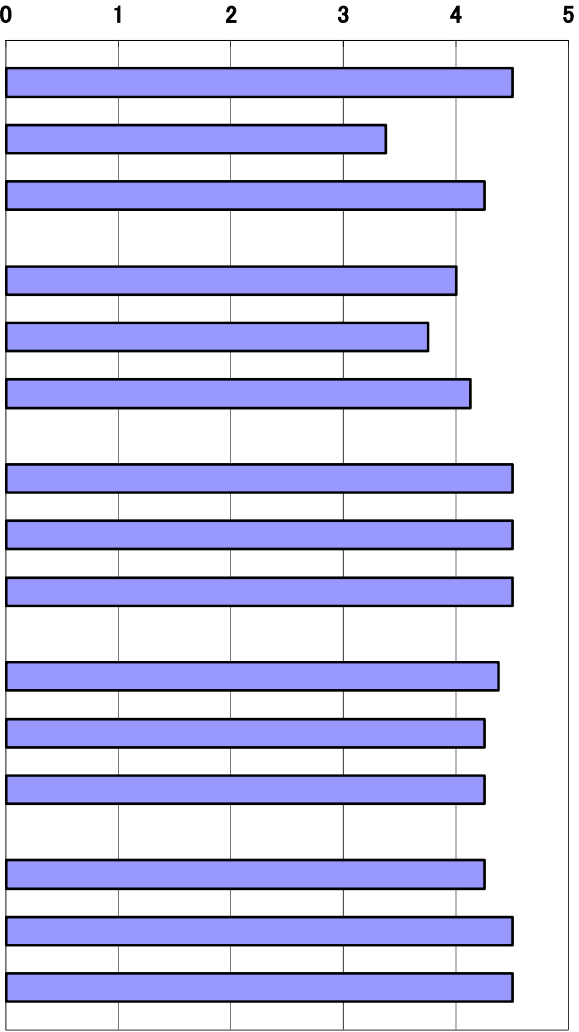
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	4 50.0	4 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.50	0.50
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	4 50.0	4 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.50	0.50
⑨	授業の進行速度は適切だった。	4 50.0	4 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.50	0.50

d. 熱意・相互作用

⑩	教員の熱意が伝わってきた。	3 37.5	5 62.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.38	0.48
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	3 37.5	4 50.0	1 12.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.25	0.66
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	3 37.5	4 50.0	1 12.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.25	0.66

e. 学生の自己評価

⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	2 25.0	6 75.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.25	0.43
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	4 50.0	4 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.50	0.50
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	4 50.0	4 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.50	0.50



科目コード	1F1100	科目名	英語W2-2	担当教員名	佐藤 眞
-------	--------	-----	--------	-------	------

<教員からのコメント>

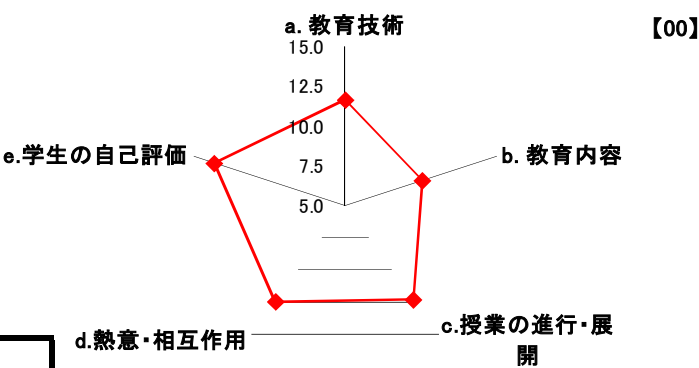
提出するものを成績評価の中心に据えるのは、書いたものを提出する授業では当然のことだと思いますので、今後もそうしていきます。

授業(講義)評価結果(2015年度後期)

履修者数	11	回収数	11	回収率	100.0%
------	----	-----	----	-----	--------

科目:英語W2-2
担当者:
佐藤真

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,245	13.07	2.33	11	11.64	1.92
b. 教育内容	3,260	12.97	2.46	11	10.09	3.23
c. 授業の進行・展開	3,255	13.41	2.09	11	12.27	2.63
d. 熱意・相互作用	3,247	13.27	2.27	11	12.45	3.11
e. 学生の自己評価	3,251	13.88	1.63	11	13.64	1.43



N=11

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	2	4	5	0	0	0	3.73	0.75
②	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	2	5	3	1	0	0	3.73	0.86
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	3	7	1	0	0	0	4.18	0.57

b. 教育内容

④	授業の内容はわかりやすかった。	1	4	3	1	2	0	3.09	1.24
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	2	3	3	1	2	0	3.18	1.34
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	4	4	1	1	1	0	3.82	1.27

c. 授業の進行・展開

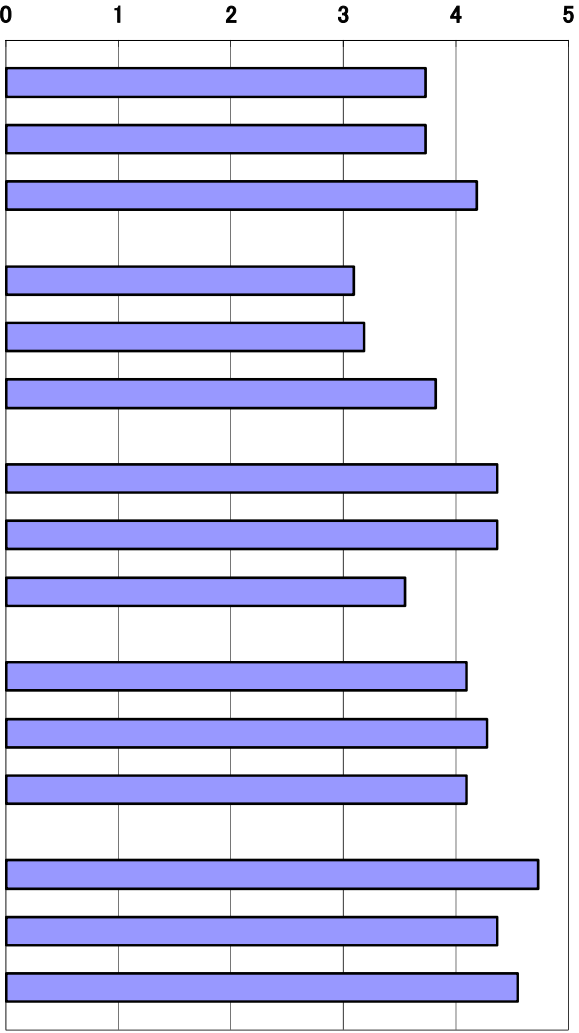
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	6	4	0	1	0	0	4.36	0.88
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	5	5	1	0	0	0	4.36	0.64
⑨	授業の進行速度は適切だった。	3	5	0	1	2	0	3.55	1.44

d. 熱意・相互作用

⑩	教員の熱意が伝わってきた。	5	3	2	1	0	0	4.09	1.00
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	6	4	0	0	1	0	4.27	1.14
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	6	2	2	0	1	0	4.09	1.24

e. 学生の自己評価

⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	8	3	0	0	0	0	4.73	0.45
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	5	5	1	0	0	0	4.36	0.64
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	6	5	0	0	0	0	4.55	0.50



科目コード	1F1103	科目名	英語W2-2	担当教員名	佐藤真
-------	--------	-----	--------	-------	-----

＜教員からのコメント＞

編入生の中から大学院へ進む人もいる現状を考えると、多少難しいと感じる学生がいてもこのぐらいの内容は身につけてほしいと思います。返却する添削済みの作文に書いている「改良するには」という部分は、学生によって書く内容を変えていますので、個々の学生への要求は異なっているのが実情です。

授業(講義)評価結果(2015年度後期)

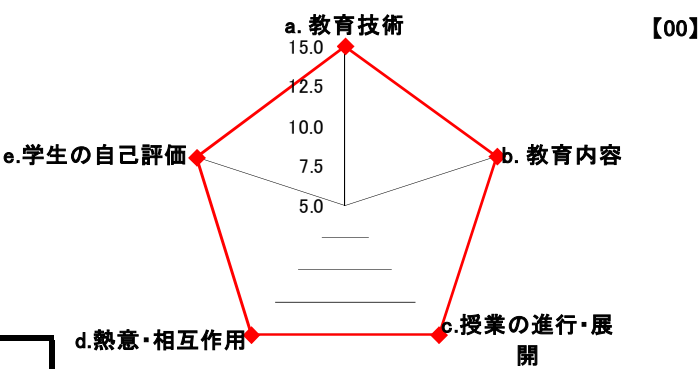
履修者数	6	回収数	5	回収率	83.3%
------	---	-----	---	-----	-------

科目:英語文献を読むⅡ

担当者:

川崎修一

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,245	13.07	2.33	5	15.00	0.00
b. 教育内容	3,260	12.97	2.46	5	15.00	0.00
c.授業の進行・展開	3,255	13.41	2.09	5	15.00	0.00
d.熱意・相互作用	3,247	13.27	2.27	5	15.00	0.00
e.学生の自己評価	3,251	13.88	1.63	5	14.80	0.40



N=5

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	5 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5.00	0.00
②	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	5 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5.00	0.00
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	5 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5.00	0.00

b. 教育内容

④	授業の内容はわかりやすかった。	5 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5.00	0.00
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	5 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5.00	0.00
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	5 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5.00	0.00

c. 授業の進行・展開

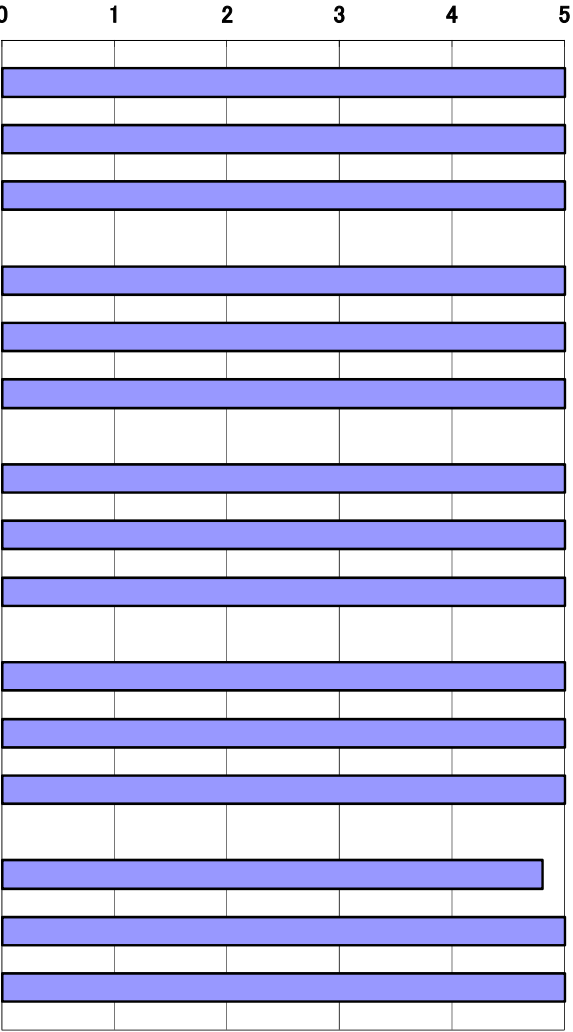
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	5 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5.00	0.00
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	5 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5.00	0.00
⑨	授業の進行速度は適切だった。	5 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5.00	0.00

d. 熱意・相互作用

⑩	教員の熱意が伝わってきた。	5 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5.00	0.00
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	5 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5.00	0.00
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	5 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5.00	0.00

e. 学生の自己評価

⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	4 80.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.80	0.40
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	5 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5.00	0.00
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	5 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5.00	0.00



科目コード	1F1500	科目名	英語文献を読むⅡ	担当教員名	川崎修一
-------	--------	-----	----------	-------	------

<教員からのコメント>

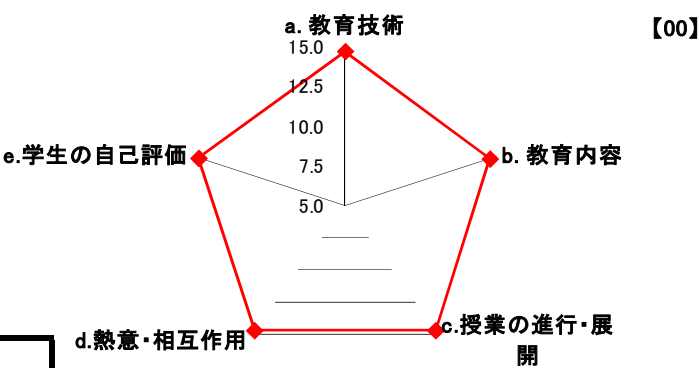
過分に高い評価をありがとうございました。素晴らしい受講生に恵まれ幸運でした。次回はもう少し学生がアクティブに授業に参加できるような授業構成にしたいと思います。

授業(講義)評価結果(2015年度後期)

履修者数	11	回収数	9	回収率	81.8%
------	----	-----	---	-----	-------

科目:中国語Ⅱ
担当者:
王英輝

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,245	13.07	2.33	9	14.67	0.94
b. 教育内容	3,260	12.97	2.46	9	14.56	0.96
c.授業の進行・展開	3,255	13.41	2.09	9	14.67	0.94
d.熱意・相互作用	3,247	13.27	2.27	9	14.67	0.94
e.学生の自己評価	3,251	13.88	1.63	9	14.67	0.67



N=9

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	8	1	0	0	0	0	4.89	0.31
②	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	8	1	0	0	0	0	4.89	0.31
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	8	1	0	0	0	0	4.89	0.31

b. 教育内容

④	授業の内容はわかりやすかった。	7	2	0	0	0	0	4.78	0.42
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	8	1	0	0	0	0	4.89	0.31
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	8	1	0	0	0	0	4.89	0.31

c. 授業の進行・展開

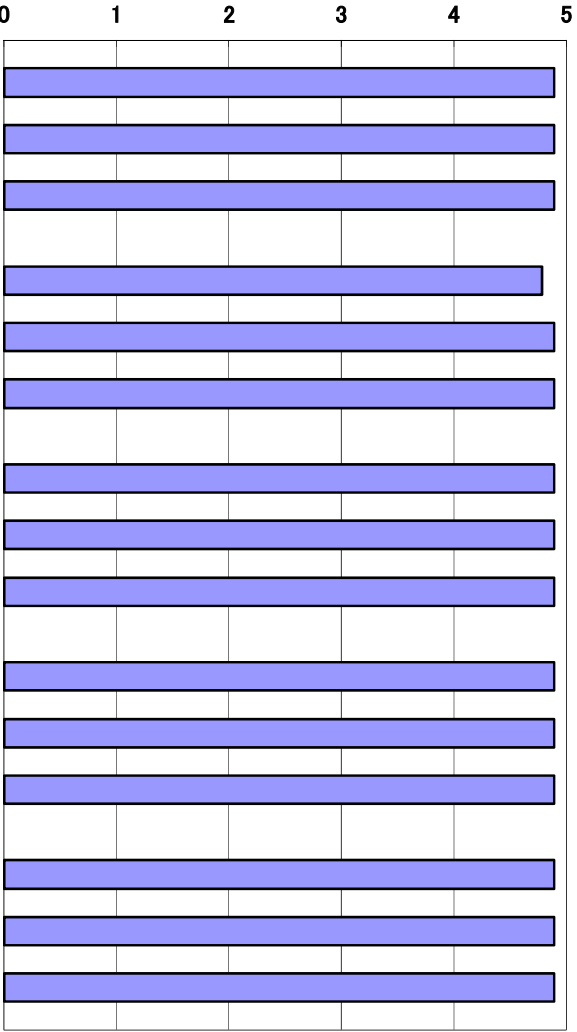
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	8	1	0	0	0	0	4.89	0.31
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	8	1	0	0	0	0	4.89	0.31
⑨	授業の進行速度は適切だった。	8	1	0	0	0	0	4.89	0.31

d. 熱意・相互作用

⑩	教員の熱意が伝わってきた。	8	1	0	0	0	0	4.89	0.31
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	8	1	0	0	0	0	4.89	0.31
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	8	1	0	0	0	0	4.89	0.31

e. 学生の自己評価

⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	8	1	0	0	0	0	4.89	0.31
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	8	1	0	0	0	0	4.89	0.31
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	8	1	0	0	0	0	4.89	0.31



科目コード	1F1701	科目名	中国語II	担当教員名	王英輝
-------	--------	-----	-------	-------	-----

<教員からのコメント>

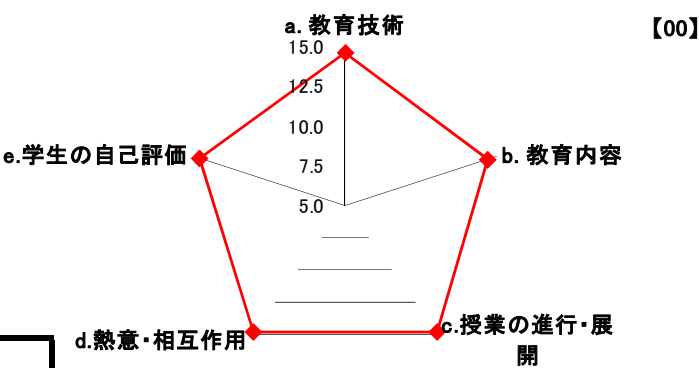
後期は履修人数が少なくなったこともあり、色々なクラス活動ができました。授業が楽しかったとのコメントをいただき、とても嬉しく思います。皆さんは授業にとってもまじめに取り込んで、中国語や中国の文化、中国人と日本人との違いなど、言葉以外の様々なことにも興味を持ってもらえて、よかったと思います。また、説明がわかりやすいとのコメントをたくさんいただき、どうもありがとうございます。これからも理解しやすいように工夫していきたいと思っています。

授業(講義)評価結果(2015年度後期)

履修者数	6	回収数	5	回収率	83.3%
------	---	-----	---	-----	-------

科目: 中国語Ⅱ
担当者:
王英輝

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,245	13.07	2.33	5	14.60	0.80
b. 教育内容	3,260	12.97	2.46	5	14.40	1.20
c. 授業の進行・展開	3,255	13.41	2.09	5	14.80	0.40
d. 熱意・相互作用	3,247	13.27	2.27	5	14.80	0.40
e. 学生の自己評価	3,251	13.88	1.63	5	14.60	0.49



N=5

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	4 80.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.80	0.40
②	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	4 80.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.80	0.40
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	5 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5.00	0.00

b. 教育内容

④	授業の内容はわかりやすかった。	4 80.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.80	0.40
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	4 80.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.80	0.40
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	4 80.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.80	0.40

c. 授業の進行・展開

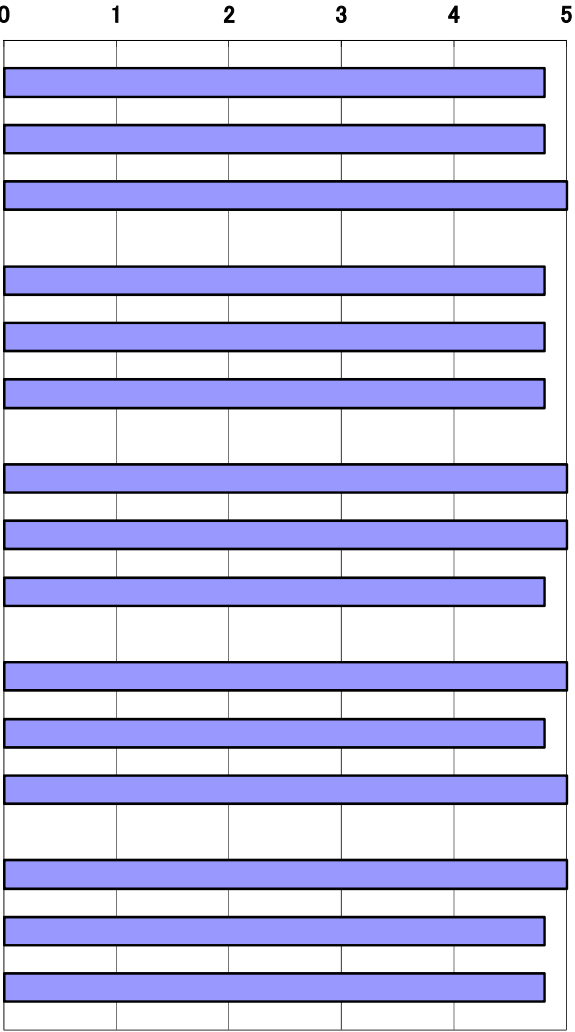
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	5 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5.00	0.00
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	5 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5.00	0.00
⑨	授業の進行速度は適切だった。	4 80.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.80	0.40

d. 熱意・相互作用

⑩	教員の熱意が伝わってきた。	5 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5.00	0.00
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	4 80.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.80	0.40
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	5 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5.00	0.00

e. 学生の自己評価

⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	5 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5.00	0.00
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	4 80.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.80	0.40
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	4 80.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.80	0.40



科目コード	1F1702	科目名	中国語II	担当教員名	王英輝
-------	--------	-----	-------	-------	-----

<教員からのコメント>

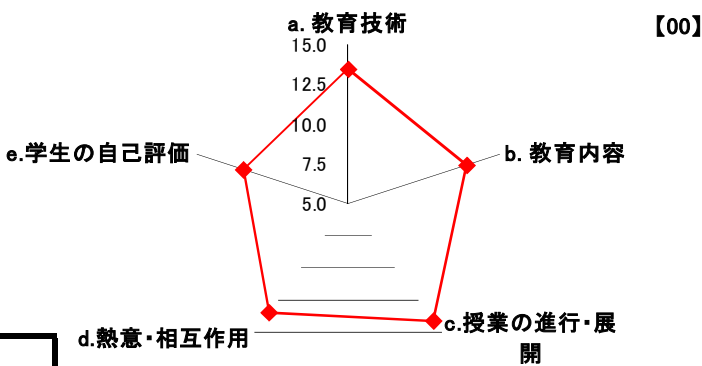
後期は履修人数が少なくなったこともあり、色々なクラス活動ができました。授業が楽しかったというコメントをいただき、とても嬉しく思います。皆さんは授業にとってもまじめに取り込んで、中国語や中国の文化、中国人と日本人との違いなど、言葉以外の様々なことにも興味を持ってもらえて、よかったと思います。これからも中国語を忘れないで、継続的に勉強してもらえたら、それ以上嬉しいことがないです。

授業(講義)評価結果(2015年度後期)

履修者数	12	回収数	11	回収率	91.7%
------	----	-----	----	-----	-------

科目: フランス語Ⅱ
担当者:
坂原真里

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,245	13.07	2.33	11	13.45	1.78
b. 教育内容	3,260	12.97	2.46	11	12.82	2.44
c. 授業の進行・展開	3,255	13.41	2.09	11	14.09	1.31
d. 熱意・相互作用	3,247	13.27	2.27	11	13.45	1.67
e. 学生の自己評価	3,251	13.88	1.63	11	11.91	3.18



N=11

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	6 54.5	5 45.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.55	0.50
②	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	6 54.5	4 36.4	1 9.1	0 0.0	0 0.0	4.45	0.66
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	7 63.6	3 27.3	0 0.0	1 9.1	0 0.0	4.45	0.89

b. 教育内容

④	授業の内容はわかりやすかった。	4 36.4	5 45.5	2 18.2	0 0.0	0 0.0	4.18	0.72
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	6 54.5	3 27.3	1 9.1	1 9.1	0 0.0	4.27	0.96
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	6 54.5	4 36.4	0 0.0	1 9.1	0 0.0	4.36	0.88

c. 授業の進行・展開

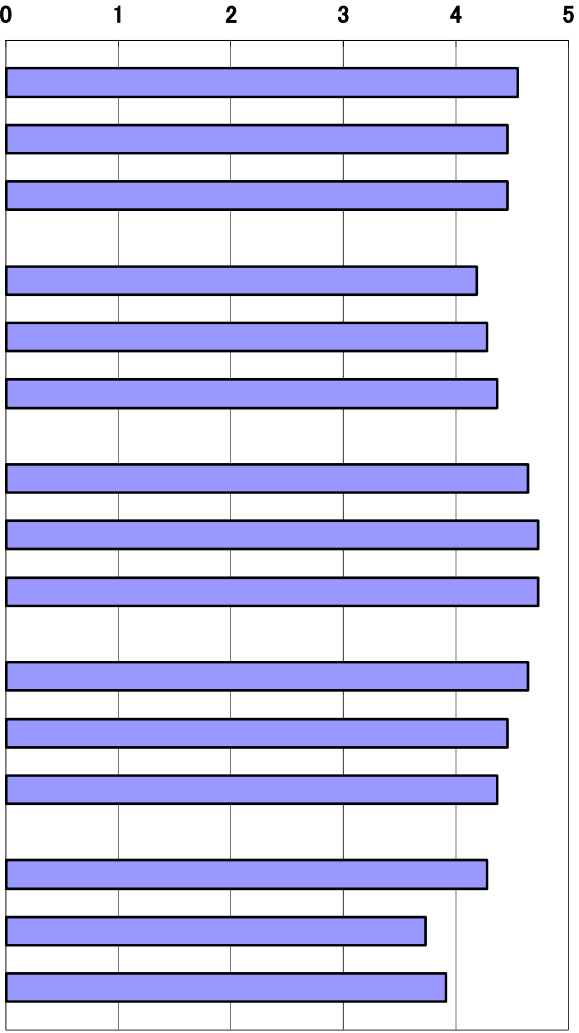
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	7 63.6	4 36.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.64	0.48
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	8 72.7	3 27.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.73	0.45
⑨	授業の進行速度は適切だった。	8 72.7	3 27.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.73	0.45

d. 熱意・相互作用

⑩	教員の熱意が伝わってきた。	7 63.6	4 36.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.64	0.48
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	5 45.5	6 54.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.45	0.50
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	6 54.5	4 36.4	0 0.0	1 9.1	0 0.0	4.36	0.88

e. 学生の自己評価

⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	5 45.5	4 36.4	2 18.2	0 0.0	0 0.0	4.27	0.75
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	5 45.5	2 18.2	0 0.0	4 36.4	0 0.0	3.73	1.35
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	5 45.5	3 27.3	0 0.0	3 27.3	0 0.0	3.91	1.24



科目コード	1F1901	科目名	フランス語Ⅱ	担当教員名	坂原眞里
-------	--------	-----	--------	-------	------

<教員からのコメント>

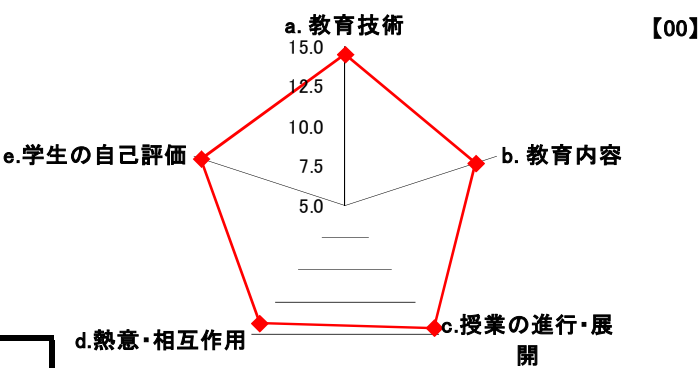
夏休みのブランクを経て学習内容のレベルが上がるので、難しいと感じる学生もいます。学生の理解度を見ながら、リラックスして学べる環境作りを心がけています。

授業(講義)評価結果(2015年度後期)

履修者数	8	回収数	8	回収率	100.0%
------	---	-----	---	-----	--------

科目: フランス語Ⅱ
担当者:
坂原真里

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,245	13.07	2.33	8	14.50	1.00
b. 教育内容	3,260	12.97	2.46	8	13.63	1.58
c. 授業の進行・展開	3,255	13.41	2.09	8	14.50	1.00
d. 熱意・相互作用	3,247	13.27	2.27	8	14.13	1.54
e. 学生の自己評価	3,251	13.88	1.63	8	14.50	1.00



N=8

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	7 87.5	1 12.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.88	0.33
②	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	7 87.5	1 12.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.88	0.33
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	6 75.0	2 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.75	0.43

b. 教育内容

④	授業の内容はわかりやすかった。	5 62.5	2 25.0	1 12.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.50	0.71
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	5 62.5	3 37.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.63	0.48
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	4 50.0	4 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.50	0.50

c. 授業の進行・展開

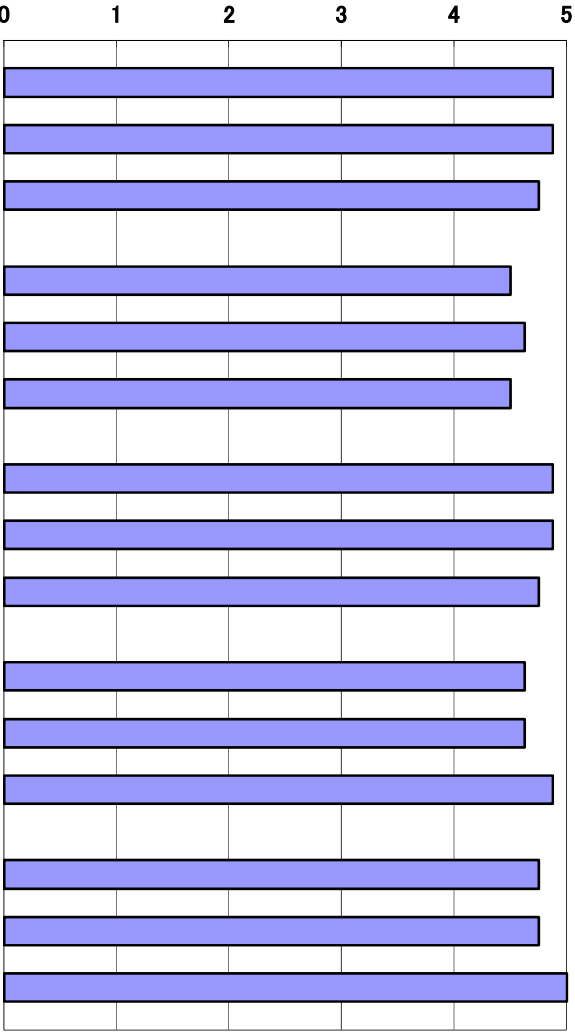
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	7 87.5	1 12.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.88	0.33
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	7 87.5	1 12.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.88	0.33
⑨	授業の進行速度は適切だった。	6 75.0	2 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.75	0.43

d. 熱意・相互作用

⑩	教員の熱意が伝わってきた。	6 75.0	1 12.5	1 12.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.63	0.70
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	6 75.0	1 12.5	1 12.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.63	0.70
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	7 87.5	1 12.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.88	0.33

e. 学生の自己評価

⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	7 87.5	0 0.0	1 12.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.75	0.66
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	6 75.0	2 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.75	0.43
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	8 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5.00	0.00



科目コード	1F1902	科目名	フランス語Ⅱ	担当教員名	坂原真里
-------	--------	-----	--------	-------	------

<教員からのコメント>

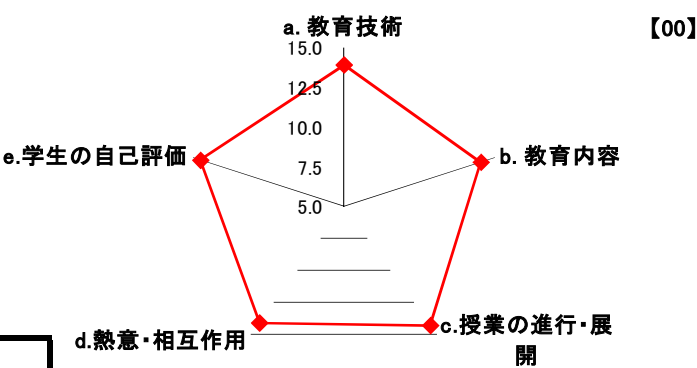
夏休みのブランクを経て学習内容のレベルが上がるので、難しいと感じる学生もいます。学生の理解度を見ながら、リラックスして学べる環境作りを心がけています。

授業(講義)評価結果(2015年度後期)

履修者数	15	回収数	15	回収率	100.0%
------	----	-----	----	-----	--------

科目:基礎ゼミⅡ
担当者:
遠藤公久

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,245	13.07	2.33	15	13.93	1.39
b. 教育内容	3,260	12.97	2.46	15	14.07	1.34
c.授業の進行・展開	3,255	13.41	2.09	15	14.27	1.12
d.熱意・相互作用	3,247	13.27	2.27	15	14.07	1.44
e.学生の自己評価	3,251	13.88	1.63	15	14.53	1.02



N=15

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	10 66.7	5 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.67	0.47
②	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	9 60.0	6 40.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.60	0.49
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	10 66.7	5 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.67	0.47

b. 教育内容

④	授業の内容はわかりやすかった。	10 66.7	5 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.67	0.47
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	10 66.7	5 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.67	0.47
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	11 73.3	4 26.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.73	0.44

c. 授業の進行・展開

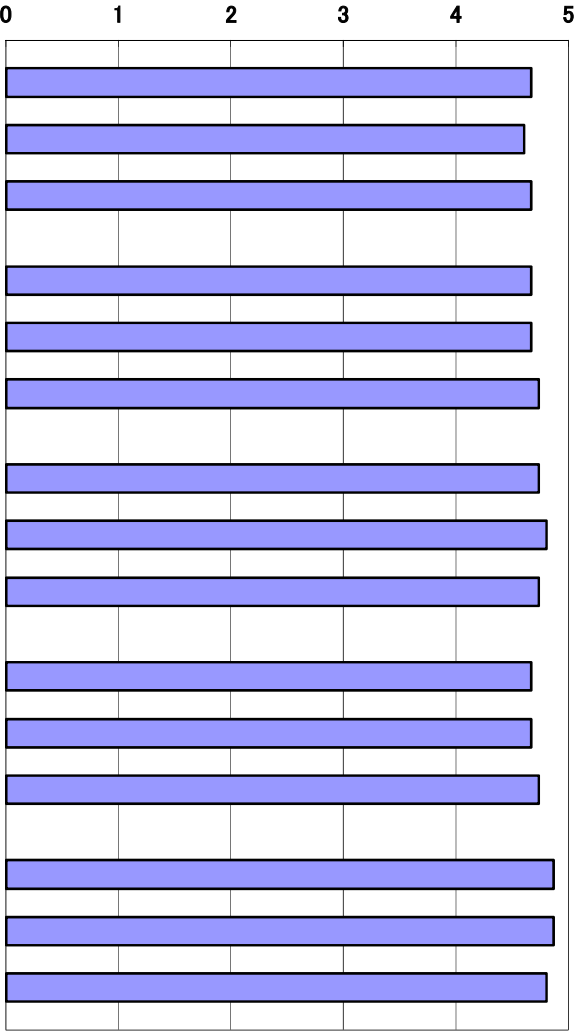
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	11 73.3	4 26.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.73	0.44
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	12 80.0	3 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.80	0.40
⑨	授業の進行速度は適切だった。	11 73.3	4 26.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.73	0.44

d. 熱意・相互作用

⑩	教員の熱意が伝わってきた。	11 73.3	3 20.0	1 6.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.67	0.60
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	10 66.7	5 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.67	0.47
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	11 73.3	4 26.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.73	0.44

e. 学生の自己評価

⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	13 86.7	2 13.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.87	0.34
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	13 86.7	2 13.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.87	0.34
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	12 80.0	3 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.80	0.40



科目コード	1G0201	科目名	基礎ゼミⅡ	担当教員名	遠藤公久
-------	--------	-----	-------	-------	------

＜教員からのコメント＞

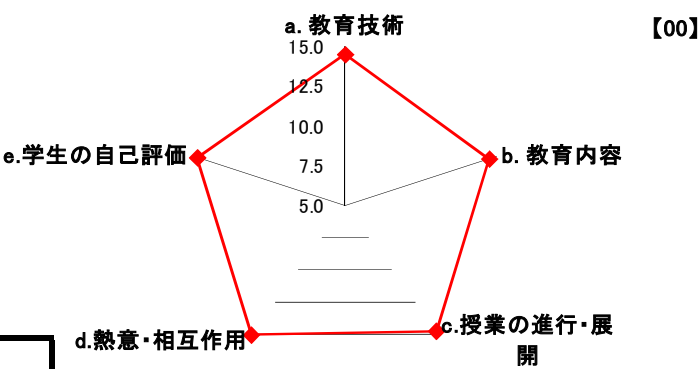
とくにコメントはありませんでした。比較的高い評価をいただき、少し安心しました。

授業(講義)評価結果(2015年度後期)

履修者数	9	回収数	8	回収率	88.9%
------	---	-----	---	-----	-------

科目:基礎ゼミⅡ
担当者:
川崎修一

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,245	13.07	2.33	8	14.50	0.87
b. 教育内容	3,260	12.97	2.46	8	14.50	1.00
c.授業の進行・展開	3,255	13.41	2.09	8	14.75	0.66
d.熱意・相互作用	3,247	13.27	2.27	8	15.00	0.00
e.学生の自己評価	3,251	13.88	1.63	8	14.75	0.43



N=8

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	7 87.5	1 12.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.88	0.33
②	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	6 75.0	2 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.75	0.43
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	7 87.5	1 12.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.88	0.33

b. 教育内容

④	授業の内容はわかりやすかった。	7 87.5	1 12.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.88	0.33
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	7 87.5	1 12.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.88	0.33
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	6 75.0	2 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.75	0.43

c. 授業の進行・展開

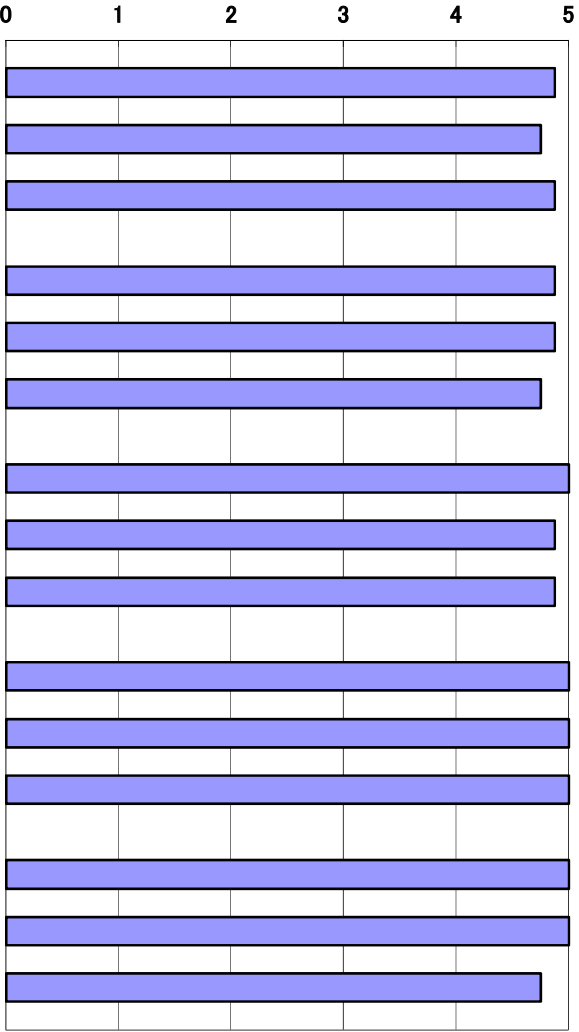
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	8 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5.00	0.00
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	7 87.5	1 12.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.88	0.33
⑨	授業の進行速度は適切だった。	7 87.5	1 12.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.88	0.33

d. 熱意・相互作用

⑩	教員の熱意が伝わってきた。	8 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5.00	0.00
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	8 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5.00	0.00
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	8 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5.00	0.00

e. 学生の自己評価

⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	8 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5.00	0.00
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	8 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5.00	0.00
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	6 75.0	2 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.75	0.43



科目コード	1G0202	科目名	基礎ゼミⅡ	担当教員名	川崎修一
-------	--------	-----	-------	-------	------

<教員からのコメント>

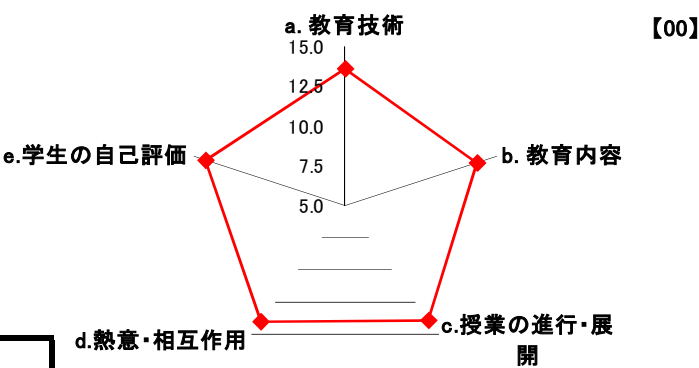
過分に高い評価をありがとうございました。素晴らしい受講生に恵まれ幸運でした。少し難解なトピックも扱いましたので、次回はもう少し取り組みやすいものに変更したいと思います。

授業(講義)評価結果(2015年度後期)

履修者数	10	回収数	10	回収率	100.0%
------	----	-----	----	-----	--------

科目:基礎ゼミⅡ
担当者:
佐藤真

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,245	13.07	2.33	10	13.60	1.28
b. 教育内容	3,260	12.97	2.46	10	13.70	1.62
c.授業の進行・展開	3,255	13.41	2.09	10	13.90	1.37
d.熱意・相互作用	3,247	13.27	2.27	10	14.00	1.34
e.学生の自己評価	3,251	13.88	1.63	10	14.20	1.08



N=10

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	6 60.0	4 40.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.60	0.49
②	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	4 40.0	5 50.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.30	0.64
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	7 70.0	3 30.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.70	0.46

b. 教育内容

④	授業の内容はわかりやすかった。	6 60.0	4 40.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.60	0.49
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	6 60.0	3 30.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.50	0.67
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	6 60.0	4 40.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.60	0.49

c.授業の進行・展開

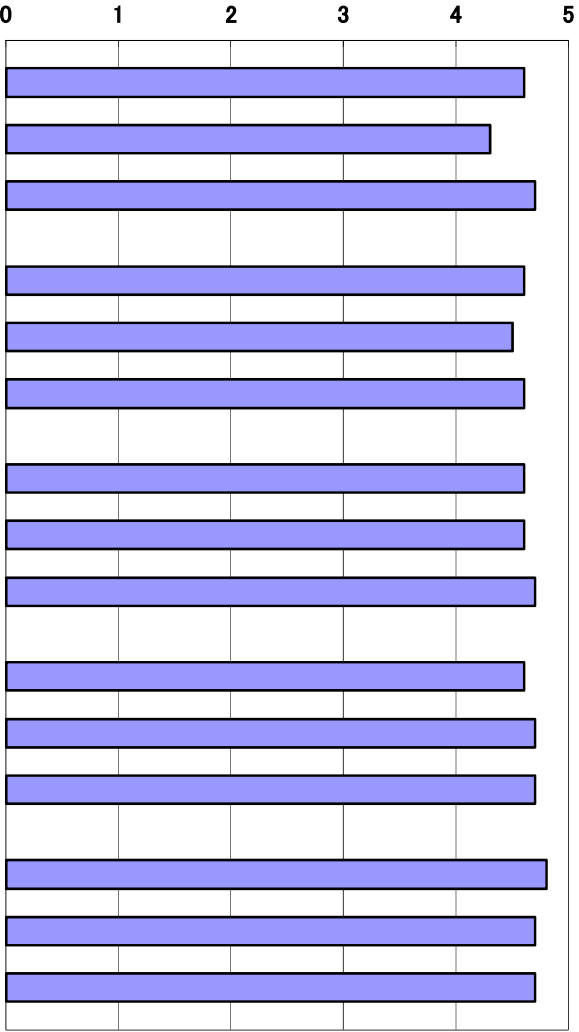
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	6 60.0	4 40.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.60	0.49
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	6 60.0	4 40.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.60	0.49
⑨	授業の進行速度は適切だった。	7 70.0	3 30.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.70	0.46

d.熱意・相互作用

⑩	教員の熱意が伝わってきた。	6 60.0	4 40.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.60	0.49
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	7 70.0	3 30.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.70	0.46
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	7 70.0	3 30.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.70	0.46

e.学生の自己評価

⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	8 80.0	2 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.80	0.40
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	7 70.0	3 30.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.70	0.46
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	7 70.0	3 30.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.70	0.46



科目コード	1G0204	科目名	基礎ゼミⅡ	担当教員名	佐藤 眞
-------	--------	-----	-------	-------	------

<教員からのコメント>

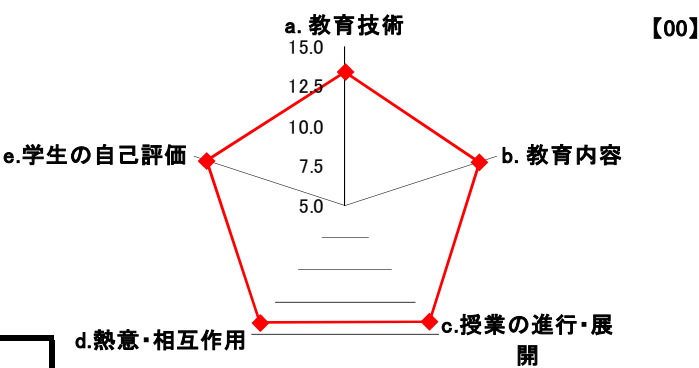
学生の皆さんが、発表をしたり意見を言う中で学ぶという私の目標を体感してくださり、さらにこのようなゼミを続けていきたいと思います。

授業(講義)評価結果(2015年度後期)

履修者数	15	回収数	13	回収率	86.7%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:基礎ゼミⅡ
担当者:
佐藤裕子

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,245	13.07	2.33	13	13.38	1.55
b. 教育内容	3,260	12.97	2.46	13	13.85	1.46
c.授業の進行・展開	3,255	13.41	2.09	13	14.00	1.36
d.熱意・相互作用	3,247	13.27	2.27	13	14.08	1.38
e.学生の自己評価	3,251	13.88	1.63	13	14.15	1.23



N=13

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	7	6	0	0	0	0	4.54	0.50
②	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	6	5	2	0	0	0	4.31	0.72
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	7	6	0	0	0	0	4.54	0.50

b. 教育内容

④	授業の内容はわかりやすかった。	8	5	0	0	0	0	4.62	0.49
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	8	5	0	0	0	0	4.62	0.49
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	9	3	1	0	0	0	4.62	0.62

c. 授業の進行・展開

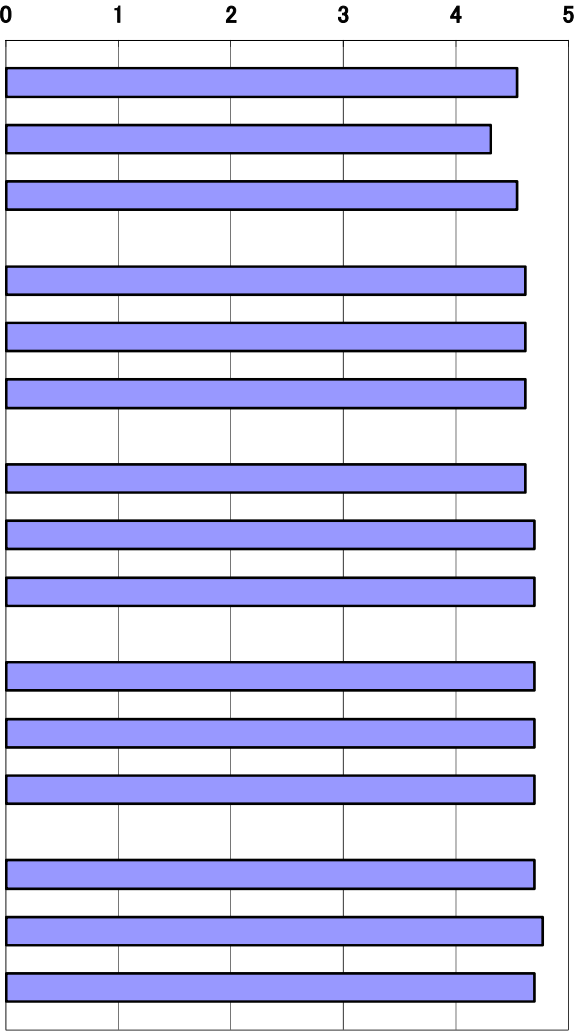
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	8	5	0	0	0	0	4.62	0.49
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	9	4	0	0	0	0	4.69	0.46
⑨	授業の進行速度は適切だった。	9	4	0	0	0	0	4.69	0.46

d. 熱意・相互作用

⑩	教員の熱意が伝わってきた。	9	4	0	0	0	0	4.69	0.46
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	9	4	0	0	0	0	4.69	0.46
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	9	4	0	0	0	0	4.69	0.46

e. 学生の自己評価

⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	9	4	0	0	0	0	4.69	0.46
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	10	3	0	0	0	0	4.77	0.42
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	9	4	0	0	0	0	4.69	0.46



科目コード	1G0205	科目名	基礎ゼミⅡ	担当教員名	佐藤裕子
-------	--------	-----	-------	-------	------

<教員からのコメント>

例年通り、学生から話したい話題を募集してから、2人からなるグループに割り振りをを行い、その話題について発表・討論する形式を取った。昨年は「私的なおしゃべり」が多く、収拾が付かない場面が多く見られたので、今回は初めに「私的なおしゃべりは厳禁」と断ったせいか、私的なおしゃべりは無かったが、その分、発言が非常に少なくなってしまった。発言が少ない理由として、「その時にいきなり、話題を振られても、基礎的な知識がないので発言のしようがない」と言われてしまった。予めテーマは周知してあるので、下調べを行い、自分なりの発言を用意してきて欲しいと教官はかんがえちるのだが、スケジュールが詰まっている学生にとっては、毎回、来週の話について自分で下調べを行う時間的余裕はないのだろう。このような基礎ゼミのやり方を根本的に考え直さないと行けないと思われる。

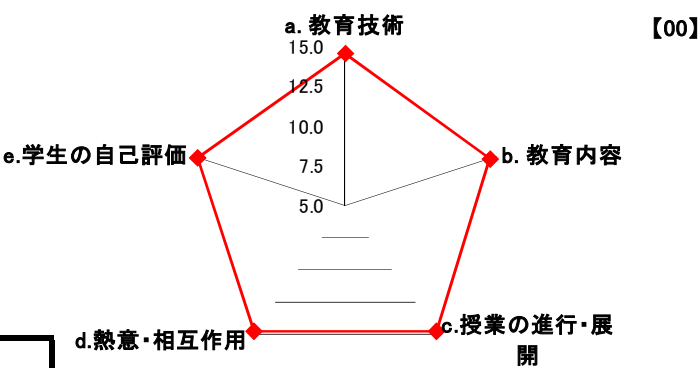
救いであったのは、この基礎ゼミが学生の評価が高く、「すごく楽しかった」と思って貰えたことである。

授業(講義)評価結果(2015年度後期)

履修者数	12	回収数	11	回収率	91.7%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:基礎ゼミⅡ
担当者:
井上忠男

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,245	13.07	2.33	11	14.55	0.99
b. 教育内容	3,260	12.97	2.46	11	14.55	0.99
c.授業の進行・展開	3,255	13.41	2.09	11	14.73	0.86
d.熱意・相互作用	3,247	13.27	2.27	11	14.73	0.86
e.学生の自己評価	3,251	13.88	1.63	11	14.73	0.86



N=11

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	10 90.9	1 9.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.91	0.29
②	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	9 81.8	2 18.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.82	0.39
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	9 81.8	2 18.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.82	0.39

b. 教育内容

④	授業の内容はわかりやすかった。	9 81.8	2 18.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.82	0.39
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	10 90.9	1 9.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.91	0.29
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	9 81.8	2 18.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.82	0.39

c. 授業の進行・展開

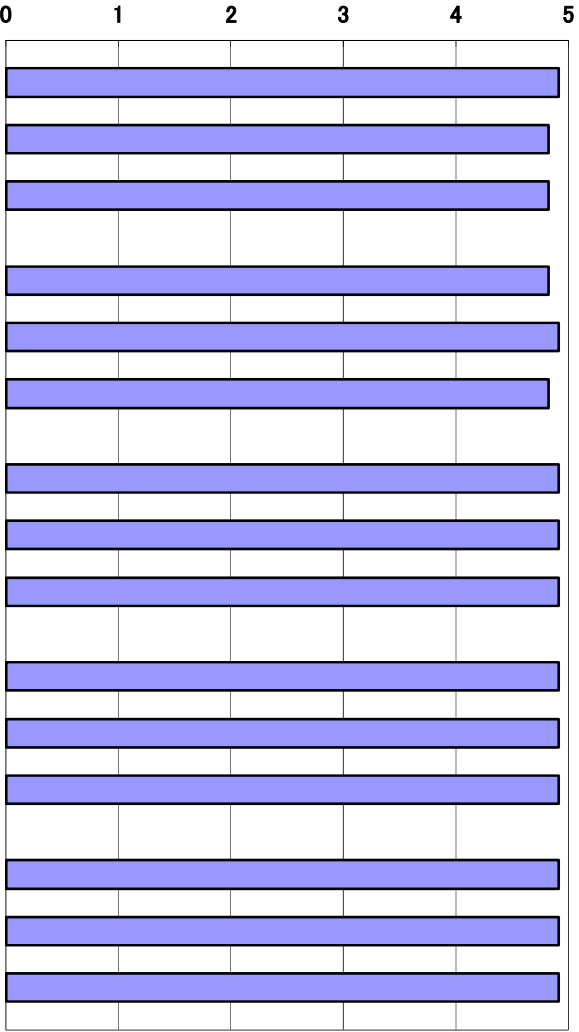
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	10 90.9	1 9.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.91	0.29
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	10 90.9	1 9.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.91	0.29
⑨	授業の進行速度は適切だった。	10 90.9	1 9.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.91	0.29

d. 熱意・相互作用

⑩	教員の熱意が伝わってきた。	10 90.9	1 9.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.91	0.29
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	10 90.9	1 9.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.91	0.29
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	10 90.9	1 9.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.91	0.29

e. 学生の自己評価

⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	10 90.9	1 9.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.91	0.29
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	10 90.9	1 9.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.91	0.29
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	10 90.9	1 9.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.91	0.29



科目コード	1G0206	科目名	基礎ゼミⅡ	担当教員名	井上忠男
-------	--------	-----	-------	-------	------

<教員からのコメント>

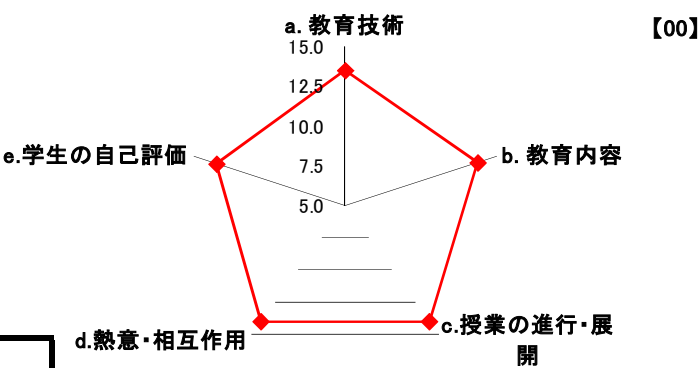
皆さんから高い評価を得て嬉しく思います。小職担当のゼミでは終始、学生の皆さんの真面目な取り組みがゼミを楽しいものとし、結果として実りあるひと時を持てたのではと思います。授業は教師だけでも学生だけでも成立しません。両者がうまく作用しあい互いに触発しあって良好なコミュニケーションで一体となったとき理想の学びの空間が生まれるものです。その意味で教師としても大変やりやすいゼミだったと思います。授業への評価は、教員への評価であるだけではなく、学生の皆さんがしっかり授業を受け止めたことの証でもあります。これからも学生と教師が互いに触発しあえる、学び合える時間と空間を創出できるよう知恵と工夫を凝らしながらゼミを進めていきたいと考えています。真摯かつ積極的なご参加、本当に有難うございました。

授業(講義)評価結果(2015年度後期)

履修者数	4	回収数	4	回収率	100.0%
------	---	-----	---	-----	--------

科目:基礎ゼミⅡ
担当者:
逸見功

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,245	13.07	2.33	4	13.50	1.50
b. 教育内容	3,260	12.97	2.46	4	13.75	1.30
c.授業の進行・展開	3,255	13.41	2.09	4	14.00	1.22
d.熱意・相互作用	3,247	13.27	2.27	4	14.00	1.22
e.学生の自己評価	3,251	13.88	1.63	4	13.50	0.50



N=4

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	3 75.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.75	0.43
②	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	2 50.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.25	0.83
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	2 50.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.50	0.50

b. 教育内容

④	授業の内容はわかりやすかった。	2 50.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.50	0.50
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	2 50.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.50	0.50
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	3 75.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.75	0.43

c. 授業の進行・展開

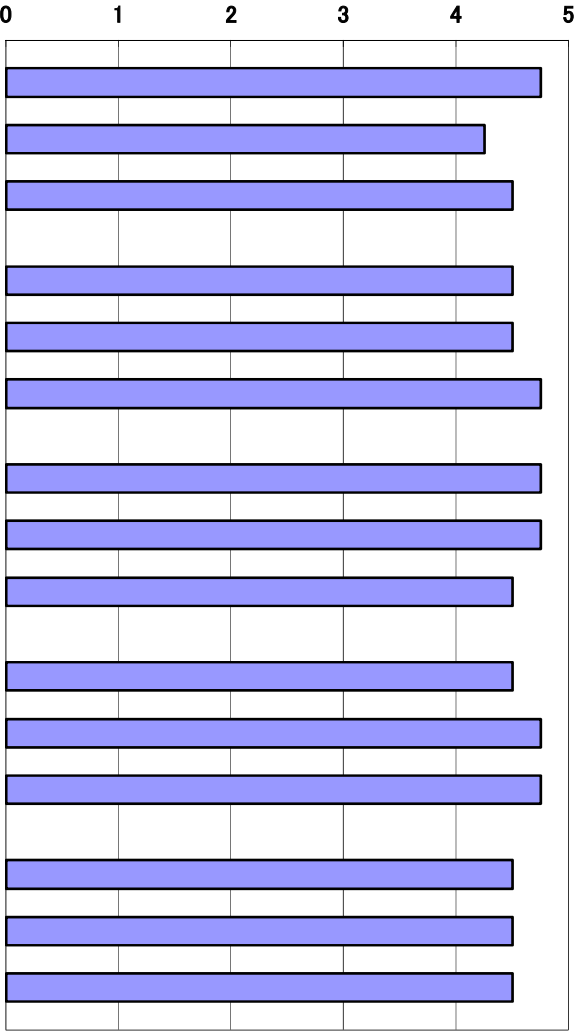
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	3 75.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.75	0.43
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	3 75.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.75	0.43
⑨	授業の進行速度は適切だった。	2 50.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.50	0.50

d. 熱意・相互作用

⑩	教員の熱意が伝わってきた。	2 50.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.50	0.50
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	3 75.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.75	0.43
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	3 75.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.75	0.43

e. 学生の自己評価

⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	2 50.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.50	0.50
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	2 50.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.50	0.50
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	2 50.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.50	0.50



科目コード	1G0207	科目名	基礎ゼミⅡ	担当教員名	逸見功
-------	--------	-----	-------	-------	-----

<教員からのコメント>

少人数で発表の準備も大変だったと思いますが、議論も活発で密度の高いゼミになりました。代替医療と治療評価法の理解やレジュメ作成の勉強になってよかったと思います。

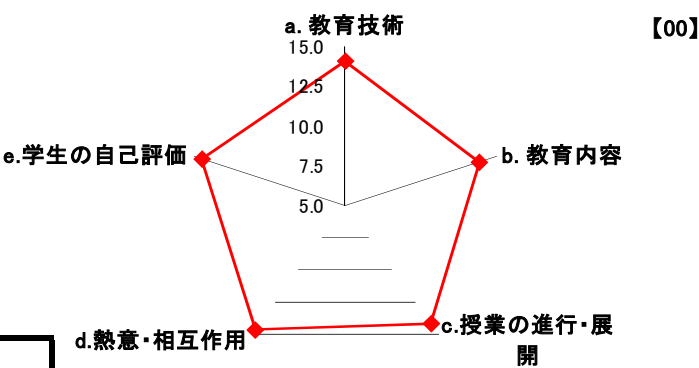
声が少し聞き取りにくいときがある点については、ときどき声が出にくいことがあるからですが、コンディションを整えたいと思います。

授業(講義)評価結果(2015年度後期)

履修者数	14	回収数	13	回収率	92.9%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:基礎ゼミⅡ
担当者:
山崎裕二

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,245	13.07	2.33	13	14.08	1.44
b. 教育内容	3,260	12.97	2.46	13	13.85	2.21
c.授業の進行・展開	3,255	13.41	2.09	13	14.15	1.75
d.熱意・相互作用	3,247	13.27	2.27	13	14.62	0.84
e.学生の自己評価	3,251	13.88	1.63	13	14.46	0.75



N=13

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	9 69.2	4 30.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.69	0.46
②	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	9 69.2	3 23.1	1 7.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.62	0.62
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	10 76.9	3 23.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.77	0.42

b. 教育内容

④	授業の内容はわかりやすかった。	11 84.6	1 7.7	1 7.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.77	0.58
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	9 69.2	3 23.1	0 0.0	0 0.0	1 7.7	0 0.0	4.46	1.08
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	9 69.2	3 23.1	1 7.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.62	0.62

c. 授業の進行・展開

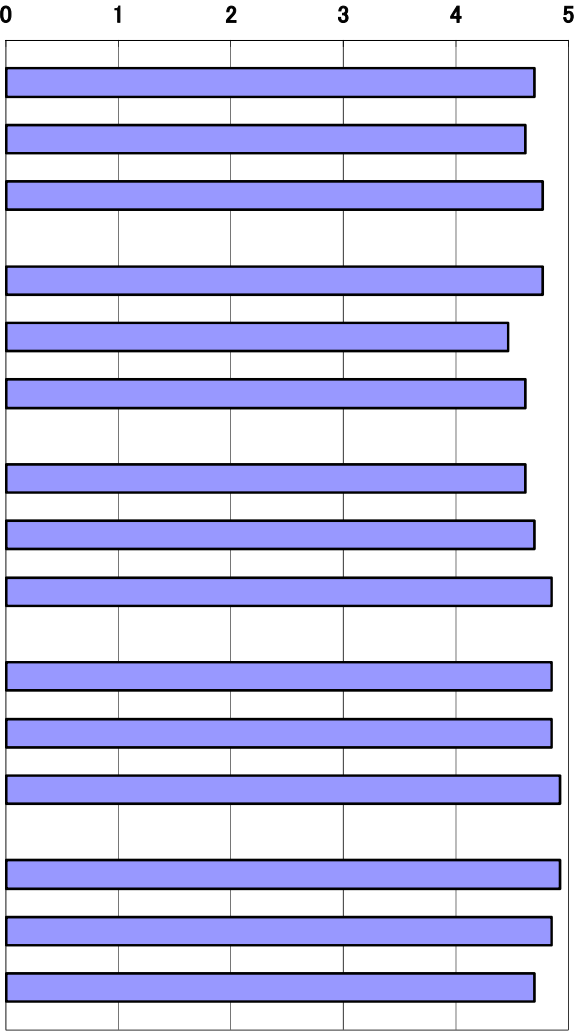
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	10 76.9	2 15.4	0 0.0	1 7.7	0 0.0	0 0.0	4.62	0.84
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	10 76.9	2 15.4	1 7.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.69	0.61
⑨	授業の進行速度は適切だった。	11 84.6	2 15.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.85	0.36

d. 熱意・相互作用

⑩	教員の熱意が伝わってきた。	11 84.6	2 15.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.85	0.36
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	11 84.6	2 15.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.85	0.36
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	12 92.3	1 7.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.92	0.27

e. 学生の自己評価

⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	12 92.3	1 7.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.92	0.27
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	11 84.6	2 15.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.85	0.36
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	9 69.2	4 30.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.69	0.46



科目コード	1G0208	科目名	基礎ゼミⅡ	担当教員名	山崎裕二
-------	--------	-----	-------	-------	------

<教員からのコメント>

・日赤看護婦の体験記に書かれていた空襲下の担架による患者搬送を学内で体験したり、学外の都立中央図書館・日赤情報プラザ図書室・東京都慰霊堂・復興記念館への資料収集・見学というアクティブラーニングを通して、「戦争と看護」についていろいろ学べたのではないかと思います。

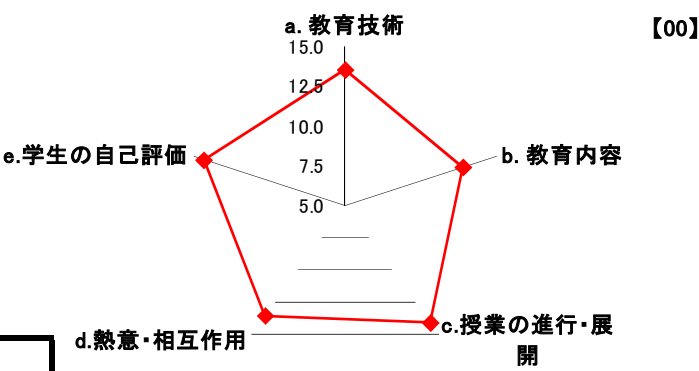
・重いテーマと体験記の悲惨な内容でしたが、「自分の興味があることだったのでとてもためになった」「出かけて楽しく学べた」というコメントがありました。今後も継続していきたいと思います。

授業(講義)評価結果(2015年度後期)

履修者数	13	回収数	13	回収率	100.0%
------	----	-----	----	-----	--------

科目:基礎ゼミⅡ
担当者:
越後敬子

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,245	13.07	2.33	13	13.54	2.34
b. 教育内容	3,260	12.97	2.46	13	12.77	2.72
c.授業の進行・展開	3,255	13.41	2.09	13	14.08	1.64
d.熱意・相互作用	3,247	13.27	2.27	13	13.54	2.73
e.学生の自己評価	3,251	13.88	1.63	13	14.31	1.20



N=13

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	9	3	0	1	0	0	4.54	0.84
②	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	9	0	1	2	1	0	4.08	1.44
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	12	1	0	0	0	0	4.92	0.27

b. 教育内容

④	授業の内容はわかりやすかった。	11	1	1	0	0	0	4.77	0.58
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	7	3	1	1	1	0	4.08	1.27
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	7	2	1	2	1	0	3.92	1.38

c. 授業の進行・展開

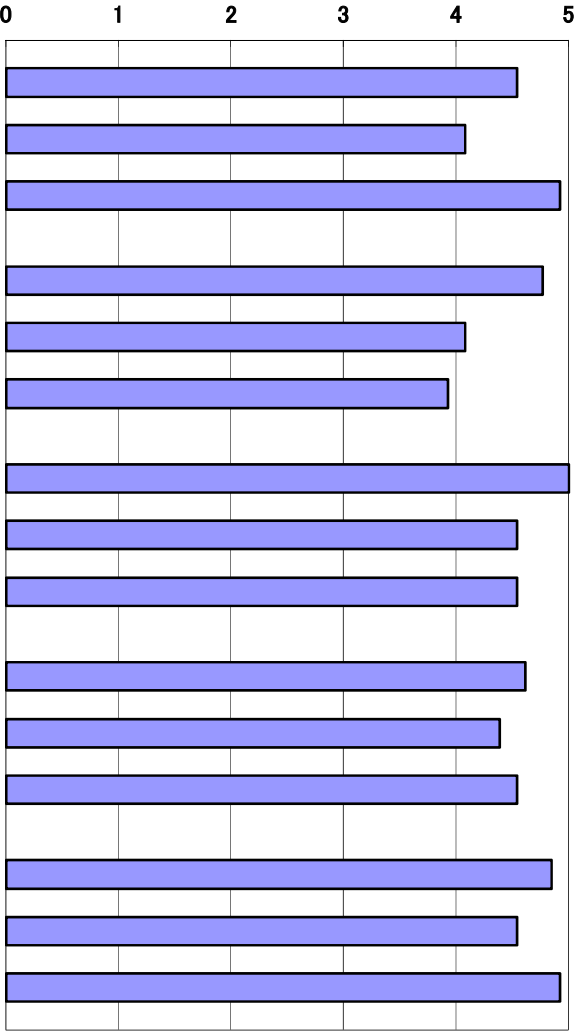
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	13	0	0	0	0	0	5.00	0.00
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	9	2	2	0	0	0	4.54	0.75
⑨	授業の進行速度は適切だった。	10	2	0	0	1	0	4.54	1.08

d. 熱意・相互作用

⑩	教員の熱意が伝わってきた。	11	1	0	0	1	0	4.62	1.08
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	8	3	1	1	0	0	4.38	0.92
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	10	1	1	1	0	0	4.54	0.93

e. 学生の自己評価

⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	12	0	1	0	0	0	4.85	0.53
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	9	2	2	0	0	0	4.54	0.75
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	12	1	0	0	0	0	4.92	0.27



科目コード	1G0209	科目名	基礎ゼミⅡ	担当教員名	越後敬子
-------	--------	-----	-------	-------	------

<教員からのコメント>

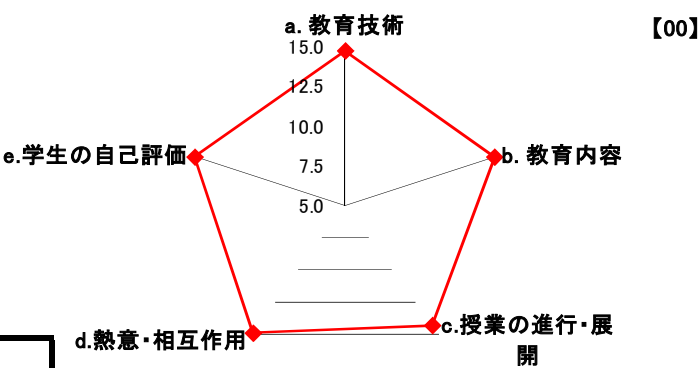
看護の道に進む学生さんたちが、ふだんは触れることがないであろうと思われるテーマを選択しました。何かを考えるきっかけになればよいと思います。授業の進め方についてはさらに工夫してみます。

授業(講義)評価結果(2015年度後期)

履修者数	15	回収数	14	回収率	93.3%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:基礎ゼミⅡ
担当者:
國頭英夫

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,245	13.07	2.33	14	14.71	0.59
b. 教育内容	3,260	12.97	2.46	14	14.86	0.35
c.授業の進行・展開	3,255	13.41	2.09	14	14.29	1.33
d.熱意・相互作用	3,247	13.27	2.27	14	14.86	0.35
e.学生の自己評価	3,251	13.88	1.63	14	14.93	0.26



N=14

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	12 85.7	2 14.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.86	0.35
②	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	14 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5.00	0.00
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	12 85.7	2 14.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.86	0.35

b. 教育内容

④	授業の内容はわかりやすかった。	12 85.7	2 14.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.86	0.35
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	14 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5.00	0.00
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	14 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5.00	0.00

c. 授業の進行・展開

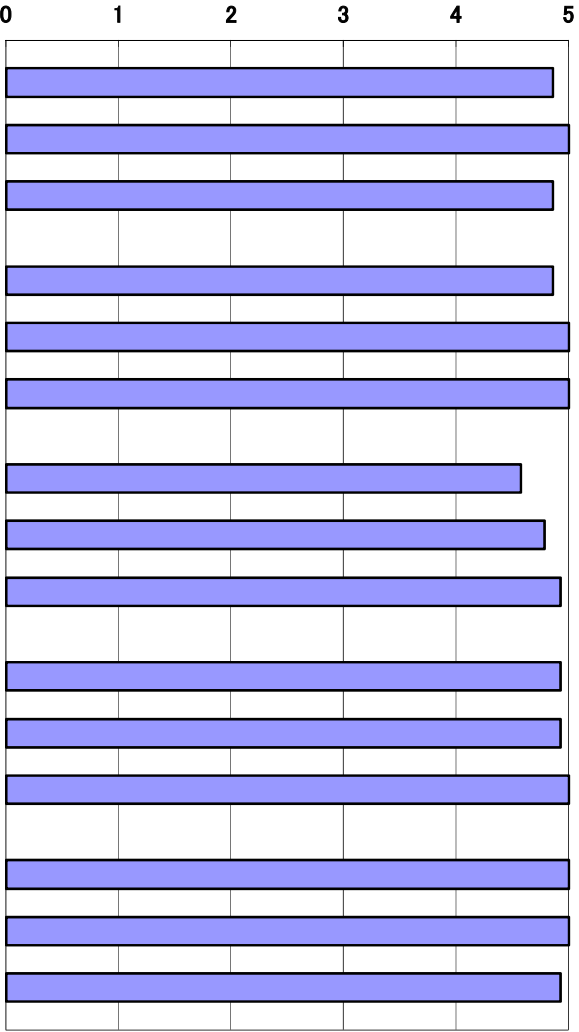
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	10 71.4	2 14.3	2 14.3	0 0.0	0 0.0	4.57	0.73
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	12 85.7	1 7.1	1 7.1	0 0.0	0 0.0	4.79	0.56
⑨	授業の進行速度は適切だった。	13 92.9	1 7.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.93	0.26

d. 熱意・相互作用

⑩	教員の熱意が伝わってきた。	13 92.9	1 7.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.93	0.26
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	13 92.9	1 7.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.93	0.26
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	14 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5.00	0.00

e. 学生の自己評価

⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	14 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5.00	0.00
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	14 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5.00	0.00
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	13 92.9	1 7.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.93	0.26



科目コード	1G0210	科目名	基礎ゼミⅡ	担当教員名	國頭英夫
-------	--------	-----	-------	-------	------

<教員からのコメント>

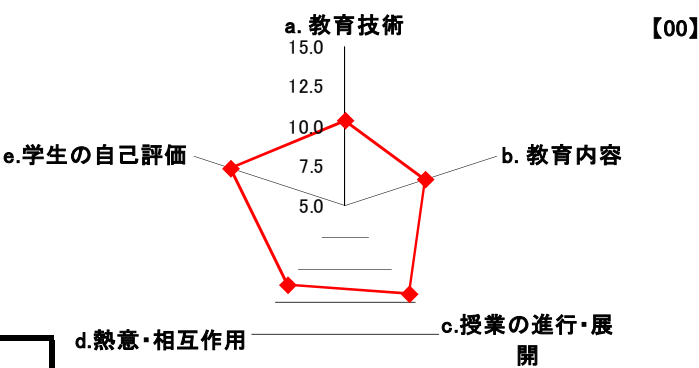
多くのコメントに感謝します。私がゼミを担当して2年目であり、1年目は手探りであった代わり、できないことはできなくてもいいやといういい加減な感覚でやれました。2年目は、「昨年度はこれもやった、あれもやった」ということが頭に残ってしまい、その分、講義の自由度を下げてしまったように感じています。また講義時間数が少なくなった(15回→13回)のに受講者の数も増えてしまい(13人→15人)、さらに各自の発表をパワーポイントに揃えたりした関係で、時間不足気味になりました。何度か講義時間オーバーしたこともあったと反省しています。貴重な指摘をいただきましたので、次年度は、もとに戻って、なるべくいい加減にやることにします。できれば受講者も少なめの方がいいなあ。

授業(講義)評価結果(2015年度後期)

履修者数	8	回収数	7	回収率	87.5%
------	---	-----	---	-----	-------

科目:基礎ゼミⅡ
担当者:
三好洋

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,245	13.07	2.33	6	10.33	2.75
b. 教育内容	3,260	12.97	2.46	7	10.29	3.10
c.授業の進行・展開	3,255	13.41	2.09	6	11.83	2.48
d.熱意・相互作用	3,247	13.27	2.27	7	11.14	2.17
e.学生の自己評価	3,251	13.88	1.63	7	12.57	1.92



N=7

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	2	1	2	2	0	0	3.43	1.18
②	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	1	3	2	1	0	0	3.57	0.90
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	1	3	1	1	0	1	3.14	1.55

b. 教育内容

④	授業の内容はわかりやすかった。	1	2	1	3	0	0	3.14	1.12
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	2	1	2	2	0	0	3.43	1.18
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	2	1	4	0	0	0	3.71	0.88

c.授業の進行・展開

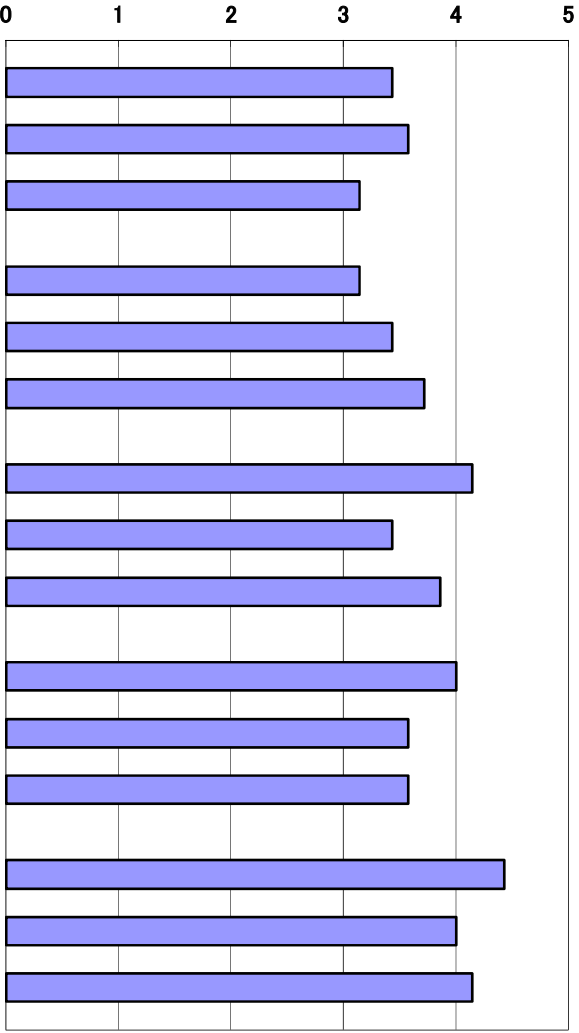
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	3	2	2	0	0	0	4.14	0.83
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	2	2	2	0	0	1	3.43	1.59
⑨	授業の進行速度は適切だった。	2	2	3	0	0	0	3.86	0.83

d.熱意・相互作用

⑩	教員の熱意が伝わってきた。	3	1	3	0	0	0	4.00	0.93
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	1	2	4	0	0	0	3.57	0.73
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	1	2	4	0	0	0	3.57	0.73

e.学生の自己評価

⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	4	2	1	0	0	0	4.43	0.73
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	2	3	2	0	0	0	4.00	0.76
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	2	4	1	0	0	0	4.14	0.64



科目コード	1G0211	科目名	基礎ゼミⅡ	担当教員名	三好洋
-------	--------	-----	-------	-------	-----

<教員からのコメント>

アンケート、有難ございます。

私が担当したゼミは、学生の自主的な学習に任せたPBL方式です。

自主的な学習の姿勢を学んでほしいと考えて運営しました。馴染まなかった学生さんには、残念な時間の使い方になってしまったと思います。

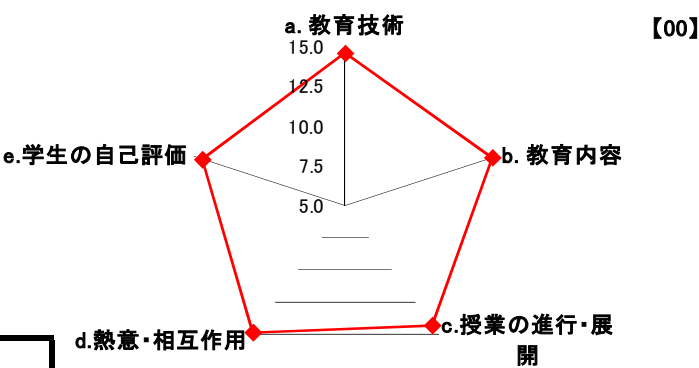
今年度が初めてのゼミの担当でしたので、基礎ゼミⅠを含めて来年度は運営方法を考えたいと思います。

授業(講義)評価結果(2015年度後期)

履修者数	7	回収数	7	回収率	100.0%
------	---	-----	---	-----	--------

科目:基礎ゼミⅡ
担当者:
井上陽介

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,245	13.07	2.33	7	14.57	0.73
b. 教育内容	3,260	12.97	2.46	7	14.71	0.70
c.授業の進行・展開	3,255	13.41	2.09	7	14.29	1.16
d.熱意・相互作用	3,247	13.27	2.27	6	14.83	0.37
e.学生の自己評価	3,251	13.88	1.63	7	14.43	1.05



N=7

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	5 71.4	2 28.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.71	0.45
②	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	6 85.7	1 14.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.86	0.35
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	7 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5.00	0.00

b. 教育内容

④	授業の内容はわかりやすかった。	6 85.7	1 14.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.86	0.35
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	6 85.7	1 14.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.86	0.35
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	7 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5.00	0.00

c. 授業の進行・展開

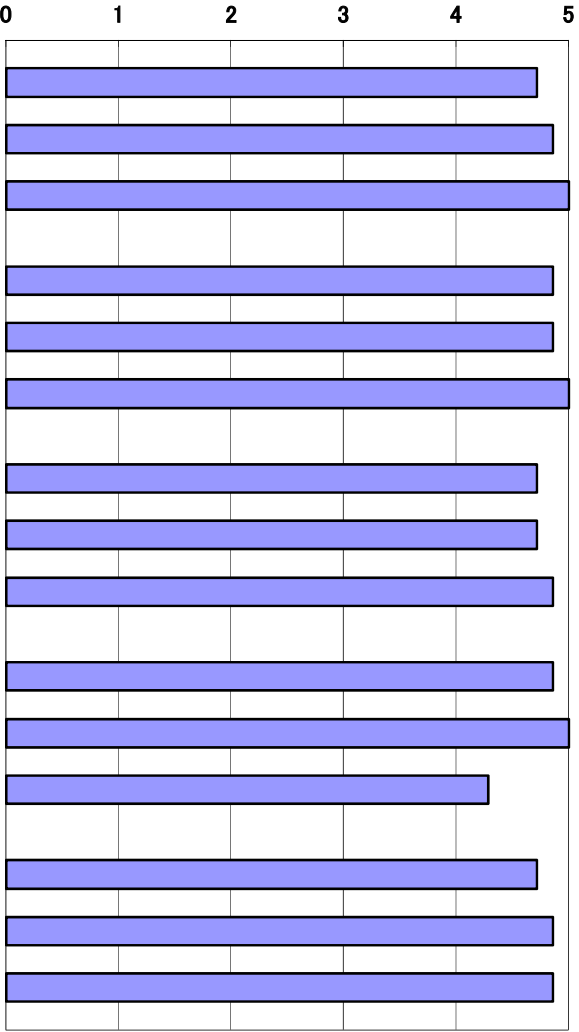
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	5 71.4	2 28.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.71	0.45
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	5 71.4	2 28.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.71	0.45
⑨	授業の進行速度は適切だった。	6 85.7	1 14.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.86	0.35

d. 熱意・相互作用

⑩	教員の熱意が伝わってきた。	6 85.7	1 14.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.86	0.35
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	7 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5.00	0.00
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	6 85.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 14.3	4.29	1.75

e. 学生の自己評価

⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	5 71.4	2 28.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.71	0.45
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	6 85.7	1 14.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.86	0.35
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	6 85.7	1 14.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.86	0.35



科目コード	1G0212	科目名	基礎ゼミⅡ	担当教員名	井上陽介
-------	--------	-----	-------	-------	------

<教員からのコメント>

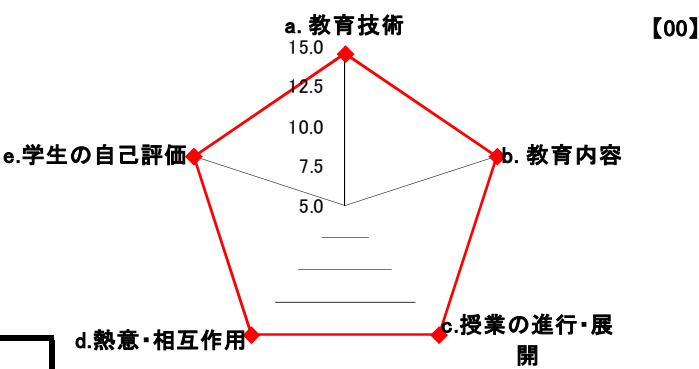
プレゼンテーションに必要なのは、情熱と誠実さだと思います。その点で、皆さんのプレゼンテーションは回を追うごとに充実したものになっていったように感じました。これからも機会があれば積極的にプレゼンテーションをしてください。今回のゼミで習ったことをベースに自分なりのプレゼンテーションスタイルを構築していけるといいですね。困ったことがあったらいつでも連絡してください！

授業(講義)評価結果(2015年度後期)

履修者数	14	回収数	13	回収率	92.9%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:基礎ゼミⅡ
担当者:
吉田健一

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,245	13.07	2.33	13	14.54	1.15
b. 教育内容	3,260	12.97	2.46	13	15.00	0.00
c.授業の進行・展開	3,255	13.41	2.09	13	15.00	0.00
d.熱意・相互作用	3,247	13.27	2.27	13	15.00	0.00
e.学生の自己評価	3,251	13.88	1.63	13	15.00	0.00



N=13

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	11	1	1	0	0	0	4.77	0.58
		84.6	7.7	7.7	0.0	0.0	0.0		
②	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	11	1	1	0	0	0	4.77	0.58
		84.6	7.7	7.7	0.0	0.0	0.0		
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	13	0	0	0	0	0	5.00	0.00
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

b. 教育内容

④	授業の内容はわかりやすかった。	13	0	0	0	0	0	5.00	0.00
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	13	0	0	0	0	0	5.00	0.00
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	13	0	0	0	0	0	5.00	0.00
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

c. 授業の進行・展開

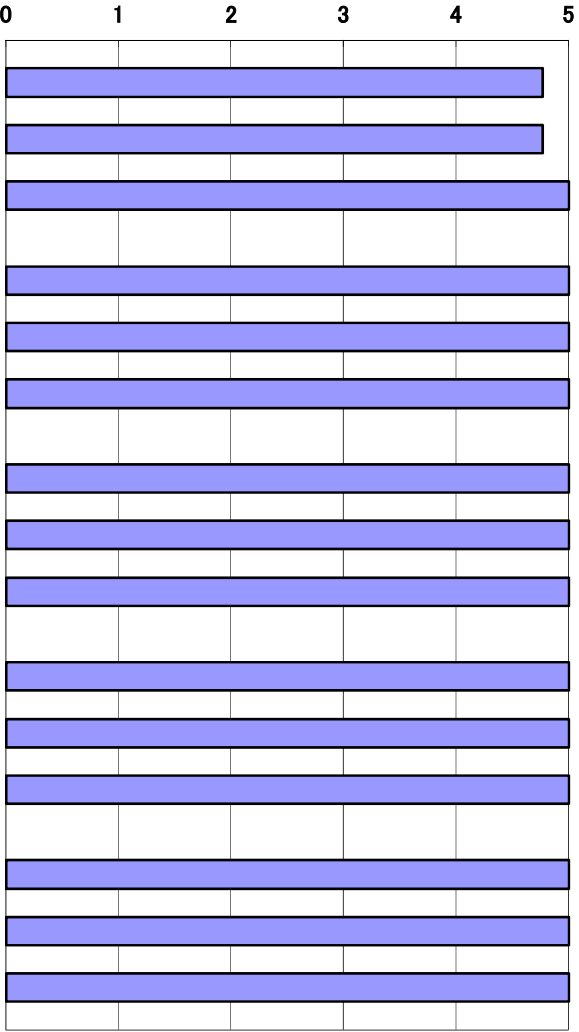
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	13	0	0	0	0	0	5.00	0.00
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	13	0	0	0	0	0	5.00	0.00
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
⑨	授業の進行速度は適切だった。	13	0	0	0	0	0	5.00	0.00
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

d. 熱意・相互作用

⑩	教員の熱意が伝わってきた。	13	0	0	0	0	0	5.00	0.00
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	13	0	0	0	0	0	5.00	0.00
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	13	0	0	0	0	0	5.00	0.00
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

e. 学生の自己評価

⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	13	0	0	0	0	0	5.00	0.00
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	13	0	0	0	0	0	5.00	0.00
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	13	0	0	0	0	0	5.00	0.00
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

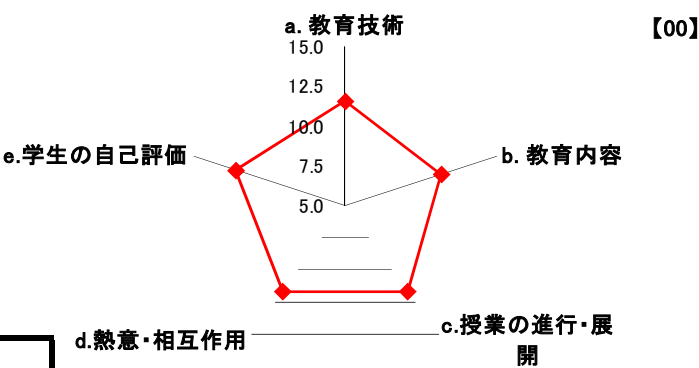


授業(講義)評価結果(2015年度後期)

履修者数	9	回収数	9	回収率	100.0%
------	---	-----	---	-----	--------

科目:基礎ゼミⅡ
担当者:
吉田直正

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,245	13.07	2.33	9	11.56	0.96
b. 教育内容	3,260	12.97	2.46	9	11.33	1.05
c.授業の進行・展開	3,255	13.41	2.09	9	11.67	1.05
d.熱意・相互作用	3,247	13.27	2.27	9	11.67	0.94
e.学生の自己評価	3,251	13.88	1.63	9	12.22	0.92



N=9

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	0 0.0	8 88.9	1 11.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3.89	0.31
②	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	0 0.0	7 77.8	2 22.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3.78	0.42
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	0 0.0	8 88.9	1 11.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3.89	0.31

b. 教育内容

④	授業の内容はわかりやすかった。	0 0.0	6 66.7	3 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3.67	0.47
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	0 0.0	7 77.8	2 22.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3.78	0.42
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	0 0.0	8 88.9	1 11.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3.89	0.31

c. 授業の進行・展開

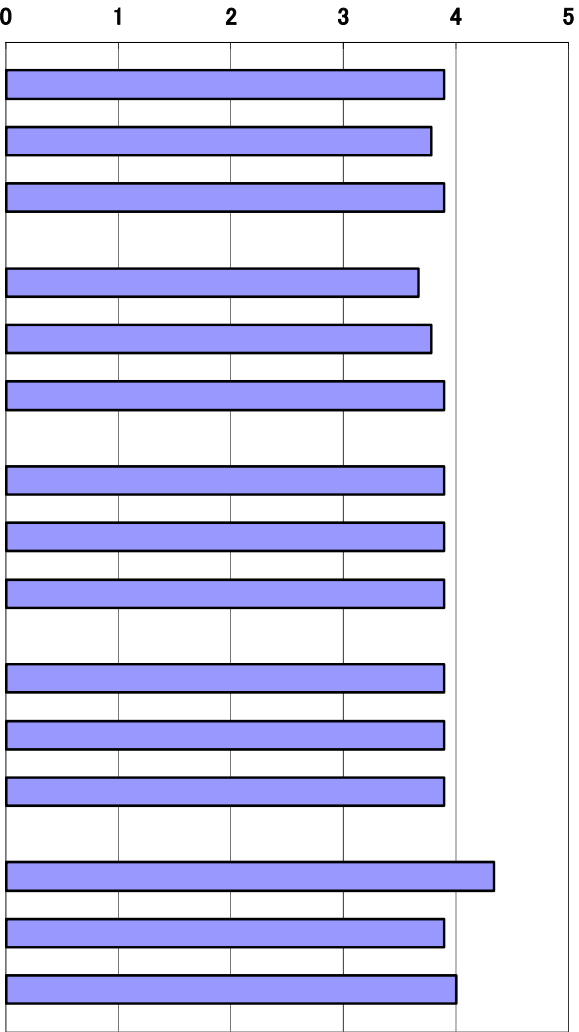
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	1 11.1	6 66.7	2 22.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3.89	0.57
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	0 0.0	8 88.9	1 11.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3.89	0.31
⑨	授業の進行速度は適切だった。	0 0.0	8 88.9	1 11.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3.89	0.31

d. 熱意・相互作用

⑩	教員の熱意が伝わってきた。	0 0.0	8 88.9	1 11.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3.89	0.31
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	0 0.0	8 88.9	1 11.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3.89	0.31
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	0 0.0	8 88.9	1 11.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3.89	0.31

e. 学生の自己評価

⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	3 33.3	6 66.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.33	0.47
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	0 0.0	8 88.9	1 11.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3.89	0.31
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	1 11.1	7 77.8	1 11.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.00	0.47



科目コード	1G0214	科目名	基礎ゼミⅡ	担当教員名	吉田直正
-------	--------	-----	-------	-------	------

<教員からのコメント>

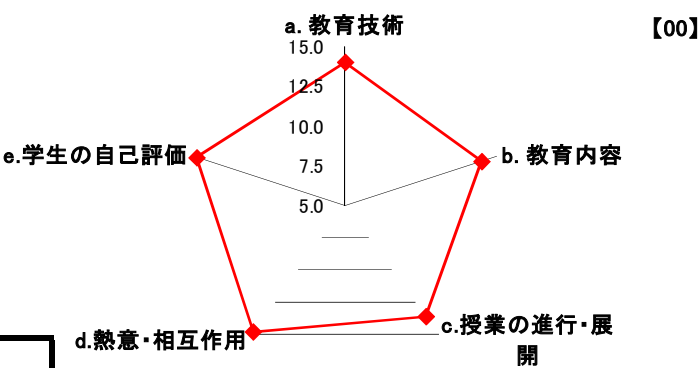
隔週に前回取り上げた問題に関して、とにかく全員がコメントする形式でゼミを運用したせいか、結構充実した内容になったと思います。
アンケート結果もそうしたことへの評価の表われたと思います。
ただ、アンケート各項目で「強くそう思う」の回答が学生の自己評価だけでなく、内容面にもマークされるよう、ゼミの運用を心がけたいと思います。
とはいえ、ゼミはやはり参加する皆さんの熱意次第です。シラバスの内容に関心ある方の参加をお待ちします。

授業(講義)評価結果(2015年度後期)

履修者数	11	回収数	10	回収率	90.9%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:基礎ゼミⅡ
担当者:
山崎裕二

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,245	13.07	2.33	10	14.00	1.55
b. 教育内容	3,260	12.97	2.46	10	14.00	1.67
c.授業の進行・展開	3,255	13.41	2.09	10	13.60	2.24
d.熱意・相互作用	3,247	13.27	2.27	10	14.80	0.40
e.学生の自己評価	3,251	13.88	1.63	10	14.80	0.40



N=10

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	8 80.0	2 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.80	0.40
②	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	6 60.0	2 20.0	2 20.0	0 0.0	0 0.0	4.40	0.80
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	9 90.0	0 0.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	4.80	0.60

b. 教育内容

④	授業の内容はわかりやすかった。	8 80.0	1 10.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	4.70	0.64
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	7 70.0	1 10.0	2 20.0	0 0.0	0 0.0	4.50	0.81
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	8 80.0	2 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.80	0.40

c. 授業の進行・展開

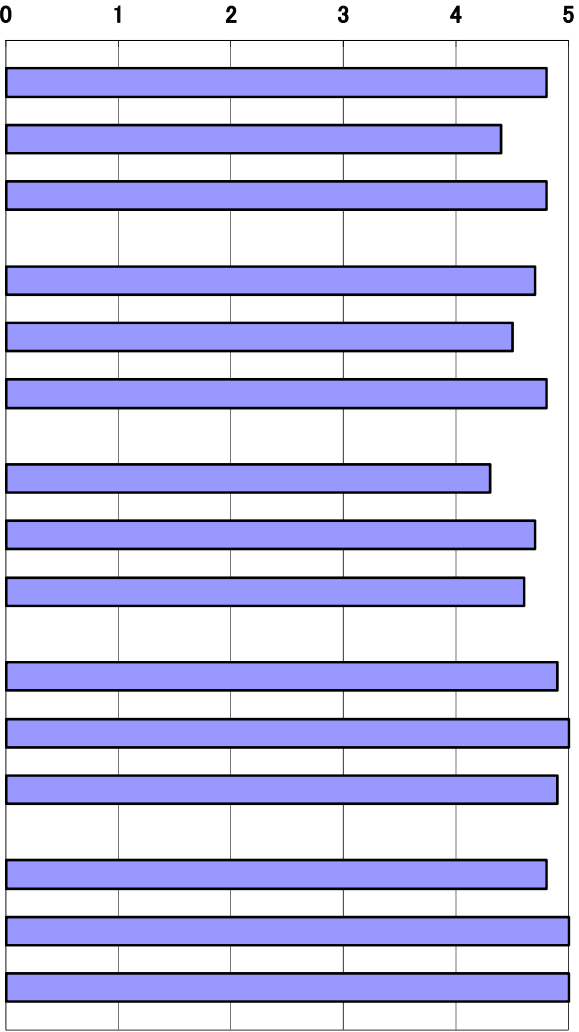
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	6 60.0	2 20.0	1 10.0	1 10.0	0 0.0	4.30	1.00
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	8 80.0	1 10.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	4.70	0.64
⑨	授業の進行速度は適切だった。	7 70.0	2 20.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	4.60	0.66

d. 熱意・相互作用

⑩	教員の熱意が伝わってきた。	9 90.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.90	0.30
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	10 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5.00	0.00
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	9 90.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.90	0.30

e. 学生の自己評価

⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	8 80.0	2 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.80	0.40
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	10 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5.00	0.00
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	10 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5.00	0.00



科目コード	1G0230	科目名	基礎ゼミⅡ	担当教員名	山崎裕二
-------	--------	-----	-------	-------	------

<教員からのコメント>

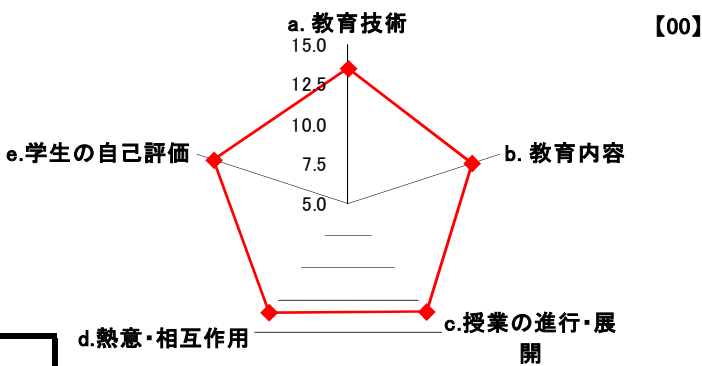
- ・研究論文をクリティークする能力がついたとのコメントが多いことから、授業の目標は達成できたのではないかと思います。
- ・改善点として、①次の授業に影響するので終了時間に終わってほしい、②看護学の論文だけでなく教育学の論文も読んでよいのではないか、という意見がありました。次年度の課題としたいと思います。

授業(講義)評価結果(2015年度後期)

履修者数	72	回収数	55	回収率	76.4%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:人体の構造と機能Ⅲ
担当者:
菅田晴夫

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,245	13.07	2.33	55	13.49	1.58
b. 教育内容	3,260	12.97	2.46	55	13.16	1.85
c.授業の進行・展開	3,255	13.41	2.09	55	13.36	1.62
d.熱意・相互作用	3,247	13.27	2.27	55	13.44	1.68
e.学生の自己評価	3,251	13.88	1.63	55	13.87	1.53



N=55

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	29 52.7	25 45.5	1 1.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.51	0.54
②	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	28 50.9	25 45.5	2 3.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.47	0.57
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	29 52.7	25 45.5	1 1.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.51	0.54

b. 教育内容

④	授業の内容はわかりやすかった。	29 52.7	22 40.0	4 7.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.45	0.63
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	25 45.5	24 43.6	5 9.1	1 1.8	0 0.0	0 0.0	4.33	0.71
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	28 50.9	20 36.4	7 12.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.38	0.70

c. 授業の進行・展開

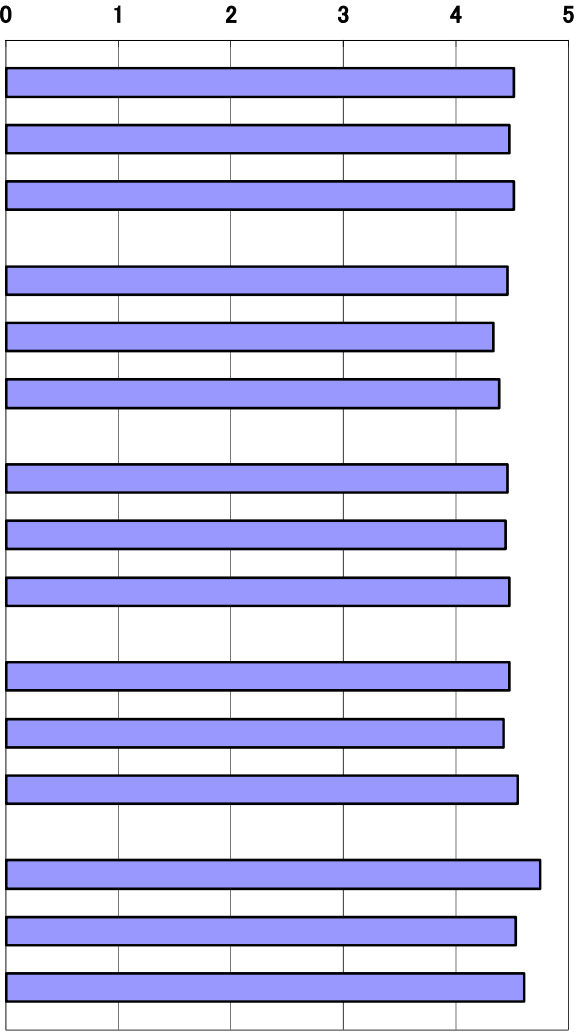
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	28 50.9	24 43.6	3 5.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.45	0.60
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	26 47.3	27 49.1	2 3.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.44	0.56
⑨	授業の進行速度は適切だった。	28 50.9	25 45.5	2 3.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.47	0.57

d. 熱意・相互作用

⑩	教員の熱意が伝わってきた。	30 54.5	21 38.2	4 7.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.47	0.63
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	27 49.1	24 43.6	4 7.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.42	0.62
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	32 58.2	21 38.2	2 3.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.55	0.57

e. 学生の自己評価

⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	42 76.4	12 21.8	1 1.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.75	0.48
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	34 61.8	17 30.9	3 5.5	1 1.8	0 0.0	0 0.0	4.53	0.68
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	36 65.5	16 29.1	3 5.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.60	0.59



科目コード	1H0301	科目名	人体の構造と機能Ⅲ	担当教員名	菅田晴夫
-------	--------	-----	-----------	-------	------

<教員からのコメント>

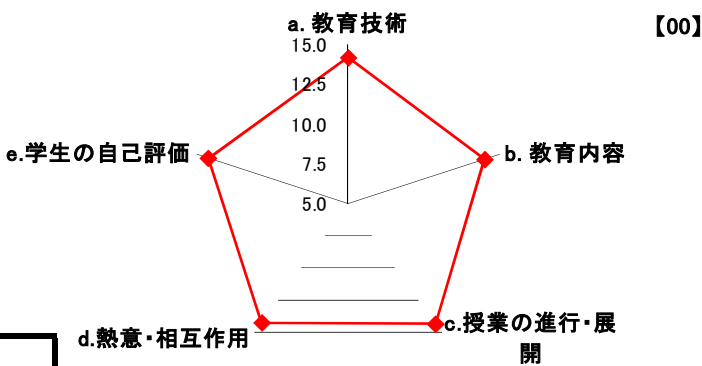
1. 各項目とも4以上の評価でしたので、授業の進め方はまずまず皆さんに受け入れられたと考えています。ただ回答数が8割を切っているので、未回答者はどう考えているか気になります。
2. 例年、「授業の進め方が速い」というコメントが多いのですが、今年はそうした指摘がなく好意的内容が多かったので、ホッとしました。
3. 「パワーポイントの使用」、「プリント使用」という講義の基本的進め方は今後も変えずに続けたいと思います。
4. 教える側として気がついた点をあげると、
 - ・午前のクラスに比べ遅刻者は無く出席率も良かったのですが、居眠りが多かったです。昼食直後であること、高校時代よりも授業時間が長かったことが原因でしょうか。
 - ・クラスの人数が例年の半分でしたの、クラス内に目が届きやすく、おしゃべりが例年より少なかったと思います。
5. 昨年よりも合格ラインを厳しくしたので、試験の合格率が心配でしたが、全員合格でした。1学年を2グループに分けたことがよかったのか、学生のレベルが高かったのか、よく考えてみます。

授業(講義)評価結果(2015年度後期)

履修者数	73	回収数	56	回収率	76.7%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:人体の構造と機能Ⅲ
担当者:
菅田晴夫

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,245	13.07	2.33	56	14.18	1.35
b. 教育内容	3,260	12.97	2.46	56	14.00	1.55
c.授業の進行・展開	3,255	13.41	2.09	56	14.32	1.18
d.熱意・相互作用	3,247	13.27	2.27	56	14.23	1.40
e.学生の自己評価	3,251	13.88	1.63	56	14.23	1.30



N=56

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	40 71.4	15 26.8	1 1.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.70	0.50
②	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	41 73.2	14 25.0	1 1.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.71	0.49
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	44 78.6	11 19.6	1 1.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.77	0.46

b. 教育内容

④	授業の内容はわかりやすかった。	41 73.2	12 21.4	3 5.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.68	0.57
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	40 71.4	13 23.2	3 5.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.66	0.58
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	39 69.6	15 26.8	2 3.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.66	0.54

c. 授業の進行・展開

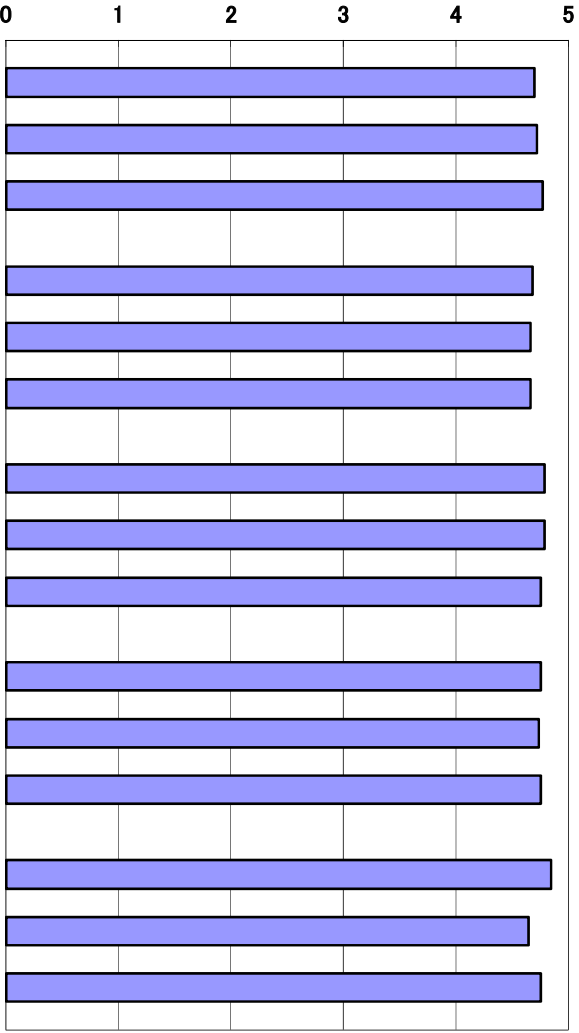
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	44 78.6	12 21.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.79	0.41
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	44 78.6	12 21.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.79	0.41
⑨	授業の進行速度は適切だった。	43 76.8	12 21.4	1 1.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.75	0.47

d. 熱意・相互作用

⑩	教員の熱意が伝わってきた。	44 78.6	10 17.9	2 3.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.75	0.51
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	42 75.0	13 23.2	1 1.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.73	0.48
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	43 76.8	12 21.4	1 1.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.75	0.47

e. 学生の自己評価

⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	47 83.9	9 16.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.84	0.37
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	38 67.9	16 28.6	2 3.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.64	0.55
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	44 78.6	10 17.9	2 3.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.75	0.51



科目コード	1H0302	科目名	人体の構造と機能Ⅲ	担当教員名	菅田晴夫
-------	--------	-----	-----------	-------	------

＜教員からのコメント＞

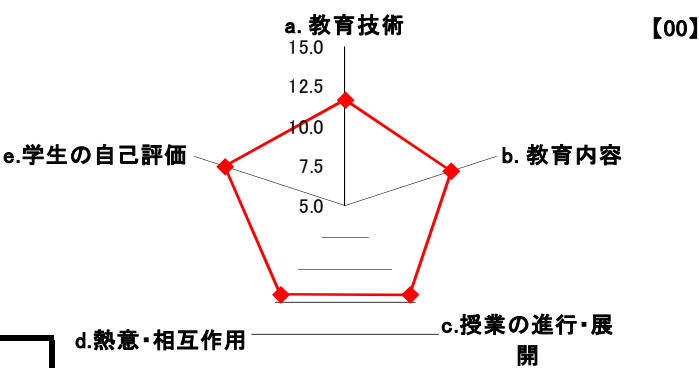
1. 各項目とも4以上の評価でしたので、授業の進め方はまずまず皆さんに受け入れられたと考えています。ただ回答数が8割を切っているの、未回答者はどう考えているか気になります。
2. 例年、「授業の進め方が速い」というコメントが多いのですが、今年はそうした指摘がなく好意的内容が多かったので、ホッとしました。
3. 「パワーポイントの使用」、「プリント使用」という講義の基本的進め方は今後も変えずに続けたいと思います。
4. 教える側として気がついた点をあげると、
 - ・午後のクラスに比べ居眠り者は少なかったのですが、遅刻が目立ちました。「出席をもっと厳しく」とのコメントもありましたので、対応を考えます。
 - ・クラス的人数が例年の半分でしたの、クラス内に目が届きやすく、おしゃべりが例年より少なかったと思います。
5. 昨年よりも合格ラインを厳しくしたので、試験の合格率が心配でしたが、全員合格でした。1学年を2グループに分けたことがよかったのか、学生のレベルが高かったのか、よく考えてみます。

授業(講義)評価結果(2015年度後期)

履修者数	74	回収数	37	回収率	50.0%
------	----	-----	----	-----	-------

科目: 疾病の成り立ちと回復の促進 I
担当者:
佐藤裕子

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,245	13.07	2.33	37	11.65	2.42
b. 教育内容	3,260	12.97	2.46	37	12.00	2.05
c. 授業の進行・展開	3,255	13.41	2.09	37	11.92	2.08
d. 熱意・相互作用	3,247	13.27	2.27	37	11.89	2.12
e. 学生の自己評価	3,251	13.88	1.63	37	12.95	1.84



N=37

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	13 35.1	16 43.2	6 16.2	2 5.4	0 0.0	0 0.0	4.08	0.85
②	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	7 18.9	19 51.4	8 21.6	2 5.4	1 2.7	0 0.0	3.78	0.90
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	8 21.6	16 43.2	11 29.7	1 2.7	1 2.7	0 0.0	3.78	0.90

b. 教育内容

④	授業の内容はわかりやすかった。	9 24.3	14 37.8	13 35.1	1 2.7	0 0.0	0 0.0	3.84	0.82
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	13 35.1	18 48.6	5 13.5	0 0.0	1 2.7	0 0.0	4.14	0.84
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	11 29.7	18 48.6	6 16.2	2 5.4	0 0.0	0 0.0	4.03	0.82

c. 授業の進行・展開

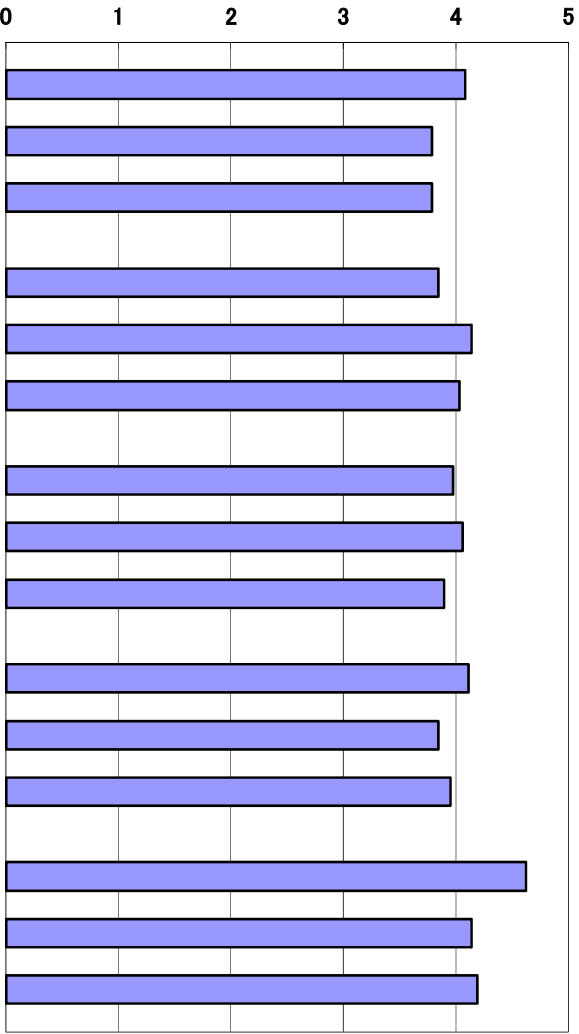
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	12 32.4	13 35.1	11 29.7	1 2.7	0 0.0	0 0.0	3.97	0.85
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	11 29.7	17 45.9	9 24.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.05	0.73
⑨	授業の進行速度は適切だった。	9 24.3	16 43.2	11 29.7	1 2.7	0 0.0	0 0.0	3.89	0.80

d. 熱意・相互作用

⑩	教員の熱意が伝わってきた。	10 27.0	21 56.8	6 16.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.11	0.65
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	9 24.3	15 40.5	11 29.7	2 5.4	0 0.0	0 0.0	3.84	0.85
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	11 29.7	14 37.8	11 29.7	1 2.7	0 0.0	0 0.0	3.95	0.84

e. 学生の自己評価

⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	26 70.3	8 21.6	3 8.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.62	0.63
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	14 37.8	15 40.5	7 18.9	1 2.7	0 0.0	0 0.0	4.14	0.81
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	14 37.8	16 43.2	7 18.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.19	0.73



科目コード	1H0401	科目名	疾病の成り立ちと回復の促進 I	担当教員名	佐藤裕子
-------	--------	-----	-----------------	-------	------

<教員からのコメント>

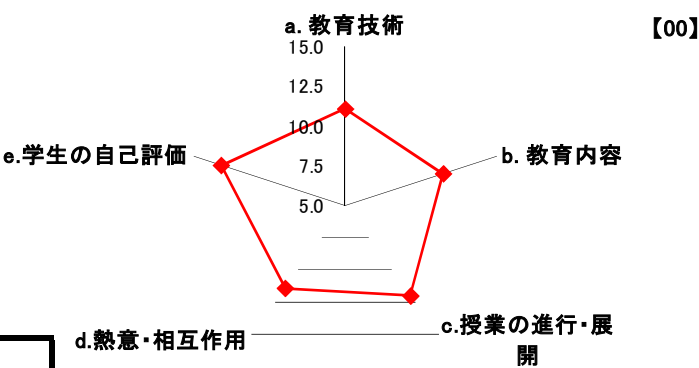
この教科は国家試験の成績に直結する科目なので、今年度（私が1年生の後期に「疾病の成り立ちと回復の促進Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ」教えた学生がこの年に初めて国家試験を受けました）の「国家試験合格率100%」は何よりも嬉しいニュースでした。今後もこの数値が続いて欲しいと思います。

授業(講義)評価結果(2015年度後期)

履修者数	76	回収数	42	回収率	55.3%
------	----	-----	----	-----	-------

科目: 疾病の成り立ちと回復の促進 I
担当者:
佐藤裕子

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,245	13.07	2.33	42	11.07	3.25
b. 教育内容	3,260	12.97	2.46	42	11.45	2.95
c. 授業の進行・展開	3,255	13.41	2.09	42	11.98	2.70
d. 熱意・相互作用	3,247	13.27	2.27	42	11.40	3.19
e. 学生の自己評価	3,251	13.88	1.63	42	13.17	2.06



N=42

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	12 28.6	15 35.7	9 21.4	4 9.5	2 4.8	0 0.0	3.74	1.11
②	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	12 28.6	12 28.6	12 28.6	4 9.5	2 4.8	0 0.0	3.67	1.13
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	12 28.6	10 23.8	15 35.7	4 9.5	1 2.4	0 0.0	3.67	1.06

b. 教育内容

④	授業の内容はわかりやすかった。	11 26.2	13 31.0	13 31.0	3 7.1	2 4.8	0 0.0	3.67	1.08
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	14 33.3	14 33.3	11 26.2	2 4.8	1 2.4	0 0.0	3.90	1.00
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	14 33.3	13 31.0	12 28.6	2 4.8	1 2.4	0 0.0	3.88	1.00

c. 授業の進行・展開

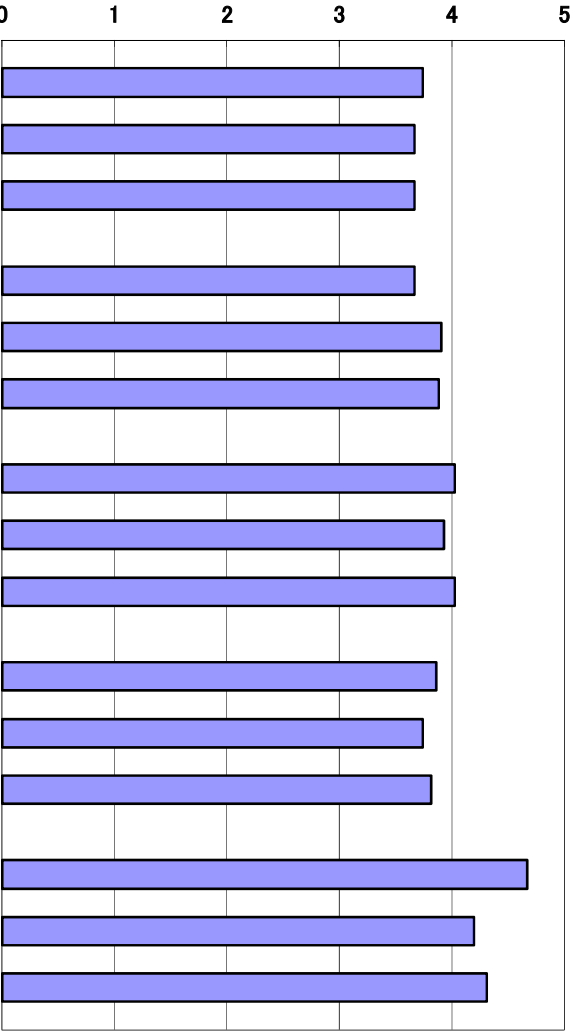
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	18 42.9	9 21.4	13 31.0	2 4.8	0 0.0	0 0.0	4.02	0.96
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	15 35.7	12 28.6	12 28.6	3 7.1	0 0.0	0 0.0	3.93	0.96
⑨	授業の進行速度は適切だった。	18 42.9	9 21.4	13 31.0	2 4.8	0 0.0	0 0.0	4.02	0.96

d. 熱意・相互作用

⑩	教員の熱意が伝わってきた。	16 38.1	10 23.8	11 26.2	4 9.5	1 2.4	0 0.0	3.86	1.10
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	14 33.3	12 28.6	9 21.4	5 11.9	2 4.8	0 0.0	3.74	1.18
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	13 31.0	13 31.0	12 28.6	3 7.1	1 2.4	0 0.0	3.81	1.03

e. 学生の自己評価

⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	32 76.2	6 14.3	4 9.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.67	0.64
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	18 42.9	14 33.3	10 23.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.19	0.79
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	25 59.5	7 16.7	8 19.0	2 4.8	0 0.0	0 0.0	4.31	0.94



科目コード	1H0402	科目名	疾病の成り立ちと回復の促進 I	担当教員名	佐藤裕子
-------	--------	-----	-----------------	-------	------

<教員からのコメント>

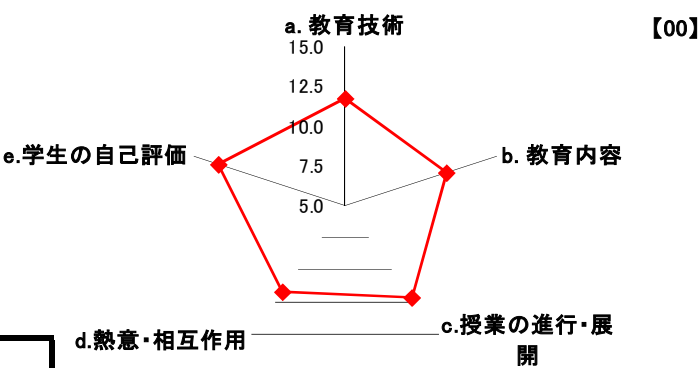
この教科は国家試験の成績に直結する科目なので、今年度（私が1年生の後期に「疾病の成り立ちと回復の促進 I、II、III」教えた学生がこの年に初めて国家試験を受けました）の「国家試験合格率100%」は何よりも嬉しいニュースでした。今後もこの数値が続いて欲しいと思います。

授業(講義)評価結果(2015年度後期)

履修者数	71	回収数	29	回収率	40.8%
------	----	-----	----	-----	-------

科目: 疾病の成り立ちと回復の促進Ⅱ
担当者:
佐藤裕子

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,245	13.07	2.33	29	11.72	2.52
b. 教育内容	3,260	12.97	2.46	29	11.69	2.28
c. 授業の進行・展開	3,255	13.41	2.09	29	12.14	2.18
d. 熱意・相互作用	3,247	13.27	2.27	29	11.69	1.95
e. 学生の自己評価	3,251	13.88	1.63	27	13.37	1.57



N=29

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	7 24.1	16 55.2	4 13.8	2 6.9	0 0.0	0 0.0	3.97	0.81
②	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	7 24.1	14 48.3	6 20.7	1 3.4	1 3.4	0 0.0	3.86	0.94
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	8 27.6	13 44.8	5 17.2	3 10.3	0 0.0	0 0.0	3.90	0.92

b. 教育内容

④	授業の内容はわかりやすかった。	5 17.2	14 48.3	6 20.7	4 13.8	0 0.0	0 0.0	3.69	0.91
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	8 27.6	14 48.3	6 20.7	1 3.4	0 0.0	0 0.0	4.00	0.79
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	7 24.1	15 51.7	7 24.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.00	0.69

c. 授業の進行・展開

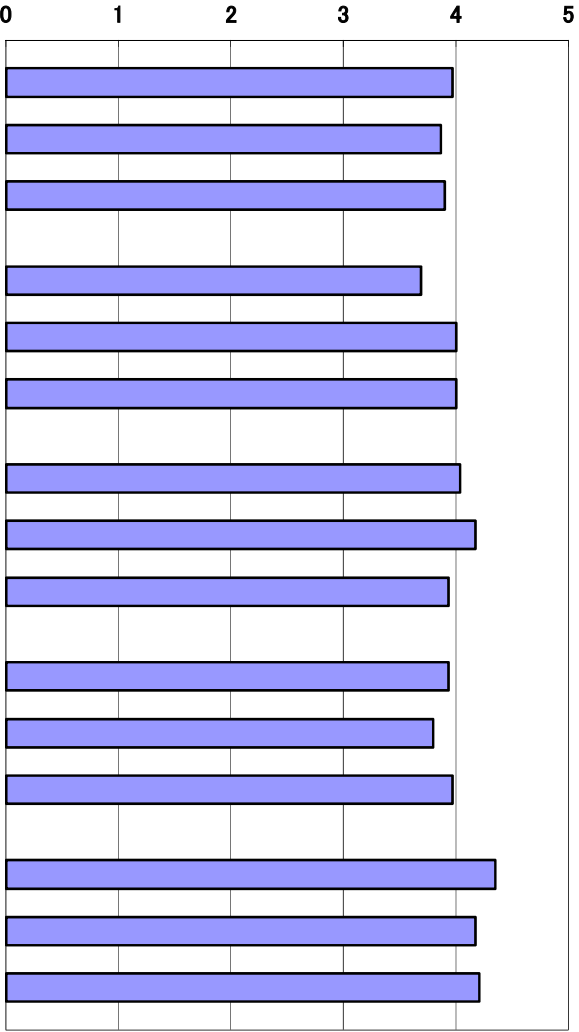
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	9 31.0	12 41.4	8 27.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.03	0.76
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	10 34.5	14 48.3	5 17.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.17	0.70
⑨	授業の進行速度は適切だった。	7 24.1	15 51.7	5 17.2	2 6.9	0 0.0	0 0.0	3.93	0.83

d. 熱意・相互作用

⑩	教員の熱意が伝わってきた。	7 24.1	15 51.7	5 17.2	2 6.9	0 0.0	0 0.0	3.93	0.83
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	4 13.8	16 55.2	8 27.6	1 3.4	0 0.0	0 0.0	3.79	0.71
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	6 20.7	16 55.2	7 24.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3.97	0.67

e. 学生の自己評価

⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	19 65.5	7 24.1	1 3.4	0 0.0	0 0.0	2 6.9	4.34	1.29
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	12 41.4	13 44.8	3 10.3	0 0.0	0 0.0	1 3.4	4.17	1.02
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	13 44.8	12 41.4	3 10.3	0 0.0	0 0.0	1 3.4	4.21	1.03



科目コード	1H0501	科目名	疾病の成り立ちと回復の促進Ⅱ	担当教員名	佐藤裕子
-------	--------	-----	----------------	-------	------

＜教員からのコメント＞

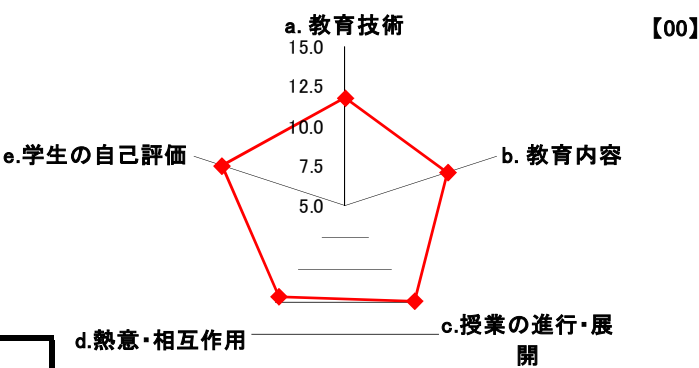
この教科は国家試験の成績に直結する科目なので、今年度（私が1年生の後期に「疾病の成り立ちと回復の促進Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ」教えた学生がこの年に初めて国家試験を受けました）の「国家試験合格率100%」は何よりも嬉しいニュースでした。今後もこの数値が続いて欲しいと思います。

授業(講義)評価結果(2015年度後期)

履修者数	75	回収数	30	回収率	40.0%
------	----	-----	----	-----	-------

科目: 疾病の成り立ちと回復の促進Ⅱ
担当者:
佐藤裕子

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,245	13.07	2.33	30	11.77	2.93
b. 教育内容	3,260	12.97	2.46	30	11.77	2.56
c. 授業の進行・展開	3,255	13.41	2.09	30	12.40	2.50
d. 熱意・相互作用	3,247	13.27	2.27	30	12.07	2.73
e. 学生の自己評価	3,251	13.88	1.63	30	13.13	2.26



N=30

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	11 36.7	10 33.3	6 20.0	3 10.0	0 0.0	0 0.0	3.97	0.98
②	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	10 33.3	10 33.3	7 23.3	3 10.0	0 0.0	0 0.0	3.90	0.98
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	11 36.7	10 33.3	4 13.3	5 16.7	0 0.0	0 0.0	3.90	1.08

b. 教育内容

④	授業の内容はわかりやすかった。	9 30.0	7 23.3	10 33.3	4 13.3	0 0.0	0 0.0	3.70	1.04
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	10 33.3	11 36.7	8 26.7	1 3.3	0 0.0	0 0.0	4.00	0.86
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	11 36.7	11 36.7	7 23.3	1 3.3	0 0.0	0 0.0	4.07	0.85

c. 授業の進行・展開

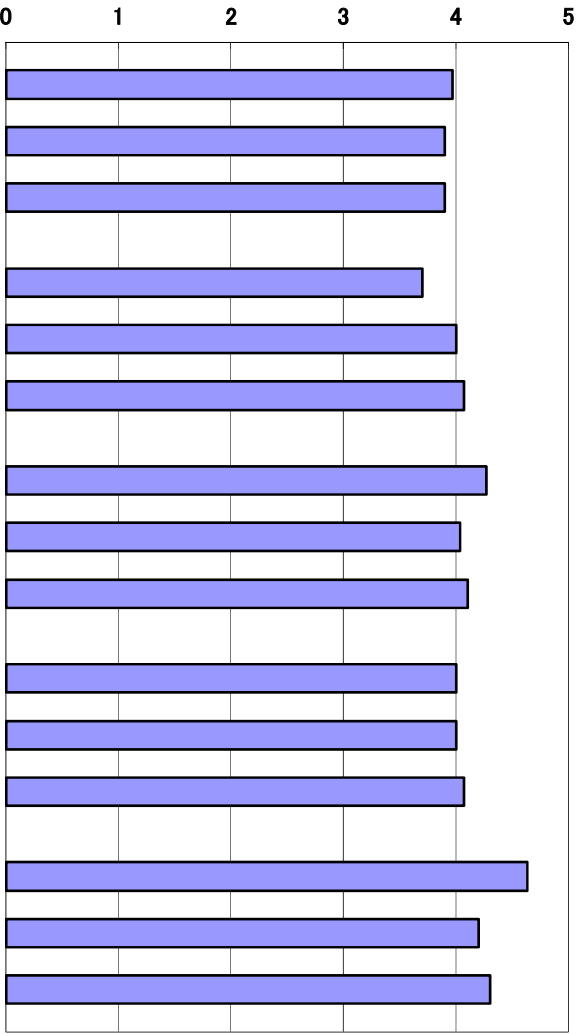
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	14 46.7	11 36.7	4 13.3	1 3.3	0 0.0	0 0.0	4.27	0.81
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	13 43.3	7 23.3	8 26.7	2 6.7	0 0.0	0 0.0	4.03	0.98
⑨	授業の進行速度は適切だった。	13 43.3	8 26.7	8 26.7	1 3.3	0 0.0	0 0.0	4.10	0.91

d. 熱意・相互作用

⑩	教員の熱意が伝わってきた。	14 46.7	4 13.3	10 33.3	2 6.7	0 0.0	0 0.0	4.00	1.03
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	12 40.0	7 23.3	10 33.3	1 3.3	0 0.0	0 0.0	4.00	0.93
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	14 46.7	6 20.0	8 26.7	2 6.7	0 0.0	0 0.0	4.07	1.00

e. 学生の自己評価

⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	23 76.7	3 10.0	4 13.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.63	0.71
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	15 50.0	8 26.7	6 20.0	0 0.0	1 3.3	0 0.0	4.20	0.98
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	16 53.3	8 26.7	5 16.7	1 3.3	0 0.0	0 0.0	4.30	0.86



科目コード	1H0502	科目名	疾病の成り立ちと回復の促進Ⅱ	担当教員名	佐藤裕子
-------	--------	-----	----------------	-------	------

<教員からのコメント>

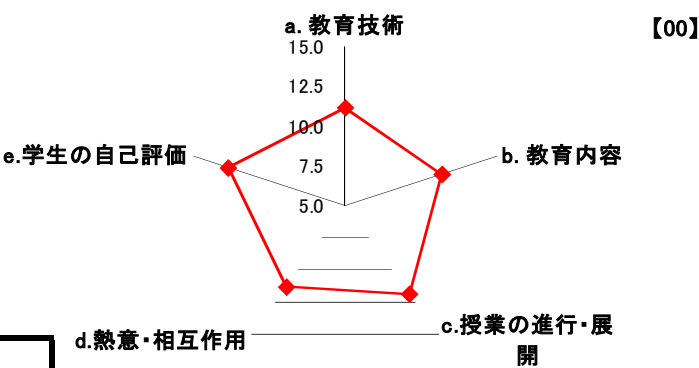
この教科は国家試験の成績に直結する科目なので、今年度（私が1年生の後期に「疾病の成り立ちと回復の促進Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ」教えた学生がこの年に初めて国家試験を受けました）の「国家試験合格率100%」は何よりも嬉しいニュースでした。今後もこの数値が続いて欲しいと思います。

授業(講義)評価結果(2015年度後期)

履修者数	71	回収数	38	回収率	53.5%
------	----	-----	----	-----	-------

科目: 疾病の成り立ちと回復の促進Ⅲ
担当者:
佐藤裕子

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,245	13.07	2.33	37	11.14	2.20
b. 教育内容	3,260	12.97	2.46	38	11.37	1.95
c. 授業の進行・展開	3,255	13.41	2.09	38	11.87	1.75
d. 熱意・相互作用	3,247	13.27	2.27	38	11.29	2.13
e. 学生の自己評価	3,251	13.88	1.63	38	12.71	2.15



N=38

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	6 15.8	22 57.9	8 21.1	1 2.6	0 0.0	1 2.6	3.79	0.92
②	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	6 15.8	19 50.0	8 21.1	5 13.2	0 0.0	0 0.0	3.68	0.89
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	5 13.2	14 36.8	13 34.2	6 15.8	0 0.0	0 0.0	3.47	0.91

b. 教育内容

④	授業の内容はわかりやすかった。	5 13.2	16 42.1	12 31.6	5 13.2	0 0.0	0 0.0	3.55	0.88
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	9 23.7	23 60.5	5 13.2	1 2.6	0 0.0	0 0.0	4.05	0.69
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	5 13.2	22 57.9	8 21.1	3 7.9	0 0.0	0 0.0	3.76	0.78

c. 授業の進行・展開

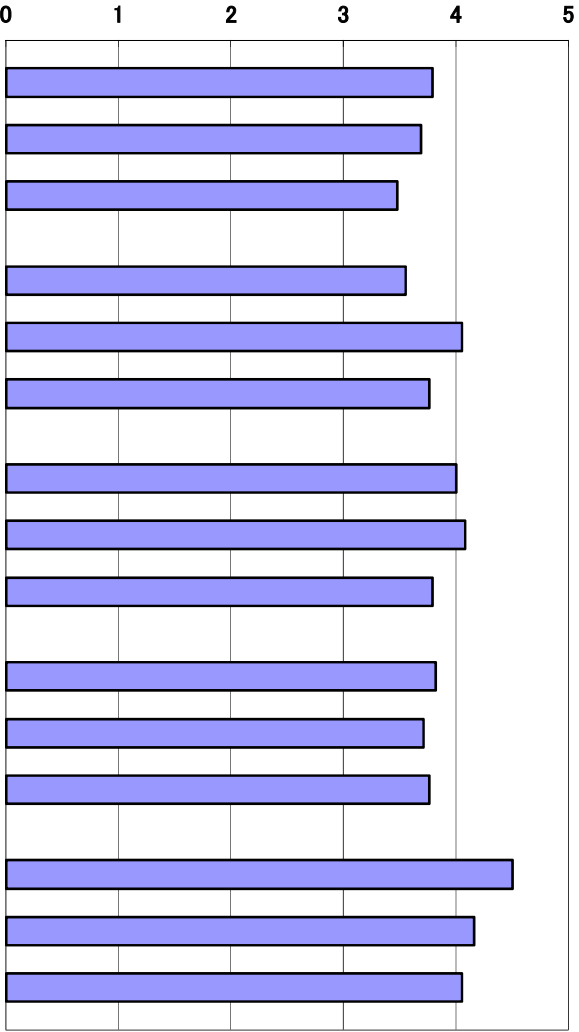
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	8 21.1	23 60.5	6 15.8	1 2.6	0 0.0	0 0.0	4.00	0.69
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	9 23.7	24 63.2	4 10.5	1 2.6	0 0.0	0 0.0	4.08	0.66
⑨	授業の進行速度は適切だった。	6 15.8	20 52.6	10 26.3	2 5.3	0 0.0	0 0.0	3.79	0.77

d. 熱意・相互作用

⑩	教員の熱意が伝わってきた。	7 18.4	20 52.6	8 21.1	3 7.9	0 0.0	0 0.0	3.82	0.82
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	5 13.2	20 52.6	10 26.3	3 7.9	0 0.0	0 0.0	3.71	0.79
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	5 13.2	23 60.5	7 18.4	2 5.3	1 2.6	0 0.0	3.76	0.84

e. 学生の自己評価

⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	23 60.5	12 31.6	2 5.3	1 2.6	0 0.0	0 0.0	4.50	0.72
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	15 39.5	15 39.5	7 18.4	1 2.6	0 0.0	0 0.0	4.16	0.81
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	14 36.8	14 36.8	8 21.1	2 5.3	0 0.0	0 0.0	4.05	0.89



科目コード	1H0601	科目名	疾病の成り立ちと回復の促進Ⅲ	担当教員名	佐藤裕子
-------	--------	-----	----------------	-------	------

<教員からのコメント>

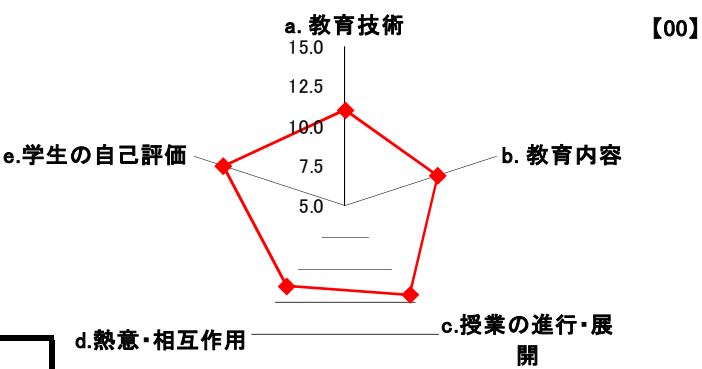
この教科は国家試験の成績に直結する科目なので、今年度（私が1年生の後期に「疾病の成り立ちと回復の促進Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ」教えた学生がこの年に初めて国家試験を受けました）の「国家試験合格率100%」は何よりも嬉しいニュースでした。今後もこの数値が続いて欲しいと思います。

授業(講義)評価結果(2015年度後期)

履修者数	73	回収数	36	回収率	49.3%
------	----	-----	----	-----	-------

科目: 疾病の成り立ちと回復の促進Ⅲ
担当者: 佐藤裕子

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,245	13.07	2.33	36	11.00	3.73
b. 教育内容	3,260	12.97	2.46	36	11.11	3.59
c. 授業の進行・展開	3,255	13.41	2.09	36	11.92	3.09
d. 熱意・相互作用	3,247	13.27	2.27	36	11.25	3.40
e. 学生の自己評価	3,251	13.88	1.63	35	13.06	1.88



N=36

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	11 30.6	16 44.4	4 11.1	1 2.8	4 11.1	0 0.0	3.81	1.22
②	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	11 30.6	13 36.1	6 16.7	0 0.0	6 16.7	0 0.0	3.64	1.36
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	10 27.8	12 33.3	7 19.4	2 5.6	5 13.9	0 0.0	3.56	1.32

b. 教育内容

④	授業の内容はわかりやすかった。	10 27.8	12 33.3	7 19.4	2 5.6	5 13.9	0 0.0	3.56	1.32
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	10 27.8	16 44.4	6 16.7	1 2.8	3 8.3	0 0.0	3.81	1.13
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	13 36.1	11 30.6	6 16.7	2 5.6	4 11.1	0 0.0	3.75	1.30

c. 授業の進行・展開

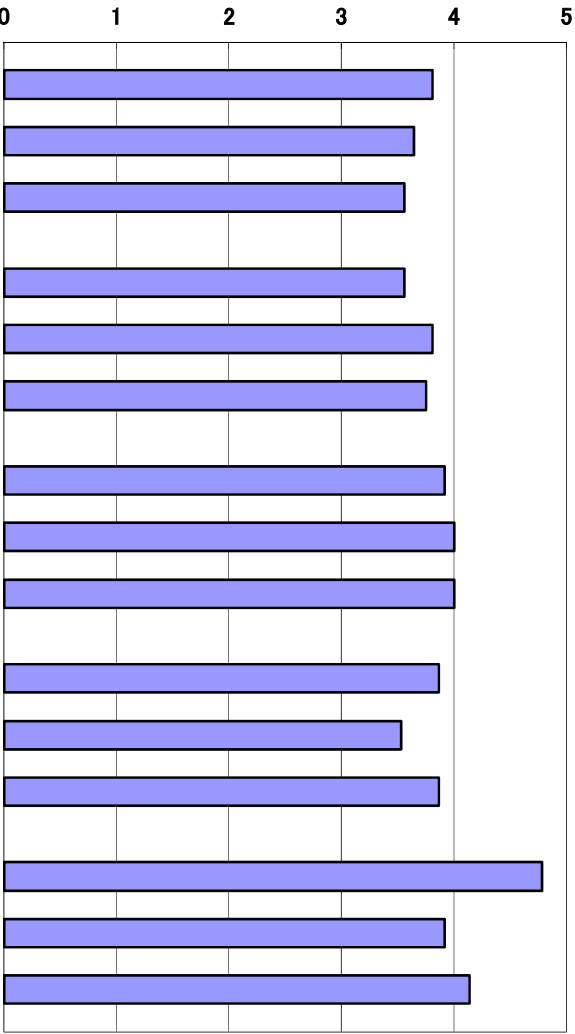
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	13 36.1	14 38.9	5 13.9	1 2.8	3 8.3	0 0.0	3.92	1.16
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	14 38.9	14 38.9	5 13.9	0 0.0	3 8.3	0 0.0	4.00	1.13
⑨	授業の進行速度は適切だった。	13 36.1	15 41.7	5 13.9	1 2.8	2 5.6	0 0.0	4.00	1.05

d. 熱意・相互作用

⑩	教員の熱意が伝わってきた。	14 38.9	10 27.8	8 22.2	1 2.8	3 8.3	0 0.0	3.86	1.21
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	9 25.0	12 33.3	7 19.4	5 13.9	3 8.3	0 0.0	3.53	1.24
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	13 36.1	13 36.1	4 11.1	4 11.1	2 5.6	0 0.0	3.86	1.18

e. 学生の自己評価

⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	29 80.6	6 16.7	1 2.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.78	0.48
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	13 36.1	14 38.9	5 13.9	2 5.6	1 2.8	1 2.8	3.92	1.19
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	15 41.7	16 44.4	3 8.3	0 0.0	1 2.8	1 2.8	4.14	1.08



科目コード	1H0602	科目名	疾病の成り立ちと回復の促進Ⅲ	担当教員名	佐藤裕子
-------	--------	-----	----------------	-------	------

<教員からのコメント>

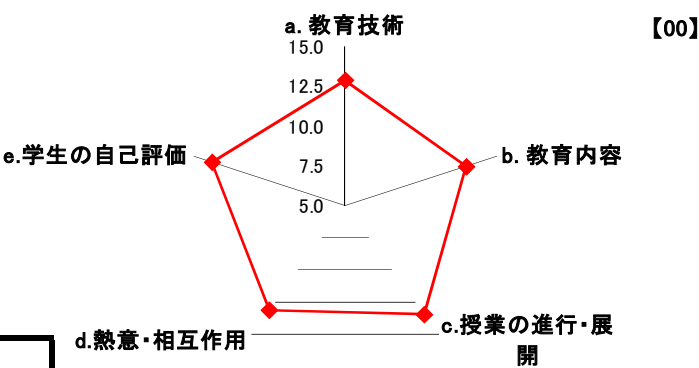
この教科は国家試験の成績に直結する科目なので、今年度（私が1年生の後期に「疾病の成り立ちと回復の促進Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ」教えた学生がこの年に初めて国家試験を受けました）の「国家試験合格率100%」は何よりも嬉しいニュースでした。今後もこの数値が続いて欲しいと思います。

授業(講義)評価結果(2015年度後期)

履修者数	144	回収数	111	回収率	77.1%
------	-----	-----	-----	-----	-------

科目: 疾病の成り立ちと回復の促進Ⅳ
担当者: 鈴木憲史

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,245	13.07	2.33	109	12.87	2.03
b. 教育内容	3,260	12.97	2.46	111	12.98	2.04
c. 授業の進行・展開	3,255	13.41	2.09	109	13.43	1.77
d. 熱意・相互作用	3,247	13.27	2.27	110	13.09	1.90
e. 学生の自己評価	3,251	13.88	1.63	110	13.79	1.48



N=111

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	49 44.1	50 45.0	6 5.4	4 3.6	0 0.0	2 1.8	4.24	0.93
②	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	45 40.5	42 37.8	18 16.2	5 4.5	0 0.0	1 0.9	4.12	0.94
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	54 48.6	50 45.0	6 5.4	1 0.9	0 0.0	0 0.0	4.41	0.64

b. 教育内容

④	授業の内容はわかりやすかった。	45 40.5	54 48.6	7 6.3	5 4.5	0 0.0	0 0.0	4.25	0.76
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	51 45.9	49 44.1	9 8.1	2 1.8	0 0.0	0 0.0	4.34	0.70
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	53 47.7	49 44.1	8 7.2	1 0.9	0 0.0	0 0.0	4.39	0.66

c. 授業の進行・展開

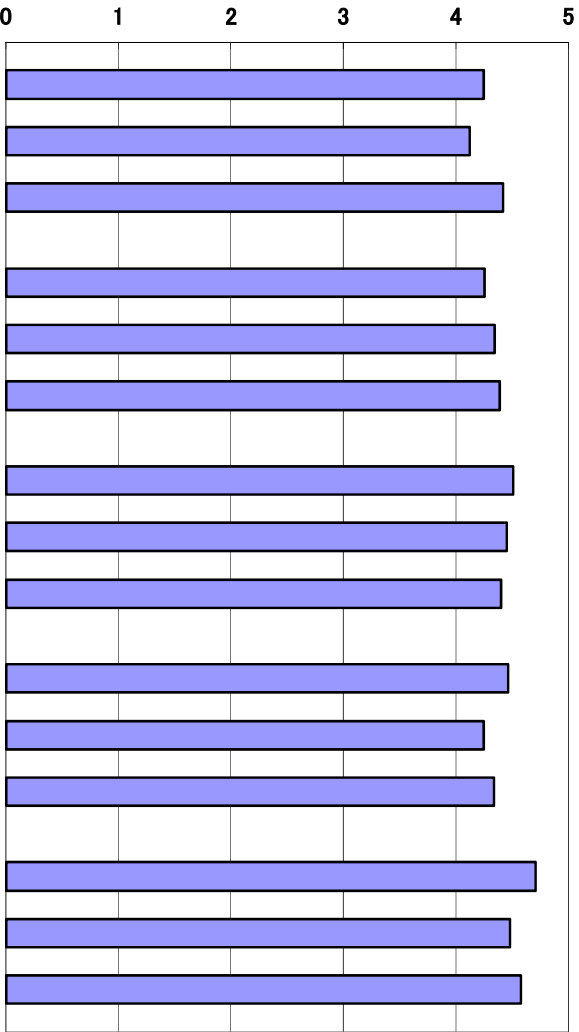
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	61 55.0	46 41.4	3 2.7	1 0.9	0 0.0	0 0.0	4.50	0.60
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	61 55.0	43 38.7	5 4.5	1 0.9	0 0.0	1 0.9	4.45	0.76
⑨	授業の進行速度は適切だった。	59 53.2	42 37.8	7 6.3	2 1.8	0 0.0	1 0.9	4.40	0.81

d. 熱意・相互作用

⑩	教員の熱意が伝わってきた。	61 55.0	42 37.8	6 5.4	2 1.8	0 0.0	0 0.0	4.46	0.68
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	46 41.4	47 42.3	17 15.3	1 0.9	0 0.0	0 0.0	4.24	0.74
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	50 45.0	53 47.7	5 4.5	2 1.8	0 0.0	1 0.9	4.33	0.77

e. 学生の自己評価

⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	83 74.8	26 23.4	1 0.9	0 0.0	0 0.0	1 0.9	4.70	0.64
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	63 56.8	39 35.1	8 7.2	1 0.9	0 0.0	0 0.0	4.48	0.67
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	70 63.1	36 32.4	4 3.6	1 0.9	0 0.0	0 0.0	4.58	0.61



科目コード	1H0700	科目名	疾病の成り立ちと回復の促進Ⅳ	担当教員名	鈴木憲史
-------	--------	-----	----------------	-------	------

<教員からのコメント>

1978年から日赤看護短大でアレルギー膠原病の講義を始め、看護大学の1回生（吉利和院長が講義）以外は約40年近く〔内科診断と治療〕の講義をしてまいりました。現在卒業生は日赤医療センターの師長や、各種大学の看護系教官など指導的立場でも活躍しており、声をかけていただき教師冥利に尽きます。今までの学生を見ると、前向きに取り組み、かつ明るい学生が伸びていると思います。あなた方は全国有数の看護大学の看板を背負うことになるのですから、教官を信じ、どんどん吸収してください。

授業(講義)評価結果(2015年度後期)

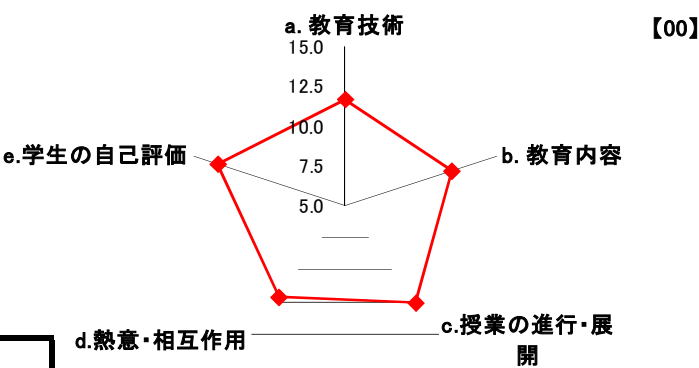
履修者数	122	回収数	51	回収率	41.8%
------	-----	-----	----	-----	-------

科目: 疾病の成り立ちと回復の促進Ⅴ

担当者:

鈴木憲史・高屋和彦・伊藤由紀子・鈴木毅・安藤常浩・壺岐聖子・國頭英夫

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,245	13.07	2.33	49	11.65	2.40
b. 教育内容	3,260	12.97	2.46	51	12.04	2.46
c. 授業の進行・展開	3,255	13.41	2.09	51	12.53	2.23
d. 熱意・相互作用	3,247	13.27	2.27	51	12.08	2.28
e. 学生の自己評価	3,251	13.88	1.63	51	13.41	2.02



N=51

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	11	23	11	4	0	2	3.69	1.13
②	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	10	26	10	5	0	0	3.80	0.86
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	15	24	10	2	0	0	4.02	0.80

b. 教育内容

④	授業の内容はわかりやすかった。	14	21	11	4	1	0	3.84	0.98
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	18	24	8	1	0	0	4.16	0.75
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	17	23	7	4	0	0	4.04	0.88

c. 授業の進行・展開

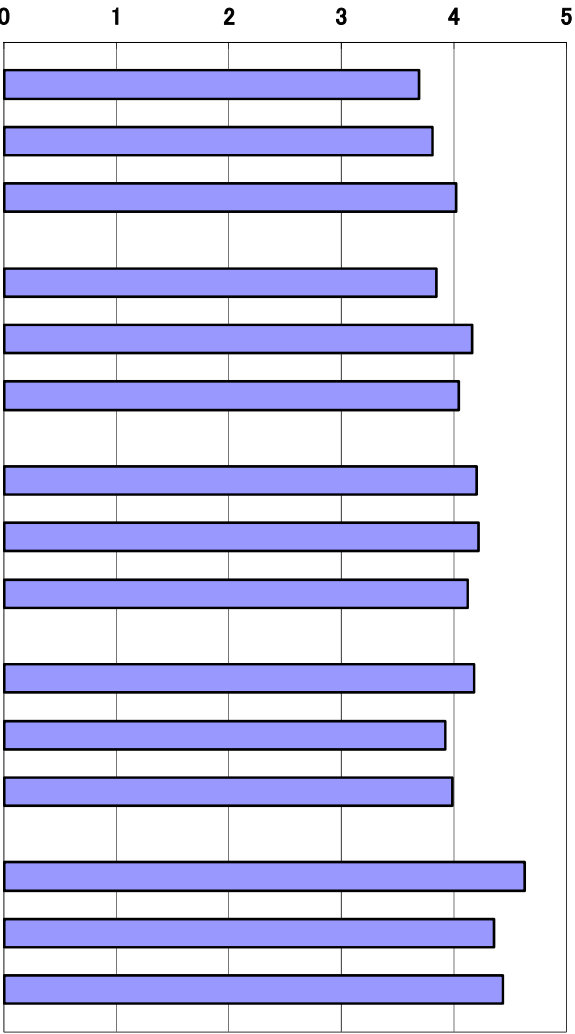
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	21	22	6	1	1	0	4.20	0.86
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	18	27	5	1	0	0	4.22	0.69
⑨	授業の進行速度は適切だった。	18	24	6	3	0	0	4.12	0.83

d. 熱意・相互作用

⑩	教員の熱意が伝わってきた。	20	22	7	2	0	0	4.18	0.81
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	14	21	14	2	0	0	3.92	0.84
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	14	24	11	2	0	0	3.98	0.80

e. 学生の自己評価

⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	37	10	3	1	0	0	4.63	0.68
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	26	18	6	1	0	0	4.35	0.76
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	29	16	5	1	0	0	4.43	0.75



科目コード	1H0800	科目名	疾病の成り立ちと回復の促進Ⅴ	担当教員名	鈴木憲史・高屋和彦・伊藤由紀子・鈴木毅・ 安藤常浩・壹岐聖子・國頭英夫
-------	--------	-----	----------------	-------	--

<教員からのコメント>

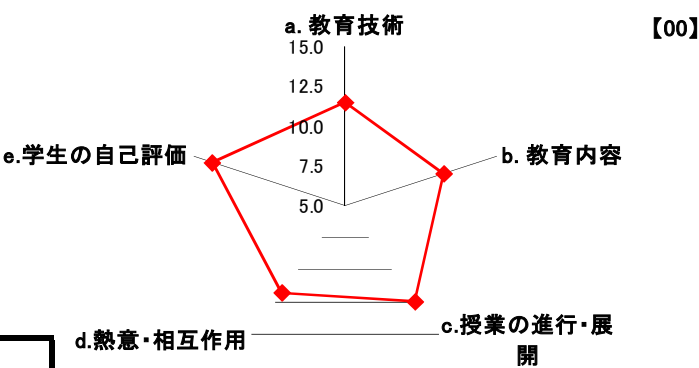
1978年から日赤看護短大でアレルギー膠原病の講義を始め、看護大学の1回生(吉利和院長が講義)以外は約40年近く{内科診断と治療}の講義をしてまいりました。現在卒業生は日赤医療センターの師長や、各種大学の看護系教官など指導的立場でも活躍しており、声をかけていただき教師冥利に尽きます。今までの学生を見ると、前向きに取り組み、かつ明るい学生が伸びていると思います。あなた方は全国有数の看護大学の看板を背負うことになるのですから、教官を信じ、どんどん吸収してください。

授業(講義)評価結果(2015年度後期)

履修者数	141	回収数	90	回収率	63.8%
------	-----	-----	----	-----	-------

科目:薬理学
担当者:
吉見猛・井上直路

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,245	13.07	2.33	89	11.48	3.05
b. 教育内容	3,260	12.97	2.46	90	11.51	2.92
c.授業の進行・展開	3,255	13.41	2.09	90	12.43	2.45
d.熱意・相互作用	3,247	13.27	2.27	87	11.77	2.87
e.学生の自己評価	3,251	13.88	1.63	90	13.76	1.92



N=90

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	32	28	22	5	2	1	3.89	1.09
②	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	31	23	22	9	4	1	3.72	1.22
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	28	31	18	10	3	0	3.79	1.10

b. 教育内容

④	授業の内容はわかりやすかった。	27	27	19	14	3	0	3.68	1.15
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	28	32	21	7	2	0	3.86	1.02
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	29	38	16	6	1	0	3.98	0.93

c.授業の進行・展開

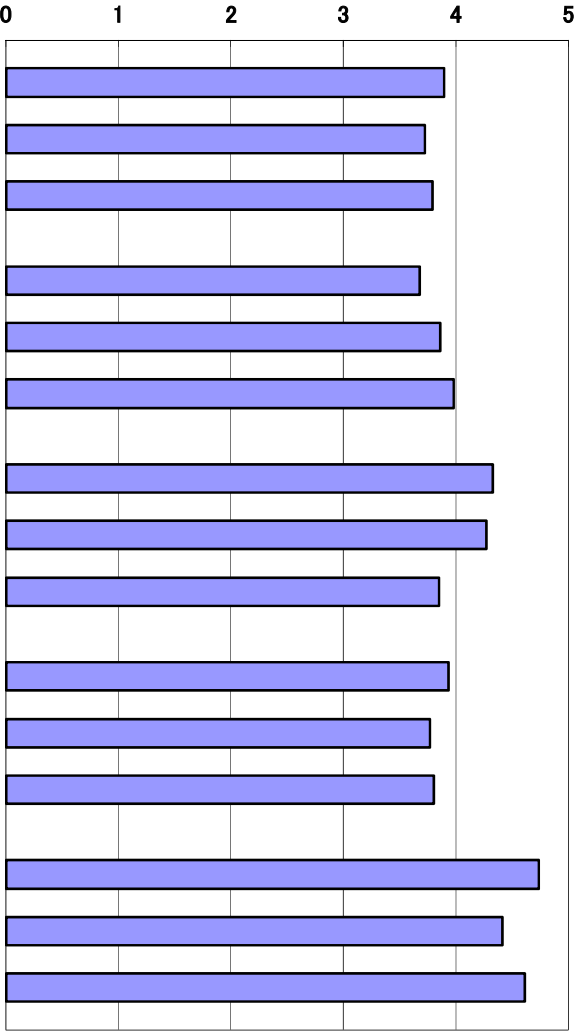
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	46	31	10	2	1	0	4.32	0.84
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	42	35	9	3	1	0	4.27	0.85
⑨	授業の進行速度は適切だった。	34	27	13	13	3	0	3.84	1.17

d.熱意・相互作用

⑩	教員の熱意が伝わってきた。	30	35	16	7	2	0	3.93	1.01
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	29	31	13	14	3	0	3.77	1.16
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	30	29	21	6	1	3	3.80	1.19

e.学生の自己評価

⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	72	13	4	1	0	0	4.73	0.59
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	52	27	8	2	1	0	4.41	0.83
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	64	20	4	1	1	0	4.61	0.73



科目コード	1H1000	科目名	薬理学	担当教員名	吉見猛・井上直路
-------	--------	-----	-----	-------	----------

＜教員からのコメント＞

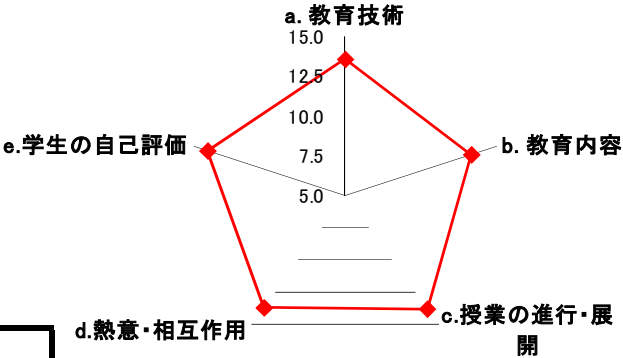
学生の意見を参考にして、分かりやすく興味が持てる授業ができるようにしていきたいと思います。

授業(講義)評価結果(2015年度後期)

履修者数	153	回収数	114	回収率	74.5%
------	-----	-----	-----	-----	-------

科目:遺伝と遺伝カウンセリング
担当者:
守田美奈子・笠井靖代

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,245	13.07	2.33	113	13.57	1.92
b. 教育内容	3,260	12.97	2.46	113	13.32	2.07
c.授業の進行・展開	3,255	13.41	2.09	112	13.79	1.63
d.熱意・相互作用	3,247	13.27	2.27	112	13.67	1.83
e.学生の自己評価	3,251	13.88	1.63	112	14.08	1.42



N=114

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	69 60.5	36 31.6	8 7.0	0 0.0	0 0.0	1 0.9	4.50	0.75
②	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	69 60.5	33 28.9	10 8.8	1 0.9	0 0.0	1 0.9	4.46	0.81
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	69 60.5	35 30.7	8 7.0	1 0.9	0 0.0	1 0.9	4.48	0.79

b. 教育内容

④	授業の内容はわかりやすかった。	56 49.1	43 37.7	10 8.8	4 3.5	0 0.0	1 0.9	4.30	0.88
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	66 57.9	38 33.3	5 4.4	4 3.5	0 0.0	1 0.9	4.43	0.85
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	68 59.6	36 31.6	8 7.0	1 0.9	0 0.0	1 0.9	4.47	0.79

c. 授業の進行・展開

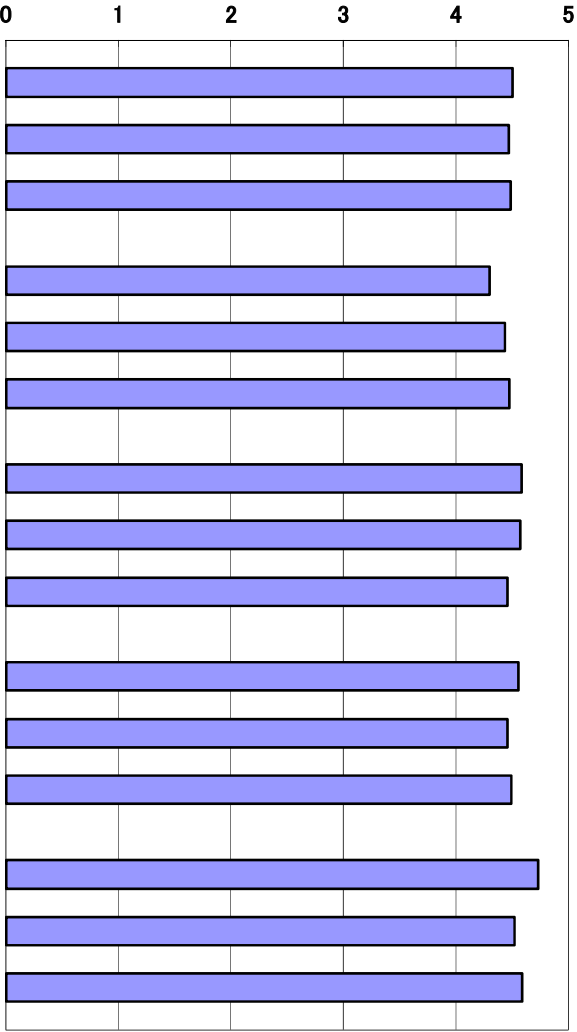
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	75 65.8	33 28.9	5 4.4	0 0.0	0 0.0	1 0.9	4.58	0.71
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	74 64.9	34 29.8	5 4.4	0 0.0	0 0.0	1 0.9	4.57	0.71
⑨	授業の進行速度は適切だった。	66 57.9	40 35.1	6 5.3	0 0.0	0 0.0	2 1.8	4.46	0.84

d. 熱意・相互作用

⑩	教員の熱意が伝わってきた。	74 64.9	32 28.1	7 6.1	0 0.0	0 0.0	1 0.9	4.55	0.74
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	68 59.6	35 30.7	8 7.0	2 1.8	0 0.0	1 0.9	4.46	0.82
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	72 63.2	33 28.9	6 5.3	1 0.9	0 0.0	2 1.8	4.49	0.87

e. 学生の自己評価

⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	93 81.6	17 14.9	2 1.8	0 0.0	0 0.0	2 1.8	4.73	0.76
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	74 64.9	31 27.2	7 6.1	0 0.0	0 0.0	2 1.8	4.52	0.85
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	81 71.1	25 21.9	6 5.3	0 0.0	0 0.0	2 1.8	4.59	0.84



科目コード	1H1200	科目名	遺伝と遺伝カウンセリング	担当教員名	守田美奈子・笠井靖代
-------	--------	-----	--------------	-------	------------

<教員からのコメント>

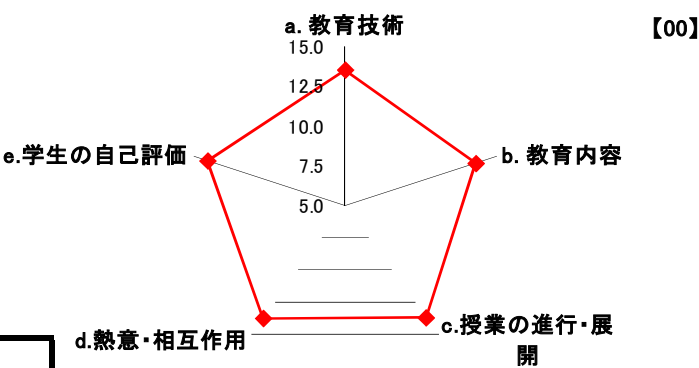
遺伝カウンセリングは、皆様にとってまだなじみの少ない分野だと思いますが、講義を通して遺伝と遺伝カウンセリングの重要性について学びを深めることができた、あるいは遺伝看護に興味を持ちました、などの感想を頂き、授業評価も全体としてよい評価をいただきました。学生の皆さんの授業の望む態度などの自己評価も4.73と高く、積極的に授業に望まれたことが伺え、大変うれしく思っております。昨年よりも、高い評価となっておりますので、授業の改善努力は学生の皆様に伝わってきていると思いましたが、課題としては、難しい内容が盛りだくさんで難しかったという感想もいただいておりますので、よりわかりやすい授業になるようさらに改善を重ねていきたいと思っています。

授業(講義)評価結果(2015年度後期)

履修者数	141	回収数	106	回収率	75.2%
------	-----	-----	-----	-----	-------

科目:栄養学
担当者:
保瀬由江

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,245	13.07	2.33	106	13.51	1.84
b. 教育内容	3,260	12.97	2.46	106	13.62	1.99
c.授業の進行・展開	3,255	13.41	2.09	106	13.66	1.78
d.熱意・相互作用	3,247	13.27	2.27	106	13.75	1.74
e.学生の自己評価	3,251	13.88	1.63	105	14.08	1.30



N=106

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	62 58.5	37 34.9	6 5.7	1 0.9	0 0.0	0 0.0	4.51	0.65
②	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	60 56.6	35 33.0	10 9.4	1 0.9	0 0.0	0 0.0	4.45	0.70
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	68 64.2	29 27.4	8 7.5	1 0.9	0 0.0	0 0.0	4.55	0.67

b. 教育内容

④	授業の内容はわかりやすかった。	68 64.2	30 28.3	7 6.6	1 0.9	0 0.0	0 0.0	4.56	0.66
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	65 61.3	33 31.1	7 6.6	0 0.0	1 0.9	0 0.0	4.52	0.70
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	68 64.2	30 28.3	7 6.6	0 0.0	1 0.9	0 0.0	4.55	0.70

c. 授業の進行・展開

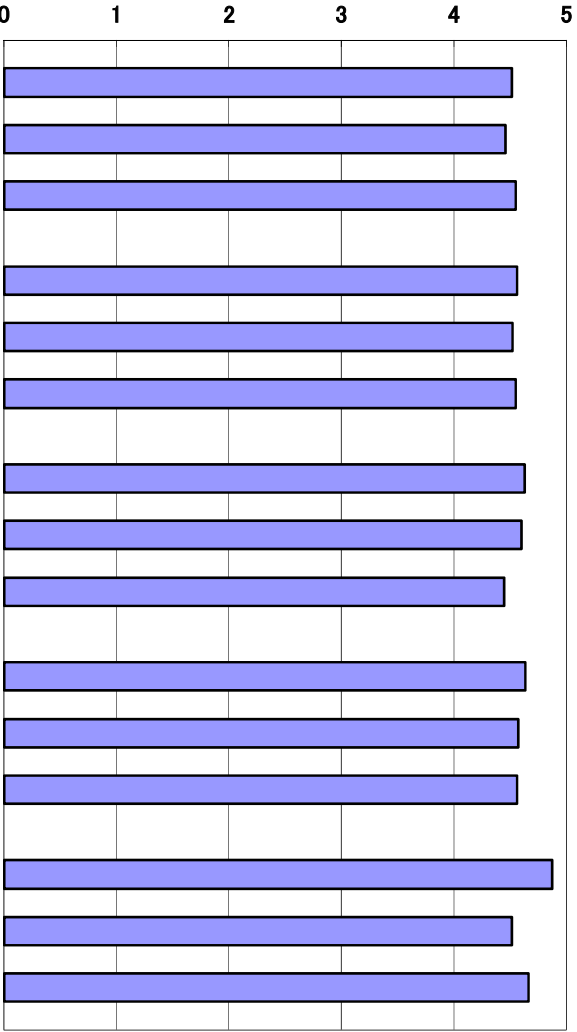
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	71 67.0	30 28.3	5 4.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.62	0.57
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	69 65.1	31 29.2	6 5.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.59	0.60
⑨	授業の進行速度は適切だった。	64 60.4	28 26.4	11 10.4	3 2.8	0 0.0	0 0.0	4.44	0.79

d. 熱意・相互作用

⑩	教員の熱意が伝わってきた。	73 68.9	27 25.5	6 5.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.63	0.59
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	68 64.2	31 29.2	6 5.7	1 0.9	0 0.0	0 0.0	4.57	0.64
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	66 62.3	33 31.1	7 6.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.56	0.62

e. 学生の自己評価

⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	93 87.7	12 11.3	1 0.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.87	0.37
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	65 61.3	33 31.1	7 6.6	0 0.0	0 0.0	1 0.9	4.51	0.76
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	74 69.8	28 26.4	4 3.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.66	0.55



科目コード	1H1300	科目名	栄養学	担当教員名	保瀬由江
-------	--------	-----	-----	-------	------

<教員からのコメント>

看護師を目指す皆さんにとって、栄養学は馴染みの薄い教科とされていますが、食べることは生きることへ繋がっていきます。学生の皆さんやその周りの方々の健康維持の為、また今度皆さんが携わっていく多くの人々の食事管理の礎になることを目的として講義内容を工夫してきました。栄養学の教科書が今後、仕事の中での栄養関連の参考資料となるように、駆け足講義となりましたが、全てを網羅しました。それでも、少ない講義時間、コマ数の中では、講義内容、スピードにも限界があり、まだまだ伝え足りないことも沢山ありました。アンケートに、今後の講義をさらに充実させていくために、皆さんのご意見をありったけ書いてくださいとお願いしたところ、沢山のご意見、ご要望をお書きくださり、ありがとうございました。身近な生活に生かせる内容だったのご意見、スピードが速すぎてノート記載が間に合わなかった・パワーポイントの資料はレジメとして配付して欲しかったのご意見、国家試験問題対応が良かったのご意見等など、一人ひとりの受け止め方があるなか、貴重なご意見を沢山頂きました。配付資料は、沢山お配りしても、持っているだけで安心してしまうことが多いので、本当に大切な資料のみお配りし、その他は教科書にマークをしてもらい、必要な時にそれを振り返ってもらい、直近では国家試験問題に栄養学関連が出題された時には、正解できるようにすることを最終的な目標としました。栄養関連の知識がさらに必要となる時には、厚生労働省や農林水産省から発信されている情報を得たり、その他の資料を参考にしたりしてください。大学で学んだ「栄養学」は目次のようなものです。ぜひ有効活用してください。

皆さんからお寄せいただいたご意見は、今後の「栄養学」の講義で生かしていきたいと思っています。ありがとうございました。

授業(講義)評価結果(2015年度後期)

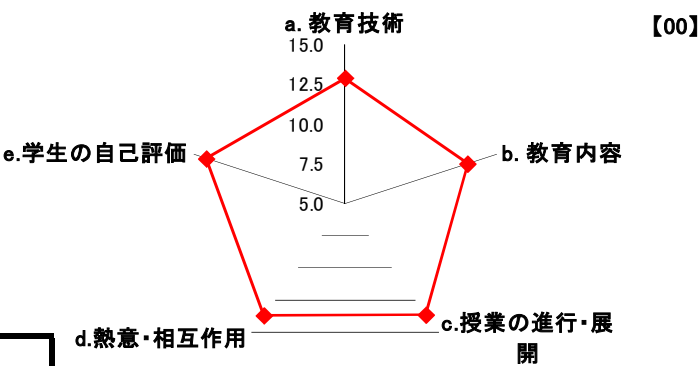
履修者数	142	回収数	103	回収率	72.5%
------	-----	-----	-----	-----	-------

科目:看護学概論Ⅱ

担当者:

守田美奈子・川原由佳里・吉田みつ子・樋口佳栄・安島幹子・殿城友紀・源川奈央子

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,245	13.07	2.33	103	12.87	1.95
b. 教育内容	3,260	12.97	2.46	103	13.10	2.05
c. 授業の進行・展開	3,255	13.41	2.09	102	13.62	1.69
d. 熱意・相互作用	3,247	13.27	2.27	101	13.67	1.77
e. 学生の自己評価	3,251	13.88	1.63	103	14.17	1.34



N=103

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	39 37.9	51 49.5	12 11.7	1 1.0	0 0.0	0 0.0	4.24	0.69
②	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	42 40.8	42 40.8	17 16.5	2 1.9	0 0.0	0 0.0	4.20	0.78
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	55 53.4	37 35.9	11 10.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.43	0.68

b. 教育内容

④	授業の内容はわかりやすかった。	50 48.5	36 35.0	16 15.5	1 1.0	0 0.0	0 0.0	4.31	0.76
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	53 51.5	40 38.8	8 7.8	1 1.0	1 1.0	0 0.0	4.39	0.75
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	55 53.4	37 35.9	9 8.7	1 1.0	1 1.0	0 0.0	4.40	0.77

c. 授業の進行・展開

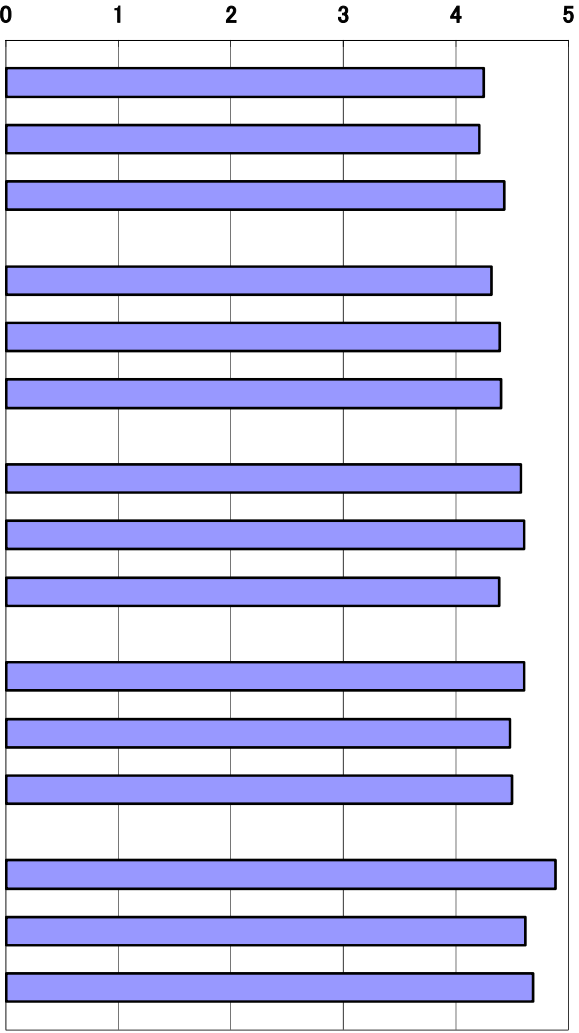
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	68 66.0	29 28.2	5 4.9	0 0.0	0 0.0	1 1.0	4.57	0.73
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	65 63.1	35 34.0	3 2.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.60	0.55
⑨	授業の進行速度は適切だった。	57 55.3	32 31.1	10 9.7	4 3.9	0 0.0	0 0.0	4.38	0.81

d. 熱意・相互作用

⑩	教員の熱意が伝わってきた。	69 67.0	27 26.2	7 6.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.60	0.61
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	62 60.2	29 28.2	11 10.7	1 1.0	0 0.0	0 0.0	4.48	0.72
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	68 66.0	24 23.3	9 8.7	0 0.0	0 0.0	2 1.9	4.50	0.90

e. 学生の自己評価

⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	92 89.3	10 9.7	1 1.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.88	0.35
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	70 68.0	26 25.2	7 6.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.61	0.61
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	75 72.8	23 22.3	5 4.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.68	0.56



科目コード	110200	科目名	看護学概論Ⅱ	担当教員名	守田美奈子・川原由佳里・吉田みつ子・樋口佳栄 安島幹子・殿城友紀・源川奈央子
-------	--------	-----	--------	-------	---

<教員からのコメント>

4年次の最後の授業となる看護学概論Ⅱでは、これまでの学びを土台に、皆さんに看護とは何かに関する自分なりの考えを整理してもらいたいと考え、GWや発表などを中心に授業を展開しています。皆さんの感想では、「4年間学んできた看護について新ためて考えることができて良かったです。」、「改めて倫理について考察することができた」、「看護について深く考えることができた」、「今後も学問として深めていけるようにたまに自分の看護を振り返ろうと思いました」などの感想や意見をいただきました。授業評価も全体としては、好評価をいただきました。ただし、時間が足りない、最後の時期の授業としては負担だった、授業時間内に発表資料を作成することが大変だったなど、講義の時期と時間不足の課題に対する意見もいただきました。この点に関しては可能な限り、検討して改善努力をしていきたいと思ひます。講義の最後の授業のときに、基礎の教員全員の経験と看護観をそれぞれ話してもらいましたが、これは大変好評で、日赤に入ってよかった、先生たちのエールを感じました、失敗をして成長していくことの大切さを感じた、などのご意見をもらい、私たち教員の思いが伝ったと深く感じることができました。私たちもうれしかったです。これは続けていこうと思ひます。

履修者数	3	回収数	3	回収率	100.0%
------	---	-----	---	-----	--------

川原由佳里

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,245	13.07	2.33	3	15.00	0.00
b. 教育内容	3,260	12.97	2.46	3	15.00	0.00
c. 授業の進行・展開	3,255	13.41	2.09	3	15.00	0.00
d. 熱意・相互作用	3,247	13.27	2.27	3	15.00	0.00
e. 学生の自己評価	3,251	13.88	1.63	3	15.00	0.00

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

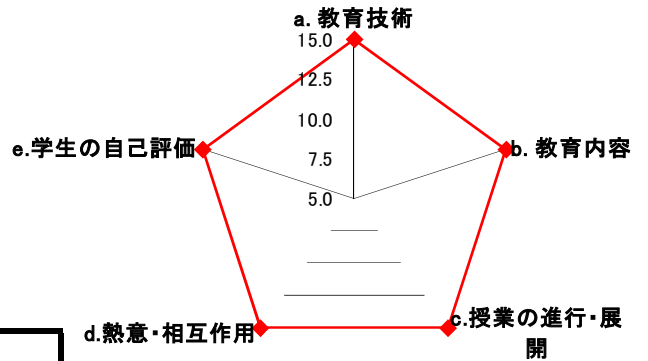
①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	3	0	0	0	0	0	5.00	0.00
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
②	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	3	0	0	0	0	0	5.00	0.00
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	3	0	0	0	0	0	5.00	0.00
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

[illegible]

⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	3	0	0	0	0	0	5.00	0.00
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	3	0	0	0	0	0	5.00	0.00
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
⑨	授業の進行速度は適切だった。	3	0	0	0	0	0	5.00	0.00
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

[illegible]

⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8～7割程度、(3)は6～5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5.00	0.00
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5.00	0.00
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5.00	0.00



0 1 2 3 4 5

[illegible]

科目コード	110400	科目名	看護の歴史	担当教員名	川原由佳里
-------	--------	-----	-------	-------	-------

<教員からのコメント>

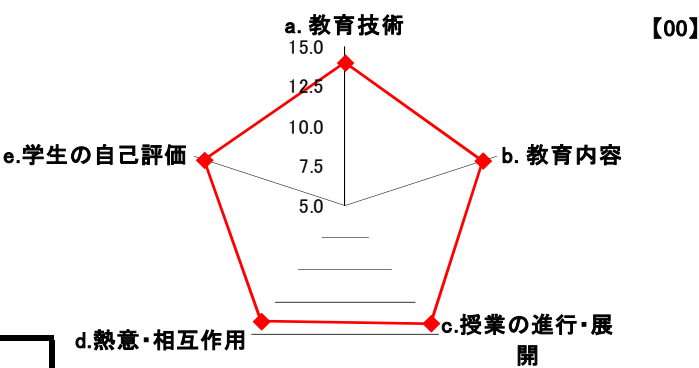
「新しい視点で歴史を学ぶことができ、歴史上の人物について興味をもつことができました。個人的に資料から今後も学びたいです。」「歴史の中の人物や出来事について知ること、今自分たちが学んでいる看護がどのような困難、過程の上に存在しているのかを学び、考えることができた。」などのご意見をいただきました。もっと多くの方々に履修していただけるように、工夫していきたいです。

授業(講義)評価結果(2015年度後期)

履修者数	81	回収数	56	回収率	69.1%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:精神保健看護学Ⅰ
担当者:
小宮敬子・鷹野朋美・堀井湖浪

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,245	13.07	2.33	55	13.98	1.46
b. 教育内容	3,260	12.97	2.46	55	14.07	1.41
c.授業の進行・展開	3,255	13.41	2.09	56	14.14	1.27
d.熱意・相互作用	3,247	13.27	2.27	55	13.96	1.43
e.学生の自己評価	3,251	13.88	1.63	56	14.29	1.15



N=56

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	39 69.6	15 26.8	1 1.8	0 0.0	0 0.0	1 1.8	4.61	0.79
②	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	37 66.1	15 26.8	3 5.4	0 0.0	0 0.0	1 1.8	4.54	0.84
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	38 67.9	18 32.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.68	0.47

b. 教育内容

④	授業の内容はわかりやすかった。	38 67.9	17 30.4	1 1.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.66	0.51
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	38 67.9	17 30.4	1 1.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.66	0.51
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	41 73.2	13 23.2	1 1.8	0 0.0	0 0.0	1 1.8	4.64	0.79

c. 授業の進行・展開

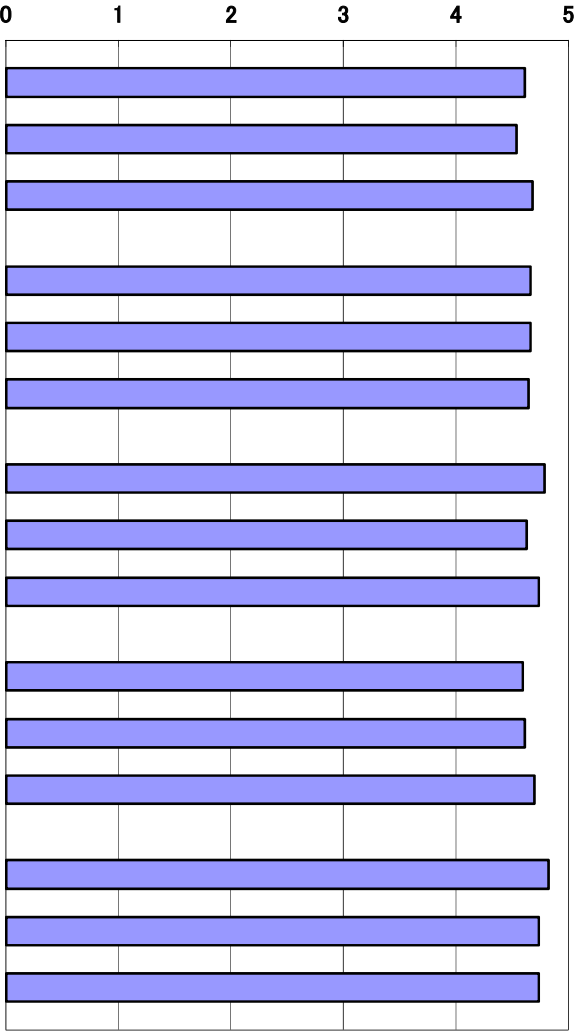
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	44 78.6	12 21.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.79	0.41
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	38 67.9	16 28.6	1 1.8	1 1.8	0 0.0	0 0.0	4.63	0.61
⑨	授業の進行速度は適切だった。	42 75.0	13 23.2	1 1.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.73	0.48

d. 熱意・相互作用

⑩	教員の熱意が伝わってきた。	41 73.2	10 17.9	4 7.1	0 0.0	0 0.0	1 1.8	4.59	0.86
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	37 66.1	16 28.6	3 5.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.61	0.59
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	40 71.4	15 26.8	1 1.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.70	0.50

e. 学生の自己評価

⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	46 82.1	10 17.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.82	0.38
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	41 73.2	15 26.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.73	0.44
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	41 73.2	15 26.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.73	0.44



科目コード	1L0101		精神保健看護学 I (理論)	担当教員名	小宮敬子・鷹野朋実・堀井湖浪・古城門靖子
-------	--------	--	----------------	-------	----------------------

<教員からのコメント>

○全体的な評価について: 皆さんからは、人間の精神全般について興味・関心が湧いた、授業中に用いた資料が面白かった、前回の質問一覧の資料をみて振り返ることができた、などの意見が多く、高い評価をいただきました。来年度からもさらにブラッシュアップしていきたいと思います。

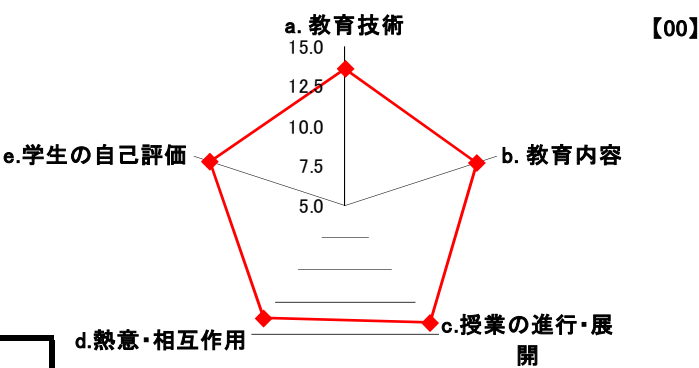
○改善点: 最初に配布したシラバスに記載していた使用テキストと実際の使用とがちがっている時があつて、マイクが聞こえにくかったという意見がありましたので、この点について、改善していきます。

授業(講義)評価結果(2015年度後期)

履修者数	72	回収数	70	回収率	97.2%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:精神保健看護学Ⅰ
担当者:
小宮敬子・鷹野朋美・堀井湖浪

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,245	13.07	2.33	70	13.59	1.99
b. 教育内容	3,260	12.97	2.46	70	13.69	1.96
c.授業の進行・展開	3,255	13.41	2.09	70	14.07	1.70
d.熱意・相互作用	3,247	13.27	2.27	70	13.73	1.87
e.学生の自己評価	3,251	13.88	1.63	70	13.93	1.74



N=70

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	47 67.1	15 21.4	8 11.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.56	0.69
②	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	43 61.4	19 27.1	6 8.6	2 2.9	0 0.0	0 0.0	4.47	0.77
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	45 64.3	19 27.1	6 8.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.56	0.65

b. 教育内容

④	授業の内容はわかりやすかった。	44 62.9	18 25.7	7 10.0	1 1.4	0 0.0	0 0.0	4.50	0.73
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	48 68.6	17 24.3	4 5.7	1 1.4	0 0.0	0 0.0	4.60	0.66
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	47 67.1	17 24.3	6 8.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.59	0.64

c. 授業の進行・展開

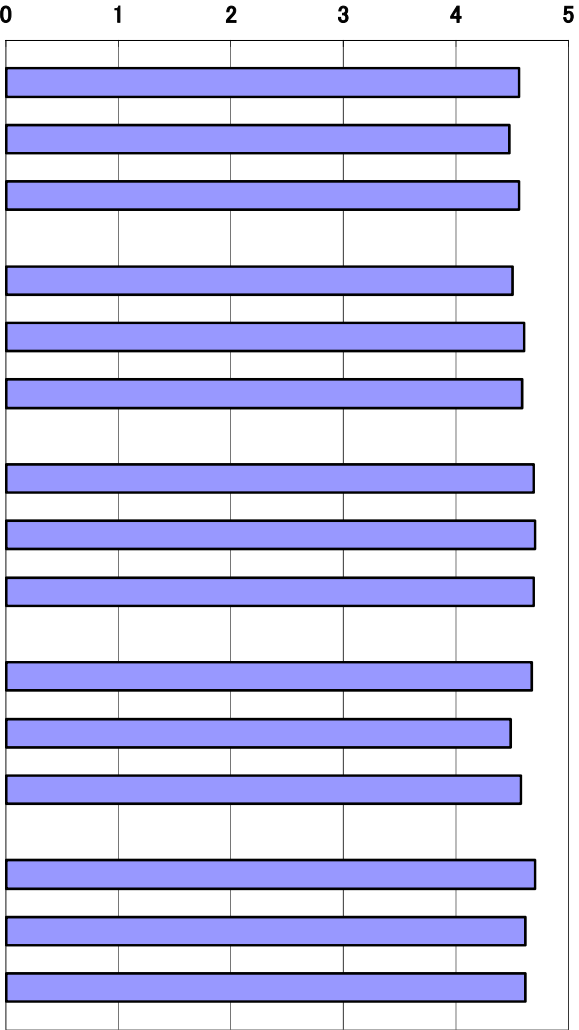
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	52 74.3	14 20.0	4 5.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.69	0.57
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	53 75.7	13 18.6	4 5.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.70	0.57
⑨	授業の進行速度は適切だった。	52 74.3	14 20.0	4 5.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.69	0.57

d. 熱意・相互作用

⑩	教員の熱意が伝わってきた。	51 72.9	15 21.4	4 5.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.67	0.58
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	44 62.9	17 24.3	8 11.4	1 1.4	0 0.0	0 0.0	4.49	0.75
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	47 67.1	17 24.3	5 7.1	1 1.4	0 0.0	0 0.0	4.57	0.69

e. 学生の自己評価

⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	54 77.1	11 15.7	5 7.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.70	0.59
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	49 70.0	15 21.4	6 8.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.61	0.64
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	49 70.0	15 21.4	6 8.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.61	0.64



科目コード	1L0102		精神保健看護学 I (理論)	担当教員名	小宮敬子・鷹野朋実・堀井湖浪・古城門靖子
-------	--------	--	----------------	-------	----------------------

<教員からのコメント>

○全体的な評価について: 皆さんからは、人間の精神全般について興味・関心が湧いた、授業中に用いた資料が面白かった、前回の質問一覧の資料をみて振り返ることができた、などの意見が多く、高い評価をいただきました。来年度からもさらにブラッシュアップしていきたいと思います。

○改善点: 最初に配布したシラバスに記載していた使用テキストと実際の使用とがちがっている時があつて、マイクが聞こえにくかったという意見がありましたので、この点について、改善していきます。

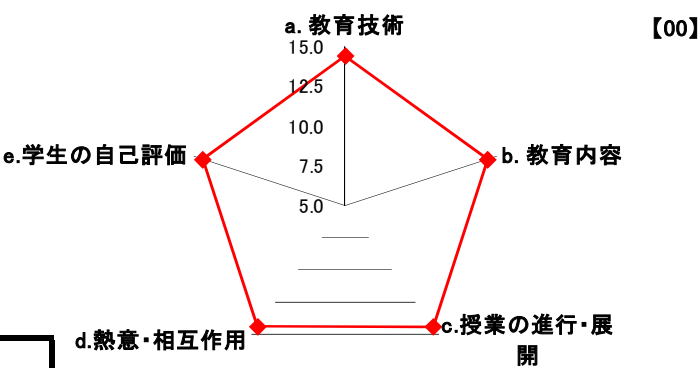
授業(講義)評価結果(2015年度後期)

履修者数	142	回収数	98	回収率	69.0%
------	-----	-----	----	-----	-------

科目:発達看護学Ⅰ①

担当者:
谷津裕子・佐々木美喜・濱田真由美

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,245	13.07	2.33	98	14.40	1.26
b. 教育内容	3,260	12.97	2.46	98	14.41	1.28
c. 授業の進行・展開	3,255	13.41	2.09	98	14.40	1.24
d. 熱意・相互作用	3,247	13.27	2.27	98	14.38	1.47
e. 学生の自己評価	3,251	13.88	1.63	98	14.40	1.39



N=98

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	81 82.7	16 16.3	1 1.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.82	0.41
②	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	79 80.6	17 17.3	2 2.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.79	0.46
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	79 80.6	18 18.4	1 1.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.80	0.43

b. 教育内容

④	授業の内容はわかりやすかった。	79 80.6	17 17.3	2 2.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.79	0.46
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	81 82.7	15 15.3	2 2.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.81	0.44
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	82 83.7	14 14.3	2 2.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.82	0.44

c. 授業の進行・展開

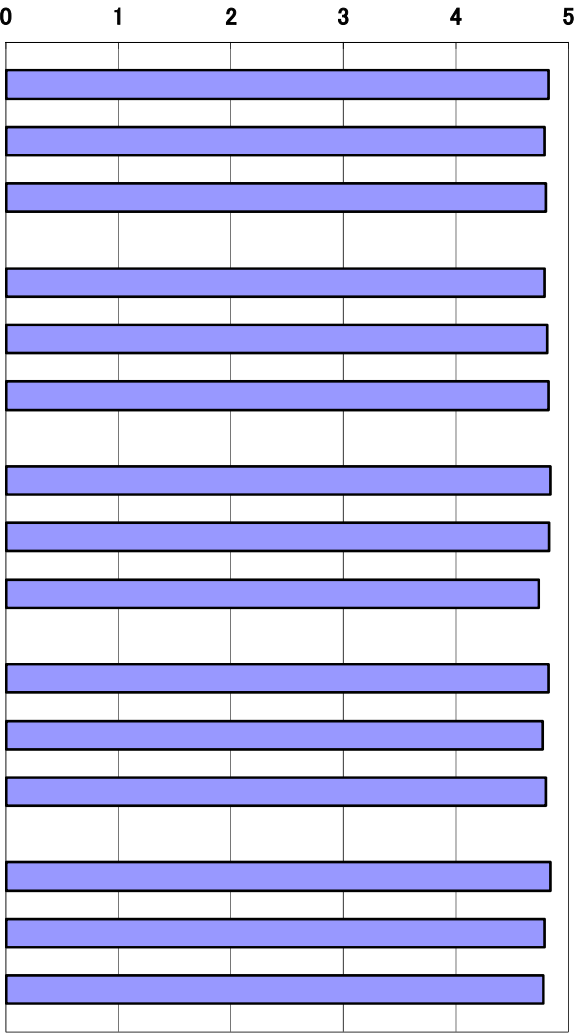
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	83 84.7	14 14.3	1 1.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.84	0.40
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	82 83.7	15 15.3	1 1.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.83	0.40
⑨	授業の進行速度は適切だった。	77 78.6	16 16.3	5 5.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.73	0.54

d. 熱意・相互作用

⑩	教員の熱意が伝わってきた。	82 83.7	14 14.3	2 2.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.82	0.44
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	80 81.6	15 15.3	2 2.0	0 0.0	1 1.0	0 0.0	4.77	0.59
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	82 83.7	14 14.3	1 1.0	0 0.0	1 1.0	0 0.0	4.80	0.55

e. 学生の自己評価

⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	84 85.7	13 13.3	0 0.0	1 1.0	0 0.0	0 0.0	4.84	0.44
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	82 83.7	12 12.2	3 3.1	1 1.0	0 0.0	0 0.0	4.79	0.54
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	80 81.6	15 15.3	2 2.0	1 1.0	0 0.0	0 0.0	4.78	0.53



科目コード	1M0300	科目名	発達看護学Ⅰ①	担当教員名	谷津裕子・佐々木美喜・濱田真由美
-------	--------	-----	---------	-------	------------------

<教員からのコメント>

レジュメが勉強しやすく頭に入りやすい、配布資料が参考になったとの好評価をいただき、ありがとうございました。

教員の説明がとても丁寧でわかりやすかった、母性に全く興味がなかったが興味をもてるようになったとの意見もいただき、効果的な学習を促進することができたことに教員一同嬉しく思っています。

今後も図や画像、実際の器具を用いながらイメージ化が図られるよう、言語的にも視覚的にも丁寧な説明を心がけていきたいと思います。

改善してほしいこととして、授業の進度が速いという意見をいただきました。この授業は、性と生殖に関する健康と権利(リプロダクティブ・ヘルス/ライツ)と女性の健康(ウィメンズ・ヘルス)の両方を1つの単元で学習します。学ばなければならない内容の多さに比べて授業数が少ないため、そのように感じられるのだと思います。お伝えする内容は基本的なことを厳選していますが、重複した内容がないか再度確認して、授業を洗練させていきたいと思います。この授業では、初回に、授業で使用するすべてのレジュメを配布しています。ぜひ予習・復習をして授業に臨まれることをお勧めします。

授業(講義)評価結果(2015年度後期)

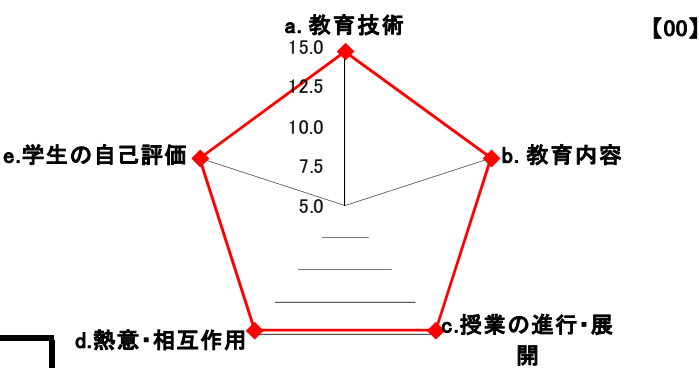
履修者数	71	回収数	58	回収率	81.7%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:発達看護学Ⅱ①

担当者:

江本リナ・川名るり・太田智子・吉田玲子・山内朋子

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,245	13.07	2.33	58	14.67	0.92
b. 教育内容	3,260	12.97	2.46	58	14.64	0.98
c.授業の進行・展開	3,255	13.41	2.09	58	14.67	0.92
d.熱意・相互作用	3,247	13.27	2.27	58	14.67	0.92
e.学生の自己評価	3,251	13.88	1.63	58	14.59	0.97



N=58

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	51	7	0	0	0	0	4.88	0.33
		87.9	12.1	0.0	0.0	0.0	0.0		
②	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	52	6	0	0	0	0	4.90	0.30
		89.7	10.3	0.0	0.0	0.0	0.0		
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	52	6	0	0	0	0	4.90	0.30
		89.7	10.3	0.0	0.0	0.0	0.0		

b. 教育内容

④	授業の内容はわかりやすかった。	52	6	0	0	0	0	4.90	0.30
		89.7	10.3	0.0	0.0	0.0	0.0		
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	51	6	1	0	0	0	4.86	0.39
		87.9	10.3	1.7	0.0	0.0	0.0		
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	51	7	0	0	0	0	4.88	0.33
		87.9	12.1	0.0	0.0	0.0	0.0		

c. 授業の進行・展開

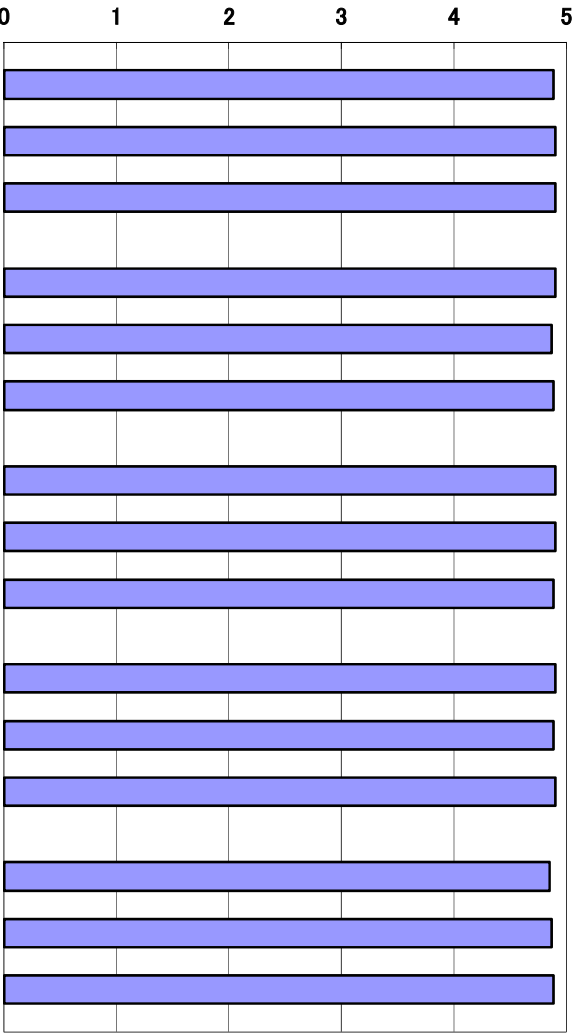
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	52	6	0	0	0	0	4.90	0.30
		89.7	10.3	0.0	0.0	0.0	0.0		
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	52	6	0	0	0	0	4.90	0.30
		89.7	10.3	0.0	0.0	0.0	0.0		
⑨	授業の進行速度は適切だった。	51	7	0	0	0	0	4.88	0.33
		87.9	12.1	0.0	0.0	0.0	0.0		

d. 熱意・相互作用

⑩	教員の熱意が伝わってきた。	52	6	0	0	0	0	4.90	0.30
		89.7	10.3	0.0	0.0	0.0	0.0		
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	51	7	0	0	0	0	4.88	0.33
		87.9	12.1	0.0	0.0	0.0	0.0		
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	52	6	0	0	0	0	4.90	0.30
		89.7	10.3	0.0	0.0	0.0	0.0		

e. 学生の自己評価

⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	50	7	1	0	0	0	4.84	0.41
		86.2	12.1	1.7	0.0	0.0	0.0		
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	50	8	0	0	0	0	4.86	0.34
		86.2	13.8	0.0	0.0	0.0	0.0		
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	51	7	0	0	0	0	4.88	0.33
		87.9	12.1	0.0	0.0	0.0	0.0		



科目コード	1M0501	科目名	発達看護学Ⅱ①	担当教員名	江本リナ・川名るり・太田智子・吉田玲子・山内朋子
-------	--------	-----	---------	-------	--------------------------

<教員からのコメント>

すべての項目において高い評価をいただき、ありがとうございます。

この授業は、急性期・慢性期、外来・入院というさまざまな状況にある子どもと家族について、小児看護学をはじめて学ぶ学生にも分かりやすく、かつ小児看護学の魅力をお伝えできるように、教員全員が試行錯誤して授業を行っています。

そのため、「ききたい！と思う授業」「おもしろかった」と興味をもって授業を受けていただいたこと、「入院の場面などが想像しやすい」と子どもと家族の状況をイメージしながら聞いてもらえていたことを、とても嬉しく思います。

今後もより魅力的で分かりやすい授業となるよう努めていきます。

授業(講義)評価結果(2015年度後期)

履修者数	71	回収数	60	回収率	84.5%
------	----	-----	----	-----	-------

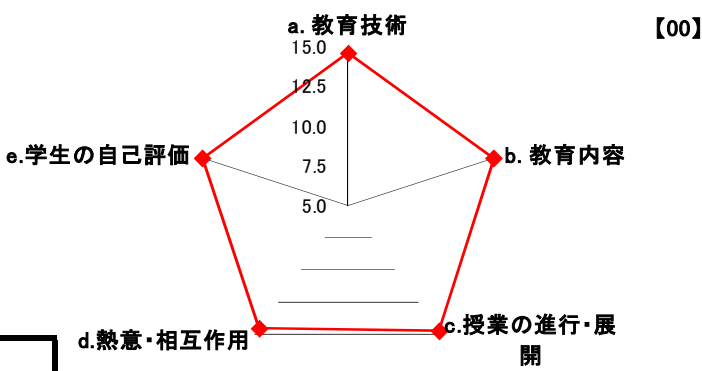
科目:発達看護学Ⅱ①

担当者:

江本リナ・川名るり・太田智子・吉田玲子・

山内朋子

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,245	13.07	2.33	60	14.57	1.09
b. 教育内容	3,260	12.97	2.46	60	14.62	1.18
c. 授業の進行・展開	3,255	13.41	2.09	60	14.72	1.00
d. 熱意・相互作用	3,247	13.27	2.27	60	14.52	1.31
e. 学生の自己評価	3,251	13.88	1.63	60	14.62	0.91



N=60

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	51 85.0	8 13.3	1 1.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.83	0.41
②	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	53 88.3	6 10.0	1 1.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.87	0.39
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	53 88.3	6 10.0	1 1.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.87	0.39

b. 教育内容

④	授業の内容はわかりやすかった。	54 90.0	5 8.3	1 1.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.88	0.37
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	53 88.3	5 8.3	2 3.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.85	0.44
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	55 91.7	3 5.0	2 3.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.88	0.41

c. 授業の進行・展開

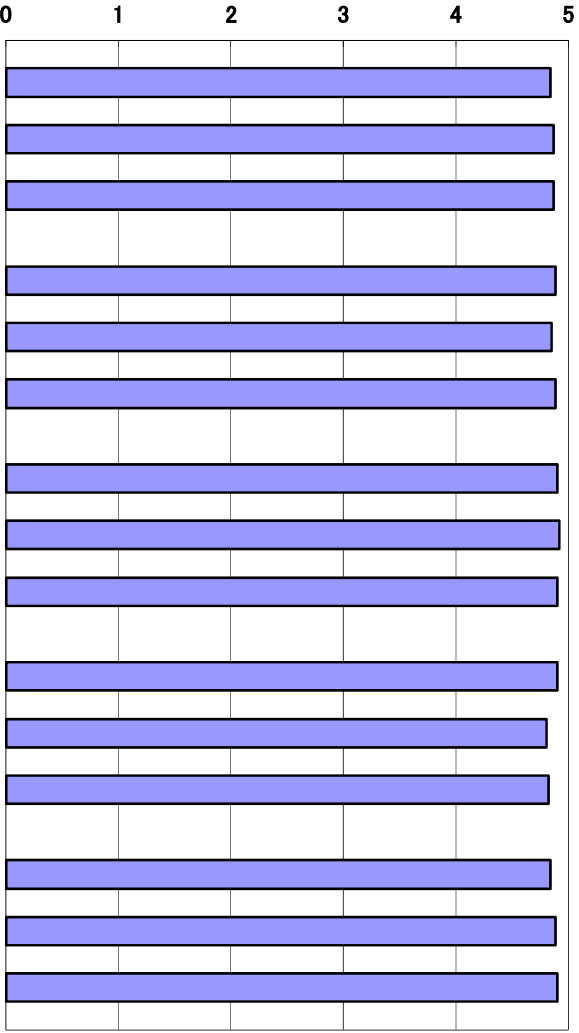
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	55 91.7	4 6.7	1 1.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.90	0.35
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	56 93.3	3 5.0	1 1.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.92	0.33
⑨	授業の進行速度は適切だった。	55 91.7	4 6.7	1 1.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.90	0.35

d. 熱意・相互作用

⑩	教員の熱意が伝わってきた。	55 91.7	4 6.7	1 1.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.90	0.35
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	52 86.7	4 6.7	4 6.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.80	0.54
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	52 86.7	5 8.3	3 5.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.82	0.50

e. 学生の自己評価

⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	51 85.0	8 13.3	1 1.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.83	0.41
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	55 91.7	3 5.0	2 3.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.88	0.41
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	55 91.7	4 6.7	1 1.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.90	0.35



科目コード	1M0502	科目名	発達看護学Ⅱ①	担当教員名	江本リナ・川名るり・太田智子・吉田玲子・山内朋子
-------	--------	-----	---------	-------	--------------------------

<教員からのコメント>

この授業は、急性期・慢性期、外来・入院というさまざまな状況にある子どもと家族について、小児看護学をはじめて学ぶ学生にも分かりやすく、かつ小児看護学の魅力をお伝えできるように、小児看護学の教員全員が工夫を凝らして授業を行っています。

そのため、全体的に高い点数をいただき、自由記載においても「わかりやすい」「楽しい授業」とのコメントをいただけたことを大変嬉しく思います。

また、「子どもへの対応の具体例があり、イメージがついた」とのコメントをいただき、子どもと家族の状況をイメージしながら理解を深めていただいたことが分かり、とても励みになりました。今後も、イメージしやすいようになるべく具体的な例を交えながら授業を行っていきたいと思います。

レジュメ・資料については、「理解によくつながった」との意見があり、資料を有効に活用してもらえたことが分かりました。「レジュメの空白スペースを大きくしてほしい」との要望もいただきましたが、その日取り上げる事柄のみを記したものですので、是非、自分なりのノートを作ることをお勧めします。

「あまり当てないでほしい」という授業方法へのご意見をいただきました。小児看護学では、教員が一方向的に話をするだけの受身の授業ではなく、ひとりひとりが考え、他人の意見を聞くことでより理解を深めてほしいというアクティブラーニング(参加型の授業)を目指しています。学生の新鮮で素直な考えに、教員が驚かされることや刺激を受けること、関心することもあります。これからもぜひ皆さんの考えを聞かせていただき、みんなで授業を作っていけたらと思っています。

テストの出題方法についてご意見をいただきました。みなさんの学んだことが十分に発揮できるように工夫していきます。

授業(講義)評価結果(2015年度後期)

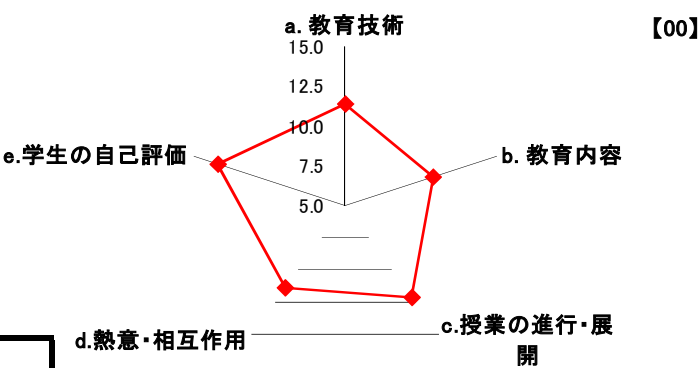
履修者数	142	回収数	91	回収率	64.1%
------	-----	-----	----	-----	-------

科目:発達看護学Ⅲ①

担当者:

坂口千鶴・江見香月・比留間絵美・清田明美

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,245	13.07	2.33	88	11.39	2.66
b. 教育内容	3,260	12.97	2.46	91	10.80	2.82
c.授業の進行・展開	3,255	13.41	2.09	90	12.11	2.62
d.熱意・相互作用	3,247	13.27	2.27	91	11.37	2.91
e.学生の自己評価	3,251	13.88	1.63	90	13.41	1.78



N=91

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	23 25.3	29 31.9	28 30.8	9 9.9	1 1.1	1 1.1	3.67	1.06
②	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	24 26.4	32 35.2	25 27.5	7 7.7	1 1.1	2 2.2	3.71	1.10
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	22 24.2	38 41.8	24 26.4	4 4.4	2 2.2	1 1.1	3.78	1.00

b. 教育内容

④	授業の内容はわかりやすかった。	16 17.6	28 30.8	32 35.2	13 14.3	2 2.2	0 0.0	3.47	1.01
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	23 25.3	28 30.8	25 27.5	11 12.1	4 4.4	0 0.0	3.60	1.12
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	20 22.0	36 39.6	26 28.6	8 8.8	1 1.1	0 0.0	3.73	0.94

c. 授業の進行・展開

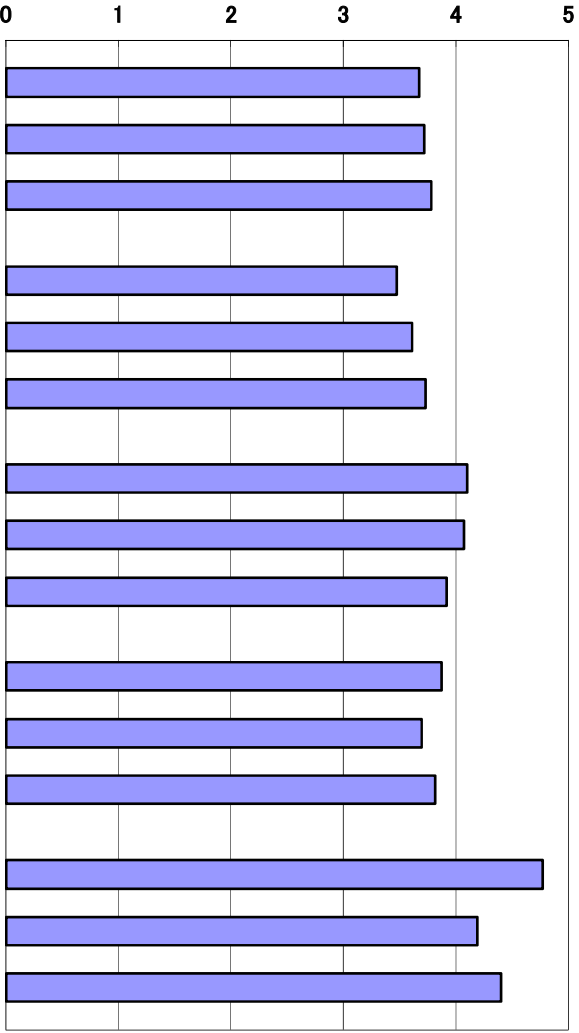
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	34 37.4	36 39.6	18 19.8	2 2.2	1 1.1	0 0.0	4.10	0.87
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	36 39.6	30 33.0	21 23.1	3 3.3	1 1.1	0 0.0	4.07	0.92
⑨	授業の進行速度は適切だった。	32 35.2	31 34.1	19 20.9	7 7.7	1 1.1	1 1.1	3.91	1.07

d. 熱意・相互作用

⑩	教員の熱意が伝わってきた。	27 29.7	34 37.4	23 25.3	5 5.5	2 2.2	0 0.0	3.87	0.97
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	25 27.5	26 28.6	29 31.9	9 9.9	2 2.2	0 0.0	3.69	1.05
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	28 30.8	29 31.9	24 26.4	9 9.9	1 1.1	0 0.0	3.81	1.02

e. 学生の自己評価

⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	72 79.1	17 18.7	2 2.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.77	0.47
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	44 48.4	28 30.8	13 14.3	5 5.5	0 0.0	1 1.1	4.19	0.99
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	52 57.1	25 27.5	12 13.2	2 2.2	0 0.0	0 0.0	4.40	0.80



科目コード	1M0700	科目名	発達看護学Ⅲ①	担当教員名	坂口千鶴・江見香月・比留間絵美・清田明美
-------	--------	-----	---------	-------	----------------------

<教員からのコメント>

授業評価、ありがとうございました。老年看護学の概論については、抽象的に少し難しい部分もありかとは思いますが、皆さんが「老い」や「老年期にある人」をどのように捉えるのかはとても大切なことです。皆さんのケアにそれが表れてくると思います。なので、授業を聞きながら自分はどのよう捉えているんだろうかと考える機会にして頂ければと思います。自由記載につきましては、下記にコメントを記載しました。皆様の評価をもとに今後の授業に活かしていきたいと思っています。

1. リアクションペーパーについて

リアクションペーパーに対する教員のコメント目について、何か質問や意見があれば、その場で言って頂ければと思います。また、記載する内容について、学生さんが大切だと思うこと、他に何か書きたいこと、1個のテーマについて書きたいこと等があれば、ぜひ書いてください。今後は、スケジュールに添って授業を進行できるよう努力致します。

2. 授業の内容と担当者について

・担当者(坂口)の授業内容について何かご意見等ありましたら、ぜひ直接お話に来て頂ければと思います。

3. 課題について

・皆さんの様々な経験をもとに書いてもらいたいと考えたため、課題のテーマが少し抽象的な表現になった可能性はあります。今後検討していきたいと思っています。

4. 資料について

・今後、レジュメや資料の提示について、わかりやすく統一感のある内容となるよう検討していきたいと思っています。

授業(講義)評価結果(2015年度後期)

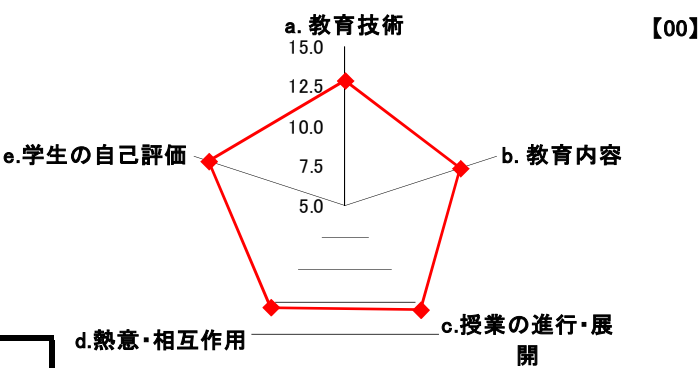
履修者数	153	回収数	128	回収率	83.7%
------	-----	-----	-----	-----	-------

科目:地域看護学

担当者:

福井小紀子・乙黒千鶴・澤井美奈子

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,245	13.07	2.33	128	12.85	2.78
b. 教育内容	3,260	12.97	2.46	128	12.60	2.80
c.授業の進行・展開	3,255	13.41	2.09	128	13.08	2.66
d.熱意・相互作用	3,247	13.27	2.27	127	12.91	2.68
e.学生の自己評価	3,251	13.88	1.63	128	14.00	1.38



N=128

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	65 50.8	41 32.0	14 10.9	5 3.9	3 2.3	0 0.0	4.25	0.96
②	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	68 53.1	41 32.0	12 9.4	4 3.1	3 2.3	0 0.0	4.30	0.93
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	68 53.1	41 32.0	11 8.6	5 3.9	3 2.3	0 0.0	4.30	0.95

b. 教育内容

④	授業の内容はわかりやすかった。	62 48.4	41 32.0	19 14.8	3 2.3	3 2.3	0 0.0	4.22	0.94
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	63 49.2	37 28.9	18 14.1	7 5.5	3 2.3	0 0.0	4.17	1.02
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	60 46.9	44 34.4	18 14.1	3 2.3	3 2.3	0 0.0	4.21	0.93

c. 授業の進行・展開

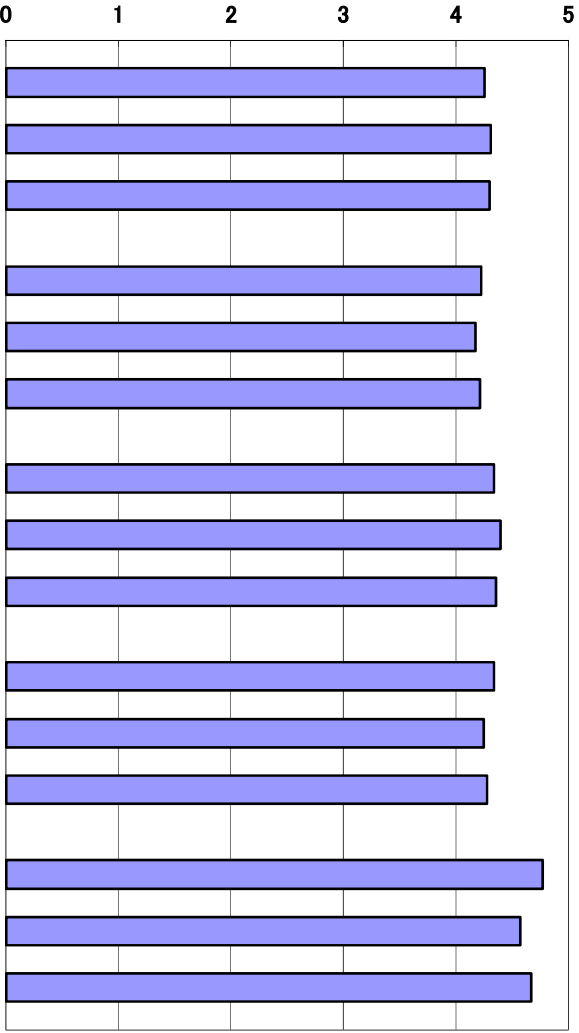
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	71 55.5	39 30.5	11 8.6	4 3.1	3 2.3	0 0.0	4.34	0.93
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	75 58.6	37 28.9	10 7.8	3 2.3	3 2.3	0 0.0	4.39	0.90
⑨	授業の進行速度は適切だった。	70 54.7	43 33.6	8 6.3	4 3.1	3 2.3	0 0.0	4.35	0.91

d. 熱意・相互作用

⑩	教員の熱意が伝わってきた。	70 54.7	42 32.8	8 6.3	5 3.9	3 2.3	0 0.0	4.34	0.93
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	65 50.8	40 31.3	15 11.7	5 3.9	3 2.3	0 0.0	4.24	0.97
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	67 52.3	42 32.8	11 8.6	4 3.1	3 2.3	1 0.8	4.27	1.00

e. 学生の自己評価

⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	99 77.3	28 21.9	1 0.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.77	0.44
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	83 64.8	36 28.1	8 6.3	1 0.8	0 0.0	0 0.0	4.57	0.65
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	90 70.3	34 26.6	3 2.3	1 0.8	0 0.0	0 0.0	4.66	0.56



科目コード	100100		地域看護学	担当教員名	福井小紀子
-------	--------	--	-------	-------	-------

<教員からのコメント>

(コメント)

地域での看護について、授業を通して学びを深めることが出来たようで良かったです。健康問題、制度などについても知ることが出来、次の地域関連授業に繋がっていくことを期待します。授業で得た知識とグループワークで調べて発表する体験を行うことで、知識が自分のものになります。その部分を「楽しかった」「理解できた」「面白かった」と前向きに捉えられた声が多く聞かれて良かったと思います。何より、病棟看護師以外の働き方が分かって、自身のこれからの仕事の選択肢が増えたのではないのでしょうか。

(改善点)

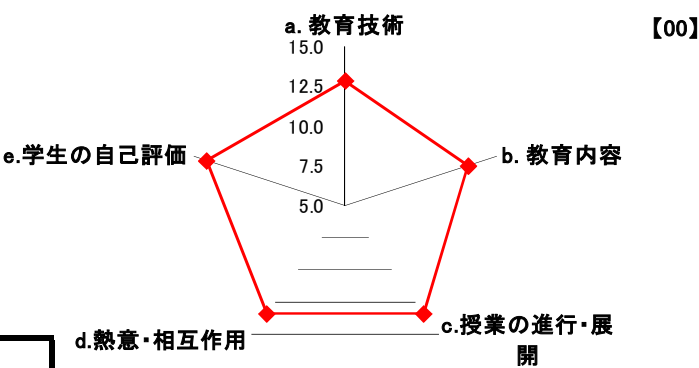
グループワークに関してのお願いの声が聞かれました。グループの組み方とテーマの選定方法について改善して欲しいとの意見がありました。次年度は、出来る限りこれらの意見を反映して行きたいと考えています。全ての人に満足の行くものにはなかなかありませんが、努力して行きたいと考えています。

授業(講義)評価結果(2015年度後期)

履修者数	41	回収数	37	回収率	90.2%
------	----	-----	----	-----	-------

科目: 公衆衛生看護活動論
担当者:
澤井美奈子・乙黒千鶴

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,245	13.07	2.33	37	12.84	1.91
b. 教育内容	3,260	12.97	2.46	37	13.11	1.71
c. 授業の進行・展開	3,255	13.41	2.09	37	13.38	1.79
d. 熱意・相互作用	3,247	13.27	2.27	37	13.38	1.71
e. 学生の自己評価	3,251	13.88	1.63	37	14.14	1.14



N=37

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	15 40.5	16 43.2	5 13.5	1 2.7	0 0.0	0 0.0	4.22	0.78
②	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	14 37.8	18 48.6	5 13.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.24	0.67
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	16 43.2	19 51.4	2 5.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.38	0.59

b. 教育内容

④	授業の内容はわかりやすかった。	17 45.9	15 40.5	3 8.1	2 5.4	0 0.0	0 0.0	4.27	0.83
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	17 45.9	19 51.4	0 0.0	1 2.7	0 0.0	0 0.0	4.41	0.63
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	17 45.9	19 51.4	1 2.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.43	0.55

c. 授業の進行・展開

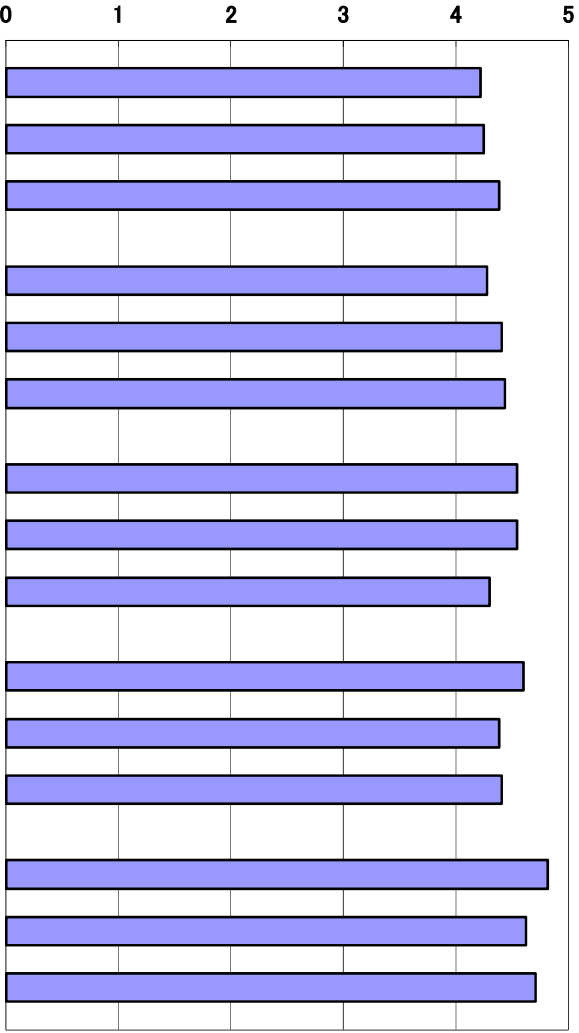
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	22 59.5	14 37.8	0 0.0	1 2.7	0 0.0	0 0.0	4.54	0.64
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	21 56.8	15 40.5	1 2.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.54	0.55
⑨	授業の進行速度は適切だった。	17 45.9	15 40.5	4 10.8	1 2.7	0 0.0	0 0.0	4.30	0.77

d. 熱意・相互作用

⑩	教員の熱意が伝わってきた。	23 62.2	13 35.1	1 2.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.59	0.54
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	19 51.4	13 35.1	5 13.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.38	0.71
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	19 51.4	14 37.8	4 10.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.41	0.68

e. 学生の自己評価

⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	30 81.1	7 18.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.81	0.39
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	23 62.2	14 37.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.62	0.48
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	26 70.3	11 29.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.70	0.46



科目コード	100200	科目名	公衆衛生看護活動論	担当教員名	澤井美奈子・乙黒千鶴
-------	--------	-----	-----------	-------	------------

<教員からのコメント>

保健師課程履修学生には必修の選択科目として、昨年度から開講した科目です。

保健師活動の特徴を体験しながら学生自身が関心や適性を確かめられるよう、講義と、実際に地域に出て特定の視点で地域を診てそれをまとめ発表、評価するなどの演習を組み合わせで構成しました。

母子保健活動を中心とした個から集団、ポピュレーションアプローチからハイリスクアプローチの網の目のような繋がりを考えながらの保健師活動の学習と、テーマを決めて地域を診ると見えてくるものの実感とそれを伝える方法の体験、地域の普通の住民たちによる健康に関する活動への参加という参加型学習を体験してもらいました。地域診断は、エリアとテーマを絞ることで視点をもって地域を診ることの意義を実感できていたようです。ただ、限られた時間の中で地域を診て学校に戻り発表資料を作成する、というプロセスは負担に感じる人もいたようでした。

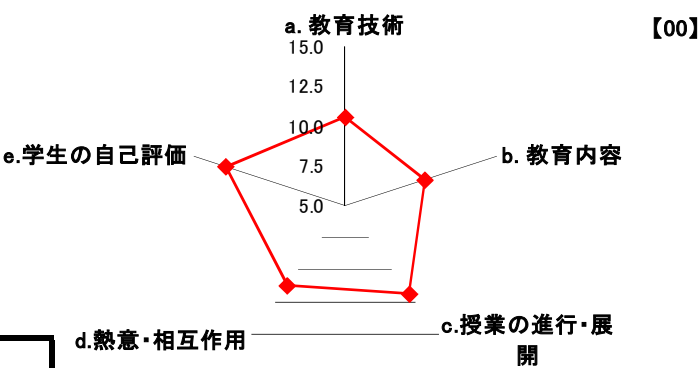
A・B・編入クラス合同の選択科目として不規則な開講時間のなか各内容の所要時間により開講順序を決めていることから、順序性や資料の一貫性にやや欠ける展開となっていました。可能な限り整えて順序だてて学びやすい構成になるよう改善したいと考えています。

授業(講義)評価結果(2015年度後期)

履修者数	77	回収数	51	回収率	66.2%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:疫学
担当者:
逸見功

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,245	13.07	2.33	51	10.55	3.59
b. 教育内容	3,260	12.97	2.46	50	10.26	3.50
c.授業の進行・展開	3,255	13.41	2.09	50	11.84	3.34
d.熱意・相互作用	3,247	13.27	2.27	51	11.20	3.70
e.学生の自己評価	3,251	13.88	1.63	51	12.88	2.81



N=51

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	16 31.4	14 27.5	8 15.7	11 21.6	2 3.9	0 0.0	3.61	1.24
②	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	14 27.5	14 27.5	11 21.6	9 17.6	3 5.9	0 0.0	3.53	1.23
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	15 29.4	10 19.6	12 23.5	9 17.6	5 9.8	0 0.0	3.41	1.33

b. 教育内容

④	授業の内容はわかりやすかった。	13 25.5	7 13.7	14 27.5	14 27.5	3 5.9	0 0.0	3.25	1.27
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	14 27.5	13 25.5	12 23.5	7 13.7	5 9.8	0 0.0	3.47	1.29
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	15 29.4	10 19.6	14 27.5	10 19.6	1 2.0	1 2.0	3.49	1.26

c. 授業の進行・展開

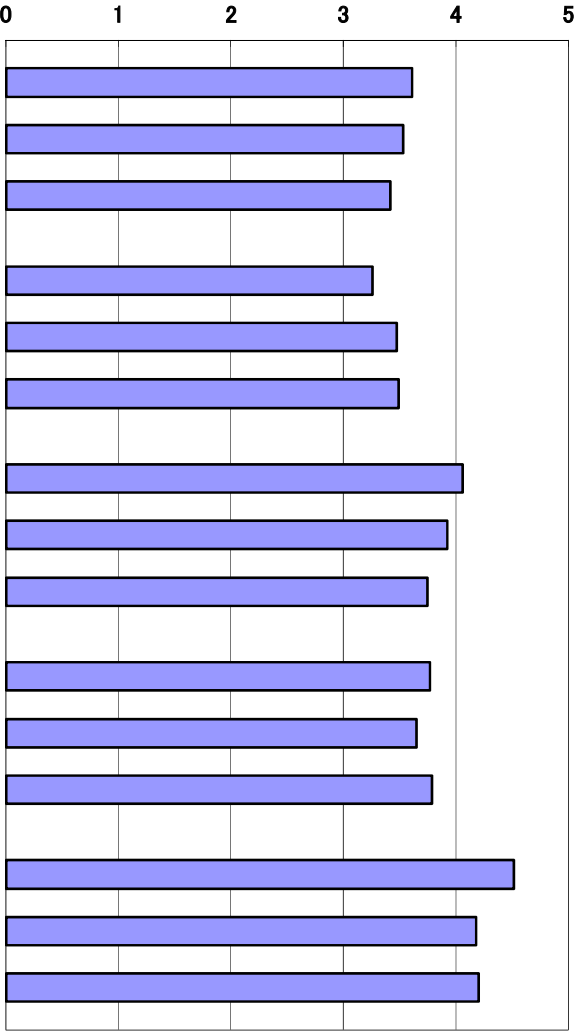
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	24 47.1	14 27.5	6 11.8	6 11.8	1 2.0	0 0.0	4.06	1.11
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	22 43.1	15 29.4	4 7.8	8 15.7	2 3.9	0 0.0	3.92	1.22
⑨	授業の進行速度は適切だった。	21 41.2	11 21.6	9 17.6	6 11.8	3 5.9	1 2.0	3.75	1.36

d. 熱意・相互作用

⑩	教員の熱意が伝わってきた。	18 35.3	15 29.4	9 17.6	6 11.8	3 5.9	0 0.0	3.76	1.21
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	19 37.3	10 19.6	11 21.6	7 13.7	4 7.8	0 0.0	3.65	1.31
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	22 43.1	9 17.6	10 19.6	7 13.7	3 5.9	0 0.0	3.78	1.29

e. 学生の自己評価

⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	36 70.6	9 17.6	2 3.9	4 7.8	0 0.0	0 0.0	4.51	0.89
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	29 56.9	9 17.6	6 11.8	7 13.7	0 0.0	0 0.0	4.18	1.10
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	28 54.9	12 23.5	5 9.8	5 9.8	1 2.0	0 0.0	4.20	1.09



科目コード	100400	科目名	疫学	担当教員名	逸見功
-------	--------	-----	----	-------	-----

<教員からのコメント>

授業がわかりやすく、問題をやって理解が深まった、ということでよかったと思います。

より多くに学生が興味をもてるように工夫していきます。

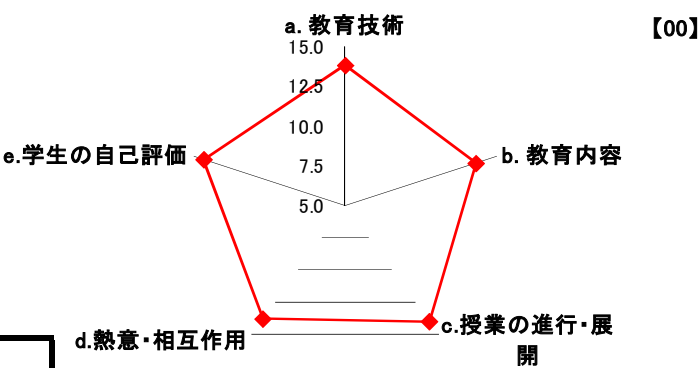
悪天候のための休講に対する補講のことだと思いますが、授業の残り回数が少ないため設定できる日が限られていましたので、出席の調整ができない学生が出てしまいました。

授業(講義)評価結果(2015年度後期)

履修者数	152	回収数	47	回収率	30.9%
------	-----	-----	----	-----	-------

科目:看護管理学Ⅰ
担当者:
安部陽子・鶴田恵子

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,245	13.07	2.33	47	13.81	1.78
b. 教育内容	3,260	12.97	2.46	47	13.64	2.08
c.授業の進行・展開	3,255	13.41	2.09	47	14.00	1.68
d.熱意・相互作用	3,247	13.27	2.27	47	13.77	1.81
e.学生の自己評価	3,251	13.88	1.63	46	14.33	1.29



N=47

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	32 68.1	13 27.7	1 2.1	1 2.1	0 0.0	0 0.0	4.62	0.64
②	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	31 66.0	13 27.7	2 4.3	1 2.1	0 0.0	0 0.0	4.57	0.68
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	31 66.0	14 29.8	2 4.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.62	0.57

b. 教育内容

④	授業の内容はわかりやすかった。	31 66.0	12 25.5	4 8.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.57	0.64
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	30 63.8	12 25.5	3 6.4	2 4.3	0 0.0	0 0.0	4.49	0.80
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	32 68.1	11 23.4	3 6.4	1 2.1	0 0.0	0 0.0	4.57	0.71

c.授業の進行・展開

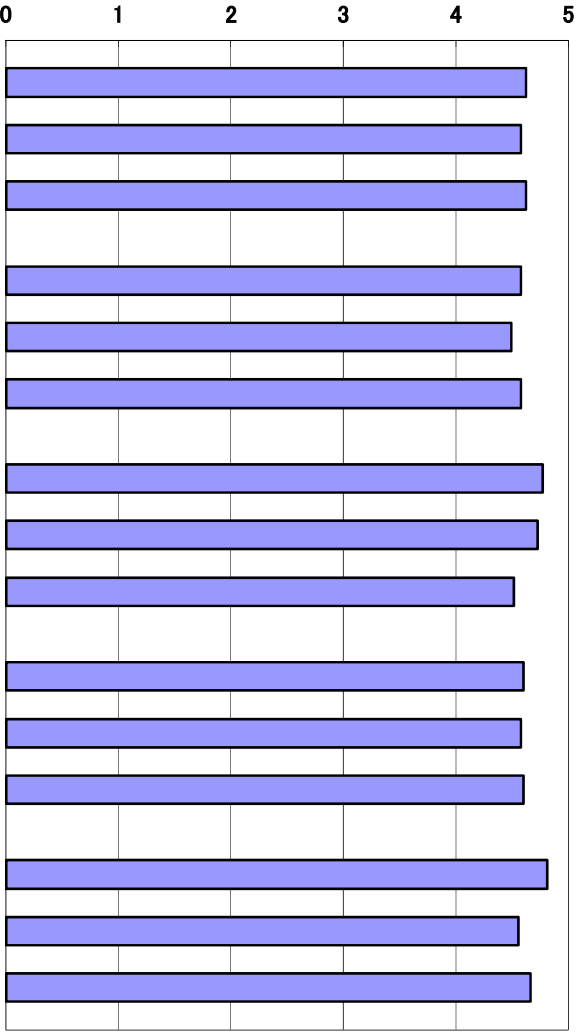
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	37 78.7	9 19.1	1 2.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.77	0.47
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	36 76.6	9 19.1	2 4.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.72	0.53
⑨	授業の進行速度は適切だった。	31 66.0	12 25.5	2 4.3	1 2.1	1 2.1	0 0.0	4.51	0.85

d.熱意・相互作用

⑩	教員の熱意が伝わってきた。	31 66.0	13 27.7	3 6.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.60	0.61
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	32 68.1	11 23.4	3 6.4	1 2.1	0 0.0	0 0.0	4.57	0.71
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	31 66.0	13 27.7	3 6.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.60	0.61

e.学生の自己評価

⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	43 91.5	2 4.3	1 2.1	0 0.0	0 0.0	1 2.1	4.81	0.79
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	35 74.5	7 14.9	3 6.4	1 2.1	0 0.0	1 2.1	4.55	0.96
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	36 76.6	9 19.1	1 2.1	0 0.0	0 0.0	1 2.1	4.66	0.83



科目コード	1P0100	科目名	看護管理学 I	担当教員名	安部陽子・鶴田恵子
-------	--------	-----	---------	-------	-----------

<教員からのコメント>

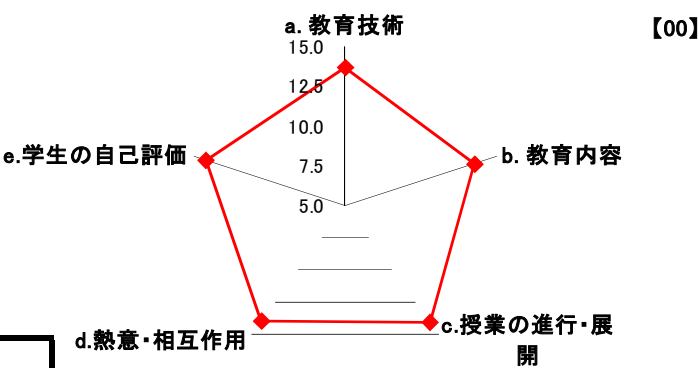
卒業生と、卒業生が働く病院(・病棟)で新人教育を担う管理者の方のペアに毎年講義をしていただいています。2015年度は徳島赤十字病院の方々に来ていただきました。ローテーション研修などを活用した温かい新人教育の様子を学生たちは熱心に聞いていました。この回では組織社会化や、管理の視点での新人教育等を学びます。新人看護師となったときに有用な内容ですので、次年度も取り入れていきたいと考えます。また、予定された項目に沿って授業を行い、抽象的な内容はエピソード等を用いながら説明することで理解をうながしていきます。その際は、本筋から逸脱しすぎないように、留意します。

授業(講義)評価結果(2015年度後期)

履修者数	152	回収数	95	回収率	62.5%
------	-----	-----	----	-----	-------

科目:看護教育学Ⅰ
担当者:
佐々木幾美・西田朋子

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,245	13.07	2.33	95	13.66	1.65
b. 教育内容	3,260	12.97	2.46	95	13.53	1.90
c.授業の進行・展開	3,255	13.41	2.09	95	14.04	1.49
d.熱意・相互作用	3,247	13.27	2.27	95	13.94	1.58
e.学生の自己評価	3,251	13.88	1.63	95	14.19	1.34



N=95

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	53 55.8	39 41.1	3 3.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.53	0.56
②	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	55 57.9	34 35.8	6 6.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.52	0.61
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	63 66.3	28 29.5	4 4.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.62	0.57

b. 教育内容

④	授業の内容はわかりやすかった。	55 57.9	33 34.7	7 7.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.51	0.63
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	56 58.9	31 32.6	6 6.3	2 2.1	0 0.0	0 0.0	4.48	0.71
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	59 62.1	30 31.6	4 4.2	2 2.1	0 0.0	0 0.0	4.54	0.68

c. 授業の進行・展開

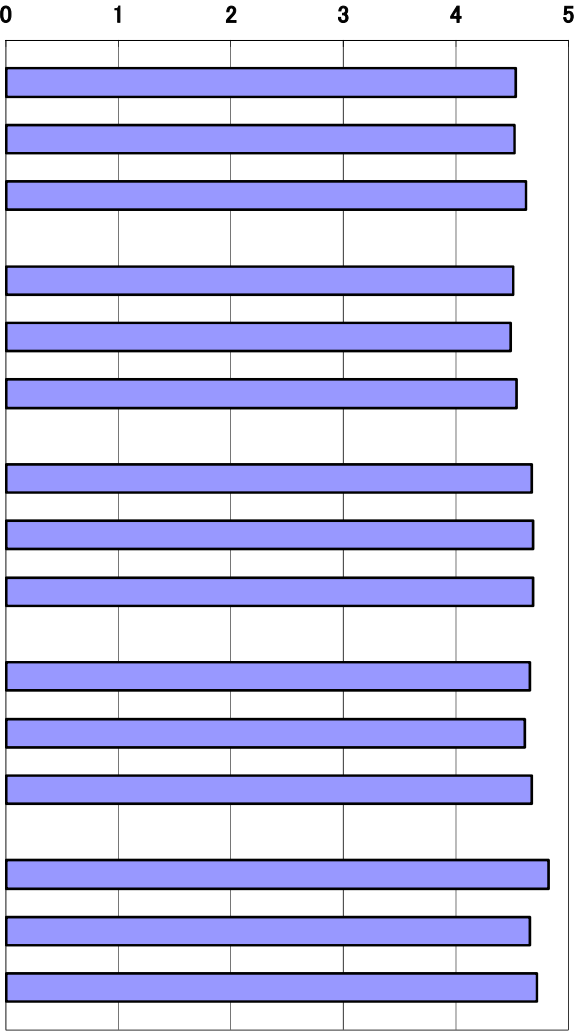
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	67 70.5	25 26.3	3 3.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.67	0.53
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	67 70.5	26 27.4	2 2.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.68	0.51
⑨	授業の進行速度は適切だった。	67 70.5	26 27.4	2 2.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.68	0.51

d. 熱意・相互作用

⑩	教員の熱意が伝わってきた。	64 67.4	29 30.5	2 2.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.65	0.52
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	63 66.3	28 29.5	3 3.2	1 1.1	0 0.0	0 0.0	4.61	0.60
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	68 71.6	23 24.2	4 4.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.67	0.55

e. 学生の自己評価

⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	80 84.2	13 13.7	2 2.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.82	0.43
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	64 67.4	29 30.5	2 2.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.65	0.52
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	70 73.7	23 24.2	2 2.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.72	0.50



科目コード	P10300	科目名	看護教育論 I	担当教員名	佐々木幾美、西田朋子
-------	--------	-----	---------	-------	------------

<教員からのコメント>

回収率は62.5%と昨年並みでしたが、授業評価を提出してくださった学生の皆さんから、よい評価をいただき、大変嬉しく思っています。必修科目ということや、これまで看護教育学自体に触れる機会がない中で、多くの方から興味をもっていただいたのはとてもよかったです。特に、「e.学生の自己評価」のポイントが高いという点では、皆さんが授業に関心をもって参加していただいたように思いました。また、「わかりやすく熱意が伝わる授業であった」「リフレクションペーパーに答えてくれてよかった」など、授業のよい点については次年度も続けていきたいと考えています。

ーコメントを踏まえて以下の点を検討・改善していきますー

・プリントがみにくいです。

→文字が多くなりがちなのですが、レイアウトを考慮したり、図や表などを工夫したりして、より見やすい資料にしていきます。

・質問が長いように感じた。

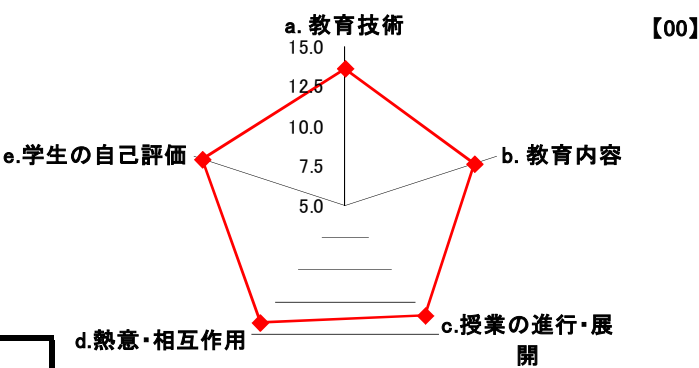
→おそらく、リフレクションペーパーに書かれた質問に答える時間が長いという意味だと思います。質問の優先度を考えながら、授業内で答えていきたいと考えています。一方で、「わからないところは、2回説明してもらえてよかった」という意見もあるので、質問への解答は続けていきたいと考えています。

授業(講義)評価結果(2015年度後期)

履修者数	23	回収数	17	回収率	73.9%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:国際看護学Ⅱ
担当者:
井上忠男・岡本菜穂子・亀井緑

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,245	13.07	2.33	17	13.59	1.65
b. 教育内容	3,260	12.97	2.46	17	13.53	1.88
c.授業の進行・展開	3,255	13.41	2.09	17	13.53	1.85
d.熱意・相互作用	3,247	13.27	2.27	17	14.06	1.35
e.学生の自己評価	3,251	13.88	1.63	17	14.41	1.03



N=17

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	10 58.8	6 35.3	1 5.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.53	0.61
②	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	9 52.9	7 41.2	1 5.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.47	0.61
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	10 58.8	7 41.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.59	0.49

b. 教育内容

④	授業の内容はわかりやすかった。	9 52.9	7 41.2	1 5.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.47	0.61
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	11 64.7	3 17.6	3 17.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.47	0.78
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	11 64.7	5 29.4	1 5.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.59	0.60

c. 授業の進行・展開

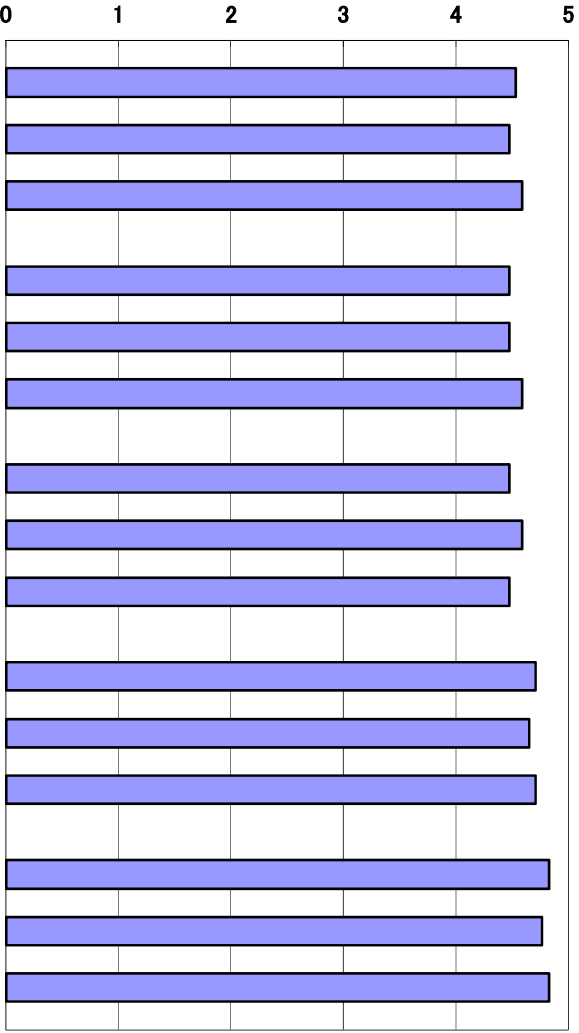
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	10 58.8	5 29.4	2 11.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.47	0.70
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	10 58.8	7 41.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.59	0.49
⑨	授業の進行速度は適切だった。	10 58.8	5 29.4	2 11.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.47	0.70

d. 熱意・相互作用

⑩	教員の熱意が伝わってきた。	12 70.6	5 29.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.71	0.46
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	11 64.7	6 35.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.65	0.48
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	12 70.6	5 29.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.71	0.46

e. 学生の自己評価

⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	14 82.4	3 17.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.82	0.38
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	13 76.5	4 23.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.76	0.42
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	14 82.4	3 17.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.82	0.38



科目コード	1R0200	科目名	国際看護学Ⅱ	担当教員名	井上忠男・岡本菜穂子・亀井縁
-------	--------	-----	--------	-------	----------------

<教員からのコメント>

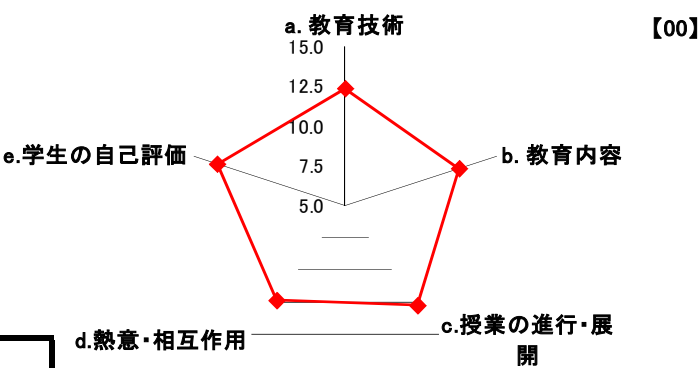
様々な理由から3名の教師のオムニバス形式にも似た授業となり、学生の皆さんにはやりにくい面やご不自由をかけてしまった点もあったかと思います。にもかかわらず、総じて高い評価を与えてくださったことは率直に有難く思います。「もう少し演習の時間が欲しかった」などの意見も考慮し、授業の進行・展開についても今後改善すべき点は改善してゆきたいと思います。そうした中であって、きちんと授業を受け止め、終始、真摯に望まれた学生の皆さんの態度には敬服いたします。当科目履修者の多くがオーストラリアでの海外研修に臨まれ、より厚みのある国際理解、国際看護の体験をされたことと思います。今後の皆さんのご活躍を期待しています。

授業(講義)評価結果(2015年度後期)

履修者数	71	回収数	65	回収率	91.5%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:災害看護論Ⅰ
担当者:
亀井緑・小原真理子・槇島敏治

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,245	13.07	2.33	65	12.34	1.89
b. 教育内容	3,260	12.97	2.46	65	12.52	2.12
c.授業の進行・展開	3,255	13.41	2.09	65	12.74	1.70
d.熱意・相互作用	3,247	13.27	2.27	64	12.33	2.12
e.学生の自己評価	3,251	13.88	1.63	65	13.43	1.69



N=65

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	23 35.4	40 61.5	2 3.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.32	0.53
②	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	20 30.8	41 63.1	4 6.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.25	0.56
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	18 27.7	25 38.5	13 20.0	7 10.8	2 3.1	0 0.0	3.77	1.06

b. 教育内容

④	授業の内容はわかりやすかった。	20 30.8	37 56.9	7 10.8	1 1.5	0 0.0	0 0.0	4.17	0.67
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	23 35.4	33 50.8	5 7.7	3 4.6	1 1.5	0 0.0	4.14	0.86
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	24 36.9	32 49.2	8 12.3	1 1.5	0 0.0	0 0.0	4.22	0.71

c. 授業の進行・展開

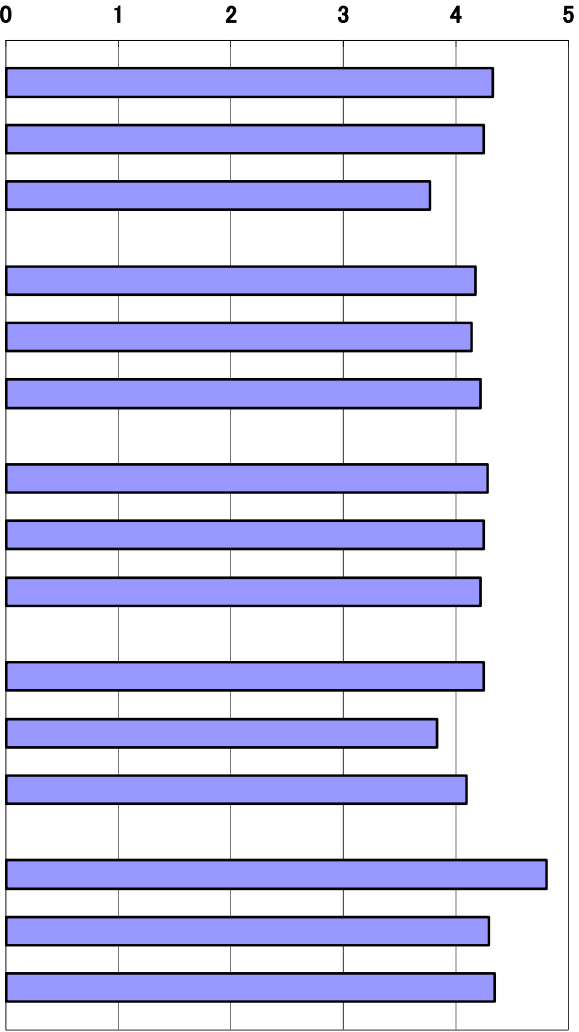
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	26 40.0	31 47.7	8 12.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.28	0.67
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	22 33.8	37 56.9	6 9.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.25	0.61
⑨	授業の進行速度は適切だった。	20 30.8	39 60.0	6 9.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.22	0.59

d. 熱意・相互作用

⑩	教員の熱意が伝わってきた。	26 40.0	31 47.7	6 9.2	2 3.1	0 0.0	0 0.0	4.25	0.74
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	16 24.6	30 46.2	14 21.5	3 4.6	1 1.5	1 1.5	3.83	1.00
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	23 35.4	30 46.2	9 13.8	2 3.1	0 0.0	1 1.5	4.09	0.92

e. 学生の自己評価

⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	54 83.1	9 13.8	2 3.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.80	0.47
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	29 44.6	29 44.6	5 7.7	1 1.5	1 1.5	0 0.0	4.29	0.80
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	33 50.8	22 33.8	9 13.8	1 1.5	0 0.0	0 0.0	4.34	0.77



科目コード	1R0401	科目名	災害看護論 I	担当教員名	亀井縁・小原真理子・埴島敏治
-------	--------	-----	---------	-------	----------------

<教員からのコメント>

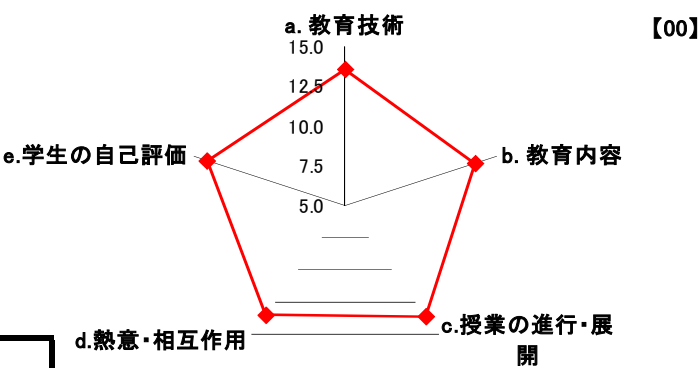
災害看護に対する学習の動機づけが確認できました。特にトリアージ、地域防災セミナーや救護訓練の参加を通して興味を持てたことがわかりました。今後も災害看護の初学者に対し学習への動機づけとなるような、授業方法を開発していきたいと思っています。講義時の声の大きさは、学生のおしゃべりへの対応や、重要な部分への強調と捉えて下さい。授業の邪魔となるようなおしゃべりは学生自身の自粛を望みます。小テスト開始の合図は、全員へのテスト用紙の配布を確認し、始めることを約束します。内容が伝わりやすい授業を心がけたいと思います。

授業(講義)評価結果(2015年度後期)

履修者数	85	回収数	65	回収率	76.5%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:災害看護論Ⅰ
担当者:
亀井緑・小原真理子・槇島敏治

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,245	13.07	2.33	64	13.55	1.71
b. 教育内容	3,260	12.97	2.46	65	13.57	1.70
c.授業の進行・展開	3,255	13.41	2.09	65	13.60	1.71
d.熱意・相互作用	3,247	13.27	2.27	65	13.48	1.78
e.学生の自己評価	3,251	13.88	1.63	65	14.11	1.36



N=65

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	35	28	2	0	0	0	4.51	0.56
		53.8	43.1	3.1	0.0	0.0	0.0		
②	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	36	24	3	1	0	1	4.42	0.86
		55.4	36.9	4.6	1.5	0.0	1.5		
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	40	21	4	0	0	0	4.55	0.61
		61.5	32.3	6.2	0.0	0.0	0.0		

b. 教育内容

④	授業の内容はわかりやすかった。	39	21	5	0	0	0	4.52	0.64
		60.0	32.3	7.7	0.0	0.0	0.0		
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	35	27	3	0	0	0	4.49	0.59
		53.8	41.5	4.6	0.0	0.0	0.0		
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	39	23	3	0	0	0	4.55	0.58
		60.0	35.4	4.6	0.0	0.0	0.0		

c.授業の進行・展開

⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	38	22	3	2	0	0	4.48	0.73
		58.5	33.8	4.6	3.1	0.0	0.0		
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	40	24	0	1	0	0	4.58	0.58
		61.5	36.9	0.0	1.5	0.0	0.0		
⑨	授業の進行速度は適切だった。	38	25	1	1	0	0	4.54	0.61
		58.5	38.5	1.5	1.5	0.0	0.0		

d.熱意・相互作用

⑩	教員の熱意が伝わってきた。	44	18	3	0	0	0	4.63	0.57
		67.7	27.7	4.6	0.0	0.0	0.0		
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	33	21	9	2	0	0	4.31	0.82
		50.8	32.3	13.8	3.1	0.0	0.0		
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	40	21	3	1	0	0	4.54	0.66
		61.5	32.3	4.6	1.5	0.0	0.0		

e.学生の自己評価

⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	58	6	1	0	0	0	4.88	0.37
		89.2	9.2	1.5	0.0	0.0	0.0		
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	42	19	4	0	0	0	4.58	0.60
		64.6	29.2	6.2	0.0	0.0	0.0		
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	45	17	3	0	0	0	4.65	0.57
		69.2	26.2	4.6	0.0	0.0	0.0		



科目コード	1R0402	科目名	災害看護論 I	担当教員名	亀井縁・小原真理子・埴島敏治
-------	--------	-----	---------	-------	----------------

<教員からのコメント>

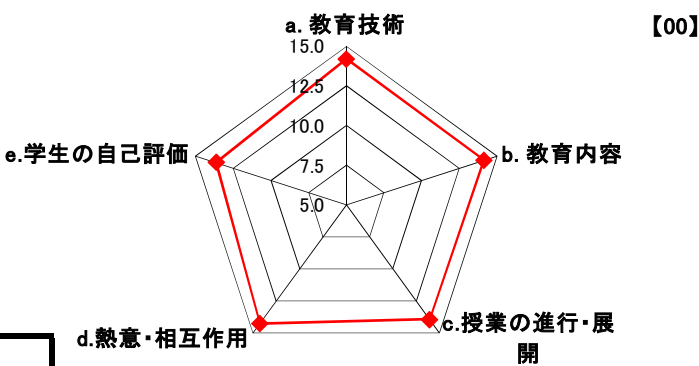
災害看護に対する学習の動機づけや興味が確認できました。特にトリアージ、地域防災セミナーや救護訓練の参加を通して興味が持てたことがわかりました。今後も災害看護の初学者に対し学習への動機づけとなるような、授業方法を開発していきたいと思っています。教員の災害看護に対する熱意を受けとめて頂いたことは、感激です。課外授業のオリエンテーション時間等に関するコメントについては、改善していきます。

授業(演習)評価結果(2015年度後期)

履修者数	607	回収数	494	回収率	81.4%
------	-----	-----	-----	-----	-------

科目:
担当者:

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	493	14.20	1.51	493	14.20	1.51
b. 教育内容	493	14.13	1.67	493	14.13	1.67
c. 授業の進行・展開	494	13.95	1.63	494	13.95	1.63
d. 熱意・相互作用	489	14.27	1.48	489	14.27	1.48
e. 学生の自己評価	487	13.64	2.03	487	13.64	2.03



N=494

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

①	演習で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	373 75.5	108 21.9	6 1.2	5 1.0	1 0.2	1 0.2	4.71	0.60
②	演習で使用了物品・モデル等は適切だった。	386 78.1	93 18.8	11 2.2	4 0.8	0 0.0	0 0.0	4.74	0.53
③	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	381 77.1	99 20.0	10 2.0	4 0.8	0 0.0	0 0.0	4.73	0.53

b. 教育内容

④	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	379 76.7	96 19.4	13 2.6	6 1.2	0 0.0	0 0.0	4.72	0.57
⑤	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	376 76.1	98 19.8	9 1.8	9 1.8	2 0.4	0 0.0	4.69	0.64
⑥	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	374 75.7	102 20.6	12 2.4	5 1.0	0 0.0	1 0.2	4.70	0.60

c. 授業の進行・展開

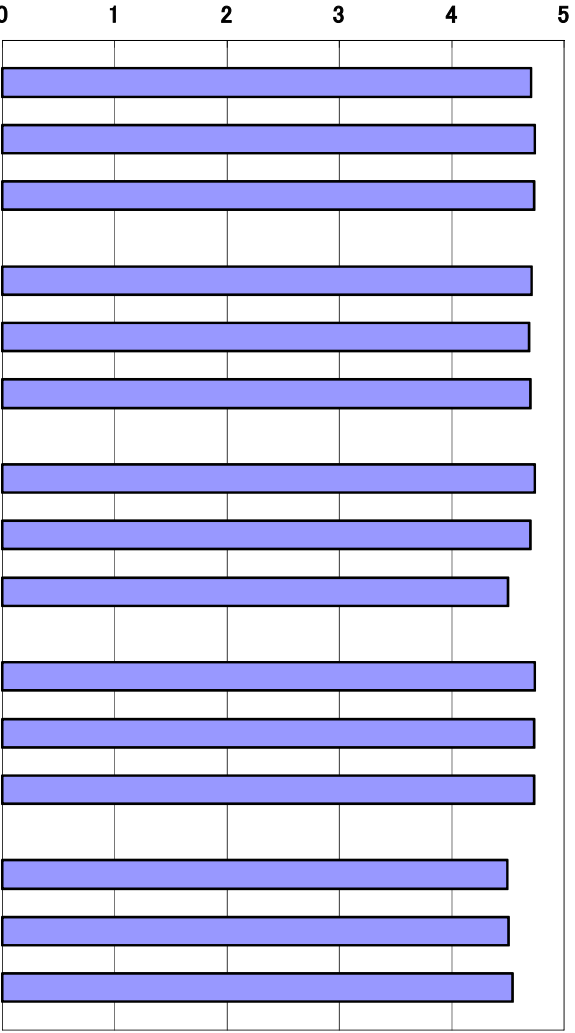
⑦	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	384 77.7	98 19.8	8 1.6	4 0.8	0 0.0	0 0.0	4.74	0.52
⑧	演習時の(グループ等の)人数は適切だった。	378 76.5	96 19.4	11 2.2	7 1.4	2 0.4	0 0.0	4.70	0.62
⑨	演習の時間配分は適切だった。	321 65.0	113 22.9	47 9.5	13 2.6	0 0.0	0 0.0	4.50	0.77

d. 熱意・相互作用

⑩	教員の熱意が伝わってきた。	391 79.1	88 17.8	11 2.2	2 0.4	0 0.0	2 0.4	4.74	0.58
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況であった。	388 78.5	90 18.2	10 2.0	4 0.8	1 0.2	1 0.2	4.73	0.59
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	393 79.6	87 17.6	7 1.4	3 0.6	1 0.2	3 0.6	4.74	0.64

e. 学生の自己評価

⑬	私は事前学習をして演習に臨んだ。	330 66.8	103 20.9	43 8.7	13 2.6	4 0.8	1 0.2	4.50	0.85
⑭	私は授業後に演習内容を復習した(オフィスアワーを含む)。	333 67.4	102 20.6	42 8.5	13 2.6	3 0.6	1 0.2	4.51	0.83
⑮	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	333 67.4	124 25.1	24 4.9	6 1.2	0 0.0	7 1.4	4.54	0.84



授業(演習)評価結果(2015年度後期)

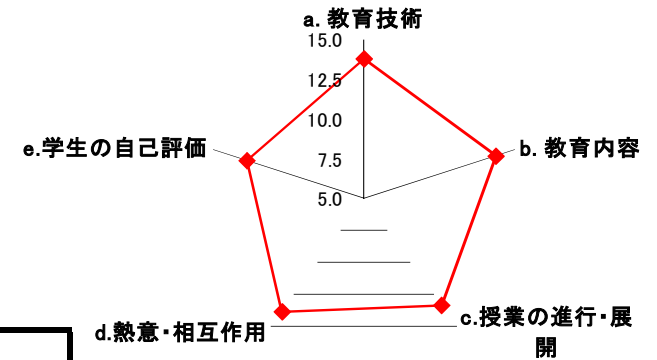
履修者数	72	回収数	69	回収率	95.8%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:看護技術論Ⅱ①

担当者:

樋口佳栄・吉田みつ子・殿城友紀・
源川奈央子・安島幹子・梅田亜矢・
桐原あずみ・根岸京子

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	493	14.20	1.51	69	13.83	1.61
b. 教育内容	493	14.13	1.67	69	13.75	1.56
c. 授業の進行・展開	494	13.95	1.63	69	13.33	1.81
d. 熱意・相互作用	489	14.27	1.48	68	13.82	1.60
e. 学生の自己評価	487	13.64	2.03	69	12.77	2.17



N=69

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

① 演習で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	42 60.9	24 34.8	3 4.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.57	0.58
② 演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	47 68.1	20 29.0	2 2.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.65	0.53
③ 教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	45 65.2	21 30.4	3 4.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.61	0.57

b. 教育内容

④ 技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	45 65.2	21 30.4	3 4.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.61	0.57
⑤ 演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	43 62.3	23 33.3	3 4.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.58	0.57
⑥ 実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	42 60.9	24 34.8	3 4.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.57	0.58

c. 授業の進行・展開

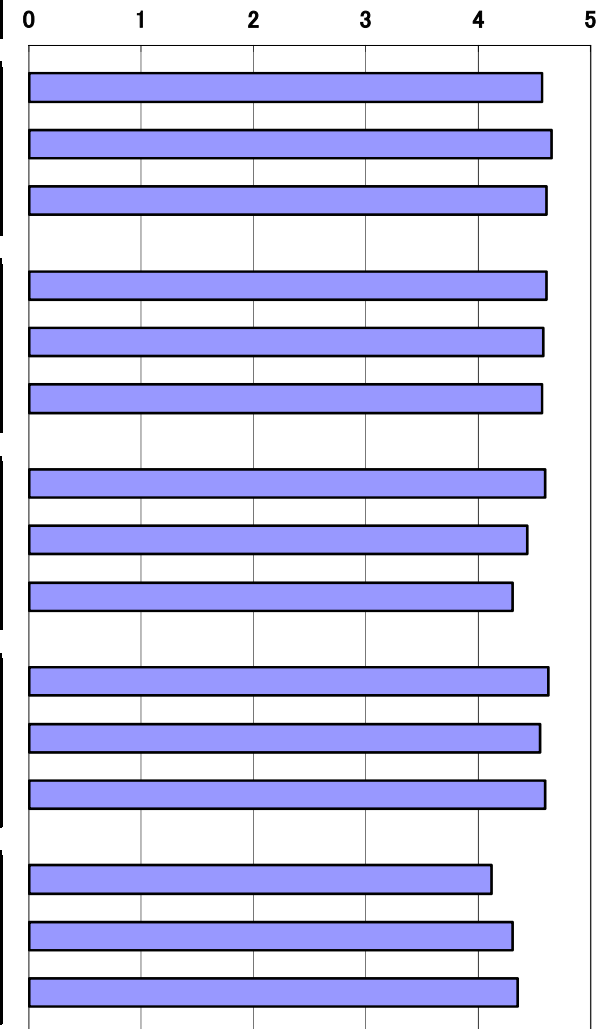
⑦ 学生への指示・安全への配慮は適切だった。	43 62.3	24 34.8	2 2.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.59	0.55
⑧ 演習時の(グループ等の)人数は適切だった。	39 56.5	24 34.8	4 5.8	1 1.4	1 1.4	0 0.0	4.43	0.79
⑨ 演習の時間配分は適切だった。	36 52.2	20 29.0	11 15.9	2 2.9	0 0.0	0 0.0	4.30	0.84

d. 熱意・相互作用

⑩ 教員の熱意が伝わってきた。	46 66.7	20 29.0	3 4.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.62	0.57
⑪ 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況であった。	42 60.9	23 33.3	4 5.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.55	0.60
⑫ 教員は学生の質問や発言に適切に应答した。	47 68.1	19 27.5	2 2.9	0 0.0	0 0.0	1 1.4	4.59	0.77

e. 学生の自己評価

⑬ 私は事前学習をして演習に臨んだ。	29 42.0	24 34.8	13 18.8	1 1.4	2 2.9	0 0.0	4.12	0.96
⑭ 私は授業後に演習内容を復習した(オフィスアワーを含む)。	34 49.3	23 33.3	11 15.9	1 1.4	0 0.0	0 0.0	4.30	0.79
⑮ 私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	33 47.8	27 39.1	9 13.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.35	0.70



科目コード	1J0201	科目名	看護技術論Ⅱ①	担当教員名	樋口佳栄・吉田みつ子・殿城友紀・源川奈央子・安島幹子・ 梅田亜矢・桐原あずみ・根岸京子
-------	--------	-----	---------	-------	--

<教員からのコメント>

とてもたくさんのご意見をお寄せくださりありがとうございました。質問のしやすさやデモンストレーションのわかりやすさ、オフィスアワーなどを評価していただき、私たちもとても励みになります。一方で、デモンストレーションの見えにくさ、伝わりにくい部分なども教えていただきました。今後よりよく伝わるように検討いたします。また、講義と演習時間のバランス、グループ人数、技術テストのときの雰囲気、室温などの環境などにつきましてもご意見をいただきました。ひとつひとつのご意見を大事にして配慮する努力を重ねたいと考えています。3人グループへの配慮など検討いたします。また、教員の何気ない一言に傷ついたというご意見がありました。とても大事なご意見として教員全員で共有いたしました。学生の皆さんが学習に集中して楽しく学べるよう今後も努力を重ねたいと思います。受講していただきました皆さん、ありがとうございました。

授業(演習)評価結果(2015年度後期)

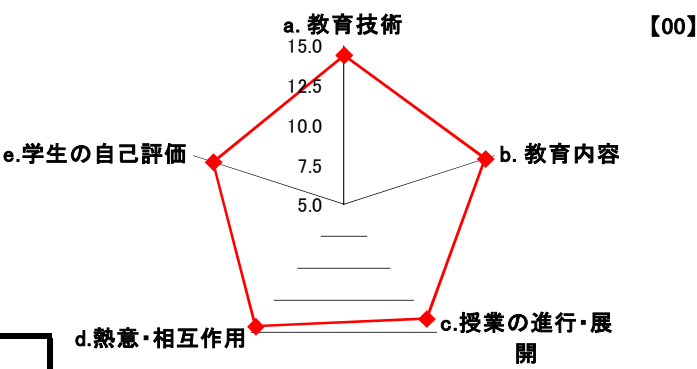
履修者数	73	回収数	63	回収率	86.3%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:看護技術論Ⅱ①

担当者:

樋口佳栄・吉田みつ子・殿城友紀・
源川奈央子・安島幹子・梅田亜矢・
桐原あずみ・根岸京子

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	493	14.20	1.51	63	14.43	1.35
b. 教育内容	493	14.13	1.67	63	14.38	1.46
c. 授業の進行・展開	494	13.95	1.63	63	13.89	1.42
d. 熱意・相互作用	489	14.27	1.48	62	14.50	1.17
e. 学生の自己評価	487	13.64	2.03	63	13.68	1.88



N=63

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

①	演習で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	52 82.5	10 15.9	1 1.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.81	0.43
②	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	55 87.3	7 11.1	0 0.0	1 1.6	0 0.0	0 0.0	4.84	0.48
③	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	51 81.0	11 17.5	0 0.0	1 1.6	0 0.0	0 0.0	4.78	0.52

b. 教育内容

④	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	53 84.1	9 14.3	0 0.0	1 1.6	0 0.0	0 0.0	4.81	0.50
⑤	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	53 84.1	8 12.7	1 1.6	0 0.0	1 1.6	0 0.0	4.78	0.63
⑥	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	51 81.0	11 17.5	1 1.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.79	0.44

c. 授業の進行・展開

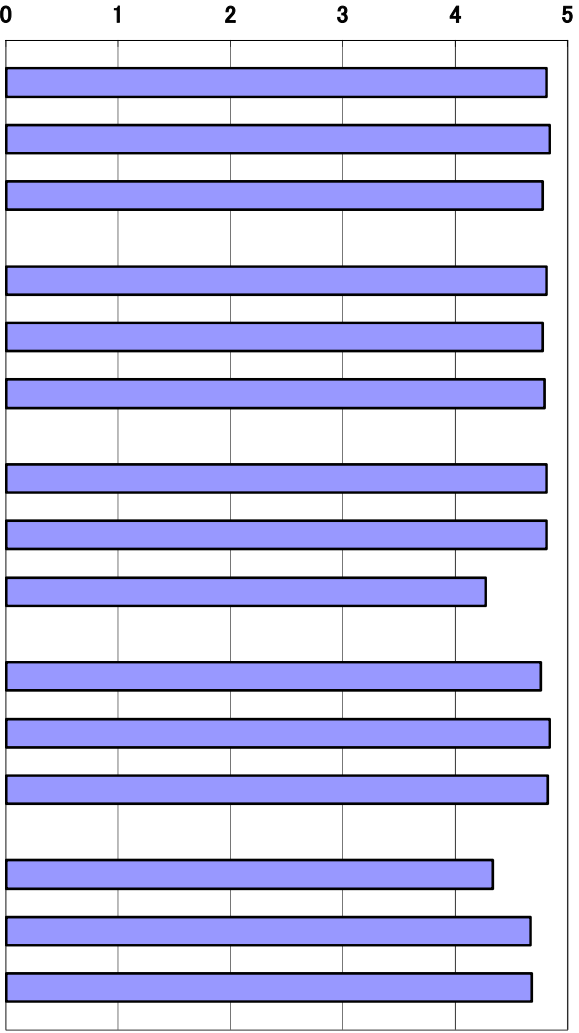
⑦	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	52 82.5	10 15.9	1 1.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.81	0.43
⑧	演習時の(グループ等の)人数は適切だった。	52 82.5	10 15.9	1 1.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.81	0.43
⑨	演習の時間配分は適切だった。	33 52.4	17 27.0	10 15.9	3 4.8	0 0.0	0 0.0	4.27	0.89

d. 熱意・相互作用

⑩	教員の熱意が伝わってきた。	53 84.1	8 12.7	1 1.6	0 0.0	0 0.0	1 1.6	4.76	0.73
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況であった。	54 85.7	8 12.7	1 1.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.84	0.41
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に应答した。	53 84.1	9 14.3	1 1.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.83	0.42

e. 学生の自己評価

⑬	私は事前学習をして演習に臨んだ。	38 60.3	13 20.6	8 12.7	3 4.8	1 1.6	0 0.0	4.33	0.98
⑭	私は授業後に演習内容を復習した(オフィスアワーを含む)。	46 73.0	14 22.2	2 3.2	1 1.6	0 0.0	0 0.0	4.67	0.62
⑮	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	44 69.8	18 28.6	1 1.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.68	0.50



科目コード	1J0202	科目名	看護技術論Ⅱ①	担当教員名	樋口佳栄・吉田みつ子・殿城友紀・源川奈央子・安島幹子・ 梅田亜矢・桐原あずみ・根岸京子
-------	--------	-----	---------	-------	--

<教員からのコメント>

とてもたくさんのご意見をお寄せくださりありがとうございました。デモンストレーションのわかりやすさや楽しく学べたという点を評価していただき私たちもとても励みになります。前回の授業の振り返りを行うことで復習ができてよかったといった授業の構成につきましても評価していただき、参考になりました。一方で演習時間が短い、時間が延びることがあったなど時間配分についてのご意見をいただきました。記録する時間なども含めた時間配分を検討し、その通りに進められるよう今後も努力していきます。デモンストレーションのときには、メモを取る時間への配慮も検討いたします。また、技術試験のときの雰囲気厳しさについてご意見をいただきました。教員もあまり意識していませんでしたが、ご意見を共有して改善できるところを検討いたします。グループメンバーの組合せ(男女など)にもご意見をいただきました。今後グループを考えると参考になります。また、学ぶ環境について(騒がしさ、室温など)についてもご意見をいただきました。教員間で共有して気持ちよく学べる環境を整える努力もしてまいります。受講していただきました皆さん、ありがとうございました。

授業(演習)評価結果(2015年度後期)

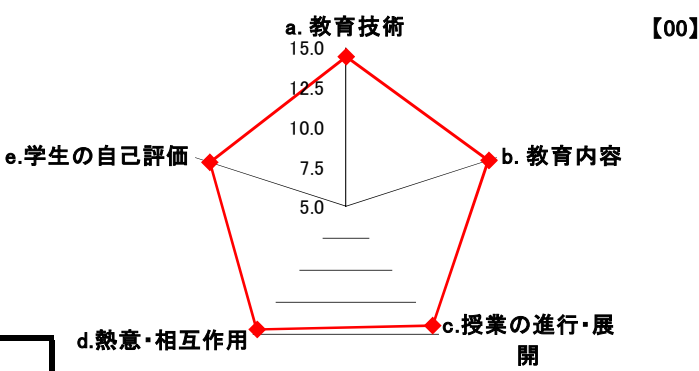
履修者数	72	回収数	65	回収率	90.3%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:看護技術論Ⅲ②

担当者:

樋口佳栄・吉田みつ子・殿城友紀・
川原由佳里・源川奈央子・安島幹
子・山本伊都子・梅田亜矢・桐原あ
ずみ・根岸京子

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	493	14.20	1.51	65	14.46	1.12
b. 教育内容	493	14.13	1.67	65	14.46	1.11
c. 授業の進行・展開	494	13.95	1.63	65	14.28	1.28
d. 熱意・相互作用	489	14.27	1.48	65	14.57	0.98
e. 学生の自己評価	487	13.64	2.03	64	14.03	1.68



N=65

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

① 演習で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	52 80.0	13 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.80	0.40
② 演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	54 83.1	11 16.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.83	0.37
③ 教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	54 83.1	11 16.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.83	0.37

b. 教育内容

④ 技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	52 80.0	13 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.80	0.40
⑤ 演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	54 83.1	11 16.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.83	0.37
⑥ 実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	54 83.1	11 16.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.83	0.37

c. 授業の進行・展開

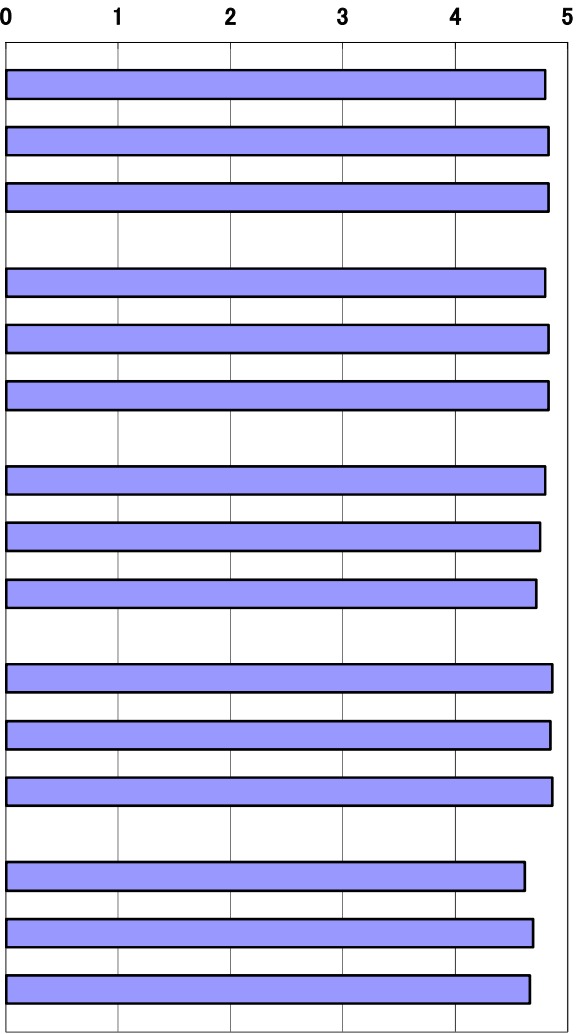
⑦ 学生への指示・安全への配慮は適切だった。	52 80.0	13 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.80	0.40
⑧ 演習時の(グループ等の)人数は適切だった。	52 80.0	12 18.5	0 0.0	0 0.0	1 1.5	0 0.0	4.75	0.61
⑨ 演習の時間配分は適切だった。	49 75.4	14 21.5	2 3.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.72	0.51

d. 熱意・相互作用

⑩ 教員の熱意が伝わってきた。	56 86.2	9 13.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.86	0.35
⑪ 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況であった。	55 84.6	10 15.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.85	0.36
⑫ 教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	56 86.2	9 13.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.86	0.35

e. 学生の自己評価

⑬ 私は事前学習をして演習に臨んだ。	47 72.3	12 18.5	5 7.7	1 1.5	0 0.0	0 0.0	4.62	0.69
⑭ 私は授業後に演習内容を復習した(オフィスアワーを含む)。	48 73.8	15 23.1	1 1.5	1 1.5	0 0.0	0 0.0	4.69	0.58
⑮ 私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	48 73.8	15 23.1	1 1.5	0 0.0	0 0.0	1 1.5	4.66	0.75



科目コード	1J0501	科目名	看護技術論Ⅲ②	担当教員名	樋口佳栄・吉田みつ子・殿城友紀・川原由佳里・源川奈央子・ 安島幹子・山本伊都子・梅田亜矢・桐原あずみ・根岸京子
-------	--------	-----	---------	-------	--

<教員からのコメント>

総合して学びやすい授業だったと評価していただいて、私たちもとても励みになりました。演習後のリフレクションで他の人の意見がきけてよかった、オフィスアワーが技術の向上に役立ったというご意見も寄せられて、大変参考になりました。演習内容が多い時は、演習の時間が足りなかったというご意見もいただきました。講義と演習時間の配分についても検討を重ねてまいります。皆さん全員が体験できるような時間配分ができるように、そして皆さんと活発なディスカッションをしながら双方向の講義になるよう今後も工夫を重ねてまいります。受講して下さいました皆さん、どうもありがとうございました。

授業(演習)評価結果(2015年度後期)

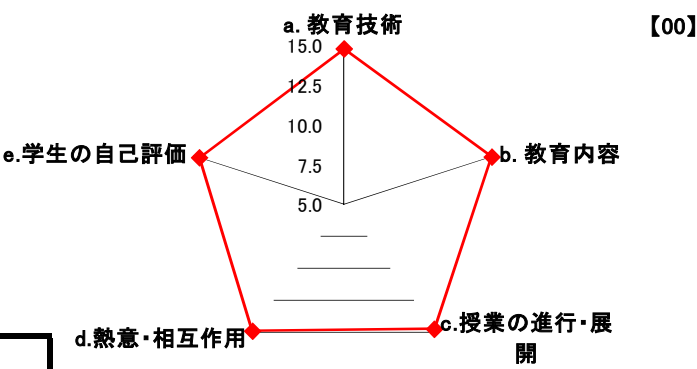
履修者数	73	回収数	69	回収率	94.5%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:看護技術論Ⅲ②

担当者:

樋口佳栄・吉田みつ子・殿城友紀・
川原由佳里・源川奈央子・安島幹
子・山本伊都子・梅田亜矢・桐原あ
ずみ・根岸京子

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	493	14.20	1.51	69	14.83	0.66
b. 教育内容	493	14.13	1.67	69	14.80	0.73
c. 授業の進行・展開	494	13.95	1.63	69	14.70	0.82
d. 熱意・相互作用	489	14.27	1.48	67	14.85	0.50
e. 学生の自己評価	487	13.64	2.03	67	14.60	1.16



N=69

強く 思う	そう 思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

①	演習で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	65 94.2	4 5.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.94	0.23
②	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	66 95.7	3 4.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.96	0.20
③	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	64 92.8	5 7.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.93	0.26

b. 教育内容

④	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	64 92.8	4 5.8	1 1.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.91	0.33
⑤	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	65 94.2	4 5.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.94	0.23
⑥	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	65 94.2	4 5.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.94	0.23

c. 授業の進行・展開

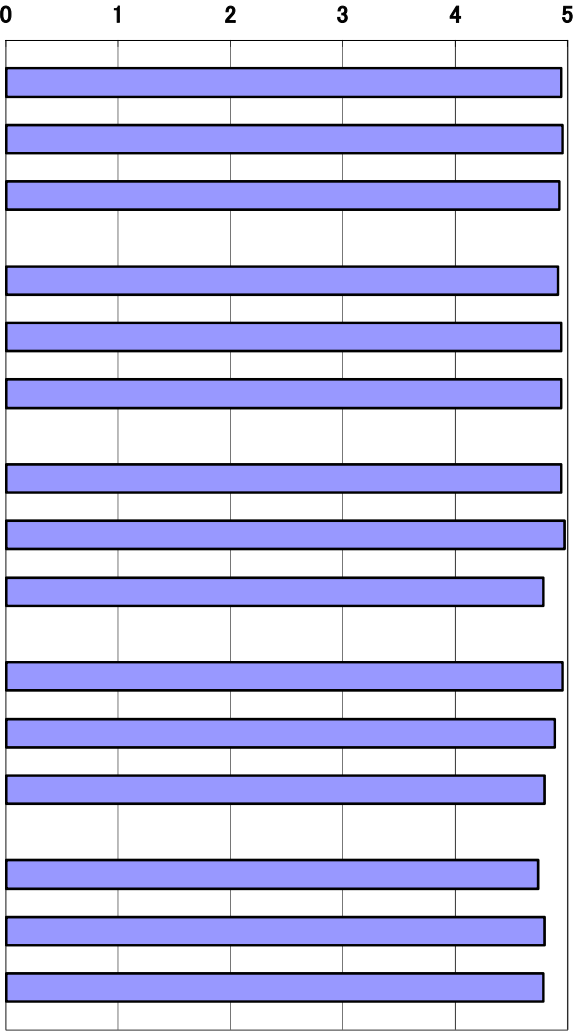
⑦	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	65 94.2	4 5.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.94	0.23
⑧	演習時の(グループ等の)人数は適切だった。	67 97.1	2 2.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.97	0.17
⑨	演習の時間配分は適切だった。	60 87.0	5 7.2	2 2.9	2 2.9	0 0.0	0 0.0	4.78	0.63

d. 熱意・相互作用

⑩	教員の熱意が伝わってきた。	66 95.7	3 4.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.96	0.20
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況であった。	65 94.2	3 4.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 1.4	4.88	0.63
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	63 91.3	4 5.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 2.9	4.80	0.86

e. 学生の自己評価

⑬	私は事前学習をして演習に臨んだ。	60 87.0	4 5.8	3 4.3	1 1.4	0 0.0	1 1.4	4.74	0.81
⑭	私は授業後に演習内容を復習した(オフィスアワーを含む)。	61 88.4	5 7.2	2 2.9	0 0.0	0 0.0	1 1.4	4.80	0.71
⑮	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	62 89.9	5 7.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 2.9	4.78	0.87



科目コード	1J0502	科目名	看護技術論Ⅲ②	担当教員名	樋口佳栄・吉田みつ子・殿城友紀・川原由佳里・源川奈央子・ 安島幹子・山本伊都子・梅田亜矢・桐原あずみ・根岸京子
-------	--------	-----	---------	-------	--

<教員からのコメント>

実習で活かせる技術を学ぶことができた、楽しく学べたといった評価をくださり、私たちもとても励みになりました。デモンストレーションでは、普段はみえにくい心の中を表現していく工夫をしてみました、それが伝わり、よかったと評価してくださった方もいらっしゃいました。毎回技術が上達してくことを表現してくださった方もいらっしゃってとてもうれしく感じました。講義の部分では、皆さんの関心を十分に引きつけることができなかったところもあったようでした。皆さんの関心を高められるようなディスカッションをしながら双方向の講義になるように、今後さらに検討を重ねてまいります。受講してくださいました皆さん、どうもありがとうございました。

授業(演習)評価結果(2015年度後期)

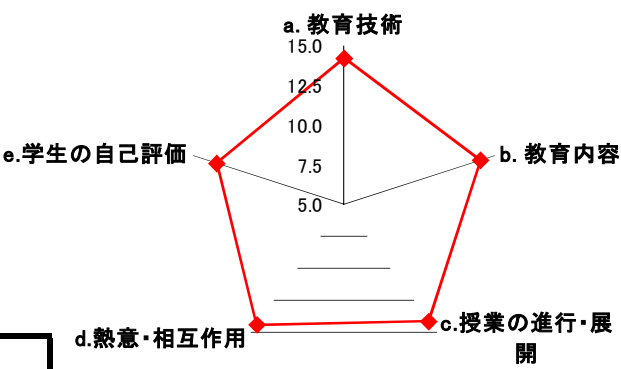
履修者数	71	回収数	65	回収率	91.5%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:健康レベル別看護学演習 I

担当者:

下村裕子・田中孝美・住谷ゆかり・
和田美也子・山本伊都子・梅田亜
矢・桐原あずみ・源川奈央子・殿城
友紀・安島幹子

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	493	14.20	1.51	64	14.25	1.48
b. 教育内容	493	14.13	1.67	65	14.06	1.76
c. 授業の進行・展開	494	13.95	1.63	65	14.09	1.50
d. 熱意・相互作用	489	14.27	1.48	64	14.38	1.21
e. 学生の自己評価	487	13.64	2.03	65	13.45	2.25



[00]

N=65

強く 思う	そう 思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

① 演習で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	50 76.9	13 20.0	0 0.0	0 0.0	1 1.5	1 1.5	4.66	0.85
② 演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	50 76.9	12 18.5	3 4.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.72	0.54
③ 教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	51 78.5	11 16.9	3 4.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.74	0.53

b. 教育内容

④ 技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	51 78.5	10 15.4	4 6.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.72	0.57
⑤ 演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	48 73.8	14 21.5	1 1.5	1 1.5	1 1.5	0 0.0	4.65	0.73
⑥ 実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	49 75.4	13 20.0	2 3.1	1 1.5	0 0.0	0 0.0	4.69	0.61

c. 授業の進行・展開

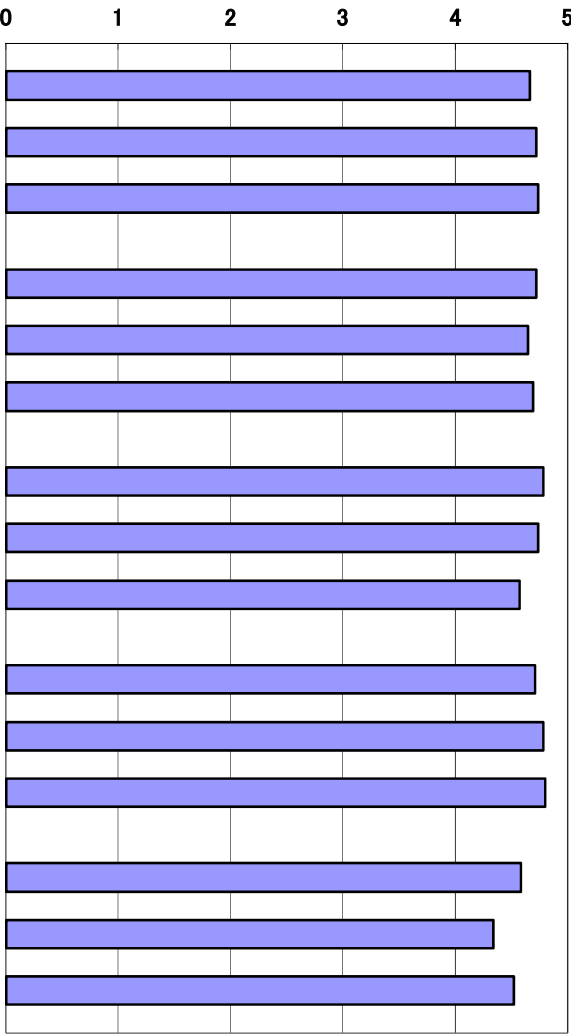
⑦ 学生への指示・安全への配慮は適切だった。	53 81.5	11 16.9	0 0.0	1 1.5	0 0.0	0 0.0	4.78	0.51
⑧ 演習時の(グループ等の)人数は適切だった。	50 76.9	13 20.0	2 3.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.74	0.50
⑨ 演習の時間配分は適切だった。	44 67.7	15 23.1	5 7.7	1 1.5	0 0.0	0 0.0	4.57	0.70

d. 熱意・相互作用

⑩ 教員の熱意が伝わってきた。	50 76.9	14 21.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 1.5	4.71	0.72
⑪ 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況であった。	53 81.5	11 16.9	0 0.0	1 1.5	0 0.0	0 0.0	4.78	0.51
⑫ 教員は学生の質問や発言に適切に应答した。	52 80.0	13 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.80	0.40

e. 学生の自己評価

⑬ 私は事前学習をして演習に臨んだ。	44 67.7	16 24.6	4 6.2	1 1.5	0 0.0	0 0.0	4.58	0.68
⑭ 私は授業後に演習内容を復習した(オフィスアワーを含む)。	42 64.6	10 15.4	8 12.3	3 4.6	2 3.1	0 0.0	4.34	1.06
⑮ 私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	43 66.2	15 23.1	5 7.7	2 3.1	0 0.0	0 0.0	4.52	0.77



科目コード	1N0501	科目名	健康レベル別看護学演習 I	担当教員名	下村裕子・田中孝美・住谷ゆかり・和田美也子・山本伊都子 梅田亜矢・桐原あずみ・源川奈央子・殿城友紀・安島幹子
-------	--------	-----	---------------	-------	---

<教員からのコメント>

レベルⅡ実習の経験を踏まえ、積極的に技術演習に取り組んでもらえて良かったです。また、演習ですので、できるだけ少人数の学生で、多くの教員・指導者が関われるように努めていることが、学びにつながっているようで良かったですと思います。演習では、事前学習を重視し、導入部分での説明は、実施を助けるための位置づけとし、皆さんが実際に体験できることを大切に考えています。そして、実施後の振り返りをもとに、事後学習ができるようにとの意図で、まとめ資料(復習できるプリント)が充実した内容になるように努力しました。例年授業評価で、時間配分に対する意見をもらい調整を重ねてきた結果、今年度は、適度な配分になったようで良かったです。クラスAが1限・2限に配置されている件に対するコメントは、例年どちらのクラスからもあるのですが、後期1科目の場合、科目途中でのチェンジは難しいのが現実です。この点は、最初のオリエンテーションの時にも説明いたしました。ご理解ください。要項にメモができる余白というのはそのとおりですね。改善していきたいと思います。授業評価およびコメントをありがとうございました。

授業(演習)評価結果(2015年度後期)

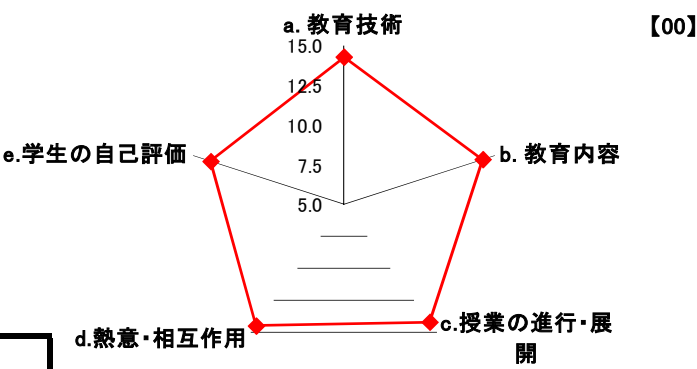
履修者数	72	回収数	65	回収率	90.3%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:健康レベル別看護学演習Ⅰ

担当者:

下村裕子・田中孝美・住谷ゆかり・
和田美也子・山本伊都子・梅田亜
矢・桐原あずみ・源川奈央子・殿城
友紀・安島幹子

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	493	14.20	1.51	65	14.29	1.21
b. 教育内容	493	14.13	1.67	65	14.20	1.39
c. 授業の進行・展開	494	13.95	1.63	65	14.17	1.28
d. 熱意・相互作用	489	14.27	1.48	65	14.45	1.11
e. 学生の自己評価	487	13.64	2.03	64	13.86	1.66



N=65

強く 思う	そう 思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

① 演習で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	52 80.0	12 18.5	1 1.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.78	0.45
② 演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	51 78.5	14 21.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.78	0.41
③ 教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	50 76.9	13 20.0	1 1.5	1 1.5	0 0.0	0 0.0	4.72	0.57

b. 教育内容

④ 技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	50 76.9	14 21.5	1 1.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.75	0.47
⑤ 演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	48 73.8	16 24.6	0 0.0	1 1.5	0 0.0	0 0.0	4.71	0.55
⑥ 実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	49 75.4	15 23.1	1 1.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.74	0.47

c. 授業の進行・展開

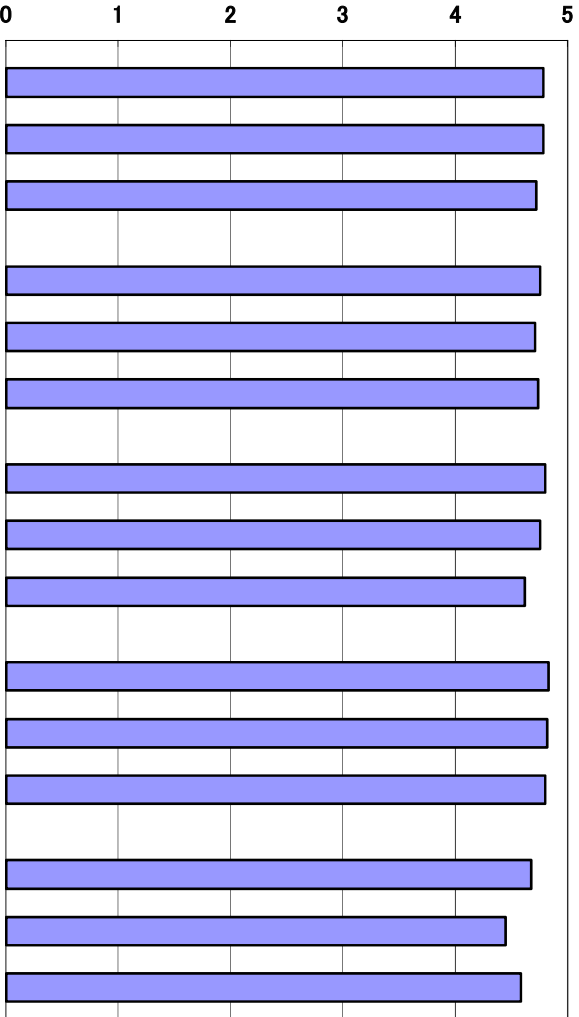
⑦ 学生への指示・安全への配慮は適切だった。	52 80.0	13 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.80	0.40
⑧ 演習時の(グループ等の)人数は適切だった。	50 76.9	14 21.5	1 1.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.75	0.47
⑨ 演習の時間配分は適切だった。	43 66.2	19 29.2	3 4.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.62	0.57

d. 熱意・相互作用

⑩ 教員の熱意が伝わってきた。	54 83.1	11 16.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.83	0.37
⑪ 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況であった。	53 81.5	12 18.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.82	0.39
⑫ 教員は学生の質問や発言に適切に应答した。	52 80.0	13 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.80	0.40

e. 学生の自己評価

⑬ 私は事前学習をして演習に臨んだ。	49 75.4	13 20.0	1 1.5	2 3.1	0 0.0	0 0.0	4.68	0.66
⑭ 私は授業後に演習内容を復習した(オフィスアワーを含む)。	42 64.6	12 18.5	9 13.8	2 3.1	0 0.0	0 0.0	4.45	0.84
⑮ 私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	44 67.7	18 27.7	2 3.1	0 0.0	0 0.0	1 1.5	4.58	0.78



科目コード	1N0502	科目名	健康レベル別看護学演習 I	担当教員名	下村裕子・田中孝美・住谷ゆかり・和田美也子・山本伊都子 梅田亜矢・桐原あずみ・源川奈央子・殿城友紀・安島幹子
-------	--------	-----	---------------	-------	---

＜教員からのコメント＞

レベルⅡ実習の経験を踏まえ、積極的に技術演習に取り組んでもらえて良かったです。また、演習ですので、できるだけ少人数の学生で、多くの教員・指導者が関われるように努めていることが、学びにつながっているようで良かったですと思います。演習では、事前学習を重視し、導入部分での説明は、実施を助けるための位置づけとし、皆さんが実際に体験できることを大切に考えています。そして、実施後の振り返りをもとに、事後学習ができるようにとの意図で、まとめ資料(復習できるプリント)が充実した内容になるように努力しました。例年授業評価で、時間配分に対する意見をもらい調整を重ねてきた結果、今年度は、適度な配分になったようで良かったです。技術試験のお知らせの時期については、皆さんの意見を参考に改善したいと思います。オフィスアワーについては、ガイダンスでも説明したとおり、演習時間内に質問できる時間を確保し、質問に対するコメントや対応も、クラス全員が共有できるようにしたので、教員は研究室待機としました。授業評価およびコメントをありがとうございました。

授業(演習)評価結果(2015年度後期)

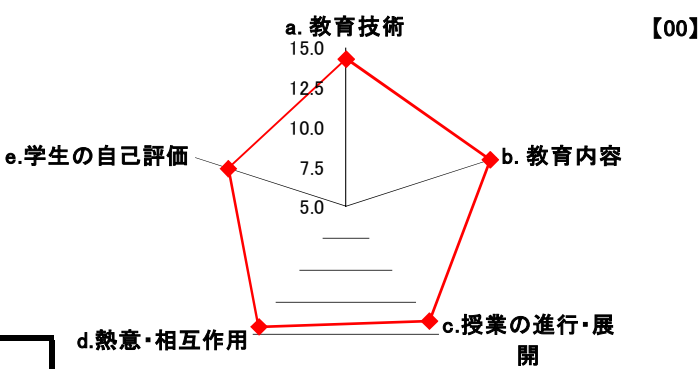
履修者数	22	回収数	16	回収率	72.7%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:災害看護活動論Ⅱ

担当者:

小原真理子・亀井縁・根岸京子

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	493	14.20	1.51	16	14.31	1.04
b. 教育内容	493	14.13	1.67	16	14.56	0.86
c. 授業の進行・展開	494	13.95	1.63	16	13.94	1.25
d. 熱意・相互作用	489	14.27	1.48	16	14.38	1.32
e. 学生の自己評価	487	13.64	2.03	16	12.81	2.32



N=16

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

①	演習で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	12 75.0	4 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.75	0.43
②	演習で使用了物品・モデル等は適切だった。	13 81.3	3 18.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.81	0.39
③	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	13 81.3	2 12.5	1 6.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.75	0.56

b. 教育内容

④	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	13 81.3	3 18.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.81	0.39
⑤	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	14 87.5	2 12.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.88	0.33
⑥	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	14 87.5	2 12.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.88	0.33

c. 授業の進行・展開

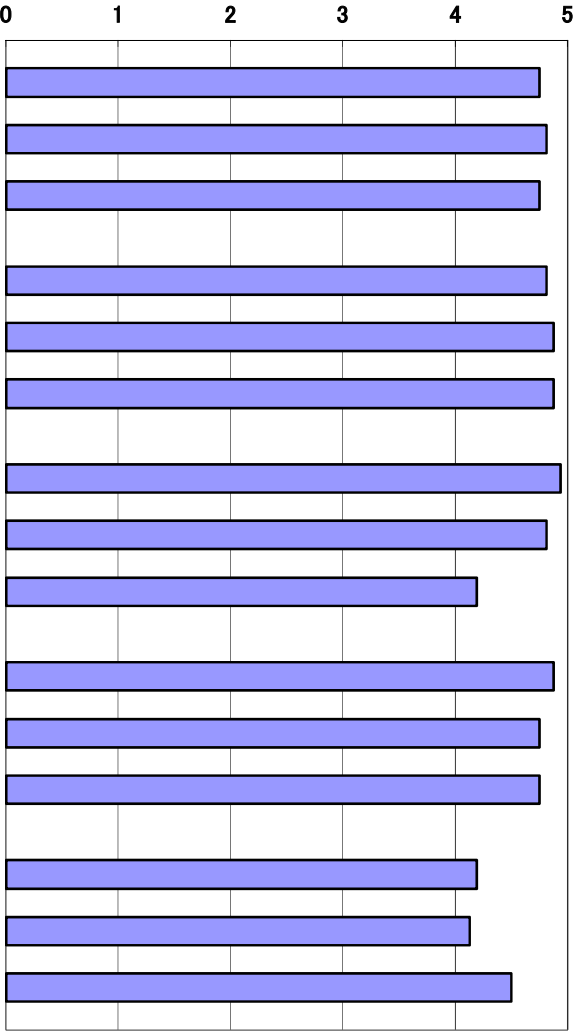
⑦	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	15 93.8	1 6.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.94	0.24
⑧	演習時の(グループ等の)人数は適切だった。	13 81.3	3 18.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.81	0.39
⑨	演習の時間配分は適切だった。	9 56.3	1 6.3	6 37.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.19	0.95

d. 熱意・相互作用

⑩	教員の熱意が伝わってきた。	14 87.5	2 12.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.88	0.33
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況であった。	13 81.3	2 12.5	1 6.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.75	0.56
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に应答した。	13 81.3	2 12.5	1 6.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.75	0.56

e. 学生の自己評価

⑬	私は事前学習をして演習に臨んだ。	9 56.3	2 12.5	4 25.0	1 6.3	0 0.0	0 0.0	4.19	1.01
⑭	私は授業後に演習内容を復習した(オフィスアワーを含む)。	8 50.0	3 18.8	4 25.0	1 6.3	0 0.0	0 0.0	4.13	0.99
⑮	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	9 56.3	6 37.5	1 6.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.50	0.61



科目コード	1R0700	科目名	災害看護活動論II	担当教員名	小原真理子・亀井縁・根岸京子
-------	--------	-----	-----------	-------	----------------

<教員からのコメント>

高得点の授業評価を頂き安心しました。GWやロールプレイを通して、被災者の気持ちや救助者の気持ちを理解したこと、心のケアの重要性が理解できたことが確認できました。また授業方法に対する肯定的なコメントは、教える側に勇気をもたらします。今後も学生の興味や動機を引き出すような、授業を展開していきたいと思っています。授業の終了時間については、改善してゆきます。

授業(演習)評価結果(2015年度後期)

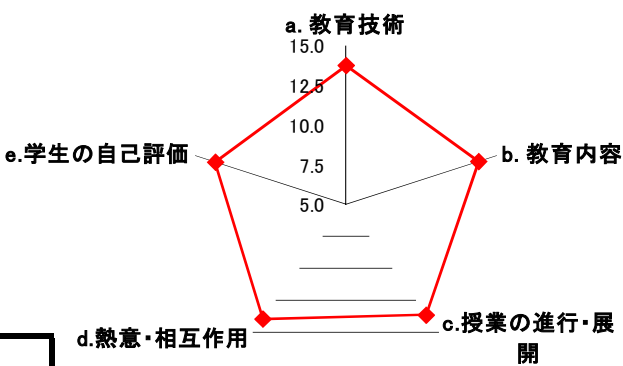
履修者数	68	回収数	36	回収率	52.9%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:研究方法論Ⅱ

担当者:

谷津裕子・遠藤公久・山崎裕二・川名るり・堀井湖浪・坂口千鶴・安部陽子・齋藤英子・岡本有子・清田明美・濱田真由美

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	493	14.20	1.51	36	13.78	1.57
b. 教育内容	493	14.13	1.67	36	13.81	1.87
c. 授業の進行・展開	494	13.95	1.63	36	13.61	1.93
d. 熱意・相互作用	489	14.27	1.48	36	13.92	1.69
e. 学生の自己評価	487	13.64	2.03	35	13.69	2.30



N=36

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

① 演習で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	21 58.3	14 38.9	1 2.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.56	0.55
② 演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	22 61.1	11 30.6	3 8.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.53	0.64
③ 教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	26 72.2	9 25.0	1 2.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.69	0.52

b. 教育内容

④ 技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	24 66.7	10 27.8	2 5.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.61	0.59
⑤ 演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	25 69.4	8 22.2	2 5.6	1 2.8	0 0.0	0 0.0	4.58	0.72
⑥ 実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	25 69.4	9 25.0	1 2.8	1 2.8	0 0.0	0 0.0	4.61	0.68

c. 授業の進行・展開

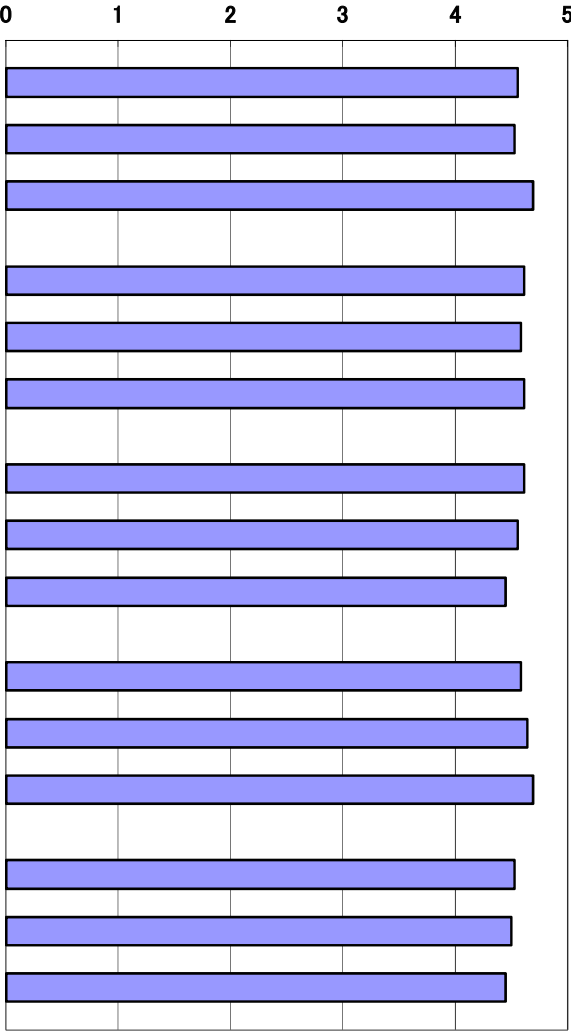
⑦ 学生への指示・安全への配慮は適切だった。	25 69.4	9 25.0	1 2.8	1 2.8	0 0.0	0 0.0	4.61	0.68
⑧ 演習時の(グループ等の)人数は適切だった。	26 72.2	6 16.7	2 5.6	2 5.6	0 0.0	0 0.0	4.56	0.83
⑨ 演習の時間配分は適切だった。	23 63.9	7 19.4	5 13.9	1 2.8	0 0.0	0 0.0	4.44	0.83

d. 熱意・相互作用

⑩ 教員の熱意が伝わってきた。	25 69.4	7 19.4	4 11.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.58	0.68
⑪ 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況であった。	25 69.4	9 25.0	2 5.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.64	0.58
⑫ 教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	26 72.2	9 25.0	1 2.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.69	0.52

e. 学生の自己評価

⑬ 私は事前学習をして演習に臨んだ。	24 66.7	9 25.0	2 5.6	0 0.0	1 2.8	0 0.0	4.53	0.83
⑭ 私は授業後に演習内容を復習した(オフィスアワーを含む)。	24 66.7	8 22.2	3 8.3	0 0.0	1 2.8	0 0.0	4.50	0.87
⑮ 私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	24 66.7	8 22.2	2 5.6	1 2.8	0 0.0	1 2.8	4.44	1.04



[00]

科目コード	1T0201	科目名	研究方法論Ⅱ	担当教員名	谷津裕子・遠藤公久・山崎裕二・川名るり・堀井湖浪・坂口千鶴・ 安部陽子・齋藤英子・岡本有子・清田明美・濱田真由美
-------	--------	-----	--------	-------	---

<教員からのコメント>

「AクラとBクラで提出期限が同じなのに作業時間(作業開始時間)に差があること、Aクラの方が大変」のコメントをいただきました。作業時間の違いについては、来年度に向けて検討いたします。

授業(演習)評価結果(2015年度後期)

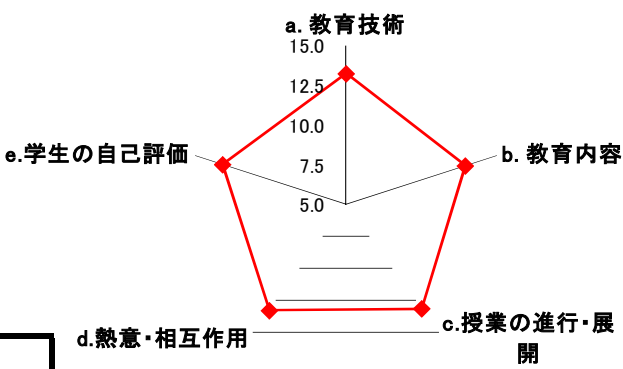
履修者数	84	回収数	46	回収率	54.8%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:研究 방법論Ⅱ

担当者:

谷津裕子・遠藤公久・山崎裕二・川名るり・堀井湖浪・坂口千鶴・安部陽子・齋藤英子・岡本有子・清田明美・濱田真由美

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	493	14.20	1.51	46	13.26	2.49
b. 教育内容	493	14.13	1.67	45	12.91	2.82
c. 授業の進行・展開	494	13.95	1.63	46	13.13	2.49
d. 熱意・相互作用	489	14.27	1.48	46	13.24	2.67
e. 学生の自己評価	487	13.64	2.03	44	13.18	2.47



【00】

N=46

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

① 演習で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	27 58.7	14 30.4	0 0.0	5 10.9	0 0.0	0 0.0	4.37	0.94
② 演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	28 60.9	12 26.1	3 6.5	3 6.5	0 0.0	0 0.0	4.41	0.87
③ 教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	27 58.7	16 34.8	1 2.2	2 4.3	0 0.0	0 0.0	4.48	0.74

b. 教育内容

④ 技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	27 58.7	12 26.1	2 4.3	5 10.9	0 0.0	0 0.0	4.33	0.98
⑤ 演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	26 56.5	12 26.1	2 4.3	6 13.0	0 0.0	0 0.0	4.26	1.03
⑥ 実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	25 54.3	13 28.3	4 8.7	3 6.5	0 0.0	1 2.2	4.24	1.09

c. 授業の進行・展開

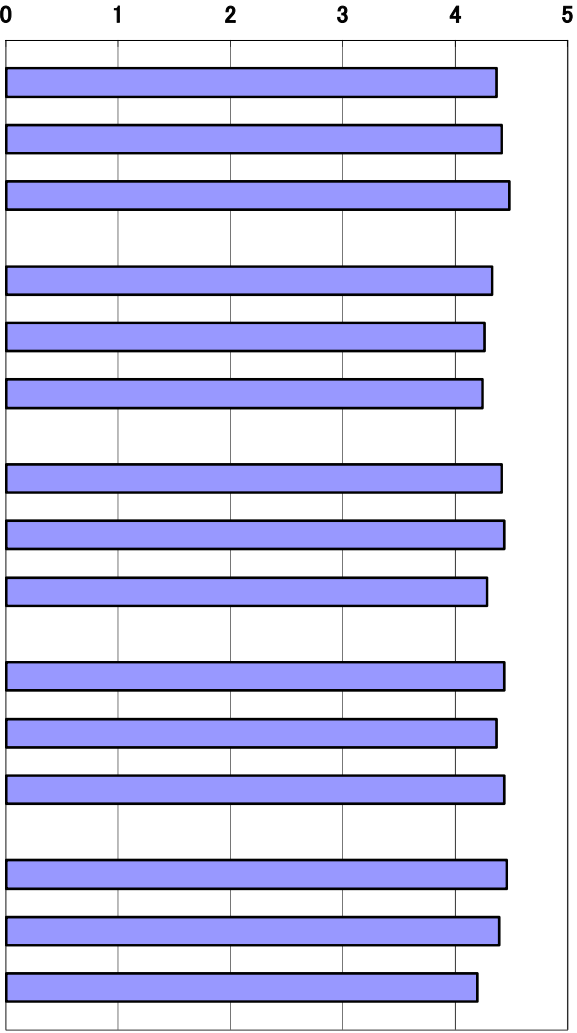
⑦ 学生への指示・安全への配慮は適切だった。	27 58.7	13 28.3	4 8.7	2 4.3	0 0.0	0 0.0	4.41	0.82
⑧ 演習時の(グループ等の)人数は適切だった。	29 63.0	12 26.1	1 2.2	4 8.7	0 0.0	0 0.0	4.43	0.90
⑨ 演習の時間配分は適切だった。	24 52.2	15 32.6	3 6.5	4 8.7	0 0.0	0 0.0	4.28	0.92

d. 熱意・相互作用

⑩ 教員の熱意が伝わってきた。	27 58.7	14 30.4	3 6.5	2 4.3	0 0.0	0 0.0	4.43	0.80
⑪ 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況であった。	28 60.9	12 26.1	2 4.3	3 6.5	1 2.2	0 0.0	4.37	0.99
⑫ 教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	31 67.4	9 19.6	2 4.3	3 6.5	1 2.2	0 0.0	4.43	0.99

e. 学生の自己評価

⑬ 私は事前学習をして演習に臨んだ。	30 65.2	10 21.7	3 6.5	3 6.5	0 0.0	0 0.0	4.46	0.88
⑭ 私は授業後に演習内容を復習した(オフィスアワーを含む)。	28 60.9	12 26.1	2 4.3	4 8.7	0 0.0	0 0.0	4.39	0.92
⑮ 私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	26 56.5	12 26.1	3 6.5	3 6.5	0 0.0	2 4.3	4.20	1.24



科目コード	1T0202	科目名	研究方法論Ⅱ	担当教員名	谷津裕子・遠藤公久・山崎裕二・川名るり・堀井湖浪・坂口千鶴・ 安部陽子・齋藤英子・岡本有子・清田明美・濱田真由美
-------	--------	-----	--------	-------	---

<教員からのコメント>

「グループワーク担当教員が内容を把握していない」「グループは3～4人までにしてほしい。やる人とやらない人がでる。」「先生により指導内容が違う」「講義での説明と担当教員が言うことが違う。」「いくらテストで申告するとはいえ、GWをやる人に負担が大きすぎます。」⇒担当教員間で食い違いを少なくするように今後検討いたします。
「学生にゆだねすぎている気がする。フリーの時間が長すぎる。」⇒そもそも自由な時間を使って検討してもらっています。長すぎるというのであれば、さらなる検討をしてみてください。「先生によって、指導に偏りがあったり、作成物の中に含まれているものが評価の対象になっていないなど。せっかく作ったのに評価されないのは残念」⇒指導の偏りについては今後も検討していきます。「先生によって言っていることが違うところがあったので統一してほしい。」⇒統一するようにいたします。

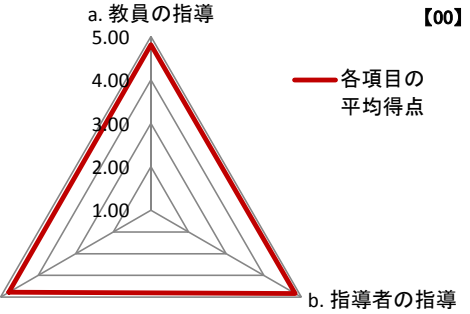
授業(実習)評価結果(2015年度レベルⅠ実習)

配布数	145	回収数	144	回収率	99.3%
-----	-----	-----	-----	-----	-------

科目:

担当者:

	全体			有効数	平均得点	標準偏差	各項目の平均得点
	有効数	平均得点	標準偏差				
a. 教員の指導	144	28.87	1.95	144	28.87	1.95	4.81
b. 指導者の指導	144	24.17	1.63	144	24.17	1.63	4.83
c. 学生の自己評価	143	23.90	1.72	143	23.90	1.72	4.78



N=144

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均得点		標準偏差	
5点	4点	3点	2点	1点		担当者	科目全体	担当者	科目全体

a. 教員の指導

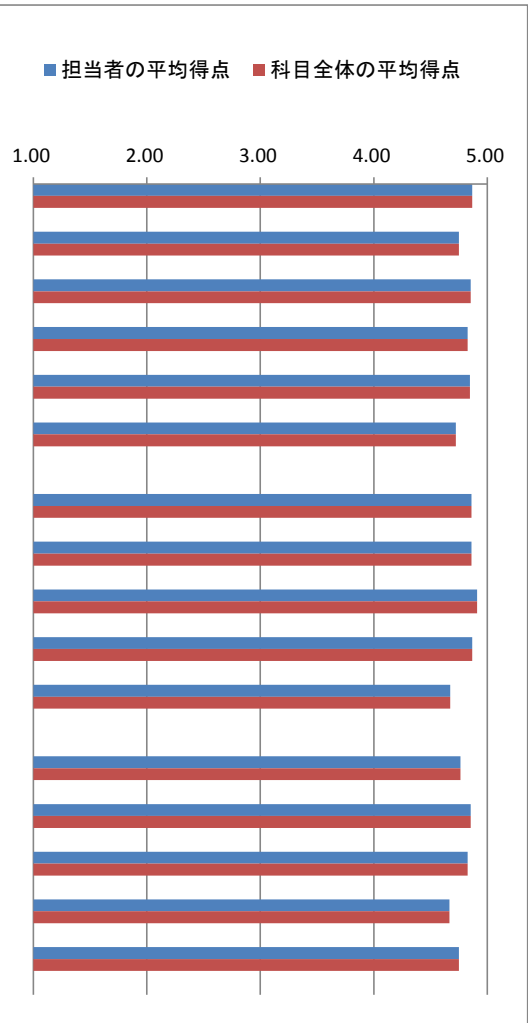
① 教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	127	15	2	0	0	0	4.87	4.87	0.38	0.38
② 教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。	111	30	3	0	0	0	4.75	4.75	0.48	0.48
③ 教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	124	19	1	0	0	0	4.85	4.85	0.37	0.37
④ 教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた	122	19	3	0	0	0	4.83	4.83	0.43	0.43
⑤ 教員は、相談しやすい雰囲気があった。	124	18	2	0	0	0	4.85	4.85	0.40	0.40
⑥ 教員と実習指導者の連携がとれていた。	109	30	5	0	0	0	4.72	4.72	0.52	0.52

b. 指導者の指導

⑦ 実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	124	20	0	0	0	0	4.86	4.86	0.35	0.35
⑧ 実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。	125	18	1	0	0	0	4.86	4.86	0.37	0.37
⑨ 実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	131	13	0	0	0	0	4.91	4.91	0.29	0.29
⑩ 実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	126	17	1	0	0	0	4.87	4.87	0.36	0.36
⑪ 実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。	111	22	8	3	0	0	4.67	4.67	0.68	0.68

c. 学生の自己評価

⑫ 学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。	117	24	1	1	0	1	4.76	4.76	0.61	0.61
⑬ 学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。	124	19	1	0	0	0	4.85	4.85	0.37	0.37
⑭ 学生は、実習目標に到達できるように努力した。	120	23	1	0	0	0	4.83	4.83	0.40	0.40
⑮ 学生は、自ら指導・支援を求めることができた。	104	33	6	1	0	0	4.67	4.67	0.59	0.59
⑯ 学生は、体調管理に努めた。	113	28	1	2	0	0	4.75	4.75	0.53	0.53



科目コード	1S0100	科目名	看護援助論実習(レベルⅠ)	担当教員名	守田美奈子
<教員からのコメント> レベルⅠ実習の教員の指導、臨床指導者の指導については、おおむね高い評価をいただきました。1年生の皆さんにとっては、初めての実習なので緊張してどのように対応したらよいか迷ったり戸惑ったりすること多いと思います。教員と臨床指導者の連携、相談のしやすさについては、評価結果のなかでも課題となっておりますので、教員や指導者に相談しやすい体制づくりに向けて、今後より一層改善していくように努めたいと思います。					

平成27年度 後期
学生による授業評価（アンケート調査）
集計結果

平成28年 9月 1日 発行

編 集 日本赤十字看護大学 F D S D委員会
〒150-0012 東京都渋谷区広尾4丁目1番3号
TEL 03(3409)0875（代表）
